

Syllabus

社会科学部 経営社会学科

2021 年度入学生

吉備国際大学

授業科目名	吉備国際大から世界へ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高橋 睦子、鈴木 英治				NO.	GE-KE-1-001	
配当学科	社会科学部・心理学部・アニメーション文化学部			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この科目の主要なテーマは、グローバル化が深化する現代世界における国際性と地域文化である。到達目標は、学生が、本学の所在地である備中高梁という場所が地域文化圏「吉備の国」としてどのような文化的・歴史的特色があるのかを十分に理解し、さらに、世界の文化や社会の多様性を学ぶことによって国際人となるための基礎を修得できるようになることである。学生は、日本と世界とのつながりを把握し、備中高梁(吉備の国)の自然環境、歴史、精神風土についての基礎知識を学修しつつ、ローカルな日常生活とグローバルな国際社会との関係から、多文化共生の基本的な意義と課題について理解できるようになる。						
概要	(地) 吉備国際大学のメインキャンパスが立地する岡山県高梁市は、日本における政治や教育、福祉などの分野で先進的かつ指導的な活躍をした人材を多く輩出した地である。このような地域の歴史・文化・社会の特色について多角的に紹介するこの科目は、本学の地域志向教育の科目群の一つである。 さらに、この科目は、吉備国際大学の教育目標である地域に根ざしグローバルに活躍できる「日本人としてのメンタリティと国際人としてのセンスを兼ね備え、豊かな人間性と専門性を有する、社会に有為な個性ある人材を養成する」教育への序論として位置づけられる、高梁を中心とする文化圏「吉備の国」の特色を学び、また国際人養成の基礎として世界の文化や社会の多様性を学ぶ。いわば、吉備国際大学学生としての知的基盤を培う科目である。						
評価方法	毎回の講義で作成・提出する小レポートをもとに、(1) 授業内容についての理解度(60%) および (2) 授業への参加の積極性・理解しようとする取り組みの姿勢(40%) から成績評価を行う。						
履修条件・注意事項	履修にあたっては毎回必ず小レポートを提出する必要がある。2行未満のレポートや名前のみを記載して提出されたレポートについては欠席扱いとする。授業中は積極的にノートを取り、自分なりの関心と問題意識をもって聴講すること。受講は、各回の授業テーマについて基礎知識・情報を確認する予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について自ら入手可能な資料等を用いて調べ理解を深めるよう復習を行うこと。 学内外の十数人の講師が分担するので、授業の進行状況によって講義スケジュールに変更が生じる可能性がある。変更がある場合にはその都度受講生に連絡する。 授業中の私語やスマホ・ケータイなど迷惑行為は一切認めない。						
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題が指示される。						
オフィスアワー	授業終了後教室にて。						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
			1. 序・「国際」の意味とグローバル化 2. 東アジアの国際関係論 3. (地) 順正学園と備中高梁 4. (地) 本学の地(知)の拠点整備事業 5. (地) アニメーションから見た高梁 6. (地) 高梁市 - ひと・まち・自然 7. (地) 備中松山城とともに 8. 'My own place' アイルランド 9. 私のアフリカ体験 10. インド 11. ドイツ 12. フィンランド 13. EU(欧州連合)-地域共同体の形成と展開 14. EUの挑戦 15. まとめ・世界の中の日本 最終試験:「評価方法」を参照	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	高橋睦子 高橋睦子・李分一 高橋睦子・加計美也子 高橋睦子・河村顕治 高橋睦子・井上博明 高橋睦子・近藤隆則 高橋睦子・J. Fawsitt 高橋睦子・畠伊知朗 高橋睦子・大下朋子 高橋睦子・大原秀行 高橋睦子 高橋睦子 高橋睦子

教科書 1	『国際理解のために』 ※購入不要 著者: 高橋 和夫 出版社: 放送大学教育振興会 ISBN: 978-4595314261
教科書 2	
参考書 1	『異文化理解入門』 ※購入不要 著者: 原沢 伊都夫 出版社: 研究社 ISBN: 978-4327377342
参考書 2	

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-KE-1-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・AL	
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。							
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。							
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。							
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、2クラスに編成する。							
自己学習	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。							
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.世界の中の日本、岡山、高梁 3.日本人の行動様式 4.日本の食文化 5.日本の伝統文化 6.健康法 7.教育と学び 8.余暇と娯楽 9.現代の社会 10.報道とマスコミ 11.ITと情報社会 12.科学と技術 13.日本の歴史 14.岡山の祭り 15.異文化理解 16.単位認定試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠				
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	漢字マスターN2 著者:アークアカデミー 出版社:三修社 ISBN:978-4-384-05632-7							
参考書 2								

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	井上 光恵					NO.	GE-KE-1-001	
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。							
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。本科目は、プレースメントテストの結果で、3クラスに編成する。クラス編成は以下のとおりである。 1クラス…日本語関連科目 I の1クラス 2クラス…日本語関連科目 I の2、3クラス 3クラス…日本語関連科目 I の4、5クラス							
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。							
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。							
自己学習	毎週の授業内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。							
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験			講義	井上	1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	まるごと ことばと文化 初級2 A2 りかい 著者:来嶋洋美 柴原智代 八田直美 今井寿枝 木谷直之 出版社:三修社							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-KE-1-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・AL	
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。							
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。							
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。							
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、2クラスに編成する。							
自己学習	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。							
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1.オリエンテーション 2.世界の中の日本、岡山、高梁 3.日本人の行動様式 4.日本の食文化 5.日本の伝統文化 6.健康法 7.教育と学び 8.余暇と娯楽 9.現代の社会 10.報道とマスコミ 11.ITと情報社会 12.科学と技術 13.日本の歴史 14.岡山の祭り 15異文化理解 16.単位認定試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠	
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	漢字マスターN2 著者:アークアカデミー 出版社:三修社 ISBN:978-4-384-05632-7							
参考書 2								

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-KE-1-001
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。						
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。本科目は、プレースメントテストの結果で、3クラスに編成する。クラス編成は以下のとおりである。 1クラス…日本語関連科目 I の1クラス 2クラス…日本語関連科目 I の2、3クラス 3クラス…日本語関連科目 I の4、5クラス						
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。						
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。						
自己学習	毎週の授業内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		講義	井上	1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	まるごと ことばと文化 初級2 A2 りかい 著者:来嶋洋美 柴原智代 八田直美 今井寿枝 木谷直之 出版社:三修社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	キャリア開発 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	GE-CG-1-001
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】卒業後の社会的自立と職業的自立に向けて大学時代の過ごし方を考え、計画する。</p> <p>【到達目標】社会が求める人間像(自主性、責任感、教養、分別、コミュニケーション力)について考え、学生時代をどのように過ごすべきか、各自の具体的目標を持つことができる。また、職業選択能力を身に付け、今後の人生設計に必要な基礎能力を養うことを目的としている。人は何のために生きるのか、人生とは何か、ということについて考え、社会人となったときに必要な能力を大学時代に身につける必要性について理解する。大学で学ぶ意義、社会が求める人間像、自己を知ることを通じて今後の4年間で何を修得すべきかを考える。</p>						
概要	<p>合同授業日と各学科の授業日とで授業は構成されている。合同授業は、4年後に向けて大学生活の送り方を意識するための授業、就職試験の一般教養の模擬試験(現在の自分の実力を知るため)とそのフォロー、実社会で使われる日本語能力を上げるための日本語講座で構成されている。</p> <p>経済社会環境が大きく変化し、個人のライフスタイルが多様化・多価値化した現代においては、キャリアの選択肢は増えたものの、逆に複雑・混沌としてきている。本授業では、ワークショップ手法を用いて、自分の人生を自分で考えることが出来るようにする。</p> <p>この科目は、一部の授業時間において企業で働いている外部講師を招き、キャリア形成について講義をしていただき、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	<p>授業時間中の活動(40%)、授業時間中の発言(30%)、KIUIDリル実施状況(30%)で評価する。ワークショップ形式で行うことから、授業中の態度が評価の基準となるので注意すること。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。レポートは授業でフィードバックするので復習しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>1) 授業予定を詳しく説明するので、初回の授業には必ず出席すること。</p> <p>2) 参加型で学習することから欠席しないようにすること。</p> <p>3) 合同授業日と各学科授業日とで教室が異なるので、教室を間違わないように留意する。</p>						
自己学習	<p>毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。また、ポートフォリオファイルを配布するので、キャリア関係授業の学習資料をファイルングし、復習を行うこと。予習および復習には各2時間程度を要する。KIUIDリルを活用して基礎学力向上に努めること。</p>						
オフィスアワー	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01. オリエンテーション(キャリア開発とは)		GW	黒宮				
02. 大学生のキャリア開発		講義	外部講師				
03. メンタルヘルス		講義	森信				
04. 基礎学習講座1回目・大学生生活の基礎		講義	外部講師				
05. 性格・適正試験・行動計画を立てる		講義	外部講師				
06. 新聞活用 新聞の読み方を学ぶ		講義	外部講師				
07. 大学での学び方		GW	黒宮				
08. 大学で学ぶこと		GW	黒宮				
09. 自己理解		GW	黒宮				
10. 学生力診断		GW	黒宮				
11. 対人関係チェック		GW	黒宮				
12. 基礎学力講座2回目テスト		講義	外部講師				
13. ライフスキルと社会人基礎力		GW	黒宮				
14. これまでの私、これからの私		GW	黒宮				
15. 春学期振り返りと共有作業		GW	黒宮				
16. 試験		試験	黒宮				
教科書 1	プリントを配布する						
教科書 2							
参考書 1	<p>大学生のためのキャリア開発入門 著者:渡辺 峻 編著 出版社:中央経済社 ISBN:4-502-38040-7</p>						
参考書 2							

授業科目名	キャリア開発 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	片山 章郎					NO.	GE-CG-1-001	
配当学科	経営社会(留学生)				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>留学生が日本で大学生生活を送ることができるための基礎知識を身に付けた上で、日本で就職できるように日本語力や論理的思考力を養う。</p> <p>そのために、次の到達目標を設定する。</p> <p>①地域で暮らすために身につけなければならない知識や法律知識を身に着ける。</p> <p>②N2レベルの中文問題、長文問題、統合理解が正解できる。</p> <p>③分数や小数の計算ができる。</p> <p>④日本の就職試験レベルの数学の文章題が正解できる。</p>							
概要	<p>全学共通で行う内容と、各学科単位で実施する授業の2種類とする。全学共通授業(2~4回目)では、外部講師による授業を行う。各学科で担当する授業では、社会人として最低限要求される読解力や論理的思考力を小テストやアクティブ・ラーニング形式の授業で養う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:この科目は留学生別科で日本語教育を経験した教員が担当する。また、外部講師は行政書士の資格を持っており、留学生が日本で円滑な生活をするための基礎知識を得る。</p>							
評価方法	成績は、単位認定試験(60%)と小テスト(40%)で評価する。小テストは次の授業でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	5週目以降から始まる小テストは採点后に返却し、小テストの内容が理解できたかアクティブ・ラーニング形式の授業を実施する。小テストを欠席すると、小テストの得点が下がるので、やむを得ない理由以外では欠席しないこと。							
自己学習	配布する資料に基づいて予習と復習を必ず行うこと。なお、予習に30時間、復習に30時間は要する。特に、返却された小テストについては次の小テストに備えて復習をしっかりすること。なお、予習・復習の際に不明な点があれば、オフィスアワーを利用して担当教員に教わること。							
オフィスアワー	研究室にて、火曜日の4時限目と平日の昼休みに実施。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.授業のオリエンテーションと1年生での学び		講義	片山・CSC (外部講師)・ 留学					
2.留学生の日本の法律		講義	片山・CSC (外部講師)・ 留学					
3.留学生の地域での生活		講義	片山・CSC (外部講師)・ 留学					
4.日本での生活(3年後に向けて)		講義	片山・CSC・ 留学					
5.短文問題と小数・分数・割合の計算問題		講義	片山					
6.短文問題と割合の理解度の確認		講義・AL	片山					
7.統合理解問題と価格問題		講義	片山					
8.統合理解問題と価格問題の理解度の確認		講義・AL	片山					
9.中文問題と比の問題		講義	片山					
10.中文問題と比の問題の理解度の確認		講義・AL	片山					
11.複雑な統合理解問題と表の数字の読み取りの問題		講義	片山					
12.複雑な統合理解問題と表の数字の読み取り問題の理解度の確認		講義・AL	片山					
13.長文問題と年齢問題		講義	片山					
14.長文問題と年齢問題の理解度の確認		講義・AL	片山					
15.総復習		講義	片山					
16.単位認定試験		筆記試験	片山					
教科書 1	作成資料(適宜配布する)							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	キャリア開発 I			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	片山 章郎					NO.	GE-CG-1-001
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>留学生が日本で大学生活を送ることができるための基礎知識を身に付けた上で、日本で就職できるように日本語力や論理的思考力を養う。</p> <p>そのために、次の到達目標を設定する。</p> <p>①地域で暮らすために身につけなければならない知識や法律知識を身に着ける。</p> <p>②N2レベルの中文問題、長文問題、統合理解が正解できる。</p> <p>③分数や小数の計算ができる。</p> <p>④日本の就職試験レベルの数学の文章題が正解できる。</p>						
概要	<p>全学共通で行う内容と、各学科単位で実施する授業の2種類とする。全学共通授業(2~4回目)では、外部講師による授業を行う。各学科で担当する授業では、社会人として最低限要求される読解力や論理的思考力を小テストやアクティブ・ラーニング形式の授業で養う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目：この科目は留学生別科で日本語教育を経験した教員が担当する。また、外部講師は行政書士の資格を持っており、留学生が日本で円滑な生活をするための基礎知識を得る。</p>						
評価方法	成績は、単位認定試験(60%)と小テスト(40%)で評価する。小テストは次の授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	5週目以降から始まる小テストは採点后に返却し、小テストの内容が理解できたかアクティブ・ラーニング形式の授業を実施する。小テストを欠席すると、小テストの得点が下がるので、やむを得ない理由以外では欠席しないこと。						
自己学習	配布する資料に基づいて予習と復習を必ず行うこと。なお、予習に30時間、復習に30時間程度は要する。特に、返却された小テストについては次の小テストに備えて復習をしっかりとすること。なお、予習・復習の際に不明な点があれば、オフィスアワーを利用して担当教員に教わること。						
オフィスアワー	研究室にて、火曜日の4時限目と平日の昼休みに実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.授業のオリエンテーションと1年生での学び	講義	片山・CSC (外部講師)・留学		
			2..日本での生活(3年後に向けて)	講義	片山・CSC (外部講師)・留学		
			3.留学生の日本の法律	講義	片山・CSC (外部講師)・留学		
			4.留学生の地域での生活	講義	片山・CSC・留学		
			5.短文問題と小数・分数・割合の計算問題	講義	片山		
			6.短文問題と割合の理解度の確認	講義・AL	片山		
			7.統合理解問題と価格問題	講義	片山		
			8.統合理解問題と価格問題の理解度の確認	講義・AL	片山		
			9.中文問題と比の問題	講義	片山		
			10.中文問題と比の問題の理解度の確認	講義・AL	片山		
			11.複雑な統合理解問題と表の数字の読み取りの問題	講義	片山		
			12.複雑な統合理解問題と表の数字の読み取り問題の理解度の確認	講義・AL	片山		
			13.長文問題と年齢問題	講義	片山		
			14.長文問題と年齢問題の理解度の確認	講義・AL	片山		
			15.総復習	講義	片山		
			16.単位認定試験	筆記試験	片山		
教科書 1	作成資料(適宜配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	情報処理 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	片山 章郎				NO.	GE-IT-1-001	
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で大学生に必要なとされる必要最低限のコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。						
概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、ブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習をおこなう。 ※実務経験のある教員による授業科目:本授業は電算部でコンピュータの実務経験のある教員が担当する。						
評価方法	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で毎回専門用語の説明を求める。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度を30%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物(フィードバックを実施)30%、単位認定試験の成績を40%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。						
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること(受講者数はパソコン教室の定員以内とする)。 事前の技能確認シート未受験者の履修は認めない。 高校までに習得したコンピュータリテラシーを踏まえた授業であるため、受講前までに高校で得た知見を復習しておくことが望ましい。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。						
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点をまとめた上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。なお、パソコンを使って、教科書の内容を予習・復習することが望ましい。予習と復習に各2時間を要する。 予習と復習の確認については、次回の講義時に専門用語の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。						
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回 オリエンテーション(クラス・教科書、ログイン等確認)	講義・演習	片山					
第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器	講義	片山					
第3回 デジタルデータのしくみ(ビット/バイト・標準化・コード)	講義	片山					
第4回 OSとアプリケーション							
第5回 ファイルシステム操作	講義	片山					
第6回 社外文書の形式の理解とワープロソフトによる作成	講義・演習	片山					
第7回 ワープロソフトによる社外文書の完成	講義・演習	片山					
第8回 表計算ソフト操作	演習	片山					
第9回 表計算ソフトの課題の完成	演習	片山					
第10回 プレゼンテーションソフト操作	講義・演習	片山					
第11回 プレゼンテーションソフトによる発表スライドの作成	演習	片山					
第12回 課題の発表	講義・演習	片山					
第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	講義	片山					
第14回 コンピュータによる問題解決	AL	片山					
第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	AL・演習	片山					
第16回 単位認定試験	講義	片山					
	講義	片山					
	実技試験	片山					
教科書 1	情報リテラシー 入門編 Windows10・Office2016対応 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-345-8						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	情報処理 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	大谷 卓史					NO.	GE-IT-1-001
配当学科	外国			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	<p>全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要なとされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。</p>						
概要	<p>情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、企業における情報システム管理部門としての実務経験を持つ教員から、その経験を活かした、現場において実践的に役立つ授業として実施される。</p>						
評価方法	<p>「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること(受講者数はパソコン教室の定員以内とする)。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。</p>						
オフィスワ-	<p>岡山キャンパス131研究室:春 月曜日2時限目 秋 火曜日4時限目 高梁キャンパス254研究室:春 火曜日4時限目 秋 金曜日2時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回 オリエンテーション(クラス・教科書、ログイン等確認)	講義・演習	大谷					
第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器	講義	大谷					
第3回 デジタルデータのしくみ(ビット/バイト・標準化・コード)	講義・演習	大谷					
第4回 OSとアプリケーション	講義・演習	大谷					
第5回 ファイルシステム操作	演習	大谷					
第6回 文書作成(ワープロソフト)操作	講義・演習	大谷					
第7回 文書作成(ワープロソフト)課題	演習	大谷					
第8回 表計算ソフト操作	講義・演習	大谷					
第9回 表計算ソフト課題	講義	大谷					
第10回 プレゼンテーションソフト操作	AL・演習	大谷					
第11回 プレゼンテーションソフト課題	講義	大谷					
第12回 ネットワークとインターネット	講義	大谷					
第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	実技試験	大谷					
第14回 コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決							
第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑							
第16回 単位認定試験							
教科書 1	<p>情報リテラシー 入門編<改訂版>FPT1716 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-345-8</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	情報処理 I			履修期	2021年度 春学期			
担当者	天岡 寛					NO.	GE-IT-1-001	
配当学科	スポーツ社会			年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習	
テーマと到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要なとされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。							
概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。							
評価方法	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。							
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること(受講者数はパソコン教室の定員以内とする)。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。							
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。							
オフィスワ-	岡山キャンパス131研究室:春 木曜日2時限目 秋 木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室:春 火曜日1時限目 秋 金曜日1時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 オリエンテーション(クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作)		講義・演習	天岡					
第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器		講義	天岡					
第3回 デジタルデータのしくみ(ビット/バイト・標本化・コード)		講義	天岡					
第4回 OSとアプリケーション								
第5回 ファイルシステム操作								
第6回 文書作成(ワープロソフト)操作		講義	天岡					
第7回 文書作成(ワープロソフト)課題		講義・演習	天岡					
第8回 表計算ソフト操作		演習	天岡					
第9回 表計算ソフト課題								
第10回 プレゼンテーションソフト操作		講義・演習	天岡					
第11回 プレゼンテーションソフト課題								
第12回 ネットワークとインターネット		演習	天岡					
第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ		講義・演習	天岡					
第14回 コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決		演習	天岡					
第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑		講義・演習	天岡					
第16回 単位認定試験		講義	天岡					
		AL・演習	天岡					
		講義	天岡					
		講義	天岡					
		実技試験	天岡					
教科書 1	情報リテラシー 入門編<改訂版>FPT1716 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-345-8							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	情報処理Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	片山 章郎					NO.	GE-IT-1-002	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	①社会人になった時、事務処理でEXCELの活用ができる技術を身に付ける。 ②統計学の基礎を学ぶ。 以上のことを到達目標とする。							
概要	EXCELの基本と、書式や関数の使い方を説明しながら、関数を利用した処理の演習をおこなう。また事務処理でよく利用される形式の集計や計算を想定した課題問題を使って、書式や関数の設定、並びに正しい結果になっているかの検証方法などを身に付ける。 なお、課題を通して学んだ知識が定着しているか、グループ討論を導入したアクティブ・ラーニング形式の授業も実施する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は電算部でコンピュータの実務経験のある教員が担当。ビジネスの現場で必要とされる情報処理技術について講義、演習、アクティブ・ラーニングによって学生の理解を深める。							
評価方法	課題問題の解答の提出と説明(理解度を確認するため、解答の提出と同時に、解答を導き出した過程の説明も求める。)の20%と、筆記試験の80%で評価する。 なお、評価のために実施した課題問題の解答手順は授業でフィードバックするので、しっかり復習をすること。							
履修条件・注意事項	配布されたマニュアルに基づいて予習しておくこと。 課題問題の提出後は解答に到る手順説明を求めるので、復習をしっかりとしておくこと。							
自己学習	欠席すると、授業で実施する課題問題の解答を提出できない。欠席した場合は次週の授業までに解答を提出できるよう、担当教員に教わりに行ったり、自主学習をしたりすること。 予習と復習を必ず行うこと。予習に1時間、復習に3時間程度要する。パソコンを使って、予習・復習することが望ましい。							
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. 表計算の作成手順 2. 請求書の作成①(書式や数式) 3. 請求書の作成②(関数や表の編集等) 4. 書式や関数の理解度の確認 5. 売上表の作成(データ入力) 6. 売上表の分析(ピボットテーブルとグラフ) 7. 集計やグラフの理解度の確認 8. アルバイトの勤務表の作成(日付・時間関数とデータチェック) 9. アルバイトの勤務表の分析 10. 時間関数の理解度の確認 11. アンケートデータの入力(入力規則) 12. アンケートの集計 13. 集計結果の分析 14. 統計の基本の理解度の確認 15. 総復習 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 講義・AL 演習 演習 講義・AL 演習 演習 講義・AL 演習 演習 演習 講義・AL 演習 演習 演習 講義 筆記試験	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山	
教科書 1	初回授業時に情報処理Ⅱ用EXCELマニュアル(作成配布資料)を配布							
教科書 2								
参考書 1	統計の授業前に統計学の基礎の資料を配布							
参考書 2								

授業科目名	情報処理Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大谷 卓史					NO.	GE-IT-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の3つのことができるようになることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 2. 方が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 3. 情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じるか理解できるようになる。 <p>なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。</p>						
概要	<p>現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的な事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。</p> <p>主要なキーワードは次のとおりである。 電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由に採点には関係がないが、授業内容を理解したうえで意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。</p>						
評価方法	<p>講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する(受講態度)。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。また、授業課題に関しては、次回授業でコメントシート(シャトルカード)や、授業内での言及・コメントなどによって(原則課題回答者名は匿名)、フィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 原則として情報処理Iの単位を取得した学生を対象とします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。 予習: 次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。 復習: 授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。</p>						
オフィスアワー	<p>春学期 14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。 秋学期 14号館6階14617号研究室にて毎週木曜日3時限目。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨ 2 なぜ情報倫理が必要なのか 3 倫理とは何だろうか(1) 倫理・法・慣習 4 倫理とは何だろうか(1) 基本的な用語と枠組み 5 コンピューティングの歴史 コンピュータの誕生からパソコンの登場まで 6 コンピューティングの歴史 インターネット出現からIoT時代まで 7 身近な情報セキュリティ 8 メールやメッセージングアプリのセキュリティ 9 著作権の基礎 10 レポート作成の倫理問題 11 「漫画サイトが見られない」 12 個人上保護法の基礎知識 13 ポイントカードと個人情報 14 情報時代のプライバシー 15 まとめ 16 試験 	<p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験</p>	<p>大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷</p>		
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	<p>改訂新版 情報倫理入門 著者: 土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子 著 出版社: アイケイコーポレーション ISBN: 4874923240</p>						
参考書 2							

授業科目名	情報処理Ⅱ	履修期	2021年度 秋学期			
担当者	今村 俊介				NO.	GE-IT-1-002
配当学科	全学共通		年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態 演習
テーマと到達目標	<p>学生は、表計算ソフトExcelの応用関数や多言語OSについて理解を深め、実務に役立つ知識と技能を修得することができる。また、多言語OSの世界に触れることで情報処理活用の多面性を理解することができる。Excelの応用的な実務機能を演習形式で体得し、実務力を身につけることができる。また、情報処理Iにより情報処理の基礎やオフィスアプリケーション操作を一通り理解した学生が、さらにコンピュータを活用した社会に適応する上で必要な概念と関連技術・用語について理解を深めることができる。</p> <p>なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。</p>					
概要	<p>情報処理の実務的内容として、表計算ソフトExcelの応用課題作成を行う。また、Windowsと日本語OS(B-TRON)を比較考察し、コンピュータのハードウェア・ソフトウェアと望ましい情報システムの形態を実機学習を通して理解する。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 ※実務経験のある教員による授業科目 なお、この科目は、コンピュータ・インストラクターとしての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、実社会において実践的に役立つ授業を実施する。</p>					
評価方法	<p>発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。</p>					
履修条件・注意事項	<p>実習を重視して進めるので、遅刻は厳禁とする。 原則として情報処理Iの単位を取得した学生を対象とするが、9月入学生や編入生・再履修生等については個別に対応する。 PC台数の制限があるため、このクラス希望者全員が受講可能とならないことがある。 各回の授業に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがある。</p>					
自己学習	<p>各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと(90分)。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと(90分)。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。</p>					
オフィスワ-	14号館6階個人研究室にて、火曜日2眼に実施。					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			<ul style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 表計算 関数:条件判断 3 表計算 関数:表の参照 4 表計算 条件付き書式 5 表計算 複合グラフ 6 表計算 ブック間集計 7 表計算 ピボットテーブル 8 表計算 小テスト 9 OSの多様性 10 TRONとは何か 11 イネーブルウェアと超漢字OS 12 日本語言語プログラムとは 13 日本語言語プログラム実践基礎 14 日本語言語プログラム実践応用 15 学習範囲プレテスト 16. 単位認定試験 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 講義 講義 演習 演習 演習 演習 試験 	<ul style="list-style-type: none"> 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 	
教科書 1	よくわかる Microsoft Excel 2019応用 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-381-6					
教科書 2	「超漢字OS」「日本語言語プログラム」についてはプリントを適宜配布する。					
参考書 1	授業内で適宜指示する。					
参考書 2						

授業科目名	英語 I	履修期	2021年度 春学期		
担当者	平見 勇雄	NO.	GE-LE-1-001		
配当学科	社会福祉 アニメーション文化	年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30
				授業形態	演習
テーマと到達目標	英語で意見が多少なりとも言えるようになることを到達目標とし、コミュニケーションができるような授業、指導をします。そのためには最低限の正しい英語が言えるよう、基本的文法のおさらいと単語力、一般教養的な知識が必要となります。それを行うことにより「学生は高校までの基本的な重要文法事項をおよそ復習でき、辞書で単語を引けば、特別に難しい内容を書いている文章や専門的知識のいる内容を除けば、おおよそその文の内容を把握できる」ようになります。 この授業で必要な最低限の単語を覚え、自宅で繰り返し自分で発音することを根気よく続けければ、これらの表現を使って学生は現在の社会の傾向や自分たちの関心や意志を伝えることができます。				
概要	このテキストは、よりよい生活を送る上での健康に対する習慣をいろいろな角度から取り上げています。よく新聞や雑誌、テレビで取り上げられる内容がどのように英語では表現されるのかに着目し、これらの重要な表現、言い回しを暗記すれば、伝えられるよう工夫がなされていますから、生きた英語を習得してもらうには絶好の教科書です。基本的なやり方は授業中に指導します。教科書には家で聞き取りの勉強ができるように無料でダウンロードできる特典もついていますから十分に学習することができます。				
評価方法	授業の中で課す課題と授業態度(50%)と試験(50%)で総合的に評価します。フィードバックは課題や試験のあとで詳しい要点をまとめたものを配布することで行いたい。				
履修条件・注意事項	個人によって高校までの(特に文法の理解度)習得の差はあると思いますが、次の時間に何を講義するかを前の授業のときに言っておきますので、高校のときの参考書をもう一度ひもといてあらかじめ文法的予習をしておいてもらい、テキストの単語も辞書で引いて自分なりの訳を書いてくることを前提とします。授業のときにはできる限り辞書を携帯して下さい。またCDを使って一日に何度か習ったところを聴く習慣をつけてもらいたいと思っています。読む、聴くことを中心に総合的な力をつけていくので、積極的な姿勢で授業に臨んで下さい。				
自己学習	履修の段階でこれまでの中学、高校の実力の差があると思うので参考書で丹念に文法事項を確認しながら各自で訳をやってきてください。それが終わったら、さらに実力をつけたい人は教科書の最初のページに音声ファイルがダウンロード無料でできるとあり、やり方を書いていますので各自でダウンロードして聞き取りの練習を行ってください。また履修事項にもありますが予習、復習をそれぞれ2時間程度は行って下さい。そうすればかなり英語ができるようになるはずです。				
オフィスアワー	水曜日の3限に研究室(2号館6階)でお待ちしています。別の授業と重なっている人はご相談下さい。				
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1 イントロダクション 2 眠りの素晴らしさ 1 3 眠りの素晴らしさ 2 4 塩の良し悪し 1 5 塩の良し悪し 2 6 素晴らしき水 1 7 素晴らしき水 2 8 温泉～自然の奇跡 1 9 温泉～自然の奇跡 2 10 ブルーゾーンからの健康的教訓 11 不健康な習慣 1 12 不健康な習慣 2 13 シャルウイダンス? 1 14 シャルウイダンス? 2 15 前期のまとめ 16 筆記試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見			
教科書 1	Healthy Habits for a Better Life 著者:Joan McConnell Kiyoshi Yamauchi 出版社:Seibido(成美堂) ISBN:ISBN978-4-7919-7229-6				
教科書 2					
参考書 1					
参考書 2					

授業科目名	フランス語 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	加藤 健次				NO.	GE-LF-1-001	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」をテーマとし、大学で始めて第二外国語としてフランス語を学ぶ学生が、初歩的なコミュニケーション技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ。日常的によく使われるフランス語の例文を覚えて話せるようになることを目標とする。						
概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が説明され、できるだけ実用的な語彙が自然に覚えられるようになっていく。						
評価方法	「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験(60%)、単位認定試験(40%)を合計して総合評価する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した口頭試験の課題は、各授業で繰り返し練習することになるが、筆記試験としての単位認定試験まででそれらを書けるようにしておくことが求められる。						
履修条件・注意事項	毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるように予習してくる。また、単位認定試験に向けてそれらを書けるように練習すること。耳と口と手で繰り返し練習することが求められるので要注意。						
自己学習	毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各2時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。その成果は、各週の口頭試験と最終週の単位認定試験(筆記)で問われる。						
オフィスアワー	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.アルファベトと発音・綴り字 2.挨拶の表現 3.お元気ですか？ 4.私は日本人です。 5.お願いします。 6.ありがとう。すみません。 7.名前・歳を尋ねる 8.それは何ですか？ 9.～が欲しいのですが。 10.～が好きです。 11.～はありますか？ 12.～はできますか？ 13.～するつもりです。 14.～しなければなりません。 15.場所・時を尋ねる 16.単位認定試験		講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次				
教科書 1	ゼロからスタート フランス語 会話編 著者:鈴木文恵(著) 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4-86392-103-0						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	ドイツ語 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-1-001		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	<p>本学におけるドイツ語の授業は、2年間の学習後には「ドイツ語検定(独検)」5級に挑戦できるレベルに達することを目標としており、1年次の授業はそのための重要な第一歩となっていることをまず理解する必要がある。「ドイツ語 I」の授業では、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得する。そのことによって「ドイツ語 I」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。</p>								
概要	<p>この講義は、ドイツ語の初学者を対象としている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回の授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、会話文や読本部分、それに練習問題については、学生の事前の準備・学習が前提となっている。</p>								
評価方法	<p>予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。</p>								
履修条件・注意事項	<p>語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえないことである。毎回の授業では何かきつと発表等やられされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。</p>								
自己学習	<p>ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められる。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。</p>								
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜1限目と水曜4限目に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション、ドイツ語の発音 2. 動詞の規則変化 3. 名詞の性 4. 名詞の複数形 5. 動詞の不規則変化 6. 定冠詞・不定冠詞 7. 命令形 8. 前置詞 9. 人称代名詞 10. 並列接続詞 11. 話法の助動詞 12. 未来の助動詞 13. zu不定詞 14. 形容詞の用法 15. 形容詞の格変化 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水					
教科書 1	<p>プレーミエ ドイツ語総合読本[改訂版] 著者:神竹 道士 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06432-0</p>								
教科書 2									
参考書 1	<p>文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:ISBN-10: 481635137X </p>								
参考書 2									

授業科目名	ドイツ語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	ドイツ語の授業は、2年間の学習後には「ドイツ語検定(独検)Ⅴ級に挑戦できるレベルに達することを目標としており、1年次の授業はそのための重要な一歩となっている。「ドイツ語Ⅱ」では主に日常的な会話表現に触れながら、ドイツ語の基礎的な文法事項についての理解をさらに深めることにより、この授業の終了時には、学生は平易な日常会話レベルでの様々な表現がある程度読んだり、話せたり、聞き取ったりできるようになる。						
概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣やお祭り、社会問題などにも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。						
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているので、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいないことである。毎回の授業では何かきつと発表等やられされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。						
自己学習	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められる。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。						
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜1限目と水曜4限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. 形容詞の比較変化 2. 分離動詞 3. 非分離動詞 4. 動詞の3基本形 5. 過去形 6. 現在完了形 7. 従属接続詞 8. 副文 9. 再帰代名詞、再帰動詞 10. 分詞 11. 定関係代名詞 12. 不定関係代名詞 13. 動作受動 14. 状態受動 15. 接続法 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水
教科書 1	プレミアミエ ドイツ語総合読本[改訂版] 著者:神竹 道士 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06432-0						
教科書 2							
参考書 1	文法からマスター! はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:481635137X						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-LJ-1-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文法語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスに出席しても単位を取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. ユニット1 3. ユニット2 4. ユニット3 5. ユニット1～3 復習 6. ユニット4 7. ユニット5 8. ユニット6 9. ユニット4～6 復習 10. ユニット7 11. ユニット8 12. ユニット9 13. ユニット7～9 復習 14. 総括/小テスト 15. 総復習 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠					
教科書 1	レベルアップトレーニング文法N2 著者:坂本勝信 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2210-0						
教科書 2							
参考書 1	日本語パワードリル N2 文字・語彙 著者:松浦 真理子(他) 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-1-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間で連携して授業を進める。 学生は中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す、N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第3課 学習項目と練習1 3. 第3課 学習項目と練習2) 4. 第3課 読解・作文・聴解 5. 第6課 学習項目と練習1 6. 第6課 学習項目と練習2) 7. 第6課 読解・作文・聴解 8. 能力試験対策演習 9. 能力試験対策演習 10. 3,6課総復習1 11. 3,6課総復習2 12. 第9課 学習項目と練習1 13. 第9課 学習項目と練習2 14. 第9課 読解・作文・聴解1 15. 第9課 読解・作文・聴解2 16. 単位認定試験	講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験	磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯					
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-001
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験N2の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるように日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 第25課 3. 第25課 4. 第28課 5. 第28課 6. 第31課 7. 第31課 8. 第34課 9. 第34課 10. 第37課 11. 第37課 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ 15. 総括 16. 単位認定試験		授業または講義 および演習 試験は筆記試験	井上	1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験		授業は講義および演習 試験は筆記試験	井上
教科書 1	日本語初級(2)大地 メインテキスト 著者:山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-89358-507-7						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル N3 文字語彙 著者:星野恵子 辻和子 出版社:ユニコム						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	福本 苗				NO.	GE-LJ-1-001	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。またN2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1~3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.助詞の働きをする言葉 3.時を表す言葉 4.接続の言葉 5.文末に使われる言葉 6.複合語として使われる言葉 7.名詞を使った言葉 8.N2対策 文字・語彙・文法 9.N2対策 文字・語彙・文法 10.N2対策 文字・語彙・文法 11.N2対策 文字・語彙・文法 12.敬語 13.文章の文法① 14.文章の文法② 15.総括 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本					
教科書 1	新完全マスター単語日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂 (他) 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-762-0						
教科書 2							
参考書 1	ISBN:						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	大下 朋子				NO.	GE-LJ-1-001	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)や読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.文法1課:～とき・～直後に 3.文法2課:～している(進行中) 4.文法3課:～後で 5.文法4課:範囲の始まりと終わり・その間 6.読解①[対比]ほかのものと比べる 7.読解②[言い換え]ほかの言葉で言い換える 8.読解③[比喩]ほかのものにととえる 9.読解④[疑問提示文]疑問文を使って話題を提示する 10.中間テスト(文法1～4課) 11.文法5課:～だけ 12.文法6課:～だけではなく、それに加えて 13.文法7課:～について、～を相手にして 14.文法8課:～を基準にして 15.文法9課:～に関連して、～に対応して 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋)					
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N2 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク						
教科書 2	新完全マスター語彙 日本語能力試験N2 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-LJ-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文法語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレズメントテストを受験すること。プレズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスに出席しても単位を取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. オリエンテーション 2. ユニット1 3. ユニット2 4. ユニット3 5. ユニット1～3 復習 6. ユニット4 7. ユニット5 8. ユニット6 9. ユニット4～6 復習 10. ユニット7 11. ユニット8 12. ユニット9 13. ユニット7～9 復習 14. 総括/小テスト 15. 総復習 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	出版社:						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	磯 永二				NO.	GE-LJ-1-002	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間で連携して授業を進める。 学生は中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す、N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 第3課 学習項目と練習1 3. 第3課 学習項目と練習2) 4. 第3課 読解・作文・聴解 5. 第6課 学習項目と練習1 6. 第6課 学習項目と練習2) 7. 第6課 読解・作文・聴解 8. 能力試験対策演習 9. 能力試験対策演習 10. 3,6課総復習1 11. 3,6課総復習2 12. 第9課 学習項目と練習1 13. 第9課 学習項目と練習2 14. 第9課 読解・作文・聴解1 15. 第9課 読解・作文・聴解2 16. 単位認定試験	講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義	磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯		
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-002
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験N2の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるように日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法は	担当者	秋学期授業計画	授業方法は	担当者		
1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験	授業または講義 および演習 試験は筆記試験	井上	1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験	授業は講義および演習 試験は筆記試験	井上		
教科書 1	日本語初級(2)大地 メインテキスト 著者:山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-89358-507-7						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル N3 文字語彙 著者:星野恵子 辻和子 出版社:ユニコム						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	福本 苗				NO.	GE-LJ-1-002	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。またN2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1~3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.助詞の働きをする言葉 3.時を表す言葉 4.接続の言葉 5.文末に使われる言葉 6.N2対策 文字・語彙・文法 7.N2対策 文字・語彙・文法 8.N2対策 文字・語彙・文法 9.N2対策 文字・語彙・文法 10.複合語として使われる言葉 11.名詞を使った言葉 12.敬語 13.文章の文法① 14.文章の文法② 15.総括 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本		
教科書 1	新完全マスター単語日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂 (他) 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-762-0						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大下 朋子					NO.	GE-LJ-1-002
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.11課 ～に関係なく・無視して 3.12課 強く否定する・強く否定しない 4.13課 ～(話題)は 5.14課 ～けれど 6.15課 もしそうなら・たとえそうでも 7.【中間テスト】11～15課 8.中間テストの解説 9.16課 ～だから(理由)(1) 10.17課 ～だから(理由)(2) 11.18課 できない・困難だ・できる 12.19課 ～を見て評価すると・～の立場で評価すると 13.20課 結果はどうなったか 14.21課 強く言う・軽く言う 15.22課 ～だろうと思う 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋)		
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N2 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク						
教科書 2	新完全マスター語彙 日本語能力試験N2 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A				履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-005
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 春・I A、応用日本語 I 秋春・I A、日本語研究 I 秋春・I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。						
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋A]の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥ 授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。						
自己学習	積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。						
オフィスワ-	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上		
教科書 1	著者: 出版社: ISBN:						
教科書 2	著者: 出版社: ISBN:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	小西 真弓				NO.	GE-LJ-1-005	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 秋・I B、応用日本語 I 秋・I B、日本語研究 I 秋・I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課(1)学習項目と練習 3. 第1課(2)学習項目と練習 4. 第1課(3)本文、作文 5. 第4課(1)学習項目と練習 6. 第4課(2)学習項目と練習 7. 第4課(3)本文、作文 8. 第7課(1)学習項目と練習 9. 第7課(2)学習項目と練習 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 第10課(1)学習項目と練習 14. 第10課(2)学習項目と練習 15. 第1. 4. 7. 10課復習・小テスト 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西					
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-005	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようにする。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	このクラスの授業では基礎的な文法を主に扱うのでN2レベルの授業ではない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.試験 積極的参加型授業を行うため各課で学ぶ文型について事前に文を作って発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。	講義 試験	久保田 久保田	.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験	講義 試験	久保田 久保田		
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077						
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-1-005
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレジメントテストを受験すること。プレジメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括で登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレジメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(中文) 6. 内容理解問題(長文) 7. 内容理解問題(長文) 8. 統合理解問題 9. 日本語能力試験対策 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西					
教科書 1	新完全マスター単語 日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:9.78488E+12						
教科書 2							
参考書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N2 読解 著者:小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:9784863920583						
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-005	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。また、学生は自立学習の方法を学び理解できる。自立学習を実践しながら、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>このクラスは大学教育で必要不可欠な「読解」を中心に学習を進める。授業は文法の基礎も取り扱うが、自立的学習が必須である。第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。的確な日本語で事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるのが目標である。</p> <p>またN2レベルの読解問題の練習問題も解きながら、実践力も身につける。日本語能力試験N2は到達目標である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、試験(40%)、課題・小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p> <p>大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>⑥指定した教科書は必ず購入すること。教科書を購入していない、理由なく欠席する、指定した課題をやっていない場合は受講を認めない場合があるので注意すること。詳細はオリエンテーションで説明する。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。</p>						
自己学習	<p>1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。</p> <p>2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。</p> <p>予習と復習に2時間以上は必要である。</p>						
オフィスワ-	クラス、オープンスペースにて、授業前に行う。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田
授業は教科書に加え、参考の教科書を教材として読む予定である。受講者には参考図書の購入を奨める。受講者の理解度によって内容の変更がある可能性もある。							
教科書 1	留学生の日本語 読解編 著者:アカデミック・ジャパニーズ研究会 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-7574-2631-3						
教科書 2							
参考書 1	はじめての日本語能力試験 N2合格模試 著者:水谷 信子 監修・著 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-86639-315-5						

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵				NO.	GE-LJ-1-005
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。					
概要	中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。					
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなどの学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。					
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I A・応用日本語 I 春A・日本語研究 I 春Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p>					
自己学習	自主的な学習を求めます。授業の前に、授業ですすむところを一度読みましょう。授業が終わったら、習ったところを一度読みましょう。宿題はきちんとやって出しましょう。					
オフィスワ-	授業の後、休み時間に質問を聞きます。					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
1. オリエンテーション 2. 文法14課 3. 文法15課 4. 文法16課 5. 文法17課 6. 読解① 7. 読解② 8. 読解③ 9. 読解④ 10. 中間テスト(14課～17課) 11. 文法18課 12. 文法19課 13. 文法20課 14. 文法21課 15. 文法22課 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上「 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第2課 4. 第3課 5. 第4課 6. N2直前試験対策 読解 7. N2直前試験対策 読解 8. N2直前試験対策 読解 9. 第5課 10. 第6課 11. 第7課 12. 第8課 13. 第9課 14. 第10課 15. まとめ 16. 単位認定試験	1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 試験	1. 井上 2. 井上 3. 井上 4. 井上 5. 井上 6. 井上 7. 井上 8. 井上 9. 井上 10. 井上 11. 井上 12. 井上 13. 井上 14. 井上 15. 井上 16. 井上	
教科書 1	『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』 著者:友松悦子・福島佐知・中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-610-4					
教科書 2	『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-88319-610-4					
参考書 1						
参考書 2						

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 春・ I A、応用日本語 I 秋春・ I A、日本語研究 I 秋春・ I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。						
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋A]の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥ 授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。						
自己学習	積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。						
オフィスワ-	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上		
教科書 1	著者: 出版社: ISBN:						
教科書 2	著者: 出版社: ISBN:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 秋・I B、応用日本語 I 秋・I B、日本語研究 I 秋・I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようにする。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 第1課(1)学習項目と練習 3. 第1課(2)学習項目と練習 4. 第1課(3)本文、作文 5. 第4課(1)学習項目と練習 6. 日本語能力試験対策 7. 日本語能力試験対策 8. 日本語能力試験対策 9. 第4課(2)学習項目と練習 10. 第4課(3)本文、作文 11. 第7課(1)学習項目と練習 12. 第7課(2)学習項目と練習 13. 第10課(1)学習項目と練習 14. 第10課(1)学習項目と練習 15. 第1. 4. 7. 10課復習 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西		
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I B、応用日本語 I B、日本語研究 I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	このクラスの授業では基礎的な文法を主に扱うのでN2レベルの授業ではない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.試験 積極的参加型授業を行うため各課で学ぶ文型について事前に文を作って発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田	.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験	講義 試験	久保田 久保田		
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077						
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-1-006		
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。								
概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。								
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。								
履修条件・注意事項	<p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人と同様に外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p>								
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。								
オフィスアワー	授業後、教室にて。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					1. オリエンテーション 2. 内容理解(短文) 3. 内容理解(短文) 4. 内容理解(中文) 5. 日本語能力試験対策 6. 日本語能力試験対策 7. 日本語能力試験対策 8. 日本語能力試験対策 9. 内容理解(中文) 10. 内容理解(長文) 11. 内容理解(長文) 12. 内容理解(長文) 13. 情報検索 14. 情報検索 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西
教科書 1	新完全マスター単語 日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:9.78488E+12								
教科書 2									
参考書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N2 読解 著者:小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:9784863920583								
参考書 2									

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。また、学生は自立学習の方法を学び理解できる。自立学習を実践しながら、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>このクラスは大学教育で必要不可欠な「読解」を中心に学習を進める。授業は文法の基礎も取り扱うが、自立的学習が必須である。第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。的確な日本語で事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるのが目標である。</p> <p>またN2レベルの読解問題の練習問題も解きながら、実践力も身につける。日本語能力試験N2は到達目標である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、試験(40%)、課題・小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p> <p>大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>⑥指定した教科書は必ず購入すること。教科書を購入していない、理由なく欠席する、指定した課題をやっていない場合は受講を認めない場合があるので注意すること。詳細はオリエンテーションで説明する。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。</p>						
自己学習	<p>1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。</p> <p>2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。</p> <p>予習と復習に2時間以上は必要である。</p>						
オフィスアワー	クラス、オープンスペースにて、授業前に行う。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田
授業は教科書に加え、参考の教科書を教材として読む予定である。受講者には参考図書の購入を奨める。受講者の理解度によって内容の変更がある可能性もある。							
教科書 1	留学生の日本語 読解編 著者:アカデミック・ジャパニーズ研究会 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-7574-2631-3						
教科書 2							
参考書 1	はじめての日本語能力試験 N2合格模試 著者:水谷 信子 監修・著 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-86639-315-5						

授業科目名	応用日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井上 光恵				NO.	GE-LJ-1-006	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなどの学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。						
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 春A・日本語研究 I 春Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p>						
自己学習	自主的な学習を求めます。授業の前に、授業ですすむところを一度読みましょう。授業が終わったら、習ったところを一度読みましょう。宿題はきちんとやって出しましょう。						
オフィスワ-	授業の後、休み時間に質問を聞きます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課 本文と問題、漢字 3. 第2課 本文と問題、漢字 4. 第3課 本文と問題、漢字 5. 第4課 本文と問題、漢字 6. 第5課 本文と問題、漢字 7. 第6課 本文と問題、漢字 8. 第7課 本文と問題、漢字 9. N2直前試験対策 読解 10. N2直前試験対策 読解 11. N2直前試験対策 読解 12. 第8課 本文と問題、漢字 13. 総復習 14. まとめ 15. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第2課 4. 第3課 5. 第4課 6. N2直前試験対策 読解 7. N2直前試験対策 読解 8. N2直前試験対策 読解 9. 第5課 10. 第6課 11. 第7課 12. 第8課 13. 第9課 14. 第10課 15. まとめ 16. 単位認定試験	1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 試験	1. 井上 2. 井上 3. 井上 4. 井上 5. 井上 6. 井上 7. 井上 8. 井上 9. 井上 10. 井上 11. 井上 12. 井上 13. 井上 14. 井上 15. 井上 16. 井上		
教科書 1	『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』 著者: 友松悦子・福島佐知・中村かおり 出版社: スリーエーネットワーク ISBN: 978-4-88319-610-4						
教科書 2	『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』 著者: 伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社: スリーエーネットワーク ISBN: 978-88319-610-4						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-1-009
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また、練習の過程で、関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。 また、会話練習を導入し、日本での生活を自信を持って送れるようにする。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。N2に合格してはじめて日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 N2合格には相当の覚悟が必要である。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 確認演習	講義・演習	磯					
2. 実践練習 課題理解① 1～10	講義・演習	磯					
3. 実践練習 課題理解② 11～20	講義・演習	磯					
4. 実践練習 ポイント理解① 1～9	講義・演習	磯					
5. 実践練習 ポイント理解② 10～18	講義・演習	磯					
6. 実践練習 概要理解① 1～10	講義・演習	磯					
7. 実践練習 概要理解② 11～20	講義・演習	磯					
8. 1～7総復習	演習	磯					
9. 実践練習 即時応答① 1～26	講義・演習	磯					
10. 実践練習 即時応答② 追加問題	講義・演習	磯					
11. 実践練習 即時応答③ 追加問題	講義・演習	磯					
12. 実践練習 統合理解① 1～5	講義・演習	磯					
13. 実践練習 統合理解② 6～10	講義・演習	磯					
14. 第1回模擬試験問題	演習	磯					
15. 第2回模擬試験問題	演習	磯					
16. 単位認定試験							
教科書 1	日本語能力試験問題集N2聴解スピードマスター 著者: 棚橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり 出版社: Jリサーチ ISBN: 978-4-86392-057-6						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-009	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	このクラスの授業では基礎の文法を主に扱うのでN2合格を目指す授業は行わない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレズメントテストを受験すること。プレズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。 ②日本語 I ・応用日本語 I ・日本語研究 I の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。(社会情勢に応じてJLPTの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥理由なく欠席が続く、課題をやっていない場合は受講を認めない場合もあるので注意すること。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのでも活用することもできる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験 学生は「事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるため、事前に課で学ぶ文型を学習し、その文を作って授業で発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。オリエンテーションは必ず出席すること。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田		
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077						
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-009
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。 学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。</p> <p>ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、N2試験に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I 春・応用日本語 I 春・日本語研究 I 春の3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。</p>						
自己学習	<p>積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。</p>						
オフィスワ-	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験	講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上		
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2	『ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙』 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A				履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-009
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	この授業では、主に聴解の力を伸ばします。学生は、N2レベルの問題演習を解くことで、日本語のヒアリングの能力と聞き取れる単語を増やします。						
概要	毎回、文法の力をつけるためにプリントを解き、その学習内容が記憶できているかどうかを確認する小テストを行います。また、授業中の聴解の練習によって日本語能力試験N2レベルの語彙力・聴解力を身に着けます。						
評価方法	試験(60%)、小テストと宿題の提出など(20%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期ごとに実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語1A/応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 ⑥ 副教材は、プリントで対応する。						
自己学習	毎回、指示された箇所を授業前に解答してくる。時間的には2時間程度の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間程度の復習が必要となる。						
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間などに質問に答えます。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験		演習	井上	1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N2 聴解』 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2	著者: 出版社:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	雲津 英子				NO.	GE-LJ-1-009	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す・読む・聞く・書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.Unit1 課題理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 3.Unit1 課題理解「確認問題」 4.Unit2 ポイント理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 5.N2対策問題(聴解) 6.N2対策問題(聴解)の解説 7.N2対策問題(聴解) 8.N2対策問題(聴解)の解説 9.Unit2 ポイント理解「確認問題」 10.Unit3 概要理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 11.Unit3 概要理解「確認問題」 12.Unit4 即時応答「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 13.Unit4 即時応答「確認問題」 14.Unit5 統合理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 15.Unit5 統合理解「確認問題」 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 聴解・筆記試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津					
教科書 1	日本語能力試験レベルアップトレーニング聴解N2 著者:坂本勝信 吉原こずえ 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2220-9						
教科書 2							
参考書 1	日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙 著者:松浦真理子 鈴木健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8						
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-009
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	このクラスは大学教育で必要不可欠な「聞いて理解すること」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。「聴解の教材」では生活の場面でもひとりで対応できる能力を身につけるような授業を取り入れる。また第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を自ら積極的にを行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を行う。他の日本語関連科目と併せて受講することで、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになることが目標である。						
評価方法	授業評価は、講義内試験(40%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥教科書については以前海外におりPDFで受け取った学生はプリントアウトしておくほうが望ましい。授業でプリントを配布する場合もあるので、初回から専用のファイル、ノートは持参すること。副教材については、3人の先生と共有して進める。これについても毎回持ってくること。 ⑦理由なく欠席が続く場合や、指示した課題を提出しない場合は受講を認めない場合があるので注意してほしい。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行う場合がある。参加型学習法を行うため、予習が必要である。 2) 毎回指定した箇所の宿題を出すので、その課の語彙が定着できるように自らアイデアを考えて行うこと。授業でも取り上げるので積極的にアイデアを発表できるように準備して授業に臨むこと。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施する						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 第1章1 2. 第1章1, 2 3. 第1章2, 3 4. 第1章4, 5 第2章1 5. 第2章2, 3 6. 第2章4, 5 7. 第2章6, 7 8. 第3章1/中間テスト 9. 第3章2, 3 10. 第3章4, 5 11. 第3章5 12. 第4章1, 2 13. 第4章3, 4 14. 第4章5 15. まとめ 16. 試験 授業ではスクリプトを利用してより現実的な聴解練習を行う予定である。積極的に取り組んでほしい。 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	11. オリエンテーション 第1章1 12. 第1章1, 2 13. 第1章2, 3 14. 第1章4, 5 第2章1 15. 第2章2, 3 16. 第2章4, 5 17. 第2章6, 7 18. 第3章1/中間テスト 19. 第3章2, 3 20. 第3章4, 5 21. 第3章5 22. 第4章1, 2 23. 第4章3, 4 24. 第4章5 25. まとめ 26. 試験 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田		
教科書 1	日本語能力試験対策 日本総まとめN2 聴解 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2	新完全マスター語彙N2 著者:伊能 裕晃 出版社:スリーエーネットワーク						

ISBN:978-4883195749

参考書 1

著者:

参考書 2

授業科目名	日本語研究 I B				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-1-010	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習	
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。							
概要	この授業は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また、練習の過程で、関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。 また、会話練習を導入し、日本での生活を自信を持って送れるようにする。							
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。							
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～5クラスに編成される。 ② 日本語 I 秋・応用日本語 I 秋・日本語研究 I 秋の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。							
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。							
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. オリエンテーション 確認演習 2. 文法演習 第1章1 3. 第1章 2, 3 4. 第1章 4, 5 5. 第2章 1, 2 6. 第2章 3, 4 7. 第2章 5, 6, 7 8. 総復習演習 ① 9. N2対策演習1 10. N2対策演習2 11. 第3章 1, 2, 3 12. 第3章 4, 5 13. 第4章 1, 2, 3 14. 第4章 4, 5 15. 第5章 16. 単位認定試験			講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 	磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 	
教科書 1	日本語能力試験対策 日本語総まとめN2 聴解 著者:佐々木仁子、松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	日本語研究 I B				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-010		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。								
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I B、応用日本語 I B、日本語研究 I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。								
評価方法	このクラスの授業では基礎の文法を主に扱うのでN2合格を目指す授業は行わない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。								
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレズメントテストを受験すること。プレズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。 ②日本語 I ・応用日本語 I ・日本語研究 I の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。(社会情勢に応じてJLPTの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥理由なく欠席が続く、課題をやっていない場合は受講を認めない場合もあるので注意すること。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのでも活用することもできる。								
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。								
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験 学生は「事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるため、事前に課で学ぶ文型を学習し、その文を作って授業で発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。オリエンテーションは必ず出席すること。			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077								
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	日本語研究 I B				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-010		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。 学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>								
概要	<p>中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。</p>								
評価方法	<p>授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。</p> <p>ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p>								
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、N2試験に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I 春・応用日本語 I 春・日本語研究 I 春の3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。</p>								
自己学習	<p>積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。</p>								
オフィスアワー	<p>授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。</p>								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験			講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者: 平井悦子・三輪さち子 出版社: スリーエーネットワーク ISBN: 978-4-88319-728-6								
教科書 2	『ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙』 著者: 星野恵子+辻和子 出版社: UNICOM ISBN: 978-4-89689-487-5								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	日本語研究 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井上 光恵				NO.	GE-LJ-1-010	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	この授業では、主に聴解の力を伸ばします。学生は、N2レベルの問題演習を解くことで、日本語のヒアリングの能力と聞き取れる単語を増やします。						
概要	毎回、文法の力をつけるためにプリントを解き、その学習内容が記憶できているかどうかを確認する小テストを行います。また、授業中の聴解の練習によって日本語能力試験N2レベルの語彙力・聴解力を身に着けます。						
評価方法	試験(60%)、小テストと宿題の提出など(20%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期ごとに実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語1A/応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 ⑥ 副教材は、プリントで対応する。						
自己学習	毎回、指示された箇所を授業前に解答してくる。時間的には2時間程度の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間程度の復習が必要となる。						
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間などに質問に答えます。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験		演習	井上	1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N2 聴解』 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2	著者: 出版社:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	雲津 英子				NO.	GE-LJ-1-010	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.Unit1 課題理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 3.Unit1 課題理解「確認問題」 4.Unit2 ポイント理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 5.N2対策問題(聴解) 6.N2対策問題(聴解)の解説 7.N2対策問題(聴解) 8.N2対策問題(聴解)の解説 9.Unit2 ポイント理解「確認問題」 10.Unit3 概要理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 11.Unit3 概要理解「確認問題」 12.Unit4 即時応答「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 13.Unit4 即時応答「確認問題」 14.Unit5 統合理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 15.Unit5 統合理解「確認問題」 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 聴解・筆記試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津		
教科書 1	日本語能力試験レベルアップトレーニング聴解N2 著者:坂本勝信 吉原こずえ 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2220-9						
教科書 2							
参考書 1	日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙 著者:松浦真理子 鈴木健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8						
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-010	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	このクラスは大学教育で必要不可欠な「聞いて理解すること」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また生活の場面でもひとりでも対応できる能力を身につけるよう構成する。 また第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。 他の日本語関連科目と併せて受講することで、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようにすることが目標である。						
評価方法	授業評価は、講義内試験(40%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥教科書については以前海外におりPDFで受け取った学生はプリントアウトしておくほうが望ましい。授業でプリントを配布する場合もあるので、初回からファイル、ノートは持参すること。副教材(語彙の教材)については、3人の先生と共有して進める。これについても毎回持ってくること。 ⑦理由なく欠席が続く場合や、指示した課題を提出しない場合は受講を認めない場合があるので注意してほしい。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用することができる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行う場合がある。参加型学習法を行うため、予習が必要である。 2) 毎回指定した語彙の宿題を出すので、語彙が定着できるように自らアイデアを考えて行うこと。授業でも取り上げるので積極的にアイデアを発表できるように準備して授業に臨むこと。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施する						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 第1章1 2. 第1章1, 2 3. 第1章2, 3 4. 第1章4, 5 第2章1 5. 第2章2, 3 6. 第2章4, 5 7. 第2章6, 7 8. 第3章1/中間テスト 9. 第3章2, 3 10. 第3章4, 5 11. 第3章5 12. 第4章1, 2 13. 第4章3, 4 14. 第4章5 15. まとめ 16. 試験 授業ではスクリプトを利用してより現実的な聴解練習を行う予定である。積極的に取り組んでほしい。 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	11. オリエンテーション 第1章1 2. 第1章1, 2 3. 第1章2, 3 4. 第1章4, 5 第2章1 5. 第2章2, 3 6. 第2章4, 5 7. 第2章6, 7 8. 第3章1/中間テスト 9. 第3章2, 3 10. 第3章4, 5 11. 第3章5 12. 第4章1, 2 13. 第4章3, 4 14. 第4章5 15. まとめ 16. 試験 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田		
教科書 1	日本語能力試験対策 日本総まとめN2 聴解 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2	新完全マスター語彙N2 著者:伊能 裕晃 出版社:スリーエーネットワーク						

ISBN:978-4883195749

参考書 1

著者:

参考書 2

授業科目名	文章表現入門				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	雲津 英子					NO.	GE-CH-0-001
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。</p>						
概要	<p>講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の6つ領域で構成している。学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一步一步着実に高めていくことができる。毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が、小論文指導(表記法、文章表現等の指導)の経験を活かし、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>単位認定試験(70%)、授業態度(15%)、小テスト・復習テスト(15%)による総合評価 なお、小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直ししておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のN2(2級)以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。</p>						
自己学習	<p>毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。</p>						
オフィスアワー	<p>10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 「日本語検定3級」に挑戦 2. はじめに 3. 敬語の種類と使い分け 4. 注意すべき敬語 5. 配慮を示す言葉 6. 品詞・活用の種類 7. ら抜き言葉・さ入れ言葉 8. 文のねじれと言葉の係り受け 9. 接続後・指示語と文章 10. 類義語・対義語 11. 動詞の自他・視点 12. 文体 13. コロケーション 14. 部首・音訓・熟語 15. 仮名遣い・送り仮名 16. 単位認定試験 	<p>講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験</p>	<p>雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津</p>		
教科書 1	<p>スキルアップ！ 日本語力 著者:名古屋大学日本語研究会GK7 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-80364-4</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	文学への招待			履修期	2021年度 春学期			
担当者	雲津 英子					NO.	GE-CH-0-002	
配当学科	全学共通			年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしようとする態度を身につけることを到達目標とする。							
概要	詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、図書館の利用方法など、学生の読書活動、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。							
評価方法	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験(70%)、発表・討論への参加(15%)、受講態度(15%) なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。							
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。							
自己学習	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。							
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 文学とはなにか 2. 図書館活用方法の理解 3. 図書館活用の実践 4. 日本文学史(1)-上代文学 5. 日本文学史(2)-中古文学 6. 日本文学史(3)-中世文学 7. 日本文学史(4)-近世文学 8. 日本文学史(5)-近代文学 9. 日本文学史(6)-現代文学 10. 夏目漱石・森鷗外・泉鏡花の作品(討論) 11. 芥川龍之介の作品(討論) 12. 宮沢賢治の作品(討論) 13. 小林多喜二・太宰治の作品(討論) 14. 詩・俳句・短歌(討論) 15. まとめ 16. 単位認定試験		講義 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義 講義・AL レポート試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津					
教科書 1	使用しない(必要に応じプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	日本文学概論 著者:島内裕子 出版社:財団法人 放送大学教育振興会 ISBN:978-4-595-31342-4							
参考書 2								

授業科目名	美術の見方				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	前嶋 英輝					NO.	GE-CH-0-003
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語るができる能力を身につける。美術作品の「見方」の2つの可能性を考えてみる。1つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、2つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、2つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。						
概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみる事が大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート(60点)、到達目標達成度を見る期末試験(40%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。						
履修条件・注意事項	事前に次の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べる事が重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。						
自己学習	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習2時間、復習2時間が必要である。						
オフィスアワー	2号館6階の前嶋研究室において、毎週月曜日5時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 対話型鑑賞と美術の見方 2. 世界の美術館散歩 3. 美術教育と人間形成 4. 古代オリエント 5. ギリシャ・ローマ・中世 6. ルネサンス・バロック 7. 古典主義・印象派 8. 後期印象派以降 9. インド美術とイスラム美術 10. 仏教美術の誕生とシルクロード 11. 飛鳥～平安 12. 鎌倉～室町 13. 安土桃山 14. 江戸 15. 現代の美術 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋
教科書 1	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。						
教科書 2							
参考書 1	テキスト名: 絵画をいかに味わうか 著者: 著者: ヴィクトル・I・ストイキツァ 出版社: 平凡社 ISBN: 978-4582206371						
参考書 2							

授業科目名	音楽のたのしみ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	上田 豊					NO.	GE-CH-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマは「音楽とは何か」。人類は、なぜ音楽を創り出し、そして継承してきたのか。現在、音楽は生活の様々な場面まで深く浸透している。しかし、大多数の人々は、冒頭の問いに直ちに的確に答えることはできない。本講座では、人と音楽との関係、音楽そのものについて考察し、受講者一人ひとりが冒頭の問いに回答でき、人生における音楽の意味を理解できることを目標とする。</p>							
概要	<p>音楽の素材である音について知る。音楽は音素材をどのように組み合わせられて構成されているのか、その仕組みを知る。その仕組みの把握として、よく親しまれている歌を素材に、音階、和音、リズムなど音楽の構成要素を、音楽分析を通して学ぶ。以上は、音楽そのものの把握であるが、次に音楽が我々の生活の中で、どのように用いられ機能しているかをCDやDVDの視聴を通して把握し、音楽が我々の生活をどのように潤しているかを知り、生涯にわたって音楽を愛好する心情を養う。</p>							
評価方法	<p>平素の学習態度、授業における課題、期末試験により、総合的に評価する。評価の割合は、期末試験(50%)、授業における課題(30%)、授業参加態度(20%)。 授業では、毎回次回のテーマについて予告し、そのテーマについて設問の形で課題として課す。結果は、授業で一人ひとりに返却し、簡単な解説をおこなうので、見直しておくようにすること。</p>							
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平素からテーマ「音楽とは何か」について、考察しておくこと。 ・音楽への姿勢として自分の趣向だけでなく、いろいろな音楽に耳を傾けるようにすること。 ・授業は、積み上げ方式ですすめるので、毎回の授業の課題を復習し、完全に理解しておくこと。 							
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を調査し、専門用語などについて予備知識もち、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回の授業内容の反復学習を行って、十分な理解を持つようにすること。予習及び復習は、各2時間程度を要する。</p>							
オフィスアワー	授業終了後、教室にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽とは何か 2. 音・音楽を知る 3. 音楽の構造1 音楽の三つのタイプ 4. 音楽の構造2 旋律と音階 5. 音楽の構造3 様々な音階 6. 音楽のジャンル1 概要 7. 音楽のジャンル2 芸術音楽 8. 音楽のジャンル2 民俗音楽 9. 音楽のジャンル3 ポピュラー音楽1 10. 音楽のジャンル4 ポピュラー音楽2 11. 音楽の聴き方1 ジャズを知る 12. 音楽の聴き方2 ジャズを楽しむ 13. 音楽の構造1 形式 14. 音楽の形式2 ソナタ形式 15. 音楽とは何か2 音楽の起源・機能 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田	
教科書 1	毎回授業内容に沿った資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	138億年の音楽史 著者:浦久 俊彦 出版社:講談社現代新書 ISBN:978-4-06-288381-8							
参考書 2								

授業科目名	生涯スポーツ論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	城山 訓郎					NO.	GE-CH-0-005
配当学科	経営社会・社会福祉・心理学部・アニメーション文化			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標:国民がその年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、自らの言葉で伝えられるようになる。</p>						
概要	<p>少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員(保健体育)の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。</p>						
評価方法	定期試験とレポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を50%とし、レポートの記述内容30%、授業での積極的発言など授業態度を20%とする。						
履修条件・注意事項	準備学習を徹底すること。配布資料をファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。提出したレポートは、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。また、学校現場を理解するという意欲をもって、主体的に授業に取り組むこと。						
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習しておくこと。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室において、毎週木曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01.オリエンテーション:講義の進め方 02.スポーツの意義:スポーツとは何か? 03.社会生活の変化とスポーツの視点 04.明治時代以降の学校体育 05.戦後の社会教育:高度経済成長期のスポーツ 06.スポーツマンシップ、フェアプレイ、ドーピング 07.成長、発育、発達とスポーツ 08.生涯スポーツと生きがいづくり 09.スポーツとトレーニング 10.スポーツと経済 11.スポーツの多様化と住民スポーツ 12.地域社会とコミュニケーション、スポーツボランティア 13.地域スポーツイベントと地域活性化 14.中高年齢のライフステージのスポーツ 15.まとめ 16.試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山
教科書 1	生涯スポーツの理論と実際 著者:日下 裕弘(著), 加納 弘二(著) 出版社:大修館書店 ISBN:978-4469266986						
教科書 2							
参考書 1	生涯スポーツ実践論 著者:野川春夫(著), 川西正志(著) 出版社:市村出版 ISBN:978-4902109290						
参考書 2							

授業科目名	生涯スポーツ実習				履修期	2021年度 春学期			
担当者	天岡 寛					NO.	GE-CH-0-006		
配当学科	心理・アニメーション文化・経営社会				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習		
テーマと到達目標	生涯スポーツ実習を通して、スポーツの楽しさを理解し、好きになってもらう。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することができる。近年、社会環境の変化による、外遊びの減少、運動経験不足、基礎運動能力の低下が挙げられる。自分自身の体を自由自在に動かすことができるように、全身のコーディネーションと体幹の安定化を高める事ができる。全身持久力を高める事ができるようにボールを使った球技の中で、たくさんのボールにさわって、たくさんプレーすることによって高めることができる。								
概要	球技(バスケットボール、フットサル、卓球、バドミントン)を通してルールを守り、仲間と助けあうことを体感する。気軽にできる体幹トレーニングにより、基礎筋力、全身コーディネーションを高める。ストレッチを学び、怪我予防を学ぶことができる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、健康運動指導の現場の実務経験のある者が担当する。健康運動指導の経験から、現状や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。								
評価方法	受講態度(50%)及び理解度(50%) 全力で取り組み、技術習得に努めてたか。 仲間と協力して、目的にむかってプレーしているか。 授業のマナー・ルールを守っているか。 なお、評価のために競技のルール等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 運動できる服装の準備(ジーンズ等は認めない) 水分(水、スポーツ飲料、お茶)の準備 競技に関する競技規則等について、復習及び指示された予習を行うこと。 適宜、レポートの作成・提出を行う。								
自己学習	日ごろからスポーツや健康に興味関心を持つこと。								
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション			実習	天岡					
2. 卓球			実習	天岡					
3. 卓球			実習	天岡					
4. バスケットボール			実習	天岡					
5. バスケットボール			実習	天岡					
6. フットサル			実習	天岡					
7. フットサル			実習	天岡					
8. バドミントン			実習	天岡					
9. バドミントン			実習	天岡					
10. 器具を使用したの筋力トレーニング			実習	天岡					
11. 器具を使用したの筋力トレーニング2			実習	天岡					
12. 自体重でできる筋力トレーニング			実習	天岡					
13. 自体重でできる筋力トレーニング2			実習	天岡					
14. フットサル			実習	天岡					
15. フットサル			実習	天岡					
16. 単位認定試験			試験	天岡					
教科書 1	実習科目につき教科書は使用しない								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する。								
参考書 2									

授業科目名	哲学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-001		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができるようになる。</p>								
概要	<p>古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。</p>								
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>								
履修条件・注意事項	<p>数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>								
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>								
オフィスアワー	257研究室で木曜4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 哲学という言葉の歴史と哲学の始まり			講義	山本					
2. バルメニデスとその影響			講義	山本					
3. ソクラテスとその影響			講義	山本					
4. プラトン			講義	山本					
5. アリストテレスの論理学と哲学			講義	山本					
6. アリストテレスの第一哲学＝神学			講義	山本					
7. ヘレニズム期の哲学とその後			講義	山本					
8. 西欧文明の成立			講義	山本					
9. 盛期中世の学問状況			講義	山本					
10. 14世紀の大変革			講義	山本					
11. ルネサンスと科学革命			講義	山本					
12. 科学革命と政治哲学			講義	山本					
13. 諸科学の成立と哲学			講義	山本					
14. 科学的心理学の成立と哲学の変容			講義	山本					
15. 総括			講義	山本					
16. 定期試験			筆記試験	山本					
教科書 1									
教科書 2									
参考書 1	<p>西洋哲学史<古代から中世へ> 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310075</p>								
参考書 2	<p>西洋哲学史<近代から現代へ> 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310083</p>								

授業科目名	哲学				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。</p>							
概要	<p>古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。</p>							
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>							
履修条件・注意事項	<p>数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>							
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>							
オフィスアワー	257研究室で木曜4限							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり。 エレア派とその影響 ソクラテスとその影響 プラトン アリストテレスの哲学 アリストテレスの第一哲学 ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況 西欧文明の成立 盛期中世の学問状況 14世紀の大変革 ルネサンスと科学革命 科学革命と政治哲学 19世紀における諸科学の成立と哲学 科学的心理学の成立と哲学の変容 総括 定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本	
教科書 1	配布資料							
教科書 2								
参考書 1	西洋哲学史(古代から中世) 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310075							
参考書 2								

授業科目名	宗教学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-002		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。そして現代において宗教に対し健全な態度を確立することができるようになる。これらが到達目標である。</p>								
概要	<p>後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。</p>								
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>								
履修条件・注意事項	<p>地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>								
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>								
オフィスワ-	257研究室で木曜4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 人類史と宗教:旧石器時代から新石器時代へ			講義	山本					
2. 日本の縄文時代			講義	山本					
3. 文明誕生:メソポタミア			講義	山本					
4. エジプト文明			講義	山本					
5. 古代ギリシャ世界			講義	山本					
6. ユダヤ教の成立			講義	山本					
7. ヘレニズム期の宗教			講義	山本					
8. キリスト教の成立と展開			講義	山本					
9. 初期のイスラーム			講義	山本					
10. ローマ・カトリック			講義	山本					
11. 宗教改革とその後			講義	山本					
12. 日本宗教史:古代・中世・近世			講義	山本					
13. 現代日本の宗教事情			講義	山本					
14. 現代世界の宗教事情			講義	山本					
15. 総括			講義	山本					
16. 定期試験			筆記試験	山本					
教科書 1	配布資料								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	倫理学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-003
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持って余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。</p>						
概要	<p>定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』と一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホップズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。</p>						
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>						
オフィスアワー	257研究室、木曜3限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 「好きなこと」とは？ パスカルとニーチェの退屈論 暇と退屈の原理論 定住革命について 暇と退屈の系譜学 暇と退屈の経済史 ホップズ、ルソー、マルクス 暇と退屈の疎外論 暇と退屈の哲学 環世界論 暇と退屈の人間学 ハイデッガー 暇と退屈の倫理学 スピノザ 総括 定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本
教科書 1	暇と退屈の倫理学 著者:国分功一郎 出版社:太田出版 ISBN:9.78E+12						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	心理学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	森井 康幸、橋本 翠、村上 勝典					NO.	GE-GA-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。人が生活している環境からいかに情報を取り入れ、蓄積し、利用するのか、あるいは、いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して、心理学のおもしろさに触れ、心理学の基礎的な考え方を理解することを到達目標とする。							
概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では、いくつかの領域における研究対象、方法、得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。							
評価方法	小テスト(50%)と定期テスト(50%)の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生(私語、飲食、内職等...)については、この限りではない。 小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。							
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので、集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに、3回に1回くらいの割合で小テストを行うので、特に復習には力を入れること。							
自己学習	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。(2時間) テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である(2時間)。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。							
オフィスワ-	森井:月4 橋本:月5 村上:水1 各教員研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
(1) オリエンテーション (2) 外界を探るこころの働き (3) 感覚と知覚 (4) 認知とは何か? (5) 発達-乳幼児期~青年期- (6) 発達-成人期~老年期- (7) 記憶のふしぎ (8) 本能と学習 (9)行動の源泉:欲求 (10)集団の認知 (11) 対人認知 (12) 態度変容 (13) ストレスと考え方 (14) 性格とは (15) 心理検査について (16) 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	森井 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 森井 森井 森井 村上 村上 村上 村上 村上 全教員						
教科書 1	教科書は使用しない。							
教科書 2								
参考書 1	心理学 (New Liberal Arts Selection) 著者:無藤・遠藤・玉瀬・森 出版社:有斐閣 ISBN:978-4641053694							
参考書 2								

授業科目名	多文化理解				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-GA-0-005	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	この講義のテーマは多文化共生と異文化コミュニケーションである。受講生が、文化の多様性と流動性についての基礎的な概念を的確に理解し、国内外での文化摩擦の問題に関心を深め、多文化共生の課題解決についての対応策や選択肢を提案できるようにすることを、この講義の到達目標とする。							
概要	グローバル化の進行と深化が進むなかで、旧来の国境や国民文化といった線引き・境界線は見直しと再生が繰り返されている。グローバル化は古い秩序を切り崩す運動であるだけでなく、新たな秩序と格差を造りだしている。この講義では、まずグローバル化の意味について多角的に検討し、私たち個人・家族や地域社会といった身近な生活空間と関連付ける。何が変わっているのかを確認しつつ、人・情報・モノの移動という側面から、多文化共生と異文化コミュニケーションの課題について考察を深める。							
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) 授業中の小レポート 35% (3) 単位認定試験(最終レポート)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。							
履修条件・注意事項	常に国内外の多様で多層な文化を意識し、社会問題や政治・文化的な課題についての情報に関心を向けることが重要である。多文化共生について自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。							
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。							
オフィスワ-	月曜, 11:10-12:40, 研究室(6号館6312)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			第1回	グローバル化	第2回	「文化」と異文化	講義	高橋
			第3回	異文化交流と異文化理解	第4回	文化: サブカルチャーの視点	講義	高橋
			第5回	他者とステレオタイプ	第6回	差異と差別	講義	高橋
			第7回	エスニシティと人種論	第8回	学校教育と多文化	講義	高橋
			第9回	文化統合と言語政策	第10回	多文化共生論	講義	高橋
			第11回	自己の中の異文化	第12回	文化的寛容と非寛容	講義	高橋
			第13回	文化摩擦と紛争	第14回	相対化と自己内省	講義	高橋
			第15回	多文化共生の可能性	第16回	最終試験	講義	高橋
							最終試験	高橋
教科書 1	『異文化理解入門』 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342							
教科書 2								
参考書 1	『自分たちとは違った人たちとどう向き合うか』 著者:ジグムント・バウマン 出版社:青土社 ISBN:978-3791769735							
参考書 2	『多文化であることとは』 著者:宮島 喬 出版社:岩波書店 ISBN:978-4000291217							

授業科目名	多文化理解				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-GA-0-005		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	この講義のテーマは多文化共生と異文化コミュニケーションである。受講生が、文化の多様性と流動性についての基礎的な概念を的確に理解し、国内外での文化摩擦の問題に関心を深め、多文化共生の課題解決についての対応策や選択肢を提案できるようになることを、この講義の到達目標とする。								
概要	グローバル化の進行と深化が進むなかで、旧来の国境や国民文化といった線引き・境界線は見直しと再生が繰り返されている。グローバル化は古い秩序を切り崩す運動であるだけでなく、新たな秩序と格差を造りだしている。この講義では、まずグローバル化の意味について多角的に検討し、私たち個人・家族や地域社会といった身近な生活空間と関連付ける。何が変わっているのかを確認しつつ、人・情報・モノの移動という側面から、多文化共生と異文化コミュニケーションの課題について考察を深める。								
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) 授業中の小レポート 35% (3) 単位認定試験(最終レポート)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。								
履修条件・注意事項	常に国内外の多様で多層な文化を意識し、社会問題や政治・文化的な課題についての情報に関心を向けることが重要である。多文化共生について自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。								
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。								
オフィスアワー	火曜, 13:30-15:00, 研究室(6号館6312)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	グローバル化	講義	高橋						
第2回	「文化」と異文化	講義	高橋						
第3回	異文化交流と異文化理解	講義	高橋						
第4回	文化: サブカルチャーの視点	講義	高橋						
第5回	他者とステレオタイプ	講義	高橋						
第6回	差異と差別	講義	高橋						
第7回	エスニシティと人種論	講義	高橋						
第8回	学校教育と多文化	講義	高橋						
第9回	文化統合と言語政策	講義	高橋						
第10回	多文化共生論	講義	高橋						
第11回	自己の中の異文化	講義	高橋						
第12回	文化的寛容と非寛容	講義	高橋						
第13回	文化摩擦と紛争	講義	高橋						
第14回	相対化と自己内省	講義	高橋						
第15回	多文化共生の可能性	講義	高橋						
第16回	最終試験	最終試験	高橋						
教科書 1	『異文化理解入門』 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342								
教科書 2									
参考書 1	『自分たちとは違った人たちとどう向き合うか』 著者:ジグムント・バウマン 出版社:青土社 ISBN:978-3791769735								
参考書 2	『多文化であることとは』 著者:宮島 喬 出版社:岩波書店 ISBN:978-4000291217								

授業科目名	日本国憲法				履修期	2021年度 春学期			
担当者	入江 祥子					NO.	GE-SI-0-001		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p><到達目標> 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。</p> <p><テーマ> 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。</p>								
概要	<p>法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。</p> <p>*実務経験のある教員による授業 本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。</p>								
評価方法	受講態度及び取組姿勢30%、各講義の最後実施する理解度を問う小テストの評価30%、定期試験40%の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。								
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること(特に私語、授業途中の入退室等)は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。								
自己学習	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。								
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回:なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか			講義	入江					
第2回:法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い			講義	入江					
第3回:法源とは何か、成文法、不文法			講義	入江					
第4回:憲法とは何か、実質的意味の憲法、立憲的意味の憲法			講義	入江					
第5回:憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法、成立背景、特徴			講義	入江					
第6回:国民主権の意味、その役割			講義	入江					
第7回:戦争の放棄、「戦争」の意味、「戦力」の意味			講義	入江					
第8回:人権の享有主体性、外国人の人権			講義	入江					
第9回:私人間効力の問題			講義	入江					
第10回:人権保障の限界、「公共の福祉」の意味			講義	入江					
第11回:「権力分立」の意味、権力的契機、正当性の契機			講義	入江					
第12回:国会の制度意義、その構成及び役割			講義	入江					
第13回:内閣の制度意義、その構成と役割			講義	入江					
第14回:裁判所の制度意義、その構成及び役割			講義	入江					
第15回:地方自治について			講義	入江					
第16回:試験			試験	入江					
教科書 1	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。								
教科書 2									
参考書 1	六法								
参考書 2									

授業科目名	民法			履修期	2021年度 春学期		
担当者	生駒 正文					NO.	GE-SI-0-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	民法は、皆さんが社会生活をする上でのトラブルを解決するルールを定めていますので、民法を学習することにより、社会生活に役立つ実用的な知識が身に付きます。また、公務員試験や資格試験などの多くに試験科目として採用されていますので、これらの試験を目指す人にとっては、必修の科目といえます。従って、この授業では、次のステップとしての公務員試験や資格試験の勉強に円滑に移行することも念頭に置いて、民法の基礎を理解し記憶することを目標とします。						
概要	民法の基礎を理解するために、平易な概説書を使用し、具体的な事例を折り込み、分かりやすく説明します。予習、復習に活用してください。また、復習用に教科書に準拠した問題集を作成しますので、これを活用して知識を整理してください。あわせて、随時、資格試験(試験問題が公表されている行政書士試験を使用)の問題を取り入れ実践的なトレーニングを行います。この科目は、お大阪簡易裁判所民事調停委員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	試験 70点 授業態度・意欲 30点 で評価						
履修条件・注意事項	①(予習)別途作成の上配布する補助教材を事前に一読し、授業にて学習する部分の概要を把握するとともに、わからない箇所や疑問に思う箇所などについてチェックしておくこと。 ②(復習)別途作成する問題集により、当日学習した部分について、問題を解き、正解を確認することにより、復習しておくこと。 ③遅刻、無断途中退出と私語は禁止します。 ④ポータブルな六法を携帯すること。						
自己学習	授業計画ごとに教科書を予習・復習しておくこと。						
オフィスワ-	(火)14:00~15:00(14号館6階生駒研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 民法概説 2. 人の能力 3. 制限能力者 4. 物 5. 法律行為と意思表示(意思も欠缺) 6. 法律行為と意思表示(瑕疵ある意思表示) 7. 代理 8. 無権代理 9. 無効と取り消し 10. 条件・期限・期間 11. 時効 12. 団体 13. 物権序論 14. 物権変動(不動産) 15. 物権変動(動産) 16. まとめ(定期試験)		講義	生駒正文				
教科書 1	法学講義案(第2章、第3章、第4章利用) 著者:生駒正文 出版社:ビジネス実務法研究所						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	経済学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	張 秉煥					NO.	GE-SI-0-003		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	経済学を学ぶもっとも重要なインセンティブは、日常生活で目にするさまざまな経済的現象に関する分析的思考を修得することである。具体的には市場における消費者や企業といった経済主体の経済活動の論理を理解し、市場メカニズムの機能とその失敗、国民所得、経済成長、所得機会の変容および経済政策、そして実生活とのかかわり合いについて理解を深めることができる。								
概要	前半部では、個々の消費者の行動や企業の行動に関する分析をもとに、価格メカニズムについて学ぶ。具体的には需要供給メカニズム、市場の構造と価格分析、公共財と共有資源問題などに関する基礎的知識を修得する。後半部では、一国の経済全体の動きについて解説する。具体的には、国全体の総生産や所得水準の動き、所得分布や所得機会の変容、経済安定化政策などに重点をおく。随時経済学的思考や考え方を体験することができる現実の経済問題について解説を加える。								
評価方法	成績の配点は、随時のミニクイズや復習テスト30点、定期総合筆記試験(16回目授業)70点である。合計60点以上を合格とする。すべてのテストはテキスト類の持ち込み自由で行う。ただし、電子辞書以外の持ち込みは禁ずる。その他詳細については、受験ルールは学則に則るものとする。								
履修条件・注意事項									
自己学習	授業内容に基づき、「基礎的概念」や「現実とのかかわり合い」について理解を深めること。								
オフィスワ-	授業終了後、教室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 科学としての経済学 第2回 十大原理1__Trade-off等 第3回 十大原理2__GDP等 第4回 需要供給モデルと応用 第5回 市場構造と社会的厚生 第6回 独占市場、復習テスト1 第7回 独占的市場、寡占市場 第8回 現実の価格、価格弾力性 第9回 価格規制、外部性 第10回 公共財、復習テスト2 第11回 情報の非対称性 第12回 国民所得 第13回 経済成長、景気変動 第14回 所得機会、復習テスト3 第15回 経済安定化政策 第16回 単位認定筆記試験			講義および試験(第1回目の授業で詳細のシラバスを配付する)	張					
教科書 1	独自教材(パワーポイント版講義録・ワークブック型)								
教科書 2									
参考書 1	マンキュー入門経済学 著者:N.グレゴリー マンキュー(著)、足立 英之(翻訳) 出版社: 東洋経済新報社 ISBN:978-4492313862								
参考書 2									

授業科目名	社会学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	GE-SI-0-004
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ 基礎社会学(社会学とは何か?・人口論・家族・教育・産業と老d峰) 到達目標 社会学の定義と考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業と労働の領域における現状と問題を理解させ、その解決法を考えさせる。学生たちが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。この講義で現代社会の様々な制度と問題を理解し。毎回実施する小テスト(記述式)で自分の考えを文章で記述する能力を向上させる。</p>						
概要	<p>この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解させ、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている実際の出来事について考えさせることである。具体的には人口問題と環境、現代家族の変化、教育問題、いじめ、非正規社員の増加と経済的格差、人口の高齢化と年金、医療保険の破綻などを取り上げる。それによって学生たちは問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。</p>						
評価方法	小テスト(30%)・定期試験(70%)によって評価する。小テストや小論文は採点して返却するので必ず復習すること。						
履修条件・注意事項	授業を欠席しないように。出席チェックの不正をしないように。						
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9309)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 社会学とは何か 他の社会科学との違い 社会学は何の役に立つのか 世界の人口動向 日本の人口問題: 少子高齢化 家族とは何か 変容する家族 現代家族の諸問題 教育の社会学 学力低下論争 教育と社会 教員の多忙化と燃え尽き 産業と労働 IT社会における労働 AIの進化と社会変動 定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂
教科書 1	基礎社会学 著者: 赤坂真人 出版社: ふくろう出版 ISBN: 978-4861864278						
教科書 2	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。						
参考書 1	講義中にさまざまな参考文献を聴解する。						
参考書 2							

授業科目名	人権と政治				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-SI-0-005		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	この講義のテーマは「人権」であり、到達目標は、学生が、基本的人権の歴史的な形成過程、および、日本における人権に関する今日的な課題についての的確に理解できるようになることである。								
概要	人権の歴史については、主にヨーロッパ諸国での人権の概念形成を概観する。人権が国際社会において普遍的な理念として広く政治や福祉に定着が図られてきたことも検討する。こうした基本的な知識をもとに、日本において人権に関してどのような課題があるかを論じる。								
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) レポートなどの課題提出 35% (3) 単位認定試験(最終レポートとプレゼンテーション)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。								
履修条件・注意事項	人権はさまざまな生活の局面に関連する。そのため、授業だけでなく、常に社会問題や政治・文化的な課題について国内外の情報に関心を向けることが重要である。積極的かつ自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。								
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。								
オフィスアワー	火曜, 13:30-15:00, 研究室(6号館6312)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	人権の思想史	講義	高橋						
第2回	法の下での平等	講義	高橋						
第3回	平等権の課題	講義	高橋						
第4回	自由権	講義	高橋						
第5回	幸福追求権	講義	高橋						
第6回	生存権	講義	高橋						
第7回	生存権と福祉	講義	高橋						
第8回	教育・学習権	講義	高橋						
第9回	職業選択と人権	講義	高橋						
第10回	勤労の権利	講義	高橋						
第11回	参政権	講義	高橋						
第12回	請願権: 裁判を受ける権利	講義	高橋						
第13回	子どもの権利	講義	高橋						
第14回	プライバシー権	講義	高橋						
第15回	環境権	講義	高橋						
	最終試験	最終試験	高橋						
教科書 1	『新・エッセンス憲法』 著者: 安藤 高行 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03826-5								
教科書 2									
参考書 1	『福祉に携わる人のための人権読本』 著者: 山本 克司 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03172-3								
参考書 2									

授業科目名	人権と政治			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-SI-0-005
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この講義のテーマは「人権」であり、到達目標は、学生が、基本的人権の歴史的な形成過程、および、日本における人権に関する今日的な課題についての的確に理解できるようになることである。						
概要	人権の歴史については、主にヨーロッパ諸国での人権の概念形成を概観する。人権が国際社会において普遍的な理念として広く政治や福祉に定着が図られてきたことも検討する。こうした基本的な知識をもとに、日本において人権に関してどのような課題があるかを論じる。						
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) レポートなどの課題提出 35% (3) 単位認定試験(最終レポートとプレゼンテーション)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。						
履修条件・注意事項	人権はさまざまな生活の局面に関連する。そのため、授業だけでなく、常に社会問題や政治・文化的な課題について国内外の情報に関心を向けることが重要である。積極的かつ自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。						
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。						
オフィスアワー	月曜, 11:10-12:40, 研究室(6号館6312)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回	人権の思想史	講義	高橋	
			第2回	法の下での平等	講義	高橋	
			第3回	平等権の課題	講義	高橋	
			第4回	自由権	講義	高橋	
			第5回	幸福追求権	講義	高橋	
			第6回	生存権	講義	高橋	
			第7回	生存権と福祉	講義	高橋	
			第8回	教育・学習権	講義	高橋	
			第9回	職業選択と人権	講義	高橋	
			第10回	勤労の権利	講義	高橋	
			第11回	参政権	講義	高橋	
			第12回	請願権: 裁判を受ける権利	講義	高橋	
			第13回	子どもの権利	講義	高橋	
			第14回	プライバシー権	講義	高橋	
			第15回	環境権	講義	高橋	
			第16回	最終試験	最終試験	高橋	
教科書 1	『新・エッセンス憲法』 著者: 安藤 高行 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03826-5						
教科書 2							
参考書 1	『福祉に携わる人のための人権読本』 著者: 山本 克司 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03172-3						
参考書 2							

授業科目名	社会と統計			履修期	2021年度 春学期		
担当者	佐藤 匡				NO.	GE-SI-0-006	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	自然現象や社会現象についての量的データを統計的に整理したり分析したりすることは、計画立案や意思決定によく行われていることである。つまり、社会ではデータを整理し分析する能力が求められるとも言えることができる。本講義では、その統計学の入門をテーマとして、ディプロマポリシーに従って目的達成のためにどのようなデータを集め、それをどのように整理して、分析結果をどのように読み取るかという思考・判断力身に付けるのが到達目標である。						
概要	統計学はむずかしいと感じる人も多いが、身近なことに統計学がうまく応用されて役立っていることも多い。統計学の手法を使って数値データを分析することにより、あいまいな事柄に科学的な説得力を持たせることができる。本講義では、その分析に必要な知識である、Excelを活用してのデータの入力、度数分布表、ヒストグラム、平均と分散、仮説検定、散布図と相関係数などについて学習する。講義内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 担当教員が理事を務めているNPO社会福祉団体(会員数約1,300人)では、全国の自治体に対して統計的調査を行ったりしている。この科目では、分析の指導などにその担当教員のNPOでの知識が活用されている。						
評価方法	「統計の基礎的知識の理解」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、記述統計を中心とした理解度を問う試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。						
履修条件・注意事項	第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 受講者数は、パソコン教室の定員以内とする。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。						
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。						
オフィスワ-	春学期: 岡山キャンパス131研究室木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日1時限目 秋学期: 岡山キャンパス131研究室木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日1時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回 スキル確認テスト・統計処理の概要 第2回 Excelの操作 第3回 度数分布表 第4回 ヒストグラム 第5回 データの散らばり具合 第6回 平均と分散 第7回 標準偏差 第8回 乱数とシミュレーション 第9回 検定の考え方 第10回 検定の実際 第11回 いろいろなグラフ 第12回 散布図 第13回 相関関係と因果関係 第14回 相関係数 第15回 回帰分析、まとめ 第16回 単位認定試験	講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験	佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤					
教科書 1	統計学の図鑑 著者: 涌井良幸・涌井貞美 出版社: 技術評論社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	環境科学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得する。その基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「地球温暖化」、「環境ホルモン」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得し、現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、また行動できることを到達目標とする。							
概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見の問題意識を持ちどの様に対処すべきかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	マークシート形式主体の筆記試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。							
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ることを。							
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。							
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
1. 環境と人間のかかわりあい 2. 環境における人類危機要因 3. 生態系と人間 4. 食物連鎖 5. 物質循環 6. 紫外線(作用と分類) 7. 紫外線と皮膚(臨床) 8. 紫外線と皮膚(防御) 9. オゾン層の破壊(原因) 10. オゾン層の破壊(対策) 11. 環境ホルモン(作用) 12. 環境ホルモン(分類) 13. 環境ホルモン(影響) 14. 地球温暖化(原因) 15. 地球温暖化(対策) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山						
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	環境科学入門 著者:川合 真一郎 他 出版社:化学同人 ISBN:9.78E+12							
参考書 2								

授業科目名	環境科学				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-001
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得する。その基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「地球温暖化」、「環境ホルモン」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得し、現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、また行動できることを到達目標とする。						
概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見の問題意識を持ちどの様に対処すべきかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	マークシート形式主体の筆記試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ることを。						
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。						
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 環境と人間のかかわりあい 2. 環境における人類危機要因 3. 生態系と人間 4. 食物連鎖 5. 物質循環 6. 紫外線(作用と分類) 7. 紫外線と皮膚(臨床) 8. 紫外線と皮膚(防御) 9. オゾン層の破壊(原因) 10. オゾン層の破壊(対策) 11. 環境ホルモン(作用) 12. 環境ホルモン(分類) 13. 環境ホルモン(影響) 14. 地球温暖化(原因) 15. 地球温暖化(対策) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山		
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	環境科学入門 著者:川合 真一郎 他 出版社:化学同人 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	物理学				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	萩野 正興					NO.	GE-NM-0-002	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と議論・演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ: 学生が物理を身近なものとして捉えることができる。学生が物理の考え方を身につけることができる。 到達目標: 講義だけでなく、その講義に沿った内容の演習や議論を行い、深い学びを得られる。</p>							
概要	<p>「物理は難しい」「宇宙は神秘的に満ちている」そんな偏見を持っていませんか？ この担当教員は天文学者です。天文学者は物理学者です。ここでは物理や天文の考え方を勉強しましょう。 この授業では公式の暗記や板書をノートに書き写したりせず、「主体的」、「対話的」、「深い学び」というアクティブラーニングを実践します。 すなわち、前半は最新データに基づいた物理や宇宙の講義を行い、後半はそのテーマに沿った議論や背景にある物理の簡単な演習(実験や体験)を行います。 この授業の前と後では「世界が違って見える」ように努めます。</p>							
評価方法	論述形式試験(60%)、授業態度(40%)							
履修条件・注意事項								
自己学習	理科の知識は問いません。予習は必要ありません。アクティブラーニングを実践したいので、授業への積極的な参加をお願いします。復習は各自の興味で行ってください。							
オフィスアワー								
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1 イントロダクション / 宇宙とは 2 時間と空間 / 運動学 3 暦と太陽系 4 普通とは何か? / 統計学 5 みんな群れを作っている / 力学 6 暖かい? 冷たい? / 熱力学・流体 7 モーターの話 / 電磁気学 8 エネルギーとは何か? 9 虹と夕焼け / 光学 10 いろいろな波 / 波動 11 小さな世界 / 量子力学 12 空を見上げる / 観測技術・望遠鏡 13 宇宙に果てに / 現代の宇宙観 14 我々の置かれた環境 15 物理とは / まとめ 16 論述形式の試験			講義/議論 講義/演習 講義/演習 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/議論 講義/議論 講義/議論 講義/議論 講義/議論	萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野
教科書 1								
教科書 2								
参考書 1	ぼくらは「物理」のおかげで生きている 著者: 横川淳 出版社: 実務教育出版 ISBN: 978-4-7889-1178-9							
参考書 2								

授業科目名	生物学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	香田 康年				NO.	GE-NM-0-003	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、それらについて考えること、様々な生物現象について考えることで、ヒトや様々な生物、および様々な現象について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。</p> <p>【到達目標】まず生物のシンカと一般用語の「進化」が意味がことなることを学び理解する。その際に、生物のシンカとはどのような現象なのかについて学び理解する。それを踏まえた上で、生物のシンカがどのような仕組みで起こるのかを学び理解する。</p> <p>それらを学ぶ際に、丸暗記するのではなく、様々な生物現象や人間について考える力、および物事の関係について考え、理解する力を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用し、自ら考え議論する力を養う。</p>						
概要	<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義とQ&Aのアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容、範囲などは受講生の理解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は、講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。 ○1995年以来担当者として講義を行って来た。 						
評価方法	<p>20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点(70%)とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数(30%)で評価する。</p> <p>ただし、授業態度が悪ければ(授業にまじめに取り組まない場合)10点の範囲で減点する。</p> <p>各小テストは、論述記述式である。</p> <p>講義の内容から、重要な内容について説明記述させる問題を出题する予定である。</p> <p>授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていないことが、採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。</p> <p>なお、途中の小テストは、採点結果を返却し、フィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。</p>						
履修条件・注意事項	<p>受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。</p> <p>教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。</p>						
自己学習	<p>【復習】</p> <p>授業内容は常識と異なることが多く、授業は前回までの理解を前提に進めるので、毎回必ず復習し、理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。</p> <p>またいつ小テストがあっても対応できるように、充分理解し、ノート整理しておくこと。復習には二時間程度かけて行う事を目安とする。</p> <p>【予習】</p> <p>過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、次回の授業内容について、参考書などを参考に、自分なりの現時点での理解を確認しておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。予習にも、二時間程度要することを目安とする。</p>						
オフィスアワー	講義担当者は非常勤講師なので、質問等があれば、授業後の休憩時間に行うこと。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
<ol style="list-style-type: none"> 1 生物のシンカと一般用語としての「進化」 2 生物のシンカの起こる仕組み 3 なぜたくさんの生物がいるのか？ 4 なぜ人類が存在しているのか？ 5 ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか 6 科学とはどのような学問か？ 7 生物とは？ 8 様々な生物、どんな動物がいるのか？ 9 クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか 10 “うんこ”と“おしっこ”の違いは？ 11 遺伝子と遺伝子の発現 12 人間の本性とは？ 13 本能と学習の真の関係 14 利己的行動と利他的行動 15 非血縁者間の利他行動のシンカ 16 様々な対人関係心理のシンカと神を信じる心のシンカ 17 最終試験(筆記試験) 	毎回講義とQ&A方式のアクティブラーニング	毎回香田康年					
教科書 1	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。						
教科書 2							
参考書 1	面白くて眠れなくなる生物学 著者:長谷川英祐 出版社:PHP文庫 ISBN:978-4-569-76860-1						

参考書 2

進化と人間行動

著者:長谷川寿一、長谷川真理子

出版社:東京大学出版会

ISBN:4-13-012032-8

授業科目名	生物学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	福田 富男					NO.	GE-NM-0-003
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマは生物の基礎ともいえる生態、細胞や遺伝などに加え、人の健康に深く関係する生活習慣病などの幅広い知識を習得し、生物現象を広く正確に把握できる。</p> <p>具体的な学習内容は概要の欄にしめすものとし、これらに加え一般社会人として、正しく知識を活用できる能力を養い、学習の到達目標は授業内容の完全な理解を目指す。</p>						
概要	<p>学習の内容としては、(地)地域における森や植物、河川や水生生物の学習および実習などを素材として論文作成法を習得する。更に海と沿岸生物、アマモ場の生態、魚類生態などの諸分野の幅広い生物生態学の知識を学ぶ。加えて生物学と医学、細胞・遺伝などの基礎生物学を学び、それらをもとに老いと生物学、ヒトの一生と健康な生活などの基礎医学の諸分野、また再生医療や環境問題などこれからの生物学に関する広範囲の知識を習得する。</p> <p>*実務経験のある教員による授業科目 医学博士。1969年から2003年まで岡山県水産試験場で生物生態学などを調査研究。2004年から、高校、専門学校、大学などで非常勤講師として勤める。医学他に必要な生物の知識を経験から教授する。</p>						
評価方法	<p>復習、小テスト他の課題対応、定期試験等の結果で総合的に評価する。</p> <p>定期試験(80%)、課題評価(20%)の結果で総合的に評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>基礎生物学を主体に自然科学、医学、環境、保健問題などに広く関心を持っていること。加えて、授業時間外の課題について各授業内で指示するので、必ず実行し失念しないよう留意しておくこと。また、配布資料は再発行しないので紛失しないこと。</p>						
自己学習	<p>ほぼ各週とも復習課題を課し、加えて前週の小試験を実施する。授業開始直後、それらの解答・解説を行い授業内容を確実に習得させる。また、復習課題は不定期に回収しその実施状況を把握・評価する。</p> <p>予習および復習には、各1時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物体と生物学の分野 2. 山林、植物の役目 3. 森林生態学実習 4. 水生生物と河川 5. 河川生態学実習 6. 論文作成法、海と生物の起源 7. アマモ場のはたらき 8. 細胞の発見と構造 9. 細胞の機能 10. ヒトとその遺伝子 11. 細胞分裂 12. ヒトの健康と次世代の子供 13. 生老病死,DNA,RNAの構造 14. DNAのはたらきと健康な生活 15. 今後の課題, 再生医療, 環境 16. 定期試験 		講義 講義 学外実習 講義 学外実習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記	福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男				
教科書 1	<p>病気になるらない健康生活スタイル 著者:徳田安春、岸本暢将、星 哲哉 出版社:西村書店 ISBN:978-4-89013-612-4</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	化学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秋山 純一				NO.	GE-NM-0-004	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義では化学の全般の基礎的な知識習得に重点をおき学習する。また、日用品、生活に必要な薬品化学や化粧品等に関連する界面化学分野の項目も取り上げ、将来の種々職業や生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用できることを到達目標とする。						
概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく、現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は、物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし、それらの性質、構造、反応性などを実証的に解き明かす。18世紀後半から学問として体系付けられ、幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら、現代化学へと発展してきた。今日では、複雑で有用な物質を簡単な物質(分子)から合成するなど、私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ、暮らしを豊かに、快適にしてくれている。一方、分子という考えの導入により、生命現象を化学的に解釈できるようになり、また生命現象を遺伝子のレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では、地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は化粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。						
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。						
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 原子・分子の構造 2. 化学結合 3. 同位体と放射能 4. 周期律表 5. 化学反応、結合 6. 酸化と還元(反応物質) 7. 酸化と還元(燃料電池他) 8. 物質の分類(金属、非金属) 9. 水の化学(特性、硬度、pH) 10. 有機化合物の構造分類 11. 有機化合物の置換基分類 12. 有機合成の反応分類 13. 高分子化合物(天然) 14. 高分子化合物(合成) 15. 界面の化学(洗剤、乳化) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山					
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリント配布する)						
教科書 2							
参考書 1	教養の現代化学 著者:多賀 光彦/共著 他 出版社:三共出版 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	化学				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-004
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義では化学の全般の基礎的な知識習得に重点をおき学習する。また、日用品、生活に必要な薬品化学や化粧品等に関連する界面化学分野の項目も取り上げ、将来の種々職業や生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用できることを到達目標とする。						
概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく、現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は、物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし、それらの性質、構造、反応性などを実証的に解き明かす。18世紀後半から学問として体系付けられ、幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら、現代化学へと発展してきた。今日では、複雑で有用な物質を簡単な物質(分子)から合成するなど、私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ、暮らしを豊かに、快適にしてくれている。一方、分子という考えの導入により、生命現象を化学的に解釈できるようになり、また生命現象を遺伝子のレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では、地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は化粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。						
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。						
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 原子・分子の構造 2. 化学結合 3. 同位体と放射能 4. 周期律表 5. 化学反応、結合 6. 酸化と還元(反応物質) 7. 酸化と還元(燃料電池他) 8. 物質の分類(金属、非金属) 9. 水の化学(特性、硬度、pH) 10. 有機化合物の構造分類 11. 有機化合物の置換基分類 12. 有機合成の反応分類 13. 高分子化合物(天然) 14. 高分子化合物(合成) 15. 界面の化学(洗剤、乳化) 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリント配布する)						
教科書 2							
参考書 1	教養の現代化学 著者:多賀 光彦/共著 他 出版社:三共出版 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	人類生態学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	末吉 秀二					NO.	GE-NM-3-005
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。						
概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレイクダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。						
評価方法	到達目標を計るため、試験(80%)、小テスト(10%)、受講態度(10%)で総合的に評価する。なお、評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。						
自己学習	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること(予習)、不明な点が理解できたかを確認すること(復習)。						
オフィスワ-	月曜日・金曜日(3限、5限)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1 オリエンテーション 2 生態系と人類の特性 3 人類の起源と進化 4 生存様式の変化と多様性 5 生業と社会 6 身体とその機能 7 行動の生態学 8 栄養と健康 9 病気の生態学 10 長期的な人口変化 11 人口指標と集団の適応 12 現代の人口問題 13 エネルギーと資源 14 ライフスタイルと環境			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉
教科書 1	人類生態学 著者:大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか 出版社:東京大学出版会 ISBN:4-13-052300-7						
教科書 2							
参考書 1	生態人類学を学ぶ人のために 著者:秋道智彌・市川光雄・大塚柳太郎編 出版社:世界思想社 ISBN:4-7907-0561-7						
参考書 2							

授業科目名	統計学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-NM-0-006
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	テーマは「数学としての統計学の理解と、推測統計学の実践」である。学生は、度数分布や確率分布の基礎概念を練習問題を解きながら習得する。その上で、母平均や母分散の区間推定や、仮説検定(母平均・母分散、適合度・独立性、母相関係数)の技法に習熟する。これによって学生は関係する分野の現実の問題でそれらの技法を使いこなすことができるようになる。						
概要	集団の代表値・散布度や二つの集団の相関などの度数分布論の基礎概念、二項分布・正規分布や χ^2 乗分布やt分布などの確率分布論の基礎概念を、問題演習を通じて習得する。しかるのち、母平均や母分散の区間推定や母平均・母分散や適合度・独立性や母相関係数に関わる仮説検定の問題を解き、さまざまな分野における応用への道を開く。						
評価方法	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。						
履修条件・注意事項	順列・組合せ、確率、数列、微分積分の初歩など、ある程度の数学的知識は履修に際して必要条件である。						
自己学習	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書と板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。						
オフィスアワー	257研究室で木曜4限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 度数分布 2. 代表値・散布度 3. 平均・分散の計算 4. 相関係数 5. 確率変数 6. 2次元確立分布 7. 二項分布 8. 正規分布 9. X^2 乗分布とt分布 10. 標本分布 11. 区間推定 12. 仮説検定 13. 母平均・母分散の検定 14. 適合度・独立性の検定 15. 総括 16. 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本					
教科書 1	新統計入門 著者:小寺平治 出版社:裳華房 ISBN:4-7853-1099-5						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	数学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山本 敦之					NO.	GE-NM-0-007		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	医療系をはじめとする、広範囲の専門分野で将来必要となる数学的知識、つまり「1変数や2変数の微積分」がテーマである。限られた時間の中で基礎的なものに限定してその学習をおこなう。学生は1変数と2変数の微積分の基礎的問題を解くことができるようになる。								
概要	まず1変数関数では、さまざまな初等的関数(整関数、三角関数、指数関数)の性質について学び、これらの関数やその逆関数の微分や積分を行なう。また級数展開について学ぶ。2変数関数では全微分という概念を理解し、さまざまな関数の微分や積分を行なう。また2変数関数の極値問題や重積分の問題を解く。こうして1変数と2変数の微積分の基礎的問題を解く能力を身につける。								
評価方法	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。								
履修条件・注意事項	数学I,A,II, Bを履修していること。それと毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。								
自己学習	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。								
オフィスワ-	257研究室で木曜4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 簡単な1変数関数と2次曲線 2. 三角関数と逆三角関数 3. 指数関数と対数関数 4. 1変数関数の微分 5. 初等関数の導関数、n次導関数 6. 平均値の定理とTaylor級数 7. 1変数関数の不定積分 8. 1変数関数の定積分 9. 2変数関数の微分 10. 2変数関数の極値 11. 2変数関数の累次積分 12. 重積分 13. 変数変換 14. 変数変換と積分 15. 総括 16. 定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本					
教科書 1	微分と積分 著者:三宅敏恒 出版社:培風館 ISBN:978-4-563-00352-4								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	社会スポーツ概論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-4-105
配当学科	スポーツ社会			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生が、「社会スポーツの概念」及び「社会制度としての社会スポーツの実態」をテーマとし、それらについて地域のスポーツ指導者になるために必要な知識を習得するとともに、指導者としての能力をスポーツ指導現場において発揮できる。						
概要	(地) 現在スポーツは、特に先進諸国においては人々の社会生活の一部となり、きわめて高度に整備され機能している。しかしながら、学校体育や企業スポーツを中心にスポーツが普及・発展してきたわが国の社会スポーツは、1993年日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)開幕以降、文部科学省や日本体育協会、スポーツ競技団体を中心にようやく発展しつつある現状である。また、バブル経済の崩壊、リーマンショック以降、企業クラブが休・廃部が増加する一方、地域・市民を中心とした総合型地域スポーツクラブも増加傾向にある。本講義では、スポーツと社会に関わる様々なしくみや課題及び今後の展望を解説する。この科目は、日本女子サッカーリーグ所属クラブ監督・運営責任者の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、スポーツマネジメント現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。						
評価方法	単位認定試験(40%) 中間レポート(30%) 毎回授業終了後のプレゼンテーション(20%) 受講姿勢(10%) 評価の詳細については、第1回目の授業において説明する。なお、評価のために実施した小レポートは、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	授業終了後の小レポート内容とともに自分なりの考察を毎回授業後、ノートにまとめておくこと。授業に対する取り組みについては、厳しく指導する。						
自己学習	授業終了後、毎回2時間程度授業内容を必ず復習し、次回のテーマについて予習すること。						
オフィスワ-	個人研究室(9405)にて、火曜日4限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会スポーツの概念 2. 学校体育との相違点 3. 日本における社会スポーツ発展の歴史 4. アメリカにおける社会スポーツ発展の歴史 5. ヨーロッパにおける社会スポーツ発展の歴史 6. 日本における社会スポーツの現状 7. 社会スポーツ発展のための行政支援 8. 社会スポーツ発展のための企業支援 9. FC吉備国際大学シャルムの実践を通じた地域貢献活動 10. 地域スポーツクラブ活動の現状と課題 11. 社会スポーツ発展のための地域住民とのタイアップ 12. 商業スポーツクラブの現状と課題 13. プロスポーツの社会スポーツへの貢献と課題 14. スポーツを通じたまちづくり(トップリーグクラブ) 15. スポーツを通じたまちづくり(地域スポーツクラブ) 16. 単位認定試験 	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤		
教科書 1	スポーツのリスクマネジメント 著者:小笠原正・諏訪伸夫 編著 出版社:ぎょうせい ISBN:978-4-08838-8						
教科書 2	スポーツ政策の現代的課題 著者:諏訪伸夫・井上洋一・齋藤健司・出雲輝彦 編 出版社:日本評論社 ISBN:978-4-535-59514-0						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	経絡鍼灸学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	孫 基然					NO.	SS-SM-2-324
配当学科	スポーツ社会			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義では東洋医学における重要な「経絡鍼灸学」をテーマとして、それについて福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする。						
概要	「経絡学説」は東洋医学における最も重要な生理学の一環であると同時に、臨床各科治療の基礎でもある。本講義ではまず経絡の起源に関わる背景を紹介し、その後「十二正経」を講義する。その中で主に経絡の循行部位、生理機能、病理特徴および分布特徴、相関部位及び代表経穴の取り方を中心として行われる。更に現代医学を併せてそれに関わっている筋肉、神経及び血管などを中心としている。「鍼灸学」について主に鍼の刺し方、灸療法のすえ方、適応症、注意事項及び鍼灸治療のメカニズム、また、中国の鍼灸状況を解説する。						
評価方法	テーマ「経絡鍼灸学福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能ないようにテキストの指定されたページを熟読してくる。また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業終了後にノートを纏めておくこと。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 肺経・大腸経について 第2回 胃経・脾経について 第3回 心経・小腸経について 第4回 腎経・膀胱経について 第5回 心包経・三焦経について 第6回 肝経について 第7回 胆経について 第8回 鍼灸概説について 第9回 片手挿管について 第10回 鍼に関する一般知識 第11回 鍼治療の適応症 第12回 刺鍼手技法について 第13回 灸療法概説について 第14回 灸療法の実際について 第15回 鍼灸理論について 第16回 定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然				
教科書 1	身近な東洋医学 著者:王専 出版社:ふくろう出版 ISBN:978-4-86186-305-9						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	公衆衛生学 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-NU-1-116
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	公衆衛生活動の目的は、その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。この科目で学生は、上記の公衆衛生の基本的考え方が身につくことが目標である。 保健師助産師看護師法第1条には、「この法律は、保健師、助産師及び看護師の資質を向上し、もって医療及び公衆衛生の普及向上を図ることを目的とする。」とあり、公衆衛生学は看護師における必須分野であることから国家試験にも必出分野である。						
概要	公衆衛生活動では、疾病予防、寿命延長及び精神的・身体的・社会的な健康の保持増進など、その目的のための様々な社会制度や技術があり、それらを公衆衛生学Ⅱとともに学ぶ。この科目では、公衆衛生の総論的なもの、基礎的考え方を主要なトピックスを中心として学習し、資料を用いて講義を行う。教科書は、公衆衛生の体系や詳細の整理のために用いる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要なとされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。						
評価方法	期末の定期試験(50%)と授業への取り組み姿勢、提出物の内容(50%)で評価する。授業時にアンケートを行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。						
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための演習も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。						
自己学習	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、教科書は簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を他の資料などで補う必要がある。						
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 公衆衛生とは、社会と健康 2. ライフスタイルと健康 3. 行動経済学 4. 公衆衛生を担う機関 5. ソーシャルキャピタル 6. 環境と健康 7. 医療制度 8. レポート発表	講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 演習	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬					
教科書 1	公衆衛生—健康支援と社会保障制度(2)14版 著者:神馬 征峰ら 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-03574-3						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護学概論			履修期	2021年度 春学期			
担当者	掛谷 益子、澤田 和子					NO.	HS-NU-1-201	
配当学科	看護			年次	1			
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習	
テーマと到達目標	<p>〈テーマ〉 看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。</p> <p>〈到達目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解する。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解する。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる。 							
概要	看護を志す初学者として、看護の核となる概念である人間や健康の基本的捉えかたについて理解する。この科目は、臨床での看護師の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、看護職者として必要とされる知識や能力について実践的に役立つ授業を実施する							
評価方法	筆記試験70% 課題レポート30%							
履修条件・注意事項	看護とは何かを考えられるように主体的に学習に取り組む。 日頃から保健・医療や福祉に関する新聞記事やニュース報道に関心を持ち、視野を広げておく。							
自己学習	予習:授業において問題提起と討論が可能なように教科書の該当ページを熟読する。(90分) 復習:毎回の授業終了後に、授業内容を再確認する。(90分)							
オフィスワ-	水曜日2時限目:6号館4階 6402・6438 研究室							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護とは 看護の概念 2. 看護の役割と機能 3. 看護の対象の理解 人間のこころ・からだ・発達 4. 看護の対象の理解 地域での暮らし 5. 健康とは 6. ライフサイクルと健康・生活 7. 看護の歴史 8. 看護職のキャリア 9. 看護における倫理 現代社会と職業倫理 10. 看護における倫理 看護実践における倫理的問題 11. 看護サービスの提供 12. 看護をめぐる制度と政策 13. 国際化と看護 14. 災害時における看護 15. 私の看護観 16. 試験 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 試験 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 掛谷 2. 掛谷 3. 澤田 4. 澤田 5. 澤田 6. 澤田 7. 掛谷 8. 掛谷 9. 掛谷 10. 掛谷 11. 掛谷 12. 掛谷 13. 澤田 14. 澤田 15. 掛谷・澤田 16. 掛谷・澤田 					
教科書 1	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学① 著者:茂野香おる 他 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-02181-4							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	運動学 I			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井上 茂樹					NO.	HS-PT-1-202
配当学科	理学療法			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>ヒトの身体運動に関する基本的な知識を学修する。主に、上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して学修する。</p> <p>学生は、1) 身体運動に関する基礎的な知識を理解する、2) 運動器の構造と機能を理解する、3) 上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して理解を深め、基本事項を記憶できることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>運動学は理学療法士の最も基本的な学問であり、また臨床の理学療法士が治療場面で応用する学問である。授業ではその中で主に、上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して学修する。参加型学習における授業であるが、運動学の基本事項についてより理解度を深めるために課題を与え、グループ討論も取り入れた授業を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>参加型学習における授業への積極的な参加態度(30%)、知識修得程度を確認するための試験(60%)、自ら調べまとめる能力を確認するための授業ノート(10%)で評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加度を重視する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習すること。 3) 初回の授業では、今後の授業にて学修する全体像を説明するため必ず出席すること。 4) 隔週で行う小テストや定期試験は必ず行うため、授業に出席していただけでは単位は取れない。</p>						
自己学習	<p>事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。指示に従って必ずノートを作成し復習すること。試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位はとれないため、必ず予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室(6437)において、毎週火曜日2時限目(11:10～12:40)をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ul style="list-style-type: none"> 1. 上肢帯の運動と構造 2. 上肢の運動と構造 肩関節(1) 3. 上肢の運動と構造 肘関節(2) 4. 上肢の運動と構造 手関節(3) 5. 上肢の運動と構造 手指(4) 6. 運動と動作の分析(1) 7. 運動と動作の分析(2) 8. 体力と運動処方(1) 9. 体力と運動処方(2) 10. 姿勢(1) 11. 姿勢(2) 12. 姿勢(3) 13. 歩行と走行(1) 14. 歩行と走行(2) 15. 歩行と走行(3) 16. 単位認定試験 	<ul style="list-style-type: none"> AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL 筆記試験 	<ul style="list-style-type: none"> 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 井上茂樹 		
教科書 1	<p>基礎運動学 第6版 補訂 著者: 中村隆一、齋藤 宏、長崎 浩 出版社: 医歯薬出版 ISBN: 978-4-263-21153-3</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	作業療法概論				履修期	2021年度 春学期	
担当者	京極 真、岩田 美幸、三宅 優紀、狩長 弘親、山本 倫子、寺岡 睦					NO.	HS-OT-1-203
配当学科	作業療法				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】 学生は、将来、作業療法士として従事することを目指し、保健・医療・福祉、あるいは新しく開拓される領域での作業療法の役割を多様な観点で捉えることができる。</p> <p>【到達目標】 学生は、作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。</p>						
概要	<p>作業的存在としての人と作業療法の役割を理解するために、作業のイメージを明確にし、各領域における作業療法の実践過程を理解する。また、作業療法の歴史的背景と実践理論の概要を学び、根拠に基づく実践の重要性と今後の作業療法への展望について検討する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目では、作業療法士としての実務経験をもつ教員や外部講師がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	授業への参加度(50%)、単位認定レポート試験(50%)の結果で総合評価する。 なお、単位認定レポート試験は採点結果を返却し、模範解答を掲示する。						
履修条件・注意事項	グループワークや発表時に欠席した場合は成績評価に大きく影響するため、必ず担当教員に連絡すること。 日常生活の中で人(自分自身も含む)と作業の関係について洞察を深めること。						
自己学習	毎回の授業を確実に理解できるように教員が指定する内容を必ず1時間以上予習し、主体的に参加すること。また、授業後は重要な事項を必ず1時間以上復習しておくこと。						
オフィスアワー	月曜4限(15:10～16:40)、6428研究室 ※他教員のオフィスアワーは別途確認						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション, 作業とは何か 2. 作業療法の対象, Enabling occupation 3. 身体障害領域の作業療法 4. 精神障害領域の作業療法 5. 高齢者・認知症の作業療法 6. 作業療法の歴史(起源) 医学・作業療法用語の解説 7. 作業療法の歴史(パラダイムシフト) 8. 作業療法の実践理論(人間作業モデル) 医学・作業療法用語の確認テスト 9. 作業療法の実践理論(CMOP-E・OTIPM他) 10. 高次脳機能障害領域の作業療法 11. 予防領域の作業療法 12. 発達障害領域の作業療法 13. 作業療法における研究の重要性 14. 生活行為向上マネジメント 15. 作業療法を取り巻く状況, まとめ 16. 試験	講義 AL AL AL 講義 講義 講義・筆記試験 講義	京極 岩田 寺岡 山本 岩田 京極 寺岡 寺岡 寺岡					
教科書 1	作業療法学概論 第3版(標準作業療法学専門分野) 著者:二木淑子・能登真一 出版社:医学書院 ISBN:978-4260025355						
教科書 2	「作業」って何だろうー作業科学入門 第2版 著者:吉川ひろみ 出版社:医歯薬出版 ISBN:978-4263216675						
参考書 1	基礎作業学 第3版(標準作業療法学専門分野) 著者:濱口豊大 出版社:医学書院 ISBN:978-4260030557						
参考書 2	作業療法士になろう! 著者:齋藤さわ子 出版社:青弓社 ISBN:978-4787210531						

授業科目名	人間と作業				履修期	2021年度 春学期	
担当者	寺岡 睦					NO.	HS-OT-1-204
配当学科	作業療法			年次	1		
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義、AL
テーマと到達目標	<p>テーマ:学生は、作業療法士が主とする「作業」が健康と幸福に与える影響を理解できる 到達目標:学生は、講義とアクティブラーニングを通して、作業が人間の健康と幸福に与える影響を理解できる</p>						
概要	<p>作業とは、人間が経験すること全てである。 作業療法士になるためにはこの作業を理解し、作業療法という方法を使ってクライアントへ介入を行う必要がある。 そのためには作業がもつ力を理解し、健康と幸福に近づく作業の使い方を教えたり、やり方を変更したり、自身で運用できるようになることが求められる。 作業は経験である以上、どのような経験を積むかによって将来の健康と幸福が変化する。 質の悪い経験＝作業機能障害を積み重ねると人の健康と幸福は阻害される。 しかし質の良い経験＝作業機能状態を積み重ねると人の健康と幸福は促進される。 この科目では、健康と幸福に特に良い影響を与える作業を学生に紹介し、実際に体験する時間を設けることでその影響や効果を理解し、解釈出来るように構成している。 この科目は、作業科学を研究し、臨床現場で実践していた者が講義を行う。人間が行う作業が健康と幸福に関連する基礎知識に加え、臨床現場での活用方法なども講義し学生の理解を深める。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、作業に根ざした実践の研究及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	試験60%、提出物20%、授業への態度20%で評価する。なお、提出物へのフィードバックは授業内で行う。						
履修条件・注意事項	授業の復習をきちんと行うこと 講義内で出た課題には取り組むこと						
自己学習	<p>予習はシラバスについて記載されているテーマについて教科書を読み、事前にインターネットなどを活用し調べておくこと。 予習の時間は1時間程度とする。 講義終了時に、作業を習得して効果を体験してもらうために課題を毎回出すので必ず行うこと。 課題は30分～1時間程度で行える内容で提供する。課題は次回の講義前までに提出すること。</p>						
オフィスアワー	授業終了後、教室で行う。それ以外は月曜か金曜に6430研究室で対応する						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 作業と健康と幸福の関係性 3. 意志力と作業、演習、宿題 4. 疲労と作業、演習、宿題 5. 感謝と作業、演習、宿題 6. フローと作業、演習、宿題 7. 人間関係と作業、演習、宿題 8. 挫折と作業、演習、宿題 9. ストレス軽減と作業、演習、宿題 10. 強みと作業、演習、宿題 11. レジリエンスと作業、演習、宿題 12. 自己肯定感と作業、演習、宿題 13. 講義と発表 14. 人間と作業まとめ 15. 単位認定試験		講義 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 筆記試験	寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡				
教科書 1	「作業」って何だろう 作業科学入門 第2版 著者:吉川ひろみ 出版社:医歯薬出版 ISBN:4263216679						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	発達心理学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	宇都宮 真輝					NO.	PS-PS-1-307		
配当学科	心理				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。								
概要	様々な視点から人間の発達過程について学習する。具体的には、胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期のそれぞれにおける発達の様相や発達課題について学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、その問題に対する心理的援助についても考察を深める。								
評価方法	評価は、受講態度(10%)、小テスト・レポート(30%)、期末試験(60%)とし、総合的に評価する。小テストとレポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。								
履修条件・注意事項	出席は必須であるので欠席をしないこと。積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。								
自己学習	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で習い、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、90分程度を要する。								
オフィスワ-	研究室にて、火曜日4時限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.ライフサイクルについて 3.胎児期 4.新生児期 5.乳児期-愛着の形成- 6.乳児期-言葉の発達- 7.幼児期-表象の獲得- 8.幼児期-社会性の発達- 9.児童期-有能感と劣等感- 10.児童期-学校への適応・いじめ- 11.青年期前期 12.青年期後期 13.青年期の病理 14.成人期 15.まとめ 16.期末試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮					
教科書 1	よくわかる発達心理学 著者:無藤隆・岡本祐子・大坪治彦(編) 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-05379-7								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	保育の心理学 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	森井 康幸					NO.	PS-CE-2-213	
配当学科	子ども発達教育				年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>発達とは人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。</p> <p>到達目標: 子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようにする。</p>							
概要	<p>保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。</p>							
評価方法	<p>ほぼ毎回(計10回ほど)の講義内で行う小テスト・ミニ・レポートの得点(30%)と定期試験の得点(70%)に、受講態度の評価点(0~1)を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が0.5の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点后、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<p>上述のように、ほぼ毎時間、小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。</p> <p>保育士の資格取得には必須科目である。</p>							
自己学習	<p>予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。(2時間)</p> <p>復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。(2時間)</p> <p>返却された小テストも確認しておくこと。</p>							
オフィスワ-	月曜4限 教員研究室							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 発達を考える(1章) 3. 人・モノとの出会い(2章) 4. コミュニケーション・愛着(2章) 5. 遊び・好奇心・知識(3章) 6. 他者との関わり(3章) 7. 学校での学び(第4章) 8. 学びのつまずき(4章) 9. 学校のでの人間関係(5章) 10. 人間関係のつまずき(5章) 11. 青年期の発達課題(6章) 12. 職業と自己理解(6章) 13. 親としての発達(7章) 14. 発達理論と発達支援(8章) 15. まとめ 16. 試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井				
教科書 1	保育の心理学 I 著者: 無藤 隆・藤崎真知代 出版社: 北大路書房 ISBN: 978-4-7628-2738-9							
教科書 2								
参考書 1	エピソードで学ぶ 乳幼児の発達心理学 著者: 岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる 出版社: 新曜社 ISBN: 978-4-7885-0907-8							
参考書 2								

授業科目名	対人関係論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-219
配当学科	子ども発達教育			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。						
概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体(個人)に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。						
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に提示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより提示するので受講の前にはあらかじめよく目を通し(予習)、授業後は内容を確認し整理し(復習)、以後の学習に活用してほしい。						
自己学習	1) 事前にファイル提示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。						
オフィスワ-	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 心理学と社会心理学 2. 社会心理学の対象と研究方法について 3. 社会的認知について 4. 社会的相互作用について 5. 社会的欲求と適応行動について 6. 人間関係とストレス 7. 人間関係とフラストレーション 8. 人間関係と認知 9. 印象形成について 10. 人間関係と感情 11. 社会的態度と行動について 12. 社会的態度(1)ステレオタイプ 13. 社会的態度(2)偏見 14. 態度変容について 15. 学修のまとめ 16. 期末試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田				
教科書 1	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより提示する。						
教科書 2							
参考書 1	ワークショップ人間関係の心理学 著者:藤本忠明他編著 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:4-88848-833-9						
参考書 2							

授業科目名	デジタルメディアと社会				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	大谷 卓史					NO.	AN-AN-1-108
配当学科	アニメーション文化			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることが出来る。</p> <p>本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為・コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。</p> <p>到達目標は、学生が次の3つのことができるようになることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 2. 倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 3. デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 <p>ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。</p>						
概要	<p>現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方や枠組みを活用する。</p> <p>映像作品やドキュメンタリーを手掛かりとして、現代における情報技術とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。視聴や紹介を予定する映像作品は授業計画を参照のこと。</p> <p>授業では映像作品のストーリーやそこで描かれた哲学的・倫理学的問題を紹介し、学生との議論を中心に進める。映像作品に関しては、事前に見ておくことが望ましい。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。</p> <p>毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえで意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。</p>						
評価方法	<p>講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する(受講態度)。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。また、授業課題に関しては、次回授業でコメントシート(シャトルカード)や、授業内での言及・コメントなどによって(原則課題回答者名は匿名)、フィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。</p> <p>講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。</p> <p>授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。</p> <p>予習:レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。</p> <p>復習:授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。</p>						
オフィスワ-	<p>春学期 14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。</p> <p>秋学期 14号館6階14617号研究室にて毎週木曜日3時限目。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 なぜ情報倫理が必要なのか 3 倫理とは何だろうか(1) 倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉 4 倫理とは何だろうか(2) 倫理学の基本的な立場 5 グーグル革命(ビデオ教材) 6 サーチエンジンの倫理:スコア化する社会/ブラックボックス化する社会 7 ソーシャルネットワーキングサービス 8 フェイクニュースと情報の信頼 9 プライバシーの基礎 10 個人情報保護制度とその思想 11 監視と見守り 12 著作権の法・技術・ビジネス 13 ICTビジネスと社会(「アップル復活」を見る) 14 バーチャルリアリティー 15 まとめ 16 試験 	<p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 筆記試験</p>	<p>大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷</p>		
教科書 1	レジュメ等資料を配布する。						
教科書 2							
参考書 1	<p>改訂新版 情報倫理入門 著者:土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著 出版社:アイケイコーポレーション ISBN:4874923240</p>						
参考書 2	<p>AIの倫理学 著者:クーケルバーク著、直江清隆訳者代表 出版社:丸善出版</p>						

授業科目名	経営学総論				履修期	2021年度 春学期			
担当者	姜 明求					NO.	SS-BU-1-101		
配当学科	経営社会				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	「経営学の全体像の理解」がテーマである。到達目標は、この講義を通じて経営学の基礎知識、企業に関する基礎知識を習得し、それを活用して経営学の用語の説明、応用ができるようにすることが目標である。また、経営学の全体像を理解することを目標とする。さらに、次のような能力が養成されることを目標にする。教科書と資料を読み、調べることによって、読む力、調べられる力が養われる。企業経営の仕組みを調べて、それを整理し、まとめる力を涵養する。さらに、講義の内容について質問をし、それに答える訓練を通じて考える力とコミュニケーション能力が養われる。								
概要	講義概要と目的は次のとおりである。経営学は社会科学の1分野であり、我々が生きていく上で関わりが深い重要な学問である。本講義では、経営学に関する基礎的な概念と理論を中心にとりあげ、わかりやすく解説し、それを理解することを狙いとする。講義内容は、株式会社の仕組み、日本の雇用制度、競争戦略のマネジメント、組織構造のマネジメントなどである。また、講義は教科書を中心に進行し、必要に応じて参考資料を配布する。皆様はこの講義を通して経営学の基礎的な知識を学び、それを活用することができる。ビデオ教材も活用する。								
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。								
履修条件・注意事項	教科書購入。積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。教科書あるいは配布した資料を事前によく読むこと。また、毎回復習をして、自分のものにしておくこと。								
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。								
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.企業経営の全体像 3.経営学の全体像 4.株式会社の仕組み 5.日本の雇用制度の仕組み 6.ケースの研究 7.競争戦略のマネジメント 8.多角化戦略 9.組織構造のマネジメント 10.組織構造のマネジメント 11.ケースの研究 12.キャリアデザイン 13..情報システムと事業の仕組み 14.経営学の広がり 15.全体のまとめ 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜					
教科書 1	1からの経営学(第2版) 著者:加護野忠男・吉村典久 編著 出版社:中央経済社								
教科書 2									
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。								
参考書 2									

授業科目名	政治学				履修期	2021年度 春学期				
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-1-104			
配当学科	経営社会				年次	1				
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義			
テーマと到達目標	<p>大学で政治の諸問題を学ぶ意義は、それを単なる評論ではなく、専門的な概念を用いた理論的観点を通じて学ぶことになる。しかし、政治に対する考え方は極めて多意であり、それらを説明する概念や接近の仕組みも学者によって異なる。そのために受講生は、様々な政治関連の問題について、自らの立場で自分の見解や判断力を持つことを期待する。この講義を受講すれば、大衆民主主義における政治的な出来事の意味、すなわちその背景と要因、そして、こうした相互関連性について知ることができる。それは、現代社会の一市民としての教養と姿勢が習得できるものとなる。</p>									
概要	<p>この講義では、様々な政治現象を分析し説明する。なお、複雑な政治現象の仕組みを理解するためには、政治学の基礎的な概念と考え方、そして理論についての説明は不可避である。講義の主な内容は、政治学の基礎知識を習得しながら、「先進民主主義国・日本の政治と社会」について、様々なトピックを取り上げて説明する。そのため、受講生は、日常の政治社会学的な出来事とその経済的関連について関心を持つことが大切である。</p>									
評価方法	<p>定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。</p>									
履修条件・注意事項	<p>(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。</p>									
自己学習	<p>(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。(2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。</p>									
オフィスワ-	毎週水曜日4時限目(9304研究室)									
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者					
1.オリエンテーション 2.政治とは何か 3.現代社会と政治 4.政治の地位と役割 5.国家論 6.政治学の行動科学主義的方法 7.政治学の歴史的接近方法 8.政治と権力 9.支配の正統性 10.権力の分立 11.政治的リーダーシップの意義 12.政治的リーダーと大衆 13.現代社会と政治的指導力 14.政治地理学と文化 15.政治参加 16.定義試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李								
教科書 1	プリント使用									
教科書 2										
参考書 1										
参考書 2										

授業科目名	異文化理解(英会話Ⅰ)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	ジョン・フォーセット					NO.	SS-BU-1-116
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	To work together to learn words that help us tell people about Japan, its culture, and its people and learn about other cultures. To go beyond 'delicious' and 'beautiful' and 'hot'. Above all to develop our ability to listen to and understand opinions expressed about Japan and other cultures.						
概要	We will research different things about Japan and other countries. Listen to people speaking about the country and evaluate their opinions. We will learn words to talk about and respond to them. Also we will learn how to give people our original opinion.						
評価方法	Class 60%: participation 20%, effort 20%, product 20% Exam 40%						
履修条件・注意事項	There will be regular vocabulary and listening quizzes so be careful to practice daily. Sometimes there will be presentations again outside practice is necessary.						
自己学習	Decide what you want to say and practice saying it. Exact vocabulary is vital; make your own study sets and system. Check with the teacher if your selection is good or not.						
オフィスアワー	1700-1800 except Fridays						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1 Weather 2 Land 4 Wildlife 5 Jungle? 6 Fruits and flowers 7 People 8 Houses 9 Work 10 City life 11 Country life 12 Anime and cartoons 13 Religion 14 Food 15 In the world			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット
教科書 1	We will research and create our own materials.						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	異文化理解(英会話Ⅱ)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	ジョン・フォーセット				NO.	SS-BU-1-117	
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	To learn about different cultures and ways of life especially the links between cultures.						
概要	In the first half of the class we will revise and practice useful vocabulary. In the second we will read about and discuss aspects of life and ideas characteristic of other societies.						
評価方法	定期試験の成績(40%)、予習・レポート・プレゼン・授業姿勢(60%)						
履修条件・注意事項	積極参加を重視します。						
自己学習	語彙練習をしっかりと取り込むこと。						
オフィスアワー	1700~1800~ generally evenings are best, except for Friday when I sometimes go home earlier.						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			第1回: Course introduction 第2回: Modernity and Globalisation 第3回: Tourism and Travel 第4回: National Images and Stereotyping 第5回: Japan as Seen from Outside 第6回: "Western" Cultures 第7回: Europe and the United States 第8回: East Asia 第9回: Japan as "In-Between" 第10回: Religions Now 第11回: The Mosaic Religions 第12回: Poverty and Wealth 第13回: The Environment and Culture 第14回: Local Cultures 第15回: The Future of Culture 定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット		
教科書 1	授業中に適宜資料を配付する						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	異文化理解(ハングルⅠ)				履修期	2021年度 春学期	
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-1-118
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	韓国語の文字構成(子音・母音)と音素、音節の構成原理(子音と母音の組み合わせ)を基礎から身に付け、読み書き能力を体系的に学習する。また、韓国語と関連する社会、文化、歴史、慣習などの背景をも学習する。最終的には、基礎文法や日常生活表現による自己紹介文の作成を目標とする。この講義を受講すれば、日本に隣接する韓国の社会や文化が理解できる。また、コミュニケーション・スキルとともに、韓国の友達がつくれ、しかも韓国への一人旅もできる。						
概要	日本に近接する韓国を理解するために必要な言葉を身に付けることは、最も有効な方法の一つである。特に、言語学的に類似性を持つ日本語と韓国語は、韓国語を学習する日本人にとって有利な側面が多い。この講義では韓国の理解に必要な初級レベルの会話とその背景を学習する。						
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。						
履修条件・注意事項	(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。						
自己学習	(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。(2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。						
オフィスワ-	毎週水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.ハングルの子音と母音 3.子音と母音(読み書き) 4.子音と母音の組み合わせ 5.子音と母音の発音 6.私はチャンジウンと言います。 7.練習問題(挨拶) 8.私は韓国人ではありません。 9.練習問題(職業の単語) 10.韓国語は面白いですか。 11.練習問題(趣味の言葉) 12.週末に何をしますか。 13.練習問題(食べ物の単語) 14.授業は何時からですか。 15.練習問題(花と木の単語) 16.定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李					
教科書 1	親しくなれる韓国語 著者:崔瑞ヒョン 出版社:白帝社 ISBN:978-4-86398-123-2 C3087						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	異文化理解(ハングルⅡ)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-1-119
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	実践韓国語Ⅰで学習したハングル(子音、母音)、基礎文法、日常生活会話を中心に、各テーマに対応できる実践会話を身に付けさせる。また、各テーマに関連する韓国の様々な情報や状況などについて理解を深めながら、中級レベル会話習得を目標とする。 この講義を受講すれば、日本に隣接する韓国の社会と文化が理解できる。また、コミュニケーション・スキルとともに、韓国の友達がつくれ、しかも韓国への一人旅もできる。						
概要	日本と韓国は、古来より密接な関係にあったと言われていいる。この授業の前半部では、韓国の社会、文化、歴史、慣習などの内容と関連する初級レベルの会話を中心に学習する。また、教科書に登場する各テーマに応じた背景知識について意見交換を行う。後半部では、韓国の時事的関心事について自分の意見を自ら提示できる中級レベル会話を習得するため、必要とされる多様な背景を提供して意見交換を行う。						
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。						
履修条件・注意事項	(1)授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2)単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。						
自己学習	(1)参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 (2)受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。						
オフィスアワー	毎週水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.このがばんはいくらですか。 3.世界の貨幣とお金の単語 4.運伝できますか。 5.外国語表記 6.韓国の食べ物が好きですか。 7.体の単語 8.南大門市場まで遠いですか。 9.形容詞の反対語 10.写真を撮って下さい。 11.家族の呼称 12.どちらのご出身ですか。 13.場所の単語 14.夏休みに韓国へ行きました。 15.十二支と動物の単語 16.定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李
教科書 1	親しくなる韓国語 著者: 崔瑞ヒョン 出版社: 白帝社 ISBN: 978-4-86398-123-2 C3087						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	簿記 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-1-201
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「簿記の全体像の理解」がテーマである。この授業は簿記について知識がまったくなくても初学者が学びやすい入門講義であり、簿記の専門用語と基本的な事項を理解することが目標である。 しかし、専門用語が多く出る分野でもあり、日本語に自信のない学生は、日本語に習熟してから受講するようにしてください。						
概要	この授業では、簿記の原理、貸借対照表、損益計算書、取引、仕訳（取引例①②）、小切手、現金過不足、当座預金、当座借越、小口現金、返品、付随費用、前払金と前受金、商品券、有形固定資産の取得、減価償却、有形固定資産の売却、貸付金と借入金、未収入金と未払金、仮払金と仮受金、立替金と預り金などについて講義する。 簿記は技術であるので、単に教科書を読むだけでは不十分である。実際に手を動かして、電卓を活用して、体で覚えて初めて使いこなせるようになるので、配布する問題を自分で解くなど積極的な姿勢が求められる。						
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって総合的に評価する。 テストは持ち込み不可です。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験まで見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	簿記は通常使用している日本語とは異なる専門用語を多用します。日本語を母語とする者にも難しいものです。ある程度日本語能力を身に付けてから受講してください。 授業には積極的な姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、居眠り、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。出席も重要ですので休まないようにすること。配布資料は事前によく読み、自分の考えを用意しておくこと、また毎回予習と復習を心掛けること。 (電卓持参)						
自己学習	毎回授業の前後に予習(2時間)と復習(2時間)をするための課題を指示する。						
オフィスワ-	研究室、火曜日4限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 簿記とは 2. 商品売買、決算 3. 現金、預金 4. 売買、原価 5. 手形、貸付金・借入金 6. 固定資産、経費 7. 仮払金・借受金、純資産 8. 決算、決算整理仕訳① 9. 決算整理仕訳② 10. 原価償却、貸倒引当金 11. 在庫、消費税、法人税等 12. 税金の復習 13. 余剰金、帳簿 14. 精算表 15. 総復習 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡					
教科書 1	スッキリわかる 日商簿記3級 第12版 [テキスト&問題集] 著者:滝澤 ななみ 出版社:TAC出版 ISBN: 978-4813296126						
教科書 2							
参考書 1	ホントにゼロからの簿記3級 著者:ふくしままさゆき 出版社:Kindle電子書籍						
参考書 2							

授業科目名	マーケティング入門			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-1-203
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「企業におけるマーケティング重要性の理解」がテーマである。到達目標は、この講義を通じてマーケティングの基礎知識を習得し、それに基づいてマーケティングの基本概念を説明できるようにすることが目標である。また、マーケティングの全体像を理解することを目指す。さらに、次のような能力が養成されることを目標とする。丁寧に講義のノートをとることにより、聴く力、書く力、整理・まとめる力が養われる。また、教科書と資料を読み、調べることによって、読む力、調べる力が身につけられるとともに、情報処理力、計画力、分析力、判断力が養われる。さらに、講義の内容に質問をし、それに答える訓練を通じて考える力とコミュニケーション能力が養われる。						
概要	講義の目的と概要は次のとおりである。マーケティングは広い意味での企業における経営活動の一部であるが、企業にとってマーケティングは重要な部分である。つねに、企業は売ることの課題に取り組む必要がある。企業の利益は、製品やサービスを消費者に売るところから生まれるからである。では企業活動の中でマーケティングとはどのように位置付けられ、どのような役割を担っているのだろうか。講義では、マーケティングの基本についての学習と問題意識を高めることを目的にする。講義では、従来のマーケティング分野に加えて近年注目されている行動経済学の諸研究も交えて、市場を作る側とそれを選択する側、両方の側面から学修していく。						
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。教科書あるいは配布した資料を事前によく読むこと。また、毎回復習をして、自分のものにしておくこと。						
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室、火曜日4時限。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.マーケティングとは 3.マーケティングの基本 4.製品のマネジメント 5.価格のマネジメント 6.広告のマネジメント 7.チャネルのマネジメント 8.市場の確認 9.コンセプト開発 10.サプライチェーン 11.消費者の行動 12.顧客関係 13.ブランド 14.企業の社会的責任 15.全体のまとめ 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡
教科書 1	1からのマーケティング(第4版) 著者:石井淳蔵・廣田章光・清水信年(編著) 出版社:碩学舎 ISBN:978-4-502-32771-1						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	リーダーシップと経営者			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	姜 明求				NO.	SS-BU-1-212	
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	経営者のリーダーシップを理解するのがテーマである。この科目の到達目標は多様な仕事内容や経営者の実像を把握できるようにすると共に将来のリーダーとして、どのように自分を育成していくかを理解すること。また、地域に愛着心を持つと共に地域産業の実態を知ってもらうことを目標とする。						
概要	この科目は高梁市商工会議所の協力により、実務経験を持つ企業の経営者などを外部講師に招き、経営者としてのリーダーシップのあり方や、事業や仕事に携わった経験を活かして、講義し、学生の理解を深める。講義は、毎回外部から講師を招聘して講義をする。外部の特別講師の場合は都合によっては変更可能である。高梁商工会議所の会員の外部講師による講演を通じて、実際のリーダーシップの理解と共に地域企業の取り組み等を紹介する。						
評価方法	授業態度・貢献度・感想文(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。						
履修条件・注意事項	積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。配布した資料を事前によく読むことと共に外部講師の話を静かに良く聞くこと。						
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.人づくり、町づくり、仕事づくり 3.田舎商売 4.時代とともに変わるプロモーション戦略 5.100年企業として地域に必要な存在で有り続けるために 6.信用金庫の業務と備北信用金庫の経営方針 7.仕事と私 8.想像力で自分を生かす 9.中小企業の経営者 10.経営者2年生の奮闘記 11.信頼され続ける会社になるために 12.中小企業の経営者 13.メディアを通して地域を見る 14.ガンリンスタンドの今 15.電気事業の状況と中国電力の取り組みについて 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 姜 外部講師 外部講師 姜 外部講師 外部講師 外部講師 姜
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	予習ができるように講義時に参考書・資料などを事前に適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	ソーシャルデザイン論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大西 正泰				NO.	SS-BU-1-301	
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ;自分の周りの環境をよりよくする営み(ソーシャルデザイン)の面白さと難しさを体感する 到達目標;映画や事例をもとに、自分の周りの環境を変えたケースを学ぶことで知識を学び、 ワークショップを通じて、自分の周りの環境をよりよくできることを目標とする。</p>						
概要	<p>本講義の前半では、動画におけるケース(組織行動)を用いて反転学習を行います(事前に映画を見たり、あらすじを確認する)。動画に出てくるシーンを通じて、組織社会化などのテーマに基づいて、話し合いを進めていきます。</p> <p>ケースとして使う映画は以下のものです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)「ブラダの悪魔」(2006)「ショーシャンクの空に」(1994) 組織社会化について(事例 アパレル・刑務所) 2)「12人の怒れる男」(1959) 集団の意思決定がどんなときに変わるのか(事例 裁判) 3)「マネーボール」(2011) データ分析による戦略変容について(事例 プロ野球) 4)「かもめ食堂」(2006)「ソーシャルネットワーク」(2010) イノベーションによる変化(事例 食堂・Facebook) <p>*受講生の興味関心によって、変えることもあります。映画「パッドマン」(2018)など 本講義の後半では、実際のケースや授業のなかでのルール改正に基づく変容を分析し、追体験してもらいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 困っている人たちにデザインという形で手を差し伸べる Kiva(世界初のperson to personマイクロファイナンス機関)など 2. 社会活動をする団体のためのデザインや、地域デザイン 喫茶ランドリー(カフェ+αでサードプレイスを作る)など 3. 政策デザイン 「学校」におけるソーシャルデザイン 4. デザインを活かす 世界のパブリックコミュニティ などの事例を元に行う。*ケースは、受講生の興味関心に応じて変わる場合があります。 <p>これらの事例をもとに勉強しながら、ソーシャルデザインを考えるための基礎的な力を養う。</p>						
評価方法	<p>評価方法は、 ①毎回の授業における感想レポートなど(50%)と、②課題レポート(50%)で評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義では、映画をケースに使うため、事前に予習として映画を見てもらいます(反転学習)。 授業後には復習を2時間を行うこと。 ・本講義では、ルールなどの組み替えによって(=デザインする)、外的環境を変えていくことを学ぶので、積極的な授業姿勢、発言などが求められます。 ・欠席、遅刻する場合は前もって連絡すること。 						
自己学習	<ol style="list-style-type: none"> 1)反転学習を行うので、映画の視聴など、事前に課題を調べた上で参加するのが必須である。 <p>授業は、この課題をめぐって討論形式で行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2)授業後には、感想レポートを提出し、ふりかえりを必ず行います。 						
オフィスアワー	<p>月曜日(2,3限) 火曜日(2,3限) 場所は14621研究室(14号館6階)になります。 *他の曜日についてはメールにて、随時受付します。m-onishi@kiui.ac.jp</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回 オリエンテーション	講義	大西		
			第2回 組織が硬直化するのなぜ? 映画「ブラダを来た悪魔」	AL	大西		
			第3回 組織社会化 映画「ショーシャンクの空へ」	AL	大西		
			第4回 集団的意思決定 映画「12人の怒れる男」①	AL	大西		
			第5回 集団的意思決定 映画「12人の怒れる男」②	AL	大西		
			第6回 データ分析 映画「マネーボール」	AL	大西		
			第7回 ファクトフルネス あなたは世界を知っているか?	AL	大西		
			第8回 小さな勇気とイノベーション 映画「かもめ食堂」	AL	大西		
			第9回 熱狂のイノベーション① 映画「ソーシャルネットワーク」	AL	大西		
			第10回 熱狂のイノベーション② スタートアップの熱量について	AL	大西		
			第11回 ソーシャルデザイン分析① ケース kiva	AL	大西		
			第12回 ソーシャルデザイン分析② ケース 喫茶ランドリー	AL	大西		
			第13回 ソーシャルデザイン分析③ ケース 新しい学校論	AL	大西		
			第14回 ソーシャルデザイン分析④ ケース ユニバーサルデザイン	AL	大西		
			第15回 ふりかえりワークショップ ソーシャルデザインアワードを決める	AL	大西		
			第16回 試験	試験	大西		

教科書 1	使用しない
教科書 2	
参考書 1	パブリックコミュニティ 居心地の良い世界の公共空間「8つのレシピ」 著者:三井不動産株式会社S&E総合研究所 出版社:宣伝会議 ISBN:978-4-88335-492-4
参考書 2	

授業科目名	法学入門				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	生駒 正文					NO.	SS-BU-1-310	
配当学科	経営社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	法学は社会人として自己の完成を目指す上で有効に役立てることができる必要不可欠な教科です。社会生活に必要な法的なものの考え方を理解することを到達目標とします。							
概要	本講義では、個人の生活、企業のビジネスで体験する身近な法的問題を取り上げることによって法の生きた現実の機能を学ぶとともに、法的なものの考え方(リーガルマインド)を学習できるようになっています。講義は学生諸君に法が果たす役割を理解してもらうための入門授業です。講義中に配布する簡単なレジュメ・教科書をもとに授業します。各講義とも、それに関する基礎的な知識習得として、「テーマ」を出しますので、各自意見を文章にしてもらいます。この科目は大阪簡易裁判所民事調停委員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	レポート及び平常点30%、定期試験70%として総合評価します。 なお、評価のために実施した課題等は授業、ノートでフィードバックする。							
履修条件・注意事項	新聞記事を毎日読むこと、受講に際して、ノートを取ることを原則に講義に臨むこと。							
自己学習	授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと。							
オフィスワ-	12:00～13:00 14号館6階(生駒研究室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1. 法律の基礎知識 2. 日本国憲法の構成と基本原理 3. 平和主義・国民主権(三権分立) 4. 基本的人権 5. 基本的人権 6. 基本的人権 7. 家族法の基礎知識(婚姻、内縁) 8. 家族法の基礎知識(親族) 9. 家族法の基礎知識(相続) 10. 家族法の基礎知識(相続) 11. 契約一般の基礎知識(契約上の注意点、無効、取消し) 12. 契約一般の基礎知識(代理、契約解除に必要な条件) 13. 訪問販売・割賦販売の基礎知識(消費者契約法、クレジット) 14. 訪問販売・割賦販売の基礎知(特定商取引法) 15. 電子取引上の契約とホームページ 16. 定期試験				講義	生駒 正文
教科書 1	法学講義(第1章、第4章、第5章 利用) 著者:生駒正文 出版社:ビジネス実務法研究所							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	社会調査法 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	坂口 恵莉					NO.	SS-BU-1-315	
配当学科	経営社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	社会調査の意義と諸類型に関する基本的事項を解説する科目である。具体的に、社会調査史、社会調査の目的、調査方法論、調査倫理、社会調査の種類と実例、量的調査と質的調査、統計的調査と事例研究法、国勢調査等の公的統計、学術調査、世論調査、マーケティング・リサーチなどのほか、調査票調査やフィールドワークなど、資料やデータの収集から分析までの諸過程に関する基礎的事項を学び、基本用語を使えるようになることが到達目標である。「社会調査士」資格取得を希望する学生が最初に受講すべき初歩的な科目である。資格取得に必要な標準カリキュラムのA科目にあたる。資格取得を目指していない学生も歓迎する。							
概要	社会調査の意義やその方法に関する基本的な概念を学習することを通して、「社会を読む」ために必要な想像力と論理力を身につける。官庁統計から地域調査まで、いろんなタイプの社会調査を取り上げ、それぞれの意義と方法について解説する。数学や統計的知識は必要ない。単なる調査技術の理解にとどまらず、社会学的思考とは何かについて、考えるきっかけとなしてほしい。 ※実務経験のある教員による授業科目 該当しない							
評価方法	この科目の到達目標は、資料やデータの収集から分析までの諸過程に関する基礎的事項を学び、基本用語を使えるようになることである。そして、学生には、社会調査の意義やその方法に関する基本的な概念を学習することを通して、「社会を読む」ために必要な想像力と論理力を身につけることが求められる。したがって、この科目では、基礎的事項の理解や、論理力を確認するための小テスト(50%)と、期末試験(50%)で評価する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施する小テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	本科目は社会調査士資格科目である。日本語学習者においては、一定以上の日本語運用能力が求められる。							
自己学習	学生は、単位認定試験に向けて、基礎的事項の理解を積み上げていくことが重要である。講義資料と参考文献を用いた予習および復習には、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	毎授業後(ランチタイムに該当)に、講義を行う教室にて実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
01. オリエンテーション 02. 社会調査史 03. 社会調査の目的と意義 04. 社会調査の方法と選択: 量的調査と質的調査 05. 調査倫理 06. 量的調査: 種類と実例 07. 量的調査: データ収集の方法 08. 量的調査: データ分析の方法 09. 社会調査のデータと情報 10. 質的調査: 実際の質的記述の例 11. 質的調査: データ収集の方法(1) 12. 質的調査: データ収集の方法(2) 13. 質的調査: データ分析の方法 14. 社会調査の今日的課題 15. 調査報告書のまとめ方 16. 試験	講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口						
教科書 1	なし							
教科書 2								
参考書 1	『入門・社会調査法：2ステップで基礎から学ぶ第3版』 著者：轟亮，杉野勇編，2017， 出版社：法律文化社 ISBN：9.78459E+12							
参考書 2	『はじめて学ぶ社会調査：リサーチ・マインドを磨く8つのレクチャー』 著者：儘田徹 出版社：慶應義塾大学出版会 ISBN：9.78477E+12							

授業科目名	社会調査法Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-1-316
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:社会調査の結果を分析できるようになるための基本的な方法を習得する。</p> <p>到達目標(4つ)</p> <p>①公的統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文が読めるための基本的知識を身につける。</p> <p>②単純集計、度数分布、代表値、散布度、クロス集計などの記述統計データや、グラフの読み方が身につく。</p> <p>③さまざまな質的データの読み方、基本的なまとめ方を身につける。</p> <p>④相関係数など基礎的統計概念、因果関係と相関関係の区別、擬似相関の概念が理解できるようになる。</p>						
概要	<p>新聞や雑誌には多くの社会調査の情報があふれているが、その「読み方」までは教えてはくれない。この授業では、実際の社会調査に基づくデータや報告書の実例を出しながら、その意味を読み解くうえでの基本的な考え方について講義する。</p> <p>社会調査法Ⅰで学んだ入門的知識を踏まえ、常識や思い込みにとらわれず、調査データに基づいて思考する能力を身につける。</p> <p>社会調査分析に必要な変数と尺度化、単純集計、クロス分析、因果関係と相関関係の区分、擬似相関、検定等の概念の理解を通し、単なる調査技術の理解にとどまらず、社会学的思考力を高めることが目的である。</p> <p>本科目は、社会調査士の資格取得に必要な標準カリキュラム「C科目」にあたる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、研究者として社会調査を実践する担当教員(専門社会調査士)によるものである。社会調査の手法を具体的に学びながら学生の理解を深める。</p>						
評価方法	<p>授業中課題提出とその内容(50%)＋定期試験(50%) なお、評価のために実施した課題は総括としてフィードバックを行うため、試験までに復習を行うこと。</p>						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は配布するハンドアウトに沿って進める。ファイルを準備し保管のこと。 ・原則として、「社会調査法Ⅰ」を履修済みであることを条件とする。 ・資格取得に関わる科目のため、留学生の受講に際しては、N2合格水準レベルの日本語力が求められる。 						
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業時に、授業内容の理解度をはかる課題が出る。 ・十分な予習と復習(毎回約2時間)を必要とする。 						
オフィスワ-	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. オリエンテーション 02. 社会調査における分析 03. 社会調査における変数・尺度 04. 記述統計データ ①単純集計 05. 記述統計データ ②度数分布 06. 記述統計データ ③様々な代表値 07. 記述統計データ ④分散 08. 記述統計データ ⑤因果関係と相関関係 09. 記述統計データ ⑥クロス集計 10. 記述統計データ ⑦相関係数と擬似相関 11. 様々な統計資料を読む ①各白書 12. 様々な統計資料を読む ②国際比較調査 13. 質的データの読み方 ①インタビュー 14. 質的データの読み方 ②観察法 15. 質的データの読み方 ③ドキュメント分析 16. 単位認定試験	講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 試験	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮		
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	社会調査の基礎—社会調査士A・B・C・D科目対応 著者:篠原 清夫ほか(編) 出版社:弘文堂 ISBN:978-4335551338						
参考書 2							

授業科目名	教育デザイン論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	栗田 喜勝、雲津 英子、秀 真一郎、藤井 和郎、川上 はる江、藤井 伊津子、中野 明子					NO.	SS-BU-1-401
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	教育デザインコースにおける学びのテーマは、心理学や教育学の学問的知見や教育実践に基づいて、保育・学校教育機能の理解を深めるとともに、保育・教育に関わる職員の役割と仕事内容について理解できることである。到達目標としては、保育・教育現場で求められる教材開発やIT、ICTなどの先端技術を活用した学習カリキュラム、学習支援サービスなどの教育システムをデザインするための基礎的知識を修得することである。						
概要	本授業では、乳幼児、児童及び生徒の心身の発達特性について理解することを基礎として、子どもの成長発達を支援する保育・教育職員の職務内容と役割について具体的に学ぶとともに、今日の保育・教育実践の現状と課題について考察し、保育・教育環境上の新たなシステムや教材開発のニーズについて検討する。						
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に提示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にする。						
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き学ぶ意志のあること。受講態度の不適切な者には退出を求めることがある。また、各種講義資料を提示するので、整理し学習に活用すること。なお、受講に際しては必ず復習を行うとともに、次回の予告に対して予習を行うこと。						
自己学習	1) 事前に提示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。						
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること。						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1. 教育デザインとは—子どもの成長発達支援の観点から	講義	栗田喜勝			
2. 保育と教育の違いについて	講義	秀真一郎			
3. 保育所保育士の仕事内容について—現状と課題	講義	秀真一郎			
4. 幼稚園教諭の仕事内容について—現状と課題	講義	雲津英子			
5. 認定こども園の現状と課題について	講義	藤井伊津子			
6. 保育所・幼稚園・認定こども園で用いる教材アラカルト	講義	藤井伊津子			
7. 児童福祉施設の保育士・児童指導員の仕事内容について	講義	中野明子			
8. 保育・教育に関わる仕事に必要なスキルについて	講義	雲津英子			
9. 小学校教諭の仕事内容について—現状と課題	講義	川上はる江			
10. 小学校の学習環境と教材アラカルト	講義	川上はる江			
11. 中・高校教諭の仕事内容について—現状と課題	講義	藤井和郎			
12. 中・高校の学習環境と教材アラカルト	講義	藤井和郎			
13. 教育現場における情報教育について	講義	雲津英子			
14. 子どもの育ちと教育環境について	講義	栗田喜勝			
15. 学修のまとめ	講義	栗田喜勝			
16. 期末試験	試験	栗田喜勝			

教科書 1	毎講義時に授業用資料を配布する。
教科書 2	
参考書 1	子どもがすくすく育つ幼稚園・保育園:教育・環境・安全の見方や選び方、付き合い方まで 著者:猪熊弘子・寺町東子 出版社:内外出版社 ISBN:9.78486E+12
参考書 2	コンピューターがひらく豊かな教育—情報化社会の教育環境と教師 著者:田中俊也 出版社:北大路書房 ISBN:9.78476E+12

授業科目名	社会福祉			履修期	2021年度 春学期		
担当者	中野 明子					NO.	SS-BU-1-407
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>社会福祉の概要や現状と課題を理解することをテーマとし、下記を到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 2. 社会福祉の制度や実施体系について理解する。 3. 社会福祉の範囲や法体系について学ぶ。 4. 社会福祉の相談援助について理解する。 5. 社会福祉における利用者保護に関わる仕組みについて理解する。 6. 社会福祉の動向と課題について理解する。 						
概要	<p>少子高齢化社会の中で、保育者は子どもの保育や子ども家庭支援の役割を担っている。それらを果たするために必要な社会福祉の知識や技術について理解する。具体的には、社会福祉の制度や実施体系、社会福祉の範囲や法体系、相談援助の方法（ソーシャルワークの技術や方法）、利用者保護に関わる仕組みなどについて学ぶ。また、社会福祉の動向と課題についても理解する。身近な事例を用いて、討論する時間なども設けていきたい。</p>						
評価方法	<p>定期試験（評価基準6割）、課題（発表・提出物・レポート）（2割）、受講態度（2割）など総合的に判断する。課題に関しては、紙面によりコメントを返却し、講義の中でもフィードバックする。単位認定試験の後は、事前に配布する講義のまとめのプリントを見て内容を確認すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>欠席の場合、理由を書いた欠席届を提出してほしい。</p>						
自己学習	<p>授業計画に沿って、事前に教科書を読んで予習しておくこと。授業中に、疑問点や気づきをメモし、受講後調べておくこと。学習したことを整理して、ノートの左側などにキーワードを書き入れ、それを見出しとし説明ができるように復習すること。また、テレビや新聞などで報道される社会福祉に関する問題にも関連づけて考察し、ノート等にまとめておくこと。予習・復習は、毎回90分ずつおこなうこと。</p>						
オフィスアワー	<p>10号館3階10312研究室にて、毎週火曜日4限をオフィスアワーとします。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 社会福祉の理念と概念	講義	中野					
2. 子ども家庭福祉と社会福祉	講義	中野					
3. 社会福祉の道すじ	講義	中野					
4. 社会福祉の範囲と法体系	講義	中野					
5. 社会福祉行財政と実施機関	講義	中野					
6. 社会福祉施設と専門職	講義	中野					
7. 社会保障制度	講義	中野					
8. 社会福祉における利用者保護に関わる仕組み	講義	中野					
9. 社会福祉における相談援助	講義	中野					
(1)相談援助の意義と原則							
10. 社会福祉における相談援助	講義	中野					
(2)相談援助の方法と技術							
11. 社会福祉の動向と課題	講義	中野					
(1)障害のある人の福祉							
12. 社会福祉の動向と課題	講義	中野					
(2)高齢者の福祉							
13. 社会福祉の動向と課題	講義	中野					
(3)在宅福祉・地域福祉の推進							
14. 社会福祉の動向と課題	講義	中野					
(4)少子高齢化社会における子育て支援							
15. 社会福祉の動向と課題	講義	中野					
(5)諸外国の動向							
16. 単位認定試験	筆記試験	中野					
教科書 1	<p>九訂『保育士をめざす人の社会福祉』 著者：相澤譲治他 出版社：(株)みらい ISBN：978-4860155377</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	子ども家庭福祉				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	中野 明子					NO.	SS-BU-1-409	
配当学科	経営社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>「子ども家庭福祉の概要を理解し、これからの課題や展望について学ぶ」をテーマとする。 到達目標は以下の通りとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 2. 子ども家庭福祉の人権擁護について理解する。 3. 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 4. 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 5. 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。 							
概要	<p>児童虐待や家庭内暴力(DV)、子どもの貧困、障害児問題、社会的養護など、児童家庭福祉の現状や課題を明らかにし、それに対応した制度や法体系、専門職について理解する。また、保育・教育・医療・療育などのネットワークの中で課題の解決を考察し、地域で子育て家庭を支える一員として実践できる保育士になれるよう指導したい。身近な話題を取り上げ討議する時間なども設けていきたい。</p>							
評価方法	<p>定期試験(評価基準6割)、課題(提出物・レポート)(2割)、受講態度(2割)など総合的に判断する。課題に関しては講義の中でフィードバックする。単位認定試験後は、授業の内容をまとめたプリント(授業期間に配布)にて内容を確認すること。</p>							
履修条件・注意事項	<p>新聞やニュース、参考文献などから、児童家庭福祉の問題に関する情報を収集しておくこと。</p>							
自己学習	<p>授業計画に沿って、事前に教科書を読んで予習しておくこと。授業中に、疑問点や気づきをメモしておき、受講後調べておくこと。学習したことを整理して、ノートの左側などにキーワードを書き入れ、それを見出しとし、説明ができるように復習すること。また、テレビや新聞などで報道される児童・家庭に関する問題とも関連づけて考察し、ノートにまとめておくこと。予習・復習は、毎回90分ずつおこなうこと。</p>							
オフィスアワー	<p>10号館3階10312研究室にて、毎週火曜日4限をオフィスアワーとします。</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども家庭福祉の理念と概念 2. 子ども家庭福祉の歴史 3. 現代社会と子ども家庭福祉 4. 子どもの人権擁護の歴史 5. 児童の権利に関する条約と子どもの人権擁護の現状と課題 6. 子ども家庭福祉の制度と法体系 7. 児童福祉施設及び子ども家庭福祉の専門職 8. 子ども虐待・DVとその防止 9. ひとり親家庭、貧困家庭等の子どもと支援 10. 障害のある子どもの現状と支援 11. 母子保健と子どもの健全育成 12. 少年非行等の現状と支援 13. 少子化と地域子育て支援 14. 多様な保育ニーズへの対応 15. 子ども家庭福祉の動向と展望 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野	
教科書 1	<p>保育士をめざす人の児童家庭福祉 著者:伊達悦子・辰巳 隆 編 出版社:みらい ISBN:978-4-86015-356-4</p>							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	保育原理 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎					NO.	SS-BU-1-413
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、保育に携わる上で基礎概念となる保育の原理を理解できると共に、より柔軟な保育理念を身に付けるための考察力を培うことができる。保育における歴史や思想を知ること、現在の保育に至る流れをより深く理解することができる。さらに、乳幼児期の子どもにおける発達を考察し、保育内容を考慮した上での計画の意義・重要性を知ることができる。保育者とは？この疑問に対して、自らの答えを見つけ出すことができる。						
概要	保育の基礎を構築することから、自らの保育観、子ども観、保育士観、保護者観が磨かれていく。そのためにも、概念・理念を知ることから始まり、歴史的思想を理解することで、今の保育思想を次につなぐものへ変える力をつける。毎回の講義の中で自らの保育に対する基礎作りを求める。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	受講態度、提出物、試験から総合的に判断する。 提出物などに関しては、授業内においてフィードバックするので、参考にすること。 成績評価基準:受講態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%)						
履修条件・注意事項	保育の基盤作りという意識を持って取り組むこと。前述したように、保育の基礎・基盤を構築するために大切な授業です。予習・復習をしっかりと行い、自らの保育観を作り上げてください。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育とは何か 2. 保育の基盤としての子ども観 3. 子ども理解から出発する保育 4. 子どもが育つ環境の理解 5. 保育内容・方法の原理-保育の基本と保育内容・方法 6. 保育内容・方法の原理-子どものための保育内容とは 7. 保育の計画と実践の原理 8. 保育における健康・安全の原理 9. 保育の歴史に何を学ぶか-歴史を振り返る 10. 保育の歴史に何を学ぶか - 西欧における集団保育施設の誕生と発展 11. 保育の歴史に何を学ぶか-わが国における集団保育施設の誕生と発展 12. 保育者に求められるもの 13. 現代の子育てと子育て支援 14. 保育の現状と課題 15. 「保育原理」の原理を問う 16. 試験 		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀				
教科書 1	新しい保育講座1 保育原理 著者:渡邊英則・高嶋景子・大豆生田啓友・三谷大紀 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-08027-4						
教科書 2							
参考書 1	現代の保育学4 保育原理【第7版】 著者:待井和江 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	保育原理Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	秀 真一郎					NO.	SS-BU-1-414	
配当学科	経営社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	現在保育現場において求められているものは多様化し、細分化されてきている。当然、保育者自身に求められるものも変わってきている。学生は、今保育者として求められているものとは何か？子どもたちにとっての保育者とは？保護者にとっての保育者とは？そのような疑問に対する答えを、役割と論理・制度的位置づけ・専門性などの面から自ら見つけ出すことのできる考察力と保育者観を身につけることができる。							
概要	幼稚園・保育所における保育者の役目や求められているものをしっかり理解することが大切となる。そのためにも理論に基づいた保育者の専門性に関する知識・基礎を理解する必要がある。そうすることで、個性のある魅力ある保育者、自分が保育者としてできることを自ら見つけ出すことができるようになる。ただ単なる知識の詰め込みではなく、自らが考える講義となるよう、投げかけに対する答えを見つけて出すことを求める。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。							
評価方法	受講態度、提出物、試験から総合的に判断する。 提出物などに関しては、授業内においてフィードバックするので、参考にすること。 成績評価基準:受講態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%)							
履修条件・注意事項	保育者となるために必要な知識はもちろん、保育者としての心構えや保育内容を考えるために必要な基盤であることを意識し、積極的に取り組むこと。保育者として身につけておかなければならない大切な内容であることを理解し、予習復習をしっかりと行うこと。							
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。 予習・復習においては2時間程度を要する。							
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. 「保育者になる」ということ 2. 魅力的な保育者とは 3. 保育者の一日一日のスタート～給食～ 4. 保育者の一日一給食～「保育者」という仕事～ 5. 子どもがわかる・育つということ 6. 子どもを読み解くということ 7. 子どもと一緒に心と体を動かす仕事(幼稚園の場合) 8. 子どもと一緒に心と体を動かす仕事(保育所の場合) 9. 絵本を通して豊かな生活を生み出す保育者 10. 子どもと豊かに生活するための保育者の個性 11. 保護者や家庭と一緒に歩む仕事 12. 学び合う保育者～保育者の成長～ 13. 学びあう保育者～「語り合い」・「学びあう」～ 14. 保育者の専門性とは 15. 専門性を高めるために 16. 試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀	
教科書 1	最新保育講座2 保育者論[第2版] 著者:汐見稔幸・大豆生田啓友 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-076-38-3							
教科書 2								
参考書 1	改訂 保育者論 著者:民秋言 編著 出版社:建帛社 ISBN:978-4-7679-3211-8							
参考書 2								

授業科目名	基礎演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	李 分一、井勝 久喜、雲津 英子、黒宮 亜希子、秀 真一郎、大西 正泰、竹岡 志朗、稲元 洋輔、藤井 伊津子、片山 章郎、姜 明求、栗田 喜勝、赤坂 真人、中野 明子					NO.	SS-BU-1-701
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】 大学で学ぶ上で必要な基礎的な知識、学習スキルを習得する。 学科内での人間関係形成を通じ、コミュニケーション力を養う。</p> <p>【到達目標(主に3つ)】 ①新入生がスムーズに大学生活を送ることが出来るよう、大学で学ぶための基礎的な知識を身につける。 ②大学生・社会人として必要な社会的マナーを身につける。 ③演習における少人数のグループ活動を通じて、自己理解や自己表現、コミュニケーションスキルの向上を目指す。</p>						
概要	1年生全体での合同授業では、大学生活や経営社会学科で学ぶために重要なガイダンス(コース・資格の説明)、さらには、学科全体でのレクリエーション活動を実施する。 各チューター別の演習授業時には、指定されたテキストを基に、大学での基本的な学び方、コミュニケーション(話し方・聴き方)、マナー(電話やメールの作法など)に関して、毎回一つずつトピックを取り上げながら演習形式で学習を進める。						
評価方法	各チューターごとの演習における取り組み姿勢(50%)、提出課題・レポート(50%)を総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	<p>①経営社会学科(1年次)の卒業必修科目である。</p> <p>②テキストを配布する。書き込み式テキストのため、忘れないように毎回持参のこと。</p> <p>③授業中または授業後に、課題・ミニレポート等の提出が求められる。提出物を基にフィードバックを行う。</p> <p>④合同(1年生全員)で実施する回と、各チューター単位で活動する回に分かれている。予定に注意すること。</p>						
自己学習	<p>・演習形式の授業であるため、積極的な参加が重要である。</p> <p>・テキストを基に、事前・事後の学修に各2時間を要する。</p>						
オフィスアワー	チューター教員ごとにオフィスアワーが異なる。授業時にオフィスアワーに関しては説明がある。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01. オリエンテーション ①授業予定説明等		講義・演習	全教員				
02. オリエンテーション ②コース、資格等について		講義・演習	全教員				
03. 学生交流活動 ①出合いのこころみ		演習	全教員				
04. 学生交流活動 ②		演習	全教員				
05. 大学で学ぶということ ①自主性を発揮して大学生活を楽しもう		演習	全教員				
06. 大学で学ぶということ ②大学での学びとは		演習	全教員				
07. コミュニケーションとマナー ①コミュニケーションの重要性		演習	全教員				
08. コミュニケーションとマナー ②話を聴く		演習	全教員				
09. コミュニケーションとマナー ③わかりやく話す		演習	全教員				
10. 学外交流活動 ①		学外活動	全教員				
11. 学外交流活動 ②		学外活動	全教員				
12. コミュニケーションとマナー ④マナーの本質と重要性		演習	全教員				
13. コミュニケーションとマナー ⑤人に依頼するときのマナー		演習	全教員				
14. コミュニケーションとマナー ⑥電話・メールの作法		演習	全教員				
15. 春学期まとめ(振り返りレポート)		演習	全教員				
教科書 1	マイキャリアノート I Basic (基礎演習 I 授業時に配布する) 著者:ベネッセ i-キャリア 出版社:ベネッセ i-キャリア						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	基礎演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	李 分一、井勝 久喜、雲津 英子、黒宮 亜希子、秀 真一郎、大西 正泰、竹岡 志朗、稲元 洋輔、藤井 伊津子、片山 章郎、姜 明求、栗田 喜勝、赤坂 真人、中野 明子					NO.	SS-BU-1-702
配当学科	経営社会				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>基礎演習Ⅱのテーマ： 基礎演習Ⅱでは社会科学部経営社会学科の教員14名がどのような研究をしているかを学生に提示し、それによってこの学科で何が学べるかを概観することを目的とする。学生は各教員の専門領域を知り、それにしたがって次年度から始まるゼミの選択を行う。また前期同様、主に学生たちの日本語能力・国語力を向上させることを目的とした個別ゼミを行う。</p> <p>到達目標： 各教員が自らの研究を紹介することで、次年度からのゼミナール選択の情報を得る。また日本語の文章を読み、内容をまとめることによって読解力と文章力が向上する。留学生の場合は日本語能力向上を目指した授業を行うので、日本語能力が上昇する。</p>						
概要	<p>■この演習は、実務経験のある外部講師による授業も行う。 経営社会学科の教員がそれぞれの専門領域と自己の研究テーマを紹介する。(内容については秋学期授業計画を参照)。それが終わり次第各教員の研究室で個別ゼミを実施し、日本語能力および国語力の向上につとめる(日本人学生は読解・記述能力。留学生は日本語の読解能力と会話能力)。また、外部講師による講演を行い、地域企業の取り組み等を紹介する。</p>						
評価方法	<p>評価は個別チューターのゼミ・講義での取り組み50%、授業課題50%を総合的に評価する。 課題に対するフィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>欠席回数が5回を超えた場合、単位認定評価の対象とならない。</p>						
自己学習	<p>(1)参加型演習のために、演習生は事前課題を調べた上で参加すべきである。演習は、この課題をめぐって討論形式で行う。 (2)予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを提出しなければならない。</p>						
オフィスアワー	<p>研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。チューター先生ごとのオフィスアワー(各先生の研究室と時間帯の参照)</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01. オリエンテーション 02. チューター研究室で個別ゼミ 03. 現代社会入門+個別ゼミ 04. 環境と経済+個別ゼミ 05. ビジネスメールの基礎+個別ゼミ 06. 経営学とは+個別ゼミ 07. 地域との交流会 事前オリエンテーション 08. 地域との交流会(高梁市松原町) 09. 地域との交流会(高梁市松原町) 10. 東アジア国際関係+個別ゼミ 11. 社会問題と社会福祉+個別ゼミ 12. ゼミ選択説明会 13. チューター研究室で個別ゼミ 14. チューター研究室で個別ゼミ 15. チューター研究室で個別ゼミ(秋学期まとめ)	演習 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 学外活動 学外活動 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習	全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員		
教科書 1	初回の演習時に配布 著者:経営社会学科教員によるレジュメ						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

Syllabus

社会科学部 経営社会学科 2018～2020 年度入学生

吉備国際大学

授業科目名	地域貢献ボランティア				履修期	2021年度 春学期～秋学期	
担当者	井勝 久喜					NO.	GE-KE-2-003
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「地域貢献ボランティア活動を通して地域社会に積極的に参加できる人材となる。」をテーマとする。 各学科で定められたディプロマポリシーの技術・行動項目において、「社会に積極的に参加できる人材となる。」を目的とした科目であり、具体的には、地域のボランティア活動へ参加し、地域の人々と共にふれあい活動することで、地域社会に貢献しようとするところや姿勢を持ち、地域社会や身近な生活におこりうる問題点を理解し、解決するために地域社会に積極的に参加できるようになることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>キャリア教育の一環として社会人基礎力を身に付けるために、地域貢献ボランティアをおこなう。具体的には、ボランティアの社会的役割やボランティアの意義、活動時の注意事項等について学んだのち、地域から要請を受けたボランティア活動を10コマ分(20時間以上)行なう。 ボランティア活動は、ボランティア活動予定表(5月～12月末まで)から活動時間合計が20時間以上になるよう選択し、活動をおこなう。その後、ボランティア活動報告書(1,000字以上)を作成し、学科別にて発表を行う。 この科目は実務経験のある外部講師の方にボランティア指導をしていただき、学生の能力向上を図る。</p>						
評価方法	<p>ボランティア活動の内容および活動報告書、発表会内容等により、授業の到達目標についての達成度をトータルで評価する。なお、レポートはフィードバックするので復習しておくこと。 具体的には、ボランティア活動状況60%、発表20%、活動報告書20%のウエイトにより評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>「地域学概論」の授業で学んだ地域の問題点について、さらに事前学修により調査し理解したのち受講する。履修登録までに、大学が加盟する任意保険(学生教育研究災害傷害保険「学研災」)に加入すること。 ボランティア活動時は、ボランティアカードと学生証を携帯し、受入れ事業者の指示に従い、事故に注意すること。 ボランティア終了時には、活動時間を記入し、事業者に終了確認印を受領すること。</p>						
自己学習	<p>ボランティア活動に参加する前に、参加するボランティア活動の内容についてインターネットなどを活用して調べておくこと。また、ボランティア終了後にはその都度活動の内容について振り返りを行い、記録を整理しておくこと。 予習及び復習には各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	春学期は毎週木曜日5時限、秋学期は毎週水曜日5時限に研究室(14601号室)で実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. ボランティア活動の基礎的理解 2. ボランティア活動の注意点と活動計画作成 3. ボランティア活動 4. ボランティア活動 5. ボランティア活動 6. ボランティア活動 7. ボランティア活動 8. ボランティア活動	講義 講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習	外部講師・井勝 井勝 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師	9. ボランティア活動 10. ボランティア活動 11. ボランティア活動 12. ボランティア活動 13. 活動報告 14. ボランティアフォーラム 15. ボランティアフォーラム 16. 試験(活動報告書)	実習 実習 実習 講義 講義 講義 試験	外部講師 外部講師 外部講師 井勝 井勝 井勝 井勝		
教科書 1	資料を適宜配布						
教科書 2							
参考書 1	<p>ボランティア論 著者:柴田謙治他 出版社:みらい ISBN:978-4-86015-206-2</p>						
参考書 2							

授業科目名	キャリア開発Ⅱ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	大西 正泰					NO.	GE-CG-3-002		
配当学科	経営社会				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>【テーマ】自分に適した職業進路を具体的に選択し、就活のため、具体的能力を發揮できるようにする。 【到達目標】自分に適した職業進路を選択することができる。就職活動ができる能力を身につける。選択した進路および社会が求める人間像について考え、身につけておくべき自主性や責任感、社会人としての一般常識や教養、分別、協調性やコミュニケーション力を再確認し実質的なものにすることができる。</p>								
概要	<p>合同授業日と各学科の授業日とで授業は構成されている。14回の合同授業は、就職活動を行うために身につけておくべき内容から構成されている。 この科目は、実務経験のある外部講師を招きキャリア形成に関する知識や能力を講義し、学生の理解を深める。</p>								
評価方法	<p>合同授業、学科ごと授業中に求める課題(60%)、ポートフォリオ作成(40%)。課題については採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。</p>								
履修条件・注意事項	<p>初回の授業で授業計画を説明するので、休まないこと。合同授業日と各学科授業日で教室が異なるので、教室を間違わないように留意すること。授業態度及び毎回提出するレポートが評価の基準となるので、欠席しないこと。</p>								
自己学習	<p>配布したキャリアハンドブックを読んだから授業に出席すること。提出物は復習の上で、期日までに完成させ、必ず提出することが求められる。予習および復習には各2時間程度を要する。</p>								
オフィスワ-	研究室(14621号室)にて、水曜日5時限に実施								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 オリエンテーション・働く目的			講義・GW 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	大西 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 大西					
第2回 就職活動の動きを学ぶ									
第3回 インターシップの必要性和エントリーシート攻略									
第4回 自己分析・自己PR									
第5回 乗り遅れるなWEB就活									
第6回 就職サイト登録・進路調査票作成									
第7回 業界研究・職業教育									
第8回 マナー(身だしなみ)									
第9回 労働関係法規									
第10回 エントリーシート攻略フォロー									
第11回 SPI対策(筆記試験対策)									
第12回 履歴書の書き方・応募書類の出し方									
第13回 面接対策									
第14回 就職活動・いざインターシップ									
第15回 キャリア開発まとめ									
第16回 就活準備と試験									
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)								
教科書 2									
参考書 1	<p>自分のキャリアを自分で考えるためのワークブック 著者:小野田博之 出版社:日本能率協会マネジメントセンター ISBN:4-8207-4302-3</p>								
参考書 2									

授業科目名	英語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	嶋村 優枝					NO.	GE-LE-2-003
配当学科	経営社会・理学療法・社会福祉・アニメーション文化			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	これまでに学んだ英語の基礎を定着させながら、さらに多くの重要表現を身につける。まとまった量の英文の内容を正確に理解できる能力を養う。正しい発音と自然なイントネーションで音読できるようにする。						
概要	語彙と文構造を理解しながら、正確に内容を理解する。担当者が、音読、和訳と内容に関する解説を行う。発表担当者以外も、発表内容を理解するために十分な予習が必要となる。授業内容の理解度を確認するため、毎回課題に取り組み提出する。提出された課題は採点后、次の授業で返却される。解答例が示されるので、各自訂正・復習をする。前回の課題の確認後、引き続き本文内容を読み進める。教科書の表現が簡潔すぎる場合があるので、必要に応じて配布する資料プリントを参考にして、より深く理解する。						
評価方法	発表(10%)、提出課題(30%)、定期試験(60%)に受講態度をを加えて総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	授業には辞書を持参する。教科書を忘れた場合は、必ず当日の部分のコピーを持参して受講する。						
自己学習	予習:1)本文を音読練習する。 2)わからない単語は辞書で発音・意味を調べる。 3)文の構造を理解して、正しく内容把握をする。 復習:1)前の授業で理解不足と感じた文法事項を復習する。 2)配布資料を読み、内容理解を深める。 3)返却課題をやり直す。						
オフィスアワー	授業前、および授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. Introduction 2. Rainforests: p.1 3. Rainforests: P.2~3 4. Rainforests: P.4~5 5. Why important:前半 6. Why important:後半 7. People of rainforests:前半 8. People of rainforests:後半 9. Rainforest animals:P.12~13 10. Rainforest animals:p.14~15 11. Rainforest animals:p.16 12. Rainforest animals:p.17~18 13. Rainforest plants:p.19 14. Rainforest plants:p.20~21 15. 定期試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村				
教科書 1	FACTFILES Rainforests 著者:ROWENA AKINYEMI 出版社:OXFORD UNIVERSITY PRESS ISBN:978-0-19-423381-1						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	嶋村 優枝					NO.	GE-LE-2-004
配当学科	経営社会・理学療法・社会福祉・アニメーション文化			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	これまでに学んだ英語の基礎を定着させながら、さらに多くの重要表現を身につける。まとまった量の英文の内容を正確に理解できる能力を養う。正しい発音と自然なイントネーションで音読できるようにする。						
概要	<p>語彙と文構造を理解しながら、正確に内容を理解する。あらかじめ決められた担当者が、音読、和訳と内容に関する解説を行う。当日の発表担当者以外も、発表内容を理解するために十分な予習が必要となる。</p> <p>授業内容の理解度を確認するため、毎回課題に取り組み提出する。提出された課題は採点后、次の授業で返却される。解答例が示され、各自訂正・復習をする。</p> <p>前回の課題の確認後、引き続き本文内容を読み進める。教科書の表現が簡潔すぎる場合があるので、必要に応じて配布する資料プリントを参考にして、より深く理解する。</p>						
評価方法	発表(10%)、提出課題(30%)、定期試験(60%)に受講態度を加えて総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	授業には辞書を持参する。教科書を忘れた場合は、必ず当日の部分のコピーを持参して受講する。						
自己学習	<p>予習:1)本文を音読練習する。 2)わからない単語は辞書で発音・意味を調べる。 3)文の構造を理解して、正しく内容把握をする。</p> <p>復習:1)前の授業で理解不足と感じた文法事項を復習する。 2)配布資料を読み、内容理解を深める。 3)返却課題をやり直す。</p>						
オフィスアワー	授業前、および授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1. Introduction 2. Money(1) 3. Money(2) 4. Disappearing forests(1) 5. Disappearing forests(2) 6. Disappearing forests(3) 7. Protectors of rainforests(1) 8. Protectors of rainforests(2) 9. Tourists in rainforests(1) 10. Tourists in rainforests(2) 11. Recycling(1) 12. Recycling(2) 13. Recycling(3) 14. Recycling(4) 15. Recycling(5) 16. 定期試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村
教科書 1	FACTFILES Rainforests 著者:ROWENA AKINYEMI 出版社:OXFORD UNIVERSITY PRESS ISBN:978-0-19-423381-1						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	フランス語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	加藤 健次					NO.	GE-LF-2-003
配当学科	全学共通			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「フランス語会話ができるようになる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。						
概要	1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場면을想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。						
評価方法	「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験(30%)、授業への積極的な参加態度(20%)、単位認定試験(50%)を合計して総合評価する。						
履修条件・注意事項	毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくるよう注意すること。						
自己学習	予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。						
オフィスアワー	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. あいさつ 2. 発音 3. 性と数 4. 前置詞 5. 規則動詞 6. 形容詞 7. 否定 8. 命令 9. 疑問 10. 副詞 11. 疑問副詞 12. 疑問代名詞 13. 不規則動詞 14. 所有形容詞 15. 疑問形容詞 単位認定試験	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次					
教科書 1	新ゼロからスタートフランス語 文法編 著者:島崎 貴則 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4863924987						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	フランス語IV			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	加藤 健次				NO.	GE-LF-2-004	
配当学科	全学共通			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「フランス語で会話を楽しむことができる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。						
概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう。						
評価方法	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験(30%)、授業への積極的な参加態度(20%)、単位認定試験(50%)を合計して総合評価する。						
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修していること。						
自己学習	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の成果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる。						
オフィスワ-	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 動詞allerとvenirの活用 2. 近接未来と近接過去 3. 命令形、否定表現 4. 疑問代名詞 5. 疑問副詞 6. 指示代名詞 7. 関係代名詞 8. 過去分詞 9. 直説法複合過去 10. 補語人称代名詞の語順 11. 比較級と最上級 12. 非人称構文 13. 直説法半過去 14. 直説法大過去 15. まとめの問題 16. 単位認定試験	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次		
教科書 1	新ゼロからスタートフランス語 文法編 著者:島崎 貴則 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4863924987						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	ドイツ語Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-2-003		
配当学科	全学共通				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、日常会話の初歩的レベルなら一人でも聞き話すことが出来るようになる。 どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につけ、最終的には、基礎的な意思疎通なら自力で可能なレベルに到達することが出来る。								
概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習を行いながら、日常生活レベルのコミュニケーションが可能となるように、個別の場面ごとにその特有の表現や構文を学んでいく。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを選び出し、それを話題にしながら、自己紹介をする、相手の好みを聞く、相手の家族について尋ねる、物事の位置関係を説明する、物の数を聞く、約束の時間を定める、物事を比較して述べる、相手の予定を尋ねる、過去の出来事について述べる、相手に自分の要求を丁寧に伝える、休暇の計画を立てる、旅の体験を語る、などの様々な表現を順次個別に学んでいく。								
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。								
履修条件・注意事項	この授業は、1年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」(あるいは同等のレベル)が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえない。毎回の授業では何かきつと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるものである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。								
自己学習	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。								
オフィスワ-	個人研究室にて、月曜日1限目と水曜日4限目に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 動詞の現在人称変化 3. 出会いと自己紹介 4. 名詞の性と格 5. 家族について尋ねる 6. 不規則動詞、命令形 7. 明日の予定を尋ねる 8. 定冠詞、不定冠詞 9. 買い物に行く 10. 複数形 11. 本を探す 12. 前置詞 13. 週末の予定を尋ねる 14. 形容詞の格変化 15. 趣味について尋ねる 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水					
教科書 1	パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三改訂] 著者:上田 成利 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06420-7								
教科書 2									
参考書 1	文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:481635137X								
参考書 2									

授業科目名	ドイツ語Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-2-004	
配当学科	全学共通				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、日常会話の初歩的レベルなら一人でも聞き話すことが出来るようになる。 どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につけ、最終的には、基礎的な意思疎通なら自力で可能なレベルに到達することが出来る。							
概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習を行いながら、日常生活レベルのコミュニケーションが可能となるように、個別の場面ごとにその特有の表現や構文を学んでいく。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを選び出し、それを話題にしながら、自己紹介をする、相手の好みを聞く、相手の家族について尋ねる、物事の位置関係を説明する、物の数を聞く、約束の時間を定める、物事を比較して述べる、相手の予定を尋ねる、過去の出来事について述べる、相手に自分の要求を丁寧に伝える、休暇の計画を立てる、旅の体験を語る、などの様々な表現を順次個別に学んでいく。							
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。							
履修条件・注意事項	この授業は、1年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」(あるいは同等のレベル)が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえない。毎回の授業では何かきつと発表等をやれられるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。							
自己学習	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。							
オフィスワ-	個人研究室にて、月曜日1限目と水曜日4限目に実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 話法の助動詞 2. 昼食を食べに行く 3. 分離動詞、複文 4. 駅の窓口で尋ねる 5. zu不定詞 6. 休暇の計画を尋ねる 7. 動詞の3基本形 8. 旅の体験を語る 9. 過去形、現在完了形 10. ワイマールにて 11. 受動態 12. 意見を交換する 13. 関係代名詞 14. お別れ会 15. 接続法 16. 単位認定試験 			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水	
教科書 1	パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三改訂] 著者:上田 成利 出版社:白水社 ISBN:978-4-255-25428-9 C1084							
教科書 2								
参考書 1	文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:978-4-560-06420-7							
参考書 2								

授業科目名	中国語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期			
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-2-003	
配当学科	スポーツ社会・心理学部			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(検定試験対応・前篇)する。中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。							
概要	1年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し、筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関するところをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。							
評価方法	テーマ「中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。							
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.第1課(助動詞“会”“能”など) 2.同上(会話練習と復習) 3.同上 4.第2課(助動詞“得” 5.同上(会話練習と復習) 6.同上 7.中国映画の鑑賞 8.第3課(比較の表現など) 9.同上(会話の練習と復習) 10.同上 11.第4課(使役表現など) 12.同上(会話の練習と復習) 13.同上 14.「了」の三つの用法 15.結果補語 16.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然					
教科書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:劉頴、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1							
教科書 2								
参考書 1	中国語さらなる一歩 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1							
参考書 2								

授業科目名	中国語IV			履修期	2021年度 秋学期			
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-2-004	
配当学科	スポーツ社会・心理学部			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(検定試験対応・前篇)する。中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。							
概要	1年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し、筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。							
評価方法	テーマ「中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。							
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.第1課(助動詞“会”“能”など) 2.同上(会話練習と復習) 3.同上 4.第2課(可能動詞“得”と助動詞“得”) 5.同上(会話練習と復習) 6.同上 7.中国映画の鑑賞 8.第3課(比較の表現など) 9.同上(会話の練習と復習) 10.同上 11.第4課(使役表現など) 12.同上(会話の練習と復習) 13.同上 14.「了」の三つの用法 15.結果補語 16.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然					
教科書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:龍頤、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1							
教科書 2								
参考書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:劉頤、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06910-3							
参考書 2								

授業科目名	日本語ⅡA				履修期	2021年度 春学期			
担当者	大下 朋子					NO.	GE-LJ-2-003		
配当学科	全学共通				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。								
概要	この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。								
評価方法	単位認定試験(50%)、中間テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、単位認定試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。								
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。								
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。								
オフィスワ-	月曜日3限目(2号館255研究室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 1課 時間関係 3. 2課 範囲の始まり・限度 4. 3課 限定・非限定・付加 5. 4課 例示 6. 5課 関連・無関係 7. 6課 様子 8. 【中間テスト】1～6課 9. 中間テストの解説 10. 7課 付随行動 11. 8課 逆接 12. 9課 条件 13. 10課 逆接条件 14. 11課 目的・手段 15. 12課 原因・理由 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋)					
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N1 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195640								
教科書 2	日本語パワードリル N1 文字・語彙 著者:松浦 真理子、鈴木 健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4872177671								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	日本語ⅡB				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	大下 朋子					NO.	GE-LJ-2-004		
配当学科	全学共通				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。								
概要	この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。								
評価方法	単位認定試験(50%)、中間テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、単位認定試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。								
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。								
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。								
オフィスワ-	月曜日3限目(2号館255研究室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					1.オリエンテーション 2. 8課 逆接 3. 9課 条件 4. 10課 逆接条件 5. 11課 目的・手段 6. 12課 原因・理由 7. 【中間テスト】8～12課 8. 中間テストの解説 9. 13課 可能・不可能・禁止 10. 14課 話題・評価の基準 11. 15課 比較対照 12. 16課 結末・最終の状態 13. 17課 強調 14. 18課 主張・断定 15. 19課 評価・感想 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N1 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195640								
教科書 2	日本語パワードリル N1 文字・語彙 著者:松浦 真理子、鈴木 健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4872177671								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	応用日本語ⅡA				履修期	2021年度 春学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-2-007	
配当学科	全学共通(留学生)				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。							
概要	この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。							
評価方法	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。							
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。							
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。							
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(中文) 6. 内容理解問題(長文) 7. 内容理解問題(長文) 8. 中間テスト・テストの解説 9. 日本語能力試験対策 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西				
教科書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N1 読解 著者:菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:ISBN978-4-86392-075-0							
教科書 2								
参考書 1	新完全マスター単語N2重要2200 著者:小谷野美穂・森田亮子 他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:ISBN978-4-88319-762-0							
参考書 2								

授業科目名	応用日本語ⅡB			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-2-008
配当学科	全学共通(留学生)			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。						
概要	この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。						
評価方法	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(長文) 6. 日本語能力試験対策 7. 日本語能力試験対策 8. 日本語能力試験対策 9. 日本語能力試験対策 10. 内容理解問題(長文) 11. 統合理解問題 12. 統合理解問題 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西		
教科書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N1 読解 著者:菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:ISBN978-4-86392-075-0						
教科書 2							
参考書 1	新完全マスター単語N2重要2200 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:ISBN978-4-88319-762-0						
参考書 2							

授業科目名	日本語研究ⅡA			履修期	2021年度 春学期		
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-2-011
配当学科	全学共通(留学生)			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	聴解能力の向上はもちろん、「話す」、「読む」、「書く」能力の向上にも努め、日本語能力試験N1合格を目指すめざす。日本語能力を更に向上させ、今後の大学での学びが充実し、日本での生活を自信を持っておくれるようにする。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。聴解練習はもちろん講義内で文法、語彙等の学習も行い、日本語能力試験N1レベルの語彙力・聴解力を修得する。						
評価方法	試験(50%)、小テスト等(30%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	N2を取得していることが絶対条件である。 N2を取得していない学生は、日本語関連科目Ⅱを履修できない。 より高い日本語能力獲得のため本講義の受講中にN1の取得を目指してほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 確認演習		講義・演習	磯				
2. 課題理解① 課題理解とは 練習問題1～5		講義・演習	磯				
3. 課題理解② 練習問題6～12		演習	磯				
4. ポイント理解① ポイント理解とは 練習問題1～6		講義・演習	磯				
5. ポイント理解② 練習問題 7～14		演習	磯				
6. 概要理解① 概要理解とは 練習問題1～6		講義・演習	磯				
7. 概要理解② 練習問題 7～12		演習	磯				
8. 1～7総復習		演習	磯				
9. 即時応答① 即時応答とは 敬語表現		講義・演習	磯				
10. 即時応答② 文末否定 慣用表現		講義・演習	磯				
11. 即時応答③ 練習問題1～8		演習	磯				
12. 即時応答④ 練習問題9～20		演習	磯				
13. 即時応答⑤ 練習問題21～30		演習	磯				
14. 総合理解① 統合理解とは		講義	磯				
15. 総合理解② 練習問題1～6		演習	磯				
16. 単位認定試験							
教科書 1	絶対合格！日本語能力試験 徹底トレーニングN1 聴解 著者:松岡 龍美 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-776-3						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	政治学				履修期	2021年度 春学期	
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-1-101
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>大学で政治の諸問題を学ぶ意義は、それを単なる評論ではなく、専門的な概念を用いた理論的観点を通じて学ぶことになる。しかし、政治に対する考え方は極めて多意であり、それらを説明する概念や接近の仕組みも学者によって異なる。そのために受講生は、様々な政治関連の問題について、自らの立場で自分の見解や判断力を持つことを期待する。この講義を受講すれば、大衆民主主義における政治的な出来事（出来事）の理解、すなわちその背景と要因、そして、こうした相互関連性について知ることができる。それは、現代社会の一市民としての教養と姿勢が習得できるものとなる。</p>						
概要	<p>この講義では、様々な政治現象を分析し説明する。なお、複雑な政治現象の仕組みを理解するためには、政治学の基礎的な概念と考え方、そして理論についての説明は不可避である。講義の主な内容は、政治学の基礎知識を習得しながら、「先進民主主義国・日本の政治と社会」について、様々なトピックを取り上げて説明する。そのため、受講生は、日常の政治社会学的な出来事とその経済的関連について関心を持つことが大切である。</p>						
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。						
履修条件・注意事項	(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受ける必要がある。						
自己学習	(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 (2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。						
オフィスアワー	毎週水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.政治とは何か 3.現代社会と政治 4.政治の地位と役割 5.国家論 6.政治学の行動科学主義的方法 7.政治学の歴史的接近方法 8.政治と権力 9.支配の正統性 10.権力の分立 11.政治的リーダーシップの意義 12.政治的リーダーと大衆 13.現代社会と政治的指導力 14.政治地理学と文化 15.政治参加 16.定義試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李					
教科書 1	プリント使用						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	法学入門				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	生駒 正文					NO.	SS-BU-1-102	
配当学科	経営社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	法学は社会人として自己の完成を目指す上で有効に役立てることができる必要不可欠な教科です。社会生活に必要な法的なものの考え方を理解することを到達目標とします。							
概要	本講義では、個人の生活、企業のビジネスで体験する身近な法的問題を取り上げることによって法の生きた現実の機能を学ぶとともに、法的なものの考え方(リーガルマインド)を学習できるようになっています。講義は学生諸君に法が果たす役割を理解してもらうための入門授業です。講義中に配布する簡単なレジュメ・教科書をもとに授業します。各講義とも、それに関する基礎的な知識習得として、「テーマ」を出しますので、各自意見を文章にしてもらいます。この科目は大阪簡易裁判所民事調停委員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	レポート及び平常点30%、定期試験70%として総合評価します。 なお、評価のために実施した課題等は授業、ノートでフィードバックする。							
履修条件・注意事項	新聞記事を毎日読むこと、受講に際して、ノートを取ることを原則に講義に臨むこと。							
自己学習	授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと。							
オフィスワ-	12:00～13:00 14号館6階(生駒研究室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1. 法律の基礎知識 2. 日本国憲法の構成と基本原理 3. 平和主義・国民主権(三権分立) 4. 基本的人権 5. 基本的人権 6. 基本的人権 7. 家族法の基礎知識(婚姻、内縁) 8. 家族法の基礎知識(親族) 9. 家族法の基礎知識(相続) 10. 家族法の基礎知識(相続) 11. 契約一般の基礎知識(契約上の注意点、無効、取消し) 12. 契約一般の基礎知識(代理、契約解除に必要な条件) 13. 訪問販売・割賦販売の基礎知識(消費者契約法、クレジット) 14. 訪問販売・割賦販売の基礎知(特定商取引法) 15. 電子取引上の契約とホームページ 16. 定期試験				講義	生駒正文
教科書 1	法学講義(第1章、第4章、第5章 利用) 著者:生駒正文 出版社:ビジネス実務法研究所							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	経営学総論				履修期	2021年度 春学期		
担当者	姜 明求					NO.	SS-BU-1-103	
配当学科	経営社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	「経営学の全体像の理解」がテーマである。到達目標は、この講義を通じて経営学の基礎知識、企業に関する基礎知識を習得し、それを活用して経営学の用語の説明、応用ができるようにすることが目標である。また、経営学の全体像を理解することを目標とする。さらに、次のような能力が養成されることを目標にする。教科書と資料を読み、調べることによって、読む力、調べられる力が養われる。企業経営の仕組みを調べて、それを整理し、まとめる力を涵養する。さらに、講義の内容について質問をし、それに答える訓練を通じて考える力とコミュニケーション能力が養われる。							
概要	講義概要と目的は次のとおりである。経営学は社会科学の1分野であり、我々が生きていく上で関わりが深い重要な学問である。本講義では、経営学に関する基礎的な概念と理論を中心にとりあげ、わかりやすく解説し、それを理解することを狙いとする。講義内容は、株式会社の仕組み、日本の雇用制度、競争戦略のマネジメント、組織構造のマネジメントなどである。また、講義は教科書を中心に進行し、必要に応じて参考資料を配布する。皆様はこの講義を通して経営学の基礎的な知識を学び、それを活用することができる。ビデオ教材も活用する。							
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。							
履修条件・注意事項	教科書購入。積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。教科書あるいは配布した資料を事前によく読むこと。また、毎回復習をして、自分のものにしておくこと。							
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。							
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.企業経営の全体像 3.経営学の全体像 4.株式会社の仕組み 5.日本の雇用制度の仕組み 6.ケースの研究 7.競争戦略のマネジメント 8.多角化戦略 9.組織構造のマネジメント 10.組織構造のマネジメント 11.ケースの研究 12.キャリアデザイン 13.情報システムと事業の仕組み 14.経営学の広がり 15.全体のまとめ 16.単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜					
教科書 1	1からの経営学(第2版) 著者:加護野忠男・吉村典久 編著 出版社:中央経済社							
教科書 2								
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。							
参考書 2								

授業科目名	英会話 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	ジョン・フォーセット					NO.	SS-BU-1-104
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	To work together to learn words that help us tell people about Japan, its culture, and its people and learn about other cultures. To go beyond 'delicious' and 'beautiful' and 'hot'. Above all to develop our ability to listen to and understand opinions expressed about Japan and other cultures.						
概要	We will research different things about Japan and other countries. Listen to people speaking about the country and evaluate their opinions. We will learn words to talk about and respond to them. Also we will learn how to give people our original opinion.						
評価方法	Class 60%: participation 20%, effort 20%, product 20% Exam 40%						
履修条件・注意事項	There will be regular vocabulary and listening quizzes so be careful to practice daily. Sometimes there will be presentations again outside practice is necessary.						
自己学習	Decide what you want to say and practice saying it. Exact vocabulary is vital; make your own study sets and system. Check with the teacher if your selection is good or not.						
オフィスアワー	1700-1800 except Fridays						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1 Weather 2 Land 4 Wildlife 5 Jungle? 6 Fruits and flowers 7 People 8 Houses 9 Work 10 City life 11 Country life 12 Anime and cartoons 13 Religion 14 Food 15 In the world			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット フォーセット
教科書 1	We will research and create our own materials.						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	韓国語 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-1-106	
配当学科	経営社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	韓国語の文字構成(子音・母音)と音素、音節の構成原理(子音と母音の組み合わせ)を基礎から身に付け、読み書き能力を体系的に学習する。また、韓国語と関連する社会、文化、歴史、慣習などの背景をも学習する。最終的には、基礎文法や日常生活表現による自己紹介文の作成を目標とする。この講義を受講すれば、日本に隣接する韓国の社会や文化が理解できる。また、コミュニケーション・スキルとともに、韓国の友達がつくれ、しかも韓国への一人旅もできる。							
概要	日本に近接する韓国を理解するために必要な言葉を身に付けることは、最も有効な方法の一つである。特に、言語学的に類似性を持つ日本語と韓国語は、韓国語を学習する日本人にとって有利な側面が多い。この講義では韓国の理解に必要な初級レベルの会話とその背景を学習する。							
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。							
履修条件・注意事項	(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受ける必要がある。							
自己学習	(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。(2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。							
オフィスワ-	毎週水曜日4時限目(9304研究室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
1.オリエンテーション 2.ハングルの子音と母音 3.子音と母音(読み書き) 4.子音と母音の組み合わせ 5.子音と母音の発音 6.私はチャンジウンと言います。 7.練習問題(挨拶) 8.私は韓国人ではありません。 9.練習問題(職業の単語) 10.韓国語は面白いですか。 11.練習問題(趣味の言葉) 12.週末に何をしますか。 13.練習問題(食べ物の単語) 14.授業は何時からですか。 15.練習問題(花と木の単語) 16.定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李						
教科書 1	親しくなれる韓国語 著者:崔瑞ヒョン 出版社:白帝社 ISBN:978-4-86398-123-2 C3087							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	韓国語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-1-107
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>実践韓国語Ⅰで学習したハングル(子音、母音)、基礎文法、日常生活会話を中心に、各テーマに対応できる実践会話を身に付けさせる。また、各テーマに関連する韓国の様々な情報や状況などについて理解を深めながら、中級レベル会話習得を目標とする。</p> <p>この講義を受講すれば、日本に隣接する韓国の社会と文化が理解できる。また、コミュニケーション・スキルとともに、韓国の友達がつくられ、しかも韓国への一人旅もできる。</p>						
概要	<p>日本と韓国は、古来より密接な関係にあったと言われている。この授業の前半部では、韓国の社会、文化、歴史、慣習などの内容と関連する初級レベルの会話を中心に学習する。また、教科書に登場する各テーマに応じた背景知識について意見交換を行う。後半部では、韓国の時事的関心事について自分の意見を自ら提示できる中級レベル会話を習得するため、必要とされる多様な背景を提供して意見交換を行う。</p>						
評価方法	<p>定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。</p>						
履修条件・注意事項	<p>(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。</p>						
自己学習	<p>(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 (2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。</p>						
オフィスアワー	毎週水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.このがばんはいくらですか。 3.世界の貨幣とお金の単語 4.運伝できますか。 5.外国語表記 6.韓国の食べ物が好きですか。 7.体の単語 8.南大門市場まで遠いですか。 9.形容詞の反対語 10.写真を撮って下さい。 11.家族の呼称 12.どちらのご出身ですか。 13.場所の単語 14.夏休みに韓国へ行きました。 15.十二支と動物の単語 16.定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李
教科書 1	親しくなる韓国語 著者: 崔瑞ヒョン 出版社: 白帝社 ISBN: 978-4-86398-123-2 C3087						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	韓国語Ⅲ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	崔 瑞玟					NO.	SS-BU-2-108
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「韓国と韓国語の理解」がテーマである。到達目標は真面目に学習すれば、日常会話、文章の書き、新聞やドラマなどで使われる韓国語が聞き取れることができるようにすることである。また、韓国・韓国語の勉強が楽しめるようにすること。						
概要	講義概要と目的は次の通りである。日本に近接する韓国を理解するために言語を身につけることは、最も有効な手段の1つである。 この講義では、中級レベルの会話とビジネスの言葉について学習する。講義の内容は、初級の学習内容を復習しながら、初級から中級へと無理なくステップアップできるようにする。文字、基礎の文法の勉強と共に、状況や場面に応じた自己紹介や家族の紹介、出会い、食事、ビジネスの言葉、などの内容をわかりやすく説明する。また、講義では韓国の社会、文化、歴史、習慣などについても学習する。 この科目は外語学院などにおいて語学講師としての実務経験のある外部講師が担当しており、その経験を活かし、韓国語のより実践的な語学の勉強ができる授業を実施する。						
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験まで見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	教科書購入。積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。教科書あるいは配布した資料を事前によく読むこと。また、毎回復習をして、自分のものにしておくこと。日頃から、韓国、韓国語に関心を持つこと。						
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。						
オフィスアワー	授業終了後に教室で実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.名詞+です 3.名詞の否定文 4-6.ます+です 7.数詞(漢字語数詞) 8.数詞(固有語数詞) 9.中間テスト 10-12.ㄹ体(縮約形) 13-14.過去形 15.全体のまとめ 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	崔 崔 崔 崔 崔 崔 崔 崔 崔 崔
教科書 1	一人で学ぶ韓国語 著者:崔ソヒョン 出版社:白帝社						
教科書 2							
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	日本語と日本事情				履修期	2021年度 春学期	
担当者	片山 章郎					NO.	SS-BU-1-109
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>外国人留学生在が日本の生活について学びながら、日本と日本語についての造詣を深める。そのために、</p> <p>①語彙を広げる(特に外国人にとって分かりにくい言葉)</p> <p>②N2レベルの日本語の表現を理解する。</p> <p>③文章の主題把握力を養う。</p> <p>④日本で暮らすうえでの知識を身に付ける。</p> <p>⑤日本で暮らす中で、外国人が理解しにくいことを日本語で検討できる。を到達目標とする。</p>						
概要	<p>適宜配布される資料に基づいて、日本語や日本事情を理解する。また、小テストやアクティブ・ラーニング形式の授業を実施することで理解を深めるだけでなく、文章の主題を把握したり、語彙を広げたりもする。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:この科目は留学生別科で日本語教育と日本事情の授業を実施してきた教員が担当。</p>						
評価方法	単位認定試験(70%)と小テスト(30%)により総合的に評価する。小テストは次の授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	<p>日本で生活していることで、関心を持ったことや日本語に難しさを感じたことをアクティブ・ラーニング形式の授業で積極的に発言してください。</p> <p>小テストやアクティブ・ラーニング形式の授業が多いので、やむを得ない事情以外では欠席しないでください。</p>						
自己学習	配布資料に対して予習(30時間)と復習(30時間)をすること。特に、小テストは採点后に返却するので、復習をしっかりとすること。また、その復習が次の小テストの予習にもなる。						
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火・水曜日の4時限に実施する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. N2レベルの語彙①(基礎)		講義	片山				
2. N2レベルの語彙②(応用)		講義	片山				
3. ファストフードについて		講義	片山				
4. 自転車と道交法について		講義	片山				
5. ロボットとAIについて(小テストあり)		講義	片山				
6. ロボットとAIについての検討							
7. 単純な日本語クイズ		講義・AL	片山				
8. リサイクルについて(小テストあり)							
9. リサイクルについての理解		講義	片山				
10. 民泊について(小テストあり)		講義	片山				
11. 民泊についての理解							
12. 方言について(小テストあり)		講義・AL	片山				
13. 日本語の難しさについて		講義	片山				
14. 思考力が必要な日本語クイズ							
15. 総復習		講義・AL	片山				
16. 単位認定試験		講義	片山				
		講義	片山				
		講義・AL	片山				
		講義	片山				
		筆記試験	片山				
教科書 1	初回授業時に作成資料を配布。						
教科書 2							
参考書 1	プリントを適宜配布。						
参考書 2							

授業科目名	ビジネス日本語Ⅰ					履修期	2021年度 秋学期			
担当者	片山 章郎						NO.	SS-BU-1-110		
配当学科	経営社会				年次	1				
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義			
テーマと到達目標	留学生を対象にして、日本のビジネスの現場で求められる日本語力の基礎を養う。 そのために、 ①ビジネスの現場に必要な用語 ②ビジネスメールの作成 ③ビジネス文書の作成 ④電話の受け答え ができることを到達目標とする。									
概要	ビジネスの現場に必要な用語や電話対応に対しては、ロールプレイング形式を導入した授業を実施する。また、ビジネスメールやビジネス文書の作成は社内と社外に対応した作成方法を学んだうえで、教員から出される課題に対して学生自身がメールの本文や文書を作成する。作成は日本語力を向上させるために、手書きで行う。手書きで作成したメールの本文や文書は教員に提出し、教員はチェック後に学生に返却する。返却後はアクティブ・ラーニング形式で学生同士が協働学習をすることで理解を深める。 ※実務経験のある教員による授業科目:この科目は会社の電算部でコンピュータの実務経験があり、かつ留学生別科で日本語教育を経験した教員が担当する。									
評価方法	単位認定試験(60%)、課題文書の内容(20%)、ロールプレイング時の対応(20%)により総合的に評価する。提出された課題文書は授業でフィードバックする。									
履修条件・注意事項	授業はロールプレイングやアクティブ・ラーニングを中心 to 実施するので、欠席すると授業の中身がわからなくなる。そのため、やむを得ない理由以外で欠席しないこと。									
自己学習	初回授業で配布されたマニュアルに基づいて予習を30時間はしておくこと。また、授業は前回の積み重ねであるため、復習を30時間はすること。									
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。									
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
					1. オリエンテーション 2. 基礎的なビジネス用語 3. 会社組織と役割分担 4. 主な仕事の流れ 5. 敬語(基本用語) 6. ビジネスメールの作成 7. ビジネスメールの理解度の確認 8. 社内文書の作成(会議連絡) 9. 社外文書の作成(案内状) 10. 文書作成の理解度の確認 11. 電話のかけ方と受け方の基礎知識 12. 電話のかけ方(ロールプレイング) 13. 電話の受け方(ロールプレイング) 14. ビジネス会話(ロールプレイング) 15. 総復習 16. 単位認定試験			講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山	
教科書 1	初回授業時にマニュアル(作成配布資料)を配布									
教科書 2										
参考書 1	随時プリントを用意する。									
参考書 2										

授業科目名	ビジネス日本語Ⅱ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	片山 章郎					NO.	SS-BU-2-111
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>留学生を対象にして、日本での就職活動や日本のビジネスの現場で求められる日本語力を養う。そのため、</p> <p>①社内業務の知識 ②クライアント(顧客)に出すメールや文書の作成 ③クライアント(顧客)電話での対応 ④クライアント(顧客)への直接対応 ⑤履歴書の書き方 ができることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>ビジネス日本語Ⅰに引き続き、ロールプレイング形式やアクティブ・ラーニング形式を導入した授業を実施する。また、ビジネスメールや社外文書はクライアント(顧客)にアプローチする内容の作成方法を学んだうえで、教員から出される課題に対して学生自身が履歴書、メールの本文、文書を作成して、教員に提出する。作成は日本語能力を向上させるために、手書きで行う。提出された課題は教員がチェック後に学生に返却し、学生同士の協働学習を通じてふさわしいものにする。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:この科目は会社の電算部でコンピュータの実務経験があり、かつ留学生別科で日本語教育を経験した教員が担当する。</p>						
評価方法	単位認定試験(60%)、課題文書の内容(20%)、ロールプレイング時の対応(20%)により総合的に評価する。提出された課題文書は授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	ビジネス日本語Ⅰに引き続いて開講する科目なので、ビジネス日本語Ⅰを履修した留学生が履修すること。授業はロールプレイングやアクティブ・ラーニングを中心に実施するので、欠席すると授業の中身がわからなくなる。そのため、やむを得ない理由以外では欠席しないこと。						
自己学習	初回授業時に配布されたマニュアルに基づいて予習を30時間、復習を30時間はすること。						
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火・水曜日の4時限に実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 敬語(応用用語) 3. クライアントへのビジネスメールの作成 4. 社外文書の作成 5. クライアントへのメールと文書の理解 6. ビジネスマナー(挨拶も含む)について 7. 電話の対応の確認 8. クライアントからの通常の電話の受け方(ロールプレイ) 9. クライアントからの緊急・苦情電話の受け方(ロールプレイ) 10. クライアントへの電話のかけ方(ロールプレイ) 11. クライアントとの直接対応 12. エントリーシートや履歴書のポイント 13. 履歴書を書く 14. 履歴書の書き方の理解 15. 総復習 16. 単位認定試験		講義 講義・AL 講義 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義 筆記試験	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山				
教科書 1	ビジネス日本語Ⅰで使用したマニュアル(作成配布資料) 本授業の初回授業時に配布するマニュアル(作成配布資料)						
教科書 2							
参考書 1	随時プリントを用意する。						
参考書 2							

授業科目名	インターンシップ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	井勝 久喜、稲元 洋輔					NO.	SS-BU-3-112		
配当学科	経営社会				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	講義		
テーマと到達目標	「実社会を経験し、有意義な大学生活を送る」をテーマとして、企業における実習を経験し、社会人としての基礎知識を身につけるとともに、その後の大学生活を有意義に送るためにはどうすればよいか、自分で考え、自分で行動できる能力を身につけることを到達目標とする。								
概要	就職した大学生のうち、30%が3年以内に会社を辞めるという事実。政府はフリーターを正しい職業に就かせるために、意識を変えるための措置を考えているがままならない。大学のうちに社会、民間企業とのコラボレーションをとりながら企業との接点を持ち、実社会への興味を喚起させるため、また若者の自由で、柔軟な発想で企業を活性化させる目的でインターンシップを行う。授業は、基礎知識やマナーを修得するための講義と、実際に企業に出向いて行う実習により構成されている。この授業では一部講義において、実務経験のある企業の方を招き社会人としてのマナーなどについて講義を行い学生の理解を深める。また、実習においては実際に企業で就業体験を行う。								
評価方法	実習評価(40%)、実習報告書(30%)、インターンシップ報告会での報告(30%)を合わせて総合的に評価する。								
履修条件・注意事項	初回から必ず参加のこと。講義の欠席者は補講を受けなければ実習に参加することができない。企業での実習を休んだ場合には、再実習を行わないと単位を認定しない。								
自己学習	講義においては、毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。インターンシップ実習では実習内容を予習してから実習に望むこと。また、毎日振り返りシートを記載するので、担当者から受けたコメントを復習すること。								
オフィス	研究室(14601号室)にて木曜日5時限に実施								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	インターンシップの説明		講義	井勝・稲元					
第2回	インターンシップの手続き		講義	井勝・稲元					
第3回	業界・企業研究		講義	外部講師					
第4回	志望動機の書き方		講義	外部講師					
第5回	ビジネスマナー		講義	外部講師					
第6回	☑インターンシップ実習(企業により内容が異なる)		実習	外部講師					
第7回	☑インターンシップ実習(企業により内容が異なる)		実習	外部講師					
第8回	☑インターンシップ実習(企業により内容が異なる)		実習	外部講師					
第9回	☑インターンシップ実習(企業により内容が異なる)		実習	外部講師					
第10回	☑インターンシップ実習(企業により内容が異なる)		実習	外部講師					
第11回	☑インターンシップ実習(企業により内容が異なる)		実習	外部講師					
第12回	☑インターンシップ実習(企業により内容が異なる)		実習	外部講師					
第13回	☑インターンシップ実習(企業により内容が異なる)		実習	外部講師					
第14回	☑インターンシップ実習(企業により内容が異なる)		実習	外部講師					
第15回	☑インターンシップ実習(企業により内容が異なる)		実習	外部講師					
第16回	☑インターンシップ報告会		試験	井勝・稲元					
教科書 1	インターンシップの手引きを配布する								
教科書 2									
参考書 1	インターンシップ 著者:古閑博美(編著) 出版社:学文社 ISBN:4-7620-1064-2								
参考書 2									

授業科目名	簿記 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-1-201		
配当学科	経営社会				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	「簿記の全体像の理解」がテーマである。この授業は簿記について知識がまったくなくても初学者が学びやすい入門講義であり、簿記の専門用語と基本的な事項を理解することが目標である。 しかし、専門用語が多く出る分野でもあり、日本語に自信のない学生は、日本語に習熟してから受講するようにしてください。								
概要	この授業では、簿記の原理、貸借対照表、損益計算書、取引、仕訳（取引例①②）、小切手、現金過不足、当座預金、当座借越、小口現金、返品、付随費用、前払金と前受金、商品券、有形固定資産の取得、減価償却、有形固定資産の売却、貸付金と借入金、未収入金と未払金、仮払金と仮受金、立替金と預り金などについて講義する。 簿記は技術であるので、単に教科書を読むだけでは不十分である。実際に手を動かして、電卓を活用して、体で覚えて初めて使いこなせるようになるので、配布する問題を自分で解くなど積極的な姿勢が求められる。								
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって総合的に評価する。 テストは持ち込み不可です。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験まで見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	簿記は通常使用している日本語とは異なる専門用語を多用します。日本語を母語とする者にも難しいものです。ある程度日本語能力を身に付けてから受講してください。 授業には積極的な姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、居眠り、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。出席も重要ですので休まないようにすること。配布資料は事前によく読み、自分の考えを用意しておくこと、また毎回予習と復習を心掛けること。 (電卓持参)								
自己学習	毎回授業の前後に予習(2時間)と復習(2時間)をするための課題を指示する。								
オフィスワ-	研究室、火曜日4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 簿記とは 2. 商品売買、決算 3. 現金、預金 4. 売買、原価 5. 手形、貸付金・借入金 6. 固定資産、経費 7. 仮払金・借受金、純資産 8. 決算、決算整理仕訳① 9. 決算整理仕訳② 10. 原価償却、貸倒引当金 11. 在庫、消費税、法人税等 12. 税金の復習 13. 余剰金、帳簿 14. 精算表 15. 総復習 16. 試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡					
教科書 1	スッキリわかる 日商簿記3級 第12版 [テキスト&問題集] 著者:滝澤 ななみ 出版社:TAC出版 ISBN: 978-4813296126								
教科書 2									
参考書 1	ホントにゼロからの簿記3級 著者:ふくしままさゆき 出版社:Kindle電子書籍								
参考書 2									

授業科目名	消費と社会			履修期	2021年度 春学期		
担当者	小田 淳子					NO.	SS-BU-1-203
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「大量消費・大量廃棄の現代社会が抱える環境諸問題に対応してライフスタイル変革のあり方を考察する」ことをテーマとする。利便性を追求する現代社会の生活様式と環境負荷との関わりについて深く学び、地球環境の保全と生活環境の改善に向けて社会・個人の各立場で取るべき生活スタイルの変革を理解する。日常生活の中の環境負荷や資源の浪費等について強い問題意識を持ち、環境配慮型生活を送るための実践力を身につけることにより、環境倫理や社会的責任への意識が高まるようになることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>大量消費の進む今日の社会と環境との基本的な関わりを理解することは、山積する環境問題の課題解決の基本である。環境問題は人間環境や社会環境、文化等にどのような影響と変化を生じさせているのか、環境問題から発生する負荷低減に向けて社会の仕組みがどのように動いているのかを理解する。講義の進め方として、消費社会(企業、国民、事業所、地域)をテーマに4課題を設定する。最近の環境問題を掲載した新聞記事事例(例:森林資源と消費社会)から、概要を理解し課題や討論へ進める。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、消費生活及び環境分野の行政に多年間携わった、実務経験のある教員が担当する。</p>						
評価方法	<p>環境倫理や社会的責任への意識が高まるようになることを到達目標とすることから、特に、毎回の授業で取り組み姿勢、課題作成、成果まとめに重点を置く。併せて、知識習得確認の定期試験結果を行い、総合的な評価とする。具体的には、取り組み姿勢(20%)、課題資料の作成とまとめ(30%)、定期試験(50%)で総合的に評価する。なお、課題は授業でフィードバックを行うので、見直して完成すること。</p>						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 講義の開始後の遅刻、履修中の私語・独り言は履修妨害となるので、注意すること。 講義のなかで、質問や課題によって、理解度のチェックを行う。 <講義資料の活用について> UNIVERSAL PASSPORTの「課題提出」欄で、講義プリントの掲示を行う。 講義当日にも、プリントを配布しながら、視覚的に進める。 講義前後で、予習復習を心がける。(留学生は日本語力のアップのため)。 ONLINE時には、講義資料、課題レポートのデータファイルをUSBやPC内に保存すること。 課題提出は期限設定をするので、十分に余裕を持って対応のこと。 						
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> 講義プリントの指示に従って、復習で必ず課題を完結させておくこと。 参考書や新聞報道記事を活用して、日頃から情報収集と自己学習をすること。 授業の出席だけでは単位は取れないので、各2時間程度の予習、復習が必要である。 						
オフィスワ-	講義後の時間に適宜、受付ける。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 講義ガイダンス・環境関心度 2. 消費生活の変遷 3. 循環型社会における消費生活 4. 消費生活とごみ問題 5. 地域のごみ問題と発生する課題 6. リサイクル社会と分別表示 7. 商品の分別表示を知ろう 8. 消費社会における森林の役割 9. 森林保全の環境問題の現状 10. 環境配慮の行動:企業取り組み 11. 環境配慮の行動:大学取り組み 12. 環境配慮の行動:日常生活 13. 環境配慮社会を考える 14. 環境配慮のあり方(発表) 15. 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL 筆記試験	小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田					
教科書 1	テーマ毎に、毎回プリントを配布する。						
教科書 2							
参考書 1	<p>エコライフを実践する 著者: 杉山久仁子 出版社: 丸善(株) ISBN: 4-621-07247-1</p>						
参考書 2	<p>ごみ問題とライフスタイル 著者: 高月 紘 出版社: 日本評論社 ISBN: 4-535-04828-2</p>						

授業科目名	環境経営概論				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井勝 久喜					NO.	SS-BU-1-204	
配当学科	経営社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	「戦略的環境経営の必要性と意義」をテーマとして、地球環境と企業経営の関係性を学び、なぜ環境経営が必要なのかということについて考える。環境と経済及び環境経営の方法論の概要を学ぶことにより、2年次以降の専門科目に円滑につながる能力を身につけることを到達目標とする。							
概要	なぜ、企業は環境に配慮した経営をしなければならないのか、持続可能な人類社会を築くために環境経営が必要なことを、環境問題発生の原因と関連づけて理解する。さらに、持続可能な企業経営における、企業の社会的責任と環境経営戦略の概念と重要性について理解するとともに、環境経営の具体的内容について概要を講義する。							
評価方法	試験(50%)、発言などの授業中の学び(30%)、課題レポート(20%)、で評価する。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には、減点することもある。また、参加型学習法であることから、授業態度を重視する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。課題レポート等は採点して授業でフィードバックするので見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	1) 初回の講義には、必ず出席すること。 2) 評価方法でも示したとおり、出席と授業での学び重視しているので、授業を休まないようにすること。							
自己学習	1) 講義と参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。次の授業までに必要な予習の内容については授業時間中に指示する。 2) 指示に従って、必ずノートを作成し復習をすること。 3) 途中ではBRD(Brief Report of the Day: 当日ブリーフレポート)学習法により授業を行うので、予習が必須である。その場合、前週に資料を配布するので、しっかり読み込んで、不明な点は調べてくること。 予習と復習には各2時間程度を要する。							
オフィスワ-	研究室(14601号室)にて水曜日5時限に実施							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			第1回	環境問題と経済社会	講義・BRD	井勝		
			第2回	環境の価値	講義・BRD	井勝		
			第3回	経済理論概要	講義・BRD	井勝		
			第4回	環境と経済	講義・GW	井勝		
			第5回	経済的見解と環境破壊	講義・GW	井勝		
			第6回	エコロジカルフットプリント	講義・GW	井勝		
			第7回	豊かさの概念				
			第8回	経済と豊かさと環境	講義・GW	井勝		
			第9回	環境経営の歴史的背景(世界の動き)	講義	井勝		
			第10回	環境経営の歴史的背景(日本の動き)	講義	井勝		
			第11回	環境経営手法概要				
			第12回	環境経営手法各論	講義	井勝		
			第13回	環境経営と社会的ジレンマ	講義	井勝		
			第14回	戦略的環境経営	講義・BRD	井勝		
			第15回	環境経営用語の理解	講義・BRD	井勝		
			第16回	試験	講義 筆記試験	井勝		
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	実践環境経営論 著者: 堀内行蔵 / 向井常雄 出版社: 東洋経済新報社 ISBN: 4-492-50156-8							
参考書 2								

授業科目名	マーケティング入門				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-1-205		
配当学科	経営社会				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>「企業におけるマーケティング重要性の理解」がテーマである。到達目標は、この講義を通じてマーケティングの基礎知識を習得し、それに基づいてマーケティングの基本概念を説明できるようにすることが目標である。また、マーケティングの全体像を理解することを目指す。さらに、次のような能力が養成されることを目標とする。丁寧に講義のノートをとることにより、聴く力、書く力、整理・まとめる力が養われる。また、教科書と資料を読み、調べることによって、読む力、調べる力が身につけられるとともに、情報処理力、計画力、分析力、判断力が養われる。さらに、講義の内容に質問をし、それに答える訓練を通じて考える力とコミュニケーション能力が養われる。</p>								
概要	<p>講義の目的と概要は次のとおりである。マーケティングは広い意味での企業における経営活動の一部であるが、企業にとってマーケティングは重要な部分である。つねに、企業は売ることの課題に取り組む必要がある。企業の利益は、製品やサービスを消費者に売るところから生まれるからである。では企業活動の中でマーケティングとはどのように位置付けられ、どのような役割を担っているのだろうか。講義では、マーケティングの基本についての学習と問題意識を高めることを目的にする。講義では、従来のマーケティング分野に加えて近年注目されている行動経済学の諸研究も交えて、市場を作る側とそれを選択する側、両方の側面から学修していく。</p>								
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。								
履修条件・注意事項	積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。教科書あるいは配布した資料を事前によく読むこと。また、毎回復習をして、自分のものにしておくこと。								
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。								
オフィスアワー	研究室、火曜日4時限。								
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者	
			1.オリエンテーション 2.マーケティングとは 3.マーケティングの基本 4.製品のマネジメント 5.価格のマネジメント 6.広告のマネジメント 7.チャネルのマネジメント 8.市場の確認 9.コンセプト開発 10.サプライチェーン 11.消費者の行動 12.顧客関係 13.ブランド 14.企業の社会的責任 15.全体のまとめ 16.単位認定試験				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡	
教科書 1	1からのマーケティング(第4版) 著者:石井淳蔵・廣田章光・清水信年(編著) 出版社:碩学舎 ISBN:978-4-502-32771-1								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	リーダーシップと経営者			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	姜 明求				NO.	SS-BU-1-206	
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	経営者のリーダーシップを理解するのがテーマである。この科目の到達目標は多様な仕事内容や経営者の実像を把握できるようにすると共に将来のリーダーとして、どのように自分を育成していくかを理解すること。また、地域に愛着心を持つと共に地域産業の実態を知ってもらうことを目標とする。						
概要	この科目は高梁市商工会議所の協力により、実務経験を持つ企業の経営者などを外部講師に招き、経営者としてのリーダーシップのあり方や、事業や仕事に携わった経験を活かして、講義し、学生の理解を深める。講義は、毎回外部から講師を招聘して講義をする。外部の特別講師の場合は都合によっては変更可能である。高梁商工会議所の会員の外部講師による講演を通じて、実際のリーダーシップの理解と共に地域企業の取り組み等を紹介する。						
評価方法	授業態度・貢献度・感想文(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。						
履修条件・注意事項	積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。配布した資料を事前によく読むことと共に外部講師の話を静かに良く聞くこと。						
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.人づくり、町づくり、仕事づくり 3.田舎商売 4.時代とともに変わるプロモーション戦略 5.100年企業として地域に必要な存在で有り続けるために 6.信用金庫の業務と備北信用金庫の経営方針 7.仕事と私 8.想像力で自分を生かす 9.中小企業の経営者 10.経営者2年生の奮闘記 11.信頼され続ける会社になるために 12.中小企業の経営者 13.メディアを通して地域を見る 14.ガンリンスタンドの今 15.電気事業の状況と中国電力の取り組みについて 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 姜 外部講師 外部講師 姜 外部講師 外部講師 外部講師 姜
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	予習ができるように講義時に参考書・資料などを事前に適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	経営管理論			履修期	2021年度 春学期			
担当者	姜 明求					NO.	SS-BU-2-207	
配当学科	経営社会			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	「企業経営において経営管理の全体像の理解」がテーマである。到達目標は、この講義を通じて経営管理論の基礎知識を習得、経営管理論の重要性を認識し、経営管理論の概念を説明、応用できる力を身につけるとともに、経営管理論の全体像を理解することを目標とする。また、次のような能力が養成されることを目標にする。丁寧に講義内容のノートをとることにより、聴く力、書く力、整理・まとめる力が養われる。また、教科書を読み、資料を読み、調べることによって、読む力、調べる力が身につけられるとともに、情報処理力、分析力、判断力が養われる。さらに、講義の内容について質問をし、それに答える訓練を通じて考える力とコミュニケーション能力が養われる。							
概要	講義目的と概要は、以下の通りである。現代は経営管理の時代であり、組織の時代である。学生諸君の身近なところでは、学園祭にも、クラブやサークルにもマネジメントが存在する。受講者の皆様も就職して10,20年程度経つと管理者、経営者になる。講義では、科学的管理法、人間管理論、動機づけとリーダーシップ論などを講義する。また、企業経営問題のさまざまな側面について、具体的な事例を活用して経営に関する基礎的な理論をわかりやすく解説し、それを理解させる。ビデオ教材も活用する。							
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。							
履修条件・注意事項	教科書購入。積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。教科書あるいは配布した資料を事前によく読むこと。また、毎回復習をして、自分のものにしておくこと。							
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。							
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.経営管理論とはなにか 3.科学的管理法 4.科学的管理法の限界 5.管理過程論と官僚理論 6.人間関係論 7.人間関係論 8.動機づけ論 9.リーダーシップ論 10.経営組織論 11.組織構造と戦略 12.新しい組織の流れ 13.ケースの研究(トヨタ) 14.ケースの研究(トヨタ) 15.全体のまとめ 16.単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜					
教科書 1	経営管理論の基礎 著者:姜 明求 出版社:ふくろう出版							
教科書 2								
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。							
参考書 2								

授業科目名	国際マーケティング論				履修期	2021年度 春学期	
担当者	姜 明求					NO.	SS-BU-2-208
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「グローバル市場においてグローバル企業の全体像を理解」がテーマである。到達目標は、日本、米国、韓国の事情、企業の経営特徴に関する知識を習得し、それぞれの国の経営について説明と応用ができるようにすることである。また、グローバル戦略論の全体像を理解することを目指す。さらに、次のような能力が養成されることを目標にする。丁寧に講義のノートをとることにより、聴く力、書く力、整理・まとめる力が養われる。また、教科書と資料を読み、調べることによって、読む力、調べる力が身につけられるとともに、情報力、計画力、分析力、判断力が養われる。さらに、講義の内容について質問をし、それに答える訓練を通じて考える力とコミュニケーション能力が養われる。						
概要	講義の目的と概要は次のとおりである。世界的なレベルで、企業や社会のグローバル化が急速に進展している。すなわち、ポータレス時代あるいはグローバル時代といわれ、国境を超えた企業の活動が盛んになっている。グローバル化をしている企業がどのような仕組みで管理を行っているのか、またグローバル化した企業がどのような問題に直面し、どのように克服しようとしているのか、といったことを学習する。また、日本企業の重要な活動地域の東南アジア、中国、米国の地域事情をわかりやすく説明する。 本講義では、多国籍企業の経営、定義、国際経営戦略、海外子会社の経営、組織戦略、外資系企業などの課題についてわかりやすく説明する。 また、日本企業の具体的な事例に基づきながら、基礎的な知識の理解を深めるとともに、これらについての問題意識を高めることを目的に講義する。さらに、ビデオ教材も活用する。						
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	教科書の購入。積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。日頃から、新聞、雑誌などを読んでグローバル化をしている日本企業に関心を持つこと。教科書あるいは事前に配布した資料を読むこと。また、毎回復習をして自分のものにしておくこと。						
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.多国籍企業の経営 3.多国籍企業の経営の特徴 4.東南アジア・中国と日本企業 5.国際経営戦略 6.国際マーケティングと地域(東南アジア、中国、米国) 7.国際マーケティングと地域 8.海外生産と技術移転(東南アジア、中国、米国) 9.国際経営組織と所有政策 10.米国と日本企業 11.海外子会社の経営 12.外資系企業 13.グローバル経営 14.グローバル経営 15.全体のまとめ 16.単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜				
教科書 1	国際経営(第4版) 著者:吉原 英樹 出版社:有斐閣アルマ						
教科書 2							
参考書 1	講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	日本経済論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-2-210
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この講義は、日本経済に関する基礎的知識とその実体的事実関係を分析して理解することに重点を置く。そして、日本経済の特徴は、日本型対アメリカ型という単純な比較ではなく、日本経済の現状をさまざまな立場や観点から客観的かつ具体的に取り上げて、多面的に捉えてゆく。この講義内容のポイントは、日本経済の捉え方と日本経済の軌跡を分析し説明する。この講義を受講すれば、日本経済の実体に関する基本的な見方や仕組み、そして日本経済の軌跡などが理解でき、また経済知識を活かすことができる。しかも、さまざまな経済現象をめぐる論理的思考・理解の能力と問題の発見力、そしてその問題の解決力を身に付けることができる。						
概要	<p>これまでの日本経済は、規制や協調と競争の絶妙のバランスの上で成り立って成果を上げてきたが、21世紀前後のIT革命の進歩や経済のグローバル化の進展、そして人口の少子高齢化などにより、日本型経済構造の変革を余儀なくされてきた。一方、小さな政府や自由競争を基盤とするアメリカ型資本主義にも大きな修正が加えられた。本講義では、日本型対アメリカ型といった単純な対比で捉えずに分析し説明する。</p> <p>この講義の前半部は、日本経済の捉え方をはじめ、日本経済の仕組みや日本経済の現状と課題などを取り上げて説明する。そして後半部の現実経済の分野では、日本経済の復興期、高度成長期、低成長期、バブル経済期、長期不況と日本再生への模索期、そして東日本震災とアベノミクス期などに分けて説明する。</p>						
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。						
履修条件・注意事項	(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。(2) 単位認定試験を行うので、必ず受ける必要がある。						
自己学習	(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。(2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。						
オフィスワ-	毎週水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.日本経済の捉え方 3.現代経済の仕組み 4.日本経済の姿 5.日本経済の課題 6.日本経済の歩み 7.経済復興期(1945-54) 8.高度成長期(1955-70) 9.低成長期(1971-85) 10.資産価格の高騰 11.バブルの崩壊 12.不良債権と金融システム 13.構造改革と日本経済の再生 14.東日本大震災 15.アベノミクス 16.定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李
教科書 1	入門・日本経済(第5版) 著者:浅子和美・飯塚信夫・篠原総一編著 出版社:有斐閣 ISBN:978-641-16456-7 C1033						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	人的資源管理論				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-2-211	
配当学科	経営社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマ:企業経営における人的資源とそのマネジメントについて理解する。 到達目標:人的資源管理の基礎概念を習得し、労働の立場から組織や社会を理解できるようになる。</p>							
概要	<p>本講義は、人的資源管理の基本的な考え方を学ぶことによって、組織を活かし個人も生きるための知的・実践的スキルを身につけることを目指す。また、労働社会学の観点も取り入れ、人の働き方や意識の側面についてもあわせて理解する。まず企業における「ヒト」の管理の問題について、歴史的な視点から基本的知識や理論、事例について解説する。そして、働き方の多様化が進む現代の日本企業についても、事例を用いながら多角的に捉えていく。</p>							
評価方法	授業内での課題やレポート等の提出物(30%)と定期試験(70%)によって評価する。							
履修条件・注意事項	授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。							
自己学習	配布資料や参考書などを読み、予習・復習(各2時間程度)をする。							
オフィスワ-	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1.オリエンテーション 2.企業経営と人的資源管理 3.人的資源管理の機能 4.人間と労働 5.モチベーション 6.リーダーシップ 7.組織構造 8.分業と調整 9.雇用システム 10.人的資源管理の制度(1) 11.人的資源管理の制度(2) 12.職場・労働環境 13.非正規雇用労働者 14.女性労働者 15.まとめ 16.定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元
教科書 1	資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	経験から学ぶ人的資源管理 著者:上林憲雄・厨子直之・森田雅也 出版社:有斐閣ブックス							
参考書 2								

授業科目名	ベンチャービジネスと経済				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	姜 明求					NO.	SS-BU-2-212
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「経済とベンチャービジネスの全体像の理解」がテーマである。到達目標は、この講義を通じてベンチャー企業の重要性を理解するとともに、ベンチャー企業概念の説明ができ、ベンチャー企業の創業と経営ができる知識の習得を高めることにある。また、ベンチャー企業の全体像を理解することを目標とする。さらに、次のような能力が養成されることを目標にする。丁寧に講義内容のノートをとることにより、聴く力、書く力、まとめる力がつく。また、教科書と資料を読み調べることによって、読む力、調べる力、考える力が身につけられるとともに、分析力、判断力を高める。さらに、講義の内容について質問をし、それに答える訓練を通じてコミュニケーション能力を高める。						
概要	講義の目的と概要は次のとおりである。いま世界は新産業の創出への挑戦が不可避であり、起業家活動の重要性が一段と増している。ベンチャー企業の創業は経済発展のエンジンの役割もしている。しかし、日本のベンチャー企業は、その質と量において、米国に比べて劣っている。そこで、日本のベンチャー企業の実態を米国との比較を通じて、詳しく分析することが目的である。 本講義では、まずベンチャー企業の発展を必要とする産業、ベンチャー企業の経済的意義、これまでのベンチャー企業の歴史、ベンチャー企業の起業戦略はどうあるべきか、成長への戦略をいかに立てていくのか、などの課題についてわかりやすく説明する。ビデオ教材も活用し、松下幸之助、本田宗一郎などの経営者たちを取り上げたい。また、講義は、担当教員のみによる講義ではなく、外部から講師も招聘して講義をする。外部の特別講師の場合は都合によっては変更可能である。						
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。教科書あるいは配布した資料を事前によく読むこと。また、毎回復習をして、自分のものにしておくこと。						
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.ベンチャー企業とはなにか 3.日本のベンチャー企業の歴史 4.ベンチャー企業の現状と経営者 5.ベンチャービジネスと経済成長の役割 6.ケースの研究 7.外部講師 8.ビジネスプランの重要性 9.ベンチャー企業の起業戦略 10.アメリカのベンチャー企業の実態 11.ケースの研究 12.外部講師 13.ベンチャー・ビジネス論の課題 14.ベンチャー・ビジネスの成功と未来 15.全体のまとめ 16.単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜
教科書 1	特定の教科書は使用しない。また、資料は必要に応じて講義の中で配布する。						
教科書 2							
参考書 1	予習ができるように講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2	ベンチャー企業論 著者:森谷 正規・藤川影一 出版社:放送大学教育振興会						

授業科目名	知的財産経営概論				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	生駒 正文					NO.	SS-BU-2-213	
配当学科	経営社会			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	知的財産は売上の増加に、知的財産を守るツールである「知的財産権」は利益の確保に貢献するもので、特に技術志向型の企業において、知的財産戦略の重要性は論をまたないところとなっています。そこで、事業経営と知的財産マネジメントの基礎を学ぶ上で、少しでも多くの気づき、考える起点を身につけてほしいと思います。							
概要	今後、日本の将来を担う学生諸君は、「知的財産の創造(技術・農産品)」、「保護(法律)」、「活用(経営・経済等)」の3領域を動かす原動力となる知的財産経営教育の学習が必要とされています。21世紀は、知的財産の時代といわれ、知的財産経営が一段と重視されています。知的財産経営に関する知識は、農産品・技術開発にかかわる各企業にとって、技術・商品化開発を展開するコア技術展開力やマネジメントスキル(知財の力)が必要となり、特に文系学生には経営と知的財産権を保護する視点から、知的財産経営の基礎について理解を深める必要があります。この科目は大阪・藤田特許事務所顧問としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	試験70% 授業態度、意欲30%							
履修条件・注意事項	教科書持参、ノートをとること、考えることを原則に授業に臨むこと							
自己学習	授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと							
オフィスアワー	12:00～13:00 14号館6階(生駒研究室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1.知的財産基礎 知的財産と知的財産権 2..知的財産基礎 知的財産と知的財産権 3.知的財産基礎 知的財産保護制度のあらまし 4.知的財産基礎 知的財産保護制度のあらまし 5.知的財産基礎 知的財産保護制度のあらまし 6.知的財産基礎 知的財産保護制度のあらまし 7.知的財産基礎 知的財産保護制度のあらまし 8.知的財産基礎 知的財産保護制度のあらまし 9.特許実務 特許明細書の基本的書き方(1) 10..特許実務 特許明細書の基本的書き方(2) 11.特許実務 特許出願の手続き 12.特許実務 特許・意匠商標の調査知識 13.知財経営 事業戦略と知財マネジメント 14.知財経営 事業戦略と知財マネジメント 15.知財経営 事業戦略と知財マネジメント 16.定期試験				講義	生駒正文
教科書 1	レジュメ配布							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	経営心理学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	三宅 俊治、崔 瑞玟					NO.	SS-BU-3-214
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	人々が雇用者として、あるいは被雇用者として職に就き、その組織において利潤を追求する目的で仕事に取り組む際に直面する多様な問題を心理学的立場から実証的に捉え、検討し、解決に役立てるための基本的知識を習得するのがテーマである。上記内容の6割以上を理解できるようになる。						
概要	職業集団や組織における個人の心理過程を、経営・組織の意思決定、人事マネジメント、組織内人間関係とコミュニケーション、人材育成と職業的アイデンティティ、ストレスと健康などの観点から、今日的な経済・経営趨勢の中で捉え直すことによって、組織の生産性の向上と個人の職業的充実感に折り合いをつけて、いわゆる「役立つ」人材とは何であるのか、決っていきたい。						
評価方法	定期試験(60%)、課題及びレポート(40%)により総合評価する。予習・復習の証拠として、使用テキストもしくは教材の指定箇所についてのレポートを毎回、授業の開始前に提出してもらう。						
履修条件・注意事項	授業への出席は、教材理解の前提である。私語厳禁。スマホ・携帯電話などの電源は切っておくこと。講義中の飲食はもちろんのこと、机の上の飲食物が目についた場合は、予習・復習点はあてえず、さらに減点する。						
自己学習	予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについてはチェックして返却する)。						
オフィスワ-	毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
①オリエンテーション ②リーダーシップ ③フォロワーシップ ④組織コミットメント ⑤ストレスとメンタルヘルス ⑥心の健康 ⑦経営・組織の意思決定 ⑧人間関係とコミュニケーション ⑨人材教育とキャリア ⑩人事マネジメント ⑪消費者行動の心理学 ⑫広告の心理学 ⑬ファッションの心理学 ⑭分化・環境・経営 ⑮組織神経科学 ⑯定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	三宅俊治 崔 瑞玟 三宅俊治 三宅俊治 崔 瑞玟 三宅俊治 崔 瑞玟 崔 瑞玟 崔 瑞玟 崔 瑞玟 崔 瑞玟 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 崔 瑞玟					
教科書 1	経営・ビジネス心理学 著者:松田幸弘(編) 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:ISBN978-4-7795-1263-6 C3011						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本企業の経営				履修期	2021年度 春学期			
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-3-215		
配当学科	経営社会				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	「日本企業の経営の特徴の理解」がテーマである。到達目標は、日本企業の経営特徴に関する知識を習得し、説明と応用ができるようにすることである。また、グローバル戦略論の全体像を理解することを目標とする。さらに、次のような能力が養成されることを目標にする。丁寧に講義のノートをとることにより、聴く力、書く力、整理・まとめる力が養われる。また、教科書と資料を読み、調べることによって、読む力、調べる力が身につけられるとともに、情報力、計画力、分析力、判断力が養われる。さらに、講義の内容について質問をし、それに答える訓練を通じて考える力とコミュニケーション能力が養われる。								
概要	講義目的と概要は次のとおりである。比較経営学とは、2つ以上の国における経営を比較するものである。つまり、外国企業と比較した場合、日本企業独特の経営を日本的経営という。 日本経済が史上未曾有の高度経済成長を遂げた要因として、日本的経営が高い評価を受けている。しかしながら、バブル経済崩壊に見られるように、日本的経営にも欠陥があるようにも見られている。 本講義では、日本的経営の長所、短所についてわかりやすく説明し、日本企業の経営の特徴を理解させる。ビデオ教材も活用する。								
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、レポート(60%)によって評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。								
履修条件・注意事項	積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。日頃から、新聞、雑誌などを読んで日本企業・韓国企業・米国企業などの動向に関心を持つこと。事前に配布した資料を読むこと。また、毎回復習をして自分のものにしておくこと。								
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。								
オフィスワ-	研究室、火曜日4時限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.国際比較経営論とはなにか 3.日本企業の経営(経営) 4.日本企業の経営(組織) 5.日本企業の経営(戦略) 6.日本企業のケース 7.日本企業の経営(ガバナンス) 8.日本企業の経営(所有構造) 9.アメリカ企業のケース 10.日本企業(グローバル経営) 11.韓国企業のケース 12.日本企業のケース 13.韓国企業のケース 14.日本企業の経営(今後の行方) 15.まとめ 16.レポート			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡					
教科書 1	特定の教科書は使用しない。多数の参考文献を用いる。また、資料は必要に応じて予習ができるように講義の中で配布する。								
教科書 2									
参考書 1	1からの戦略論<第2版> 著者:嶋口充輝他 出版社:碩学社 ISBN:978-4502167416								
参考書 2									

授業科目名	広告原理			履修期	2021年度 春学期		
担当者	伊藤 博則					NO.	SS-BU-3-216
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ: 広告＝マーケティング・コミュニケーションに関する基本的な知識を身につける。 到達目標: 各種広告＝マーケティング・コミュニケーションの企画立案が出来るようになる。</p>						
概要	<p>広告＝マーケティング・コミュニケーションは、経済活動の潤滑油です。各企業・団体の活動において欠かせない事業活動です。しかし、広告＝マーケティング・コミュニケーション活動は、メディア環境や経済環境、消費者意識の変遷により、日々変化してきています。</p> <p>また、広告＝マーケティング・コミュニケーションには、経済的な側面だけではなく、エンターテイメントとしての文化的側面、さらにはその影響力の大きさから社会的側面も有しています。</p> <p>この講義では、広告＝マーケティング・コミュニケーションの変遷を振り返るとともに、経営戦略(事業戦略)・マーケティング戦略のあり方と、それに基づく広告＝マーケティング・コミュニケーションの企画制作の実作業について、事例を用いながら解説いたします。</p> <p>毎回実際のテレビコマーシャルや各種広告、動画コミュニケーションの実例を用いながら解説し、その理解を深めていきます。</p> <p>この授業は広告会社、出版会社、さらには企業の広告広報セクションにて、広告・出版実務を経験さらには現在実践している教員が実例に基づき実践的な授業を実施するものです。</p>						
評価方法	<p>メディアの位置づけを理解した上で、マーケティング戦略からコミュニケーション計画、表現制作に至るプロセスの習得度・理解度・発想力を評価する筆記試験ウェイト60%、毎回授業の理解度と質問シートにより評価する提出物ウェイト30%、授業内での発言等で評価する授業態度ウェイト10%</p>						
履修条件・注意事項	<p>日常的にインターネット広告・動画広告・テレビコマーシャルや新聞・雑誌広告に意識して接し授業に臨む。毎回授業内容を各自でまとめ、質問事項等を記載の上提出する。</p>						
自己学習	<p>1) 毎回次回までの課題を出し、予習復習については各2時間程度行うこと。 2) 毎回授業で学んだこと気付いたこと、授業内容への質問を作成する。 3) 全般知識確認のための筆記試験を行う。</p>						
オフィスワ-	授業終了後に、教室にて行う。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. ガイダンス～広告とは何か 2. 日本の広告の歴史(江戸時代～戦前) 3. 日本の広告の歴史(戦後～昭和40年代) 4. 日本の広告の歴史(昭和50年代～現在) 5. 広告と広報 6. 広告とマーケティングの関係 7. ブランディング 8. 広告メディア-メディアの特性 9. 新たなメディア-ITメディアの台頭 10. 広告ビジネスに関わる会社 11. 広告計画の立案 12. 広告制作の流れ 13. 広告効果測定と広告に関する規制 14. 広告の周辺業務-プロモーション 15. これからの広告 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤				
教科書 1	プリント配布。						
教科書 2							
参考書 1	<p>この1冊ですべてわかる 新版 広告の基本 著者: 波田浩之 出版社: 日本実業出版社 ISBN: 978-4534055804</p>						
参考書 2							

授業科目名	経営倫理				履修期	2021年度 春学期			
担当者	井勝 久喜					NO.	SS-BU-3-217		
配当学科	経営社会				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	「企業経営における経営倫理の位置づけの理解」をテーマとし、経営倫理の観点から企業の存在意義と企業経営のあり方を学んでいく。倫理的価値観を持つ経営理念の必要性、従業員や消費者などのステークホルターに対する企業側の倫理的な責任、企業の持続性に対する責任などを問う経営倫理を、企業の社会的責任と関連づけながら学んでいく。持続可能な社会の構築における企業の役割を理解し、実践できる能力を身につけることを到達目標とする。								
概要	企業は何のために存在しているのかという問いに対して、経営倫理の観点から企業の存在意義を考えていく。企業が持続可能であるためには人間社会と自然環境が持続可能でなければならない。また、存在意義を経営ビジョンとして示し社会的責任を果たしていく必要がある。本講では、倫理学と企業経営の関係、経営倫理の基本的考え方を学んだ後、企業不祥事、過労死、内部告発、各種ハラスメントなどの事例を題材としてケースメソッドによる学習を行い、経営倫理が企業経営にどのように関係しているのか企業の社会的責任と関連づけながら学んでいく。								
評価方法	前半の講義については試験により学びを確認する(50%)。後半はケースメソッドによる参加型学習を行うので、発言などの授業への参加度合いと授業活動レポートで評価する(50%)。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には、減点することもある。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。 なお、レポートは授業でフィードバックするので復習しておくこと。								
履修条件・注意事項	1) 初回の講義には、必ず出席すること。 2) ケースメソッドでは出席が必須となるので、授業を休まないこと。								
自己学習	1) 配付資料を事前に読んでおくこと。 2) 後半はケースメソッドの研究と話し合いにより授業を行うので、予習が必須である。 3) 指示に従って、必ずノートを作成し復習をすること。 予習および復習には各2時間程度を要する。								
オフィスワ-	研究室(14601号室)にて、木曜日5時限目を実施								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	地球の有限性	講義	井勝						
第2回	哲学・倫理学と経済の関係	講義	井勝						
第3回	経営倫理とは								
第4回	企業活動と社会	講義	井勝						
第5回	経営倫理の必要性	講義	井勝						
第6回	企業不祥事と企業倫理	講義	井勝						
第7回	社会的責任経営	講義	井勝						
第8回	経営理念と企業経営	講義	井勝						
第9回	ケースメソッド導入講義	講義	井勝						
第10回	ケースメソッド1(コンプライアンス)	講義・GW	井勝						
第11回	ケースメソッド2(組織風土)	GW	井勝						
第12回	ケースメソッド3(ヒューマンリレーションズ)	GW	井勝						
第13回	ケースメソッド4(経営倫理)	GW	井勝						
第14回	ケースメソッド5(組織行動)	GW	井勝						
第15回	ケースメソッド6(内部告発)	GW	井勝						
	試験	試験	井勝						
教科書 1	プリントを配布する								
教科書 2									
参考書 1	企業倫理を考える 著者:萩原 道雄 出版社:八千代出版 ISBN:978-4-8429-1588-3								
参考書 2	企業倫理を歩む道 著者:那須照純 他 出版社:晃洋書房 ISBN:978-4-7710-2128-0								

授業科目名	ブランド戦略と知的財産					履修期	2021年度 春学期			
担当者	隅藏 康一						NO.	SS-BU-3-218		
配当学科	経営社会					年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義			
テーマと到達目標	知的財産に関する基礎から最近のトピックまでを学ぶ。学生は、企業や大学等の知的財産戦略について、必要事項の概要を把握し、理解を深めることができる。									
概要	主に、知的財産の基本(知的財産と知的財産権の使い分け、知的財産の具現化の方法、営業秘密の保護、知的財産権の保護、発明は誰のものか、大学と産業との関係、知的財産政策など)、知的財産をめぐる法律(特許法、商標法、著作権法、意匠法など)、デジタルコンテンツと著作権(デジタルライツ・マネジメント、著作権保護のためのテクノロジー、P2Pの課題、など)、先端科学技術と知的財産(ソフトウェアの保護、オープンソース、標準化、パテント・プール、医薬品アクセス、生物の特許可能性、生物多様性条約、リサーチツール特許、など)、知的財産権の国際的イシュー(米国、中国、欧州など)、企業経営における知的財産戦略(知的財産部門の役割、企業のブランド戦略、など)、知的財産戦略と会計(無形資産のオンバランス化、知的財産の評価、など)、知的財産戦略と契約(ライセンス契約、特許訴訟、知財紛争、など)、知的財産に関する職業(弁理士、産学技術移転に関する職業、地方自治体における知的財産関連職種、など)、について講義を行う。									
評価方法	授業への出席と、授業における真摯な受講態度を前提としうえて、授業の中で行う小テストの点数により、評価を行う。									
履修条件・注意事項	予習・復習を各自で行うこと。復習により授業内容を理解したかどうかを確かめるための小テストを、授業の中で行う。									
自己学習	講義内容を復習し、理解を深めること。									
オフィスワ-	授業終了後、教室にて									
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者					
1. 知的財産の基本 (1) 知的財産と知的財産権の使い分け、知的財産の具現化の方法、営業秘密の保護 2. 知的財産の基本 (2) 知的財産権の保護、発明は誰のものか、大学と産業との関係、知的財産政策 3. 知的財産をめぐる法律 特許法、商標法、著作権法、意匠法 4. デジタルコンテンツと著作権 デジタルライツ・マネジメント、著作権保護のためのテクノロジー、P2Pの課題 5. 先端科学技術と知的財産 (1) ソフトウェアの保護、オープンソース、標準化、パテント・プール 6. 先端科学技術と知的財産 (2) 医薬品アクセス、生物の特許可能性、生物多様性条約、リサーチツール特許 7. 知的財産の国際的イシュー 米国、中国、欧州 8. 企業経営における知的財産戦略 (1) 知的財産部門の役割 9. 企業経営における知的財産戦略 (2) 企業のブランド戦略 10. 知的財産戦略と会計 無形資産のオンバランス化、知的財産の評価 11. 知的財産戦略と契約 (1) ライセンス契約 12. 知的財産戦略と契約 (2) 特許訴訟、知財紛争 13. 知的財産に関する職業 弁理士、産学技術移転関連の職業、地方自治体における知的財産関連職種など 14. まとめ(1) 15. まとめ(2) 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 	隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 隅藏康一 								
教科書 1	適宜、資料配布									
教科書 2										
参考書 1										
参考書 2										

授業科目名	経営戦略論				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-3-220		
配当学科	経営社会				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	「日本企業の戦略と経営戦略論の全体像の理解」がテーマである。到達目標は、この講義を通じて経営戦略論の基礎知識を習得し、それに基づいて経営戦略論の概念を説明できるようにすることが目標である。また、経営戦略論の全体像を理解することを目標とする。さらに、次のような能力が養成されることを目標とする。丁寧に講義のノートをとることにより、聴く力、書く力、整理・まとめる力が養われる。また、教科書と資料を読み、調べることによって、読む力、調べる力が身につけられるとともに、情報処理力、計画力、分析力、判断力が養われる。さらに、講義の内容に質問をし、それに答える訓練を通じて考える力とコミュニケーション能力が養われる。								
概要	講義目的と概要は次のとおりである。最近、企業を取り巻いている外部環境は予測できないほど急激に変化をしている。従って、企業は変化する環境の中で国際競争力を維持し存続・成長していくために、環境に適応する努力をしている。講義では、経営戦略、事業領域の定義、戦略の策定、競争の戦略などを講義する。また、企業経営戦略のさまざまな側面について、具体的な事例も活用して、経営戦略に関する基礎的な理論をわかりやすく解説し、それを理解して活用することを狙いとする。ビデオ教材も利用する								
評価方法	授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。								
履修条件・注意事項	積極的に学ぶ姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。教科書あるいは配布した資料を事前によく読むこと。また、毎回復習をして、自分のものにしておくこと。								
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。								
オフィスワ-	研究室、火曜日4時限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					1.オリエンテーション 2.経営戦略とは 3.競争の戦略 4.環境分析 5.基本戦略 6.製品ライフサイクル 7.市場地位別戦略 8.資源ベースの理論 9.事業システム 10.ドメインの設定 11.成長戦略 12.企業の社会的責任 13.組織構造 14.組織の文化と変革 15.全体のまとめ 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	竹岡 竹岡
教科書 1	1からの戦略論(第2版) 著者:嶋口充輝・内田和成・黒岩健一郎(編著) 出版社:碩学舎 ISBN:978-4-502-16741-6								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	人事管理論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	崔 瑞玟					NO.	SS-BU-3-221
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「人事管理の全体像の理解」がテーマである。講義の到達目標は日本企業の人事管理に関する基礎知識と基礎理論を習得し、人事管理の仕組み、人事戦略と人事制度の基礎的な概念を正しく理解でき、説明できるようにする。また、実際に企業が導入している制度について理解する共に応用する力を養成することを目標にする。さらに、人事管理に関して問題意識を持つと共に人事管理の諸問題への解決能力を高めることを目標にする。最後に、人事管理の全体像を理解することを目標とする。</p>						
概要	<p>講義の目的と概要は次の通りである。企業組合は、ヒト、モノ、カネ、情報の経営資源によって成り立っている。企業が継続していくための鍵として「ヒト」は重要な経営の資源という言葉が示すように、全ての経営資源を管理する主体はヒトであり、人事はその主体であるヒトのマネジメントである。</p> <p>一方、そのヒトを採用から配置、異動、評価、育成などにおいて人事管理を行い、この講義全体を通じて、日本企業の人事管理に関する基礎知識や具体的な事例を活用して、人事管理に関する基礎的な理論をわかりやすく解説する。また、新聞・雑誌記事があれば積極的に活用し、受講生に最新の情報を伝えるようにする。講義内容は、経営・戦略・人事、組織文化と組織開発、人事管理のとらえ方、組織と人事管理、採用管理、配置と異動の管理、人事考課、昇進昇格制度、報酬制度、国際人事管理などである。ケースを活用して、企業が導入している人事管理の実態を把握する。</p> <p>この科目は企業の実務経験のある外部講師が担当しており、その経験を活かし、企業現場において実践的に役立つ授業を実施し、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	<p>授業態度・貢献度(40%)、単位認定試験(60%)によって総合的に評価する。</p> <p>なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験まで見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業には積極的な姿勢と問題意識を持って取り組むこと。私語、居眠り、着帽、メール、飲食、携帯電話、無断退室の厳禁である。出席も重要ですので休まないようにすること。配布資料は事前によく読み、自分の考えを用意しておくこと、また毎回予習と復習を心かけること。</p>						
自己学習	<p>毎回授業の前後に予習(30時間)と復習(30時間)をするための課題を指示する。</p>						
オフィスワ-	<p>授業終了後に教室で実施。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 人材マネジメントの目的と仕組み 3. 日本の人事管理 4. 人事部門の役割 5. 雇用管理と採用・退職 6. 配置・異動と労働時間管理 7. 日本企業のケース研究 8. 評価制度と賃金管理 9. 組織とジェンダー・マネジメント 10. 働きやすい職場と福利厚生 11. 安全健康管理とメンタルヘルス 12. 人材開発と学習組織づくり 13. キャリア・デザインとキャリア・コンサルティング 14. 労使関係と労働組合・労使関係の新しい課題 15. 全体のまとめ 16. 単位認定試験	講義 	崔 					
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	講義時に参考書・資料などを予習ができるように適宜紹介・配布する。						
参考書 2	LECTURE 人事労務管理(増補改訂版) 著者:森 五郎 監修 出版社:かんき出版						

授業科目名	アジア企業論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-3-222
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>この講義のテーマは、「アジア企業」の研究である。現代アジアの企業と財閥は欧米、日本の企業を傘下に収めるまでに成長している。そして、企業同士の合併・提携をも活発に行っている。こうしたアジアのダイナミックな企業の姿を解明する。具体的にはアジア企業における経営者や組織のあり方、企業を取り囲む市場構造、そして市場に適應する組織の進化などの問題について多角的な視点から捉えてゆく。</p> <p>この講義は、アジア企業の理想と現実的な姿および、その変容過程について、数多くの具体的な企業事例を取り上げる(「ケースメソッド学習法」)。そのために、この講義を受講すれば、アジア企業に関する単なる知識や情報だけではなく、様々なビジネス現場の課題を解決するための実践的な力を身に付けることができる。そして、様々な経済社会・政治的な環境と条件の下で、ダイナミックな物事を如何に決定するかという、いわば人間行動に必要な判断力・決断力を養うことが出来る。</p>						
概要	<p>グローバル化の進む世界の産業界では、以前から多くの欧米と日本の企業がそれぞれ事業の国際展開を図り、互いに厳しく競争してきた。しかし、今日では多くのアジア企業がそこに参入し、世界の有力企業と争い合うようになっている。</p> <p>この講義の前半部では、理論と実証(ケース)の両面からアジア企業論を考察してゆく。その上、日本企業のアジア進出、韓国財閥企業の成長と変革、中国の市場変化と企業成長、ASEANの市場統合と企業成長などのトピックを取り上げる。各国とその企業のケースでは、それぞれの企業が取り巻く状況を具体的に指し示し、その中で何が重要な問題かを分析することから始まり、本質的な問題を見極める訓練を積むことができる。</p>						
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。						
履修条件・注意事項	(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。(2) 単位認定試験を行うので、必ず受ける必要がある。						
自己学習	(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。(2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。						
オフィスアワー	毎週水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.アジアの産業発展と企業成長 3.戦後日本企業のアジア進出 4.日本企業のアジア戦略 5.日本企業のアジア新展開 6.韓国の財閥企業 7.韓国財閥企業の成長戦略 8.韓国企業の海外進出戦略 9.中国政府の産業政策 10.中国市場環境の変遷 11.中国企業の海外進出 12.ASEANの経済成長 13.ASEAN諸国の企業構成と特徴 14.華人系企業と経営戦略 15.アジアの産業と企業の未来 16.定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李
教科書 1	アジア経営論 著者: 陳 晋 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-07061-9						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	国際経済論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-3-223
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	経済学的に見れば、グローバリゼーションは市場メカニズムの国際的な浸透・拡散プロセスである。グローバリゼーションは、資源の国際的適切な配分をもたらす側面がある。しかし、他方では、貧富の格差拡大、通貨・経済危機の頻発、環境・エネルギー問題、テロや国際紛争の激化などの負の部分も伴う。この講義では、国際経済の基本的な知識を本格的に身に付けさせることを目指すが、今年度は、アジアの経済復興と市場変化などについて焦点を当てることにする。この講義を受講すれば、国際経済(とアジア経済)の基本的な考え方とその仕組みが理解でき、その応用力が向上する。そして、論理的思考能力と問題発見力、そして問題解決力が身に付けられる。						
概要	経済学は「富の科学」である。国際経済論も同じである。そもそも国際経済は、国家と国家の境界領域、相互作用の領域で行われるものであり、国内経済領域とは異なる独自の問題(貿易・為替・マクロ経済・環境・国際紛争など)を抱えている。この講義では、アジアの経済復興、アジアの経済成長、アジアの貿易拡大、アジア諸国の産業政策、アジア新興国の市場変化などの問題を取り上げる。その内容の中には、アジアにおける市場拡大、技術進歩、市場統合、市場環境、市場の変化とその開拓戦略などの問題を扱う。						
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。						
履修条件・注意事項	(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受ける必要がある。						
自己学習	(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 (2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。						
オフィスアワー	毎週水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.国際経済とは何か 3.国際経済とアジア経済 4.アジア経済の復興 5.世界の工場から世界の市場へ 6.日本の最大の貿易相手のアジア 7.アジア経済高成長の要因 8.アジアの産業転換と技術進歩 9.世界工場の資源浪費と環境汚染 10.中国の台頭とアジア経済 11.アジアの市場統合 12.市場経済の導入と政府の役割 13.アジア諸国の産業政策 14.アジア新興国市場の変化 15.アジア新興市場での開拓戦略 16.定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李		
教科書 1	アジア経営論 著者: 陳 晋 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-86283-015-9						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	環境ビジネス論				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	小田 淳子					NO.	SS-BU-3-224
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「環境ビジネスの方向性と施策, 多様な環境ビジネスのあり方を考察する」をテーマに, 環境ビジネスの現況について知識と理解の習熟を図り, 環境分野への就業・起業を行うための基礎的な能力と意欲を身につける。</p> <p>環境ビジネスの業態と関連する企業の事例を具体的に挙げて行く。</p> <p>地球環境問題の解決に向けて環境ビジネスの役割を考え, 経営戦略に環境負荷低減をどのように結びつけているか, ビジネス戦略のポイントはどこにあるか等を学ぶことにより, 企業のビジネス力を評価できるようになることが到達目標である。</p>						
概要	<p>環境問題の解決と持続可能な社会の構築に向けた環境ビジネスの方向性と環境施策について概説したうえで, 環境に取り組んでいる種々の産業界を取り上げて, 企業経営における環境戦略が具体的にどのように進められているかを学ぶ。さらに, テキストや企業webサイトから選択した実践的環境ビジネスの事例を取り上げて, 成功要因とビジネスの特性について解説する。地域や企業が取り組んでいる環境ビジネスについて, テーマ毎の事例のレポート作成を課す。</p>						
評価方法	<p>「経営戦略と環境負荷低減が結びついた企業ビジネス力を評価する」ことを到達目標とすることから, 理解度の確認のための自主学習の成果, レポート課題と発表の取り組み, 定期試験を総合的に評価する。</p> <p>具体的には, 課題プリントの作成(20%), 企業調べと発表(40%), 定期試験(40%)の総合評価とする。</p> <p>なお, 課題は授業でフィードバックを行うので, 定期試験までに見直すこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>教科書は講義内で扱う企業事例を掲載している。必ず購入して毎回携帯し, 予習および配布プリントの復習に活用すること。大幅な遅刻や無断欠席は講義の進行や評価に影響するので, 注意すること。やむを得ない場合, 必ず事前連絡すること。</p>						
自己学習	<p>予習: 各回のテーマを初回に説明するので, 事前学習を行って臨むこと。 テキストを活用した予習により, 企業事例の内容を把握すること。</p> <p>復習: テキストを理解するために毎回プリントを配布して講義ノートを作成するので, 復習で必ず完結すること。 予習, 復習には各2時間程度が必要である。</p>						
オフィスワ-	講義後の時間に適宜, 受付ける。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境ビジネスとはなにか 2. 地球環境問題と企業活動・社会的責任 3. グリーン政策と環境ビジネス 4. 環境配慮型製品とビジネス 5. 電機業界の製品開発と対策 6. 自動車産業界の環境戦略 7. 事例調査のまとめ・発表(前半) 8. エネルギー産業とビジネス 9. バイオマス産業とビジネス 10. リサイクル産業とビジネス 11. 金属資源リサイクルとビジネス 12. ソフト・サービス系環境ビジネス 13. 環境ビジネス業界のまとめ 14. 事例調査調べ(後半) 15. 事例調査発表 16. 定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL AL 筆記試験	小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田 小田
教科書 1	環境ビジネスと政策 著者: 馬奈木俊介・豊澄智己 出版社: 昭和堂 ISBN: 978-4-8122-1167-0						
教科書 2							
参考書 1	次世代環境ビジネス 著者: 尾崎弘之 出版社: 日本経済新聞出版社 ISBN: 978-4-532-31431-6 C3034						
参考書 2	環境ビジネス最前線—リーディングカンパニーに学ぶ10のイノベーション 著者: スマートエナジー 出版社: カナリア書房 ISBN: 978-4778202064						

授業科目名	国際社会学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高橋 正巳					NO.	SS-BU-1-301
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	現代社会は「グローバル化」を避けて通ることができない。それにしても、なぜこれほど「グローバル化」が急激に進展してきたのだろうか。それはデジタル情報に関連するAIやIOTなど、ITネットワークが世界中で、いつでもどこでも利用できるようになり、国境(ボーダー)を超えた通信が可能になったからである。いわば一般にOpen Societyと呼ばれる「開かれた社会」が浮上してきたのであるが、それは国家同士の関係ではなく、個人や企業、あるいは地域などが直接的な交渉や取引を可能にした社会でもある。これをここでは「脱国家化」と名づけようと思うが、これはとりわけ現代の国際社会の一大特徴となっている。そこで、学生はまず「グローバル化」とはどんなことが分かるようになる。また、世界的に「開かれた社会」となったとき、それがすぐに人も企業も地域も世界的な「共生」に向かうのではなく、なぜ現代の国際社会が「分断」や「孤立主義」の様相を強めているのかが学生は理解できるようにする。						
概要	現代社会が「工業化」を進展させつつ、次第に貿易相手の国々と「国際社会」を形成するようになったが、1970年代初期に登場したITは「グローバル化」を推進させることで、今やボーダレスに移動するデジタル情報によって「脱国家化」を推進させている。一般にこれを「グローバリゼーション」と呼んでいる。ただ、通常「工業化」初期には対外的に強力な政治共同体でなければ、それ自体を推進するためにも個人や社会の「国家化」を必須なものとしたことを忘れてはならない。経済史的には現在のように「工業化」の最終段階ともいえるデジタル情報によって、モノづくりの「工業化」が完全自動化することで完熟段階を迎えると、これまで必須だった政治共同体としての「国家」が、傾向的には少なくとも対外を相手に政治力を発揮することが不必要な時代となってきた。それだけにグローバル市場では極めて厳しい経済競争を演じているのであり、「工業化」が推進される時代の残存として、グローバルな競争を勝ち抜くために企業は「国家」の支援を必要としている。つまり、「国際社会」は「脱国家化」に応じて歴史的には「社会の時代」へ移行しているのである。ここでは、こうした「国際社会」の変遷史を「工業化」の発展段階にしたがって、学生と一緒に考える。						
評価方法	講義において問題に答え感想を書く日常的な参加態度に10点、課題テーマとして「持ち帰り試験」(小論文)に60点、期末の単位認定試験に30点の配点で、これらを総合して評価する。単位認定試験は、原則として講義の最終日に実施するが、「持ち帰り試験」(400字×10枚以上)の小論文を提出しなければ、単位を認定しないことがあるので要注意のこと。なお、評価のために課した小テスト等はフィードバックするので、試験までに復習すること。						
履修条件・注意事項	講義に関する意見や感想などをまとめて提出してもらおう。持ち帰り試験を単位認定試験と一緒に提出することを条件とするので、講義に関する書籍等も読みまとめておくこと。						
自己学習	一度聞いたり問題を解いたりしただけではすぐに忘れるかもしれない。理解を深めて自分のものにするには復習が必要となる。また、現代の社会や経済の変化も理解できるように、新聞を読みテレビのニュースを見て、自分で気づいたことや関心をもったことをノートに整理しまとめておくこと。						
オフィスワ-	火曜2時限目と昼休み						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
(1)オリエンテーション (2)グローバル化と国際社会学 (3)現代世界経済の混乱 (4)なぜマネーゲームが始まったか (5)マネーゲームの夜明け (6)固定相場制から変動相場制へ (7)金融取引の革命的拡大 (8)リスクとヘッジ取引 (9)企業活動の国際化と多国籍化 (10)変動する利子と為替相場 (11)金利変動とEMS・石油 (12)石油もまたカジノへ参加 (13)市場のギャンブラーか国家か (14)金融政策と国家の強弱 (15)期末単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 レポート試験	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋					
教科書 1	必要に応じて随時指定する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	コミュニケーション論			履修期	2021年度 春学期			
担当者	赤坂 真人					NO.	SS-BU-2-302	
配当学科	経営社会			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマ:コミュニケーションを科学する コミュニケーション力は現代社会で求められる最も重要な能力のひとつである。この講義ではコミュニケーションの主体・客体・過程・メディアを理解することにより、学生個人のコミュニケーション能力を向上させる。</p> <p>到達目標 受講することによって、学生は人間社会や文化が言語的に構築されていることを理解できるようになり、コミュニケーションにおいて適切な言葉の選択、論理的思考ができるようになる。それは社会学的思考にとって、また社会生活においてもきわめて重要な資質でとなる。</p>							
概要	人間のコミュニケーション、とりわけ言語的コミュニケーションに焦点を定め、その構成要素と機能について説明する。講義が中心だが、数回、授業内に小テストを行う。							
評価方法	講義時間における小テスト(40%)と定期試験(60%)によって評価する。							
履修条件・注意事項	日本語と英語・日本人と欧米人のコミュニケーションを比較するので、英語やドイツ語の知識があることが望ましい。出席の不正をしない。小テストの提出がない場合欠席とみなす。							
自己学習	学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。配布されたハンドアウトは必ず復習し、定期試験までなくさないようにすること。							
オフィスワ-	火曜日 15:10~16:40.に研究室で実施。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.コミュニケーションとは何か? 2.動物のコミュニケーション1 3.動物のコミュニケーション2 4.記号(記号・象徴・信号) 5.言語的コミュニケーション 6.非言語的コミュニケーション 7.デイスコミュニケーション 8.意味論1 9.意味論2 10.統語論 11.実用論 12.レトリック 13.マス・コミュニケーション 14.情報 15.IT化とコミュニケーション 16.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 定期試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂					
教科書 1	コミュニケーション論序説 著者: 大橋理恵 根橋玲子 出版社: 日本放送出版会 ISBN: 978-4595307102							
教科書 2	言葉とは何か 著者: 丸山圭三郎 出版社: ちくま学芸文庫 ISBN: 978-4480009008							
参考書 1	コミュニケーション学への招待 著者: 橋本良明 出版社: 大修館書店 ISBN: 978-4469212143							
参考書 2	記号論への招待 著者: 池上嘉彦 出版社: 岩波書店 ISBN: 978-4004202582							

授業科目名	国際関係論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-2-304
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この講義は、国際関係という学問の基礎的知識を理解することに重点を置く。国際関係論という学問の発展過程に始まり、隣接分野との関連や、既存理論とその限界などを、最近の変動の事例に念頭を置きながら説明する。この講義を受講すれば、国際関係論(と東アジア地域)という学問の基礎知識を習得することによって、国際社会仕組みの理解とグローバル社会の中で必要な様々な価値観および生き方が模索できる。特に、多文化・異文化の理解と総括・発表力が身に付けられる。						
概要	この講義では、国際関係論に関する基礎知識を踏まえて、グローバル化進展下の東アジア各国の変化とその問題点、そして現実に生じているトピックを取り上げ、それらの出来事や問題を整理する。今年、ことに国際関係論・国際比較論的な視点から、東アジアの「国家」「開発」「安全保障」などの問題について説明する。なお、この科目を学ぶことにより、地理的な見方・認識の手法を学び取り、異文化理解や国際理解を深めることができる。						
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。						
履修条件・注意事項	(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。						
自己学習	(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 (2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。						
オフィスワ-	毎週水曜日4時限目(9304研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.国際関係論の学び方 3.国際関係、地域研究、国際比較 4.冷戦後の東アジア構図 5.東アジア国際関係の変容 6.東アジアのグローバル化 7.東アジアの安全保障 8.東アジアの安全保障ネットワーク 9.開発と地域発展 10.地球化、地域化、民族主義化 11.相互依存関係の拡大と深化 12.世界化と市場経済 13.リージョナリゼーション 14.地球主義 15.ナショナリズム 16.定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李					
教科書 1	東アジア国際変動論 著者:李分一 出版社:大学教育出版 ISBN:4-88730-589-3 C3031						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	韓国地域社会				履修期	2021年度 春学期			
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-2-305		
配当学科	経営社会				年次	カリキュラムにより異なります。			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	地域研究を学ぶ理由は、地域の安定(平和)と繁栄にある。分裂国家・韓国は、北朝鮮と並んで、日本の隣国である。そして日本は、隣国として朝鮮半島との平和的な共存・共生の関係を保つ必要がある。すなわち、様々なグローバルな課題と地域問題が交差する今日のグローバル社会では、特に日本と朝鮮半島との良好な関係を必要とするのである。この講義を受講すれば、韓国と周辺隣国に関する客観的・総合的な知識の習得とともに、国際地域問題に関する総括力・発表力が身に付けられる。								
概要	世界の地理上には、大小の様々な国家や地域が共存・共生している。それらは自然的、人文社会的な特徴を持ちながら、歴史的な経験を経て現在の国家・地域を形成している。韓国も例外ではない。地域の自然環境や社会環境における様々な地理的事象を有機的に結合して考察することにより、その地域の特色・性格を明らかにする。また、この講義では、戦後韓国社会における産業化や民主化過程を具体的な事例を取り上げて説明する。この科目を受講することにより、地理的な見方・認識の手法を学び取り、韓国などの異文化社会の理解や国際理解を深めることができる。								
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。								
履修条件・注意事項	(1)授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。(2)単位認定試験を行うので、必ず受ける必要がある。								
自己学習	(1)参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。(2)受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。								
オフィスアワー	毎週水曜日4時限目(9304研究室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.韓国という国家 3.韓国の歴史(民族と国家) 4.韓国民主主義の位相と行方 5.韓国民主主義の制約 6.解放前の要因 7.解放後の要因 8.韓国の権威主義体制 9.民主化・人権擁護運動 10.1980年代の韓国 11.1980年代の政治体制 12.1980年代の民主化運動 13.1990年代の民主化政治 14.韓国政治社会の新潮流 15.韓国の民主主義と市民社会 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李					
教科書 1	現代韓国と民主主義 著者:李分一 出版社:大学教育出版 ISBN:4-88730-303-3								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	地域づくり論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	大西 正泰				NO.	SS-BU-2-306	
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ;生物学視点から、地域づくりのルーツを「巣づくり」とみなし、先史からいままでの地域づくりの歴史をテーマとする。</p> <p>到達目標;地域づくりの歴史から地域形成過程を学び、地域の文化や歴史などからみた地域づくりに必要な知識やスキルを身につけることができることを目標とする。</p>						
概要	<ul style="list-style-type: none"> 講師が実際に取り組んできた地域づくりの事例を使って、地域づくりに必要な知識やスキルを身につける。 個人ワークやグループワークを通して、学習に取り組む。その過程および結果を発表・共有・検討(ディスカッション)し、必要なスキルを身につける。 毎回の授業の終わりにオンラインでレポートを提出してもらう。最後に行う試験は、授業全体をふりかえってのレポート形式とする。 <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、徳島県上勝町ほか、全国各地の地域と実際に連携して携わってきた実務経験のある教員が担当します。</p>						
評価方法	評価のポイントは、①毎回の感想レポート(50%)、②課題レポートと試験(50%)によって評価します。						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の授業時に配付する資料がテキストになります。 大幅な遅刻や無断欠席はグループワークや評価に影響するので、ご注意ください。やむを得ない場合、必ずメールなどで連絡してください(できるだけ事前をお願いします)。 						
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> 各ケース、討論テーマについては、テレビや新聞報道による地域事例に目を配り、予習復習(各2時間)を行ってください。 グループ活動では、積極的な問題提起や発言ができるようにしてください。(地域との関わりにおいては、コミュニケーションがもっとも大事なスキルとなります) 参考文献に載せている本は、各テーマごとの背景になる考え方を指し示しているもので、読みやすいものを選んでいきます。 						
オフィスワ-	月曜日(2,3限) 火曜日(2,3限) 場所は14621研究室(14号館6階)になります。 *他の曜日についてはメールにて、随時受付します。m-onishi@kiui.ac.jp						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
第1回オリエンテーション	講義	大西			
第2回生物視点で地域づくりを考える ①生物の「生き残る方法」の意味 ②巣作りとしての「家」「地域」「街」	講義・AL	大西			
第3回地域づくりとは何か?(1) 有史からの「家」と「街」の歴史	講義・AL	大西			
第4回地域づくりとは何か?(2) 「地域」の進化と「街」の進化	講義・AL	大西			
第5回街づくり進化論(1) 産業集積(クラスター論)	講義・AL	大西			
第6回街づくり進化論(2) 人材集積(クリエイティブクラス論)	講義・AL	大西			
第7回街づくり進化論(3) 進化の先の「生きづらさ」 「喫茶ランドリーの衝撃とポータル	講義・AL	大西			
第8回地域づくり進化論 里山資本主義	講義・AL	大西			
第9回地域づくりの基礎・基本(1) サードプレイスと対話	講義・AL	大西			
第10回地域づくりの基礎・基本(2) 実践;自己紹介ワークショップ	講義・AL	大西			
第11回地域づくりの基礎基本(3) 実践;インタビューワークショップ	講義・AL	大西			
第12回地域づくりの基礎・基本(4) 実践;ワールドカフェ	講義・AL	大西			
第13回次の街づくりのヒントは何か? (1) 理想共同体の「壁」	講義・AL	大西			
第14回次の街づくりのヒントは何か? (2) 企業が作る街	講義・AL 試験	大西 大西			
第15回まとめ					
第16回試験					

教科書 1	
教科書 2	
参考書 1	<p>サピエンス全史(上・下) 著者:ユヴァル・ノア・ハラリ 出版社:河出書房新社(2016) ISBN:上巻ISBN-10: 430922671X ISBN-13: 978-4309226712 下巻ISBN-10: 4309226728 ISBN-13: 978-4309226729</p>

参考書 2

マイパブリックとグランドレベル ―今日からはじめるまちづくり
著者: 田中元子
出版社: 晶文社 (2017)
ISBN: ISBN-10|4794969821

授業科目名	社会変動論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-2-307
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>本講義のテーマ:社会変動を社会学的視点から考察する</p> <p>到達目標は以下3点である。</p> <p>①社会変動の視点から、社会学の基礎的な考え方・見方を身につける。</p> <p>②社会変動をSDGsの文脈から説明できるようになる。</p> <p>③身の回りの出来事(社会問題)について、因果関係や相関関係の視点から考察できるようになる。</p>						
概要	<p>現在、私たちの生活は様々な変化の中にある。この授業は、私たち自身の身の回りで起きている現象と、日本国内、広くは世界で起きている現象とを照らし合わせながら「社会変動」を考える、社会学的な授業である。</p> <p>毎回、受講生にとって身近なテーマを挙げていく。新聞やニュースにみる様々な社会問題、SDGs(持続可能な開発目標: Sustainable Development Goal)についても頻繁に授業で扱う。</p> <p>授業は、各テーマについて、視聴覚教材等を元に受講生がグループワークやプレゼンテーションを行いながら学びを深めていく、アクティブラーニング(AL)形式の授業である。</p>						
評価方法	<p>小レポート課題(授業課題)40%、定期試験60%で評価を行う。</p> <p>提出課題(小レポート)は、授業中にフィードバックするので、単位認定試験までに復習しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週授業で配布する「配付資料」をもとに授業を進める。配布資料は各自ファイル等に保管しておくこと。 ・毎回授業中に課題の提出を求める。 ・グループディスカッション及び、各受講生の発表の機会が頻繁にある。また、毎講義の最後に文章記述が必要な「提出課題」を求めるため、基礎的な日本語の文章能力が必要である(特に留学生)。 						
自己学習	<p>配布資料をもとに、予習・復習を行うことを求める。</p> <p>予習および復習には、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
01. 授業オリエンテーション	講義	黒宮					
02. 導入(1)社会変動へのまなざし	講義・AL	黒宮					
03. 導入(2)社会変動をSDGsの視点から考える	講義・AL	黒宮					
04. 教育と職業(1)学校に見る様々な変化	講義・AL	黒宮					
05. 教育と職業(2)ジェンダー・働き方	講義・AL	黒宮					
06. 教育と職業(3)若者とキャリア	講義・AL	黒宮					
07. 教育と職業(4)グローバル化と私たち	講義・AL	黒宮					
08. 生活と福祉(1)人口減少社会と社会保障	講義・AL	黒宮					
09. 生活と福祉(2)超高齢社会とバリアフリー	講義・AL	黒宮					
10. 生活と福祉(3)格差と貧困	講義・AL	黒宮					
11. 生活と福祉(4)地域共生社会とは	講義・AL	黒宮					
12. 地域社会と環境(1)過疎化と地域	講義・AL	黒宮					
13. 地域社会と環境(2)地域の産業	講義・AL	黒宮					
14. 地域社会と環境(3)自然災害と地域社会	講義・AL	黒宮					
15. 地域社会と環境(4)気候変動と私たちの暮らし	講義・AL	黒宮					
16. 定期試験	講義・AL	黒宮					
	講義・AL	黒宮					
	試験	黒宮					
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	<p>変動する社会と生活 著者:宮本 和彦(編著) 出版社:八千代出版 ISBN:978-4842917627</p>						
参考書 2							

授業科目名	日本社会論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	SS-BU-2-308
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ 現代日本社会のさまざまな側面、具体的には、女性差別、女性と労働、男女共同参画社会、逸脱と犯罪、都市と農村、宗教と社会、死生観等に関する現状と問題を理解させ、その解決法を考える。</p> <p>到達目標 多くの学生たちは、自分たちが生きている社会の仕組みや出来事について明確に理解していない。まず講義で教授する現代日本社会の様々な制度の現状と問題点を理解させる。次に、毎回講義のテーマに関する小テスト(記述式)を実施し、社会問題に関する考えをまとめ、適切な文章で表現する能力を高める。</p>						
概要	講義で学んだ社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている社会問題を認識、分析し、解決策を見出す能力を身につける。具体的には、日本社会における男女差別、性別役割問題、逸脱と犯罪、社会統制、都市問題と農村問題、日本人と宗教・死生観などをテーマとして講義を行う。講義の終了前15～20分で、講義のテーマに関する記述式小テストを実施する。						
評価方法	講義内小テスト(40%)と定期試験(60%)によって評価する。						
履修条件・注意事項	欠席が5回を超えた場合、定期試験の受験は認めない。小テストの提出がない場合欠席とする。						
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10～16:40)に研究室で実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. ジェンダーとは何か？ 2. 女性解放と男女参画共同社会 3. フェミニズムの定着と拡散 4. 逸脱(Deviance)とは何か？ 5. 逸脱(Deviance)に関する諸理論 6. 社会化と社会統制 7. 逸脱の現状: 国際比較 8. 都市の人口集中と過密 9. 過疎と過密 10. 消えゆく農村 11. 宗教とは何か？ 12. 日本人と宗教 13. 世俗化と死生観の変化 14. 世界の三大宗教 15. 死生学 16. 定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂
教科書 1	基礎社会学 著者: 赤坂真人 出版社: ふくろう出版 ISBN: 978-4861864278						
教科書 2	毎回ハンドアウトを配布						
参考書 1	講義の中で適宜文献を紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	中国地域社会			履修期	2021年度 秋学期	
担当者	畑木 亦梅				NO.	SS-BU-2-309
配当学科	経営社会			年次	カリキュラムにより異なります。	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	中国は近年目覚ましい経済発展を遂げ、政治も変貌し、国際社会における存在も大きくなってきている。社会保障も整備されつつある。一方、腐敗事件が続発し、社会格差が深刻化しているなど様々な問題も起きている。本講義は、こうした現代中国を分析する。本講義を受講することにより、現代中国の国家制度、社会構造とその変容、経済、環境及び外交、日中関係の現状と問題点などについて理解できるようになる。					
概要	本講義では、現代中国の国家制度、一党支配下の権力構造、社会構造とその変容、経済発展と格差問題、環境問題、外交問題などを様々な視点で捉え分析する。					
評価方法	授業態度、課題レポートなど(40%)、期末テスト(60%)で総合的に評価する。					
履修条件・注意事項	留学生が受講する場合、一定の漢字の読解力が必要である。					
自己学習	予習として、事前に授業資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。予習および復習には、2時間程度を要する。					
オフィスワ-	授業終了後教室にて					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			1. オリエンテーション 2. 政治体制 3. 執政党 4. 多民族国家 5. 香港・マカオ問題 6. 台湾問題 7. 経済の高度成長 8. 経済のグローバル化 9. 社会構造の変容 10. 人口問題 11. 教育問題 12. 環境問題 13. 冷戦下の日中関係 14. 冷戦終結後の日中関係 15. まとめ 16. 期末試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅	
教科書 1	『5分野から読み解く現代中国』(2016) 出版社: 晃洋書房 ISBN: ISBN 978-4-7710-2720-6					
教科書 2						
参考書 1						
参考書 2						

授業科目名	循環型社会論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	井勝 久喜					NO.	SS-BU-2-310
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「持続可能な資源利用を促進し、循環型社会の考え方の修得」をテーマとし、循環型社会の必要性を学ぶと共に、資源の循環利用について学んでいく。また、資源循環型社会における企業経営のあり方を理解し、資源をマネジメントできる能力を身につけることを到達目標とする。						
概要	製造業においてはものの生産が企業活動の柱である。そこでは大量生産・大量消費社会を作り出すことを目指してきたが、そのことが大量廃棄社会を作り上げ、廃棄物問題及び資源の枯渇問題を引き起こしている。近代の生産システムは資源の採取から生産・消費・廃棄までの一方通行であったが、今後の社会においては、資源の循環と経済の循環を同時に成り立たせる循環型社会の形成が必要である。本講では、循環型社会を作るために必要な取り組みと企業の役割について論じる。この科目は一部授業において実務経験のある外部講師に講義をいただき、学生の知識と理解を深める。						
評価方法	BRD (Brief Report of the Day: 当日ブリーフレポート) 方式で授業を行い毎回の授業でレポートを作成しそのレポートを評価(50%)、試験(50%)で評価する。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には、減点することもある。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。レポートについては採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	1) BRD方式により授業を行うので、前週に配布された授業課題について予習が必須である。 2) 指示に従って、必ずノートを作成し復習をすること。 3) 初回の講義には、必ず出席すること。						
自己学習	1) BRD学習法により授業を行うので、予習が必須である。前週に資料を配布するので、しっかり読み込んで、不明な点は調べてくること。 2) 指示に従って、必ずノートを作成し復習をすること。 3) 返却されたレポートに記載されている指示に従って学習し直すこと 予習および復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	研究室(14601号室)にて、水曜日5時限に実施						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回	循環型社会とは	AL/BRD	井勝				
第2回	市場経済の仕組みと循環型社会	AL/BRD	井勝				
第3回	廃棄物問題と循環型社会	AL/BRD	井勝				
第4回	リサイクルと循環型社会	AL/BRD	井勝				
第5回	資源と循環型社会	AL/BRD	井勝				
第6回	エネルギーと循環型社会	AL/BRD	井勝				
第7回	リサイクル関連施設の見学(2時間連続)	AL/BRD	井勝				
第8回	リサイクル関連施設の見学(2時間連続)	AL/BRD	井勝				
第9回	エコロジカル・フットプリント	AL/BRD	井勝				
第10回	資源生産性	AL/BRD	井勝				
第11回	エコリュックサック	AL/BRD	井勝				
第12回	サービサイジング	AL/BRD	井勝				
第13回	リサイクル関連法令	AL/BRD	井勝				
第14回	循環型社会形成推進基本計画	AL/BRD	井勝				
第15回	持続可能な社会	AL/BRD	井勝				
第16回	試験	AL/BRD 試験	井勝 井勝				
教科書 1	使用しない(プリントを配布)						
教科書 2							
参考書 1	サステナビリティ学 3資源利用と循環型社会 著者:小宮山宏他 出版社:東京大学出版会 ISBN:978-4-13-065123-3						
参考書 2							

授業科目名	グローバル化の社会学				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	高橋 正巳					NO.	SS-BU-2-311
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「メール」とは日本語でどう言えばよいか。「郵送」で間違いがないが、現代の日常的な日本語では「電子メール」のこと。「電子」が「メール」に増えただけでのごとく、ITが日常化した現代では「電子通信」という日本語だったら、その日本語の意味を考えるだけで頭が痛くなる。結局、「メール」は「メール」だとなり、これでは説明にもならない。このように、これまで社会の中で当然だったことが、ある日突然にやり方や考え方に改革が起こる。これが社会変動であり、しかもこの改革がグローバルな規模で多種多様に起こっている。現代は社会変動が激しく起こるグローバル時代なのである。そこで、この社会変動を学生は理解し、それにどう対応するのかを考えられるようになることが、ここでの到達目標である。						
概要	自然発生的であるかその根底に近代の科学技術の影響が潜んでいるかどうかに関わらず、われわれの「社会」はいつも変化してきたのであり、また、それが人間の歴史でもあった。道具を使ったり火で煮焼きすることも人間にとって、それまでの生活の大変革であった。農業を始めたこともそうだろうし、太陽や月の動きに合わせてお祭りをやったり自分たちの幸せを願ったりしたことであろう。ただ、大変革の歴史の中で近代の科学技術が登場してから、現在のIOTやAIまで、とりわけこの大変革が次々とグローバルなレベルで起こっている。そこで、ここでは西洋で「近代」と呼んだ以降の歴史を、民主化や工業化、西歐化、そしてこれらのグローバル化を学生と一緒に話し合い考えたいと思う。						
評価方法	講義において問題に答え感想を書く日常的な参加態度に10点、課題テーマとして「持ち帰り試験」(小論文)に60点、期末の単位認定試験に30点の配点で、これらを総合して評価する。単位認定試験は、原則として講義の最終日に実施するが、「持ち帰り試験」(400字×10枚以上)の小論文を提出しなければ、単位を認定しないことがあるので要注意のこと。						
履修条件・注意事項	講義に関する意見や感想などをまとめて提出してもらおう。持ち帰り試験を単位認定試験と一緒に提出することを条件とするので、講義に関する書籍等も読みまとめておくこと。また、外部から招聘講師に、毎月一度来て話してもらうので、先生に対する対応(挨拶、私語の禁止、感謝の言葉など)がよくできること。評価のために課した小テスト等はフィードバックするので、試験までに復習すること。						
自己学習	一度聞いたり問題を解いたりしただけではすぐに忘れるかもしれない。理解を深めて自分のものにするには復習が必要となる。また、現代の社会や経済の変化も理解できるように、新聞を読みテレビのニュースを見て、自分で気づいたことや関心をもったことをノートに整理しまとめておくこと。						
オフィスアワー	火曜の2時限目＋昼休み						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. グローバリゼーションとは 2. 道具・火・言葉 3. 社会変動と社会制度 4. 地球は丸くて一つ？ 5. 近代化と民主化 6. 工業化と「社会」の登場 7. 効率化と非効率性 8. 効率性とグローバル化 9. 非効率性と企業 10. 非効率性と政府 11. 政府とグローバル化 12. IOTとAIとロボット 13. 二重経済と二重社会 14. 社会の安定とインボリューション 15. 質問や相談、そして意見 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 レポート講義	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋				
教科書 1	必要に応じて随時指定する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	持続可能社会論				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大西 正泰					NO.	SS-BU-2-312	
配当学科	経営社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマ:「持続可能社会とは何か」 到達目標:さまざまなケースにおける持続可能性を問われる課題について考え、自らの考えを動画を通じて表現できることを目標とする。</p>							
概要	<p>・理論上でキーとなるSDGs(持続可能な開発目標)を核にして、具体的な事例などを分析・考察し、必要な知識やノウハウを身につけます。特に、「持続可能とは何か」という問いをベースに、自然や社会といった外的環境の変化を求めるだけでなく、「個人の持続可能性」についても考えていきます。</p> <p>・本授業では、映画「Joker」(2019)やアニメなどをはじめとする動画をもとに、SDGsの課題点を抽出し、話し合いをします。また、環境倫理学や応用倫理学のケース(例 トロッコ問題などのトレードオフ課題)を通じて、どのように問題を組み替えていくのかなどに取り組みます。</p> <p>・本授業では、持続可能についての問いや考えたことを動画として表現し、動画を通じたプレゼンテーション力を身につけます。</p> <p>・最後に行う試験は、授業全体をふりかえってのレポート形式とします。</p>							
評価方法	評価方法については、①毎回の感想(50%)、②作成した動画などの成果物(50%)で評価する。							
履修条件・注意事項	<p>・毎回の授業時に配付する資料がテキスト代わりになります。</p> <p>・(事前に映画や動画を見せらう)予習と復習を各2時間行ってください。</p> <p>・大幅な遅刻や無断欠席はグループワークや評価に影響するので、ご注意ください。</p> <p>やむを得ない場合、必ずメールなどで連絡してください(できるだけ事前をお願いします)。</p>							
自己学習	毎回の授業時間に指示する予習・復習を行うこと。講義内容を踏まえた参考文献、動画、映画などを見てもらいます。							
オフィスアワー	月曜日(2,3限) 火曜日(2,3限) 場所は14621研究室(14号館6階)になります。 *他の曜日についてはメールにて、随時受付します。m-onishi@kiui.ac.jp							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			第1回オリエンテーション 第2回SDGsとは何か?(1) ~「寄生獣」の問いから考える~ 第3回SDGsとは何か?(2) ~環境倫理学から考える~ 第4回SDGsとは何か?(3) ~映画「不都合な真実2」課題分析~ 第5回SDGsとは何か?(4) ~映画「Joker」による課題分析~ 第6回SDGsとは何か?(5) ~映画「Joker」から見た持続可能~ 第7回ワークショップ動画作成(アプリ) 第8回ワークショップ動画作成(作成) 第9回資本主義を考える(1) 第10回資本主義を考える(2) 第11回ケーススタディ トロッコ問題 第12回動画における持続可能 漫画・アメドラの比較から 第13回自分の持続可能性(1) インタビュー 第14回自分の持続可能性(2) ディスカッション 第15回まとめ 第16回 試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL AL 試験	大西 大西 大西 大西 大西 大西 大西 大西 大西 大西 大西 大西 大西 大西 大西 大西	
教科書 1	授業中に資料を配布します。							
教科書 2								
参考書 1	河合雅司の未来の透視図 著者:河合雅司 出版社:ビジネス社 ISBN:ISBN-10: 4828420061 ISBN-13: 978-4828420066							
参考書 2								

授業科目名	地域づくりワークショップデザイン				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	井勝 久喜					NO.	SS-BU-2-313		
配当学科	経営社会				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>「種々のワークショップ方法を活用した地域づくりの方法の理解」をテーマとし、地域づくりに必要なワークショップ技能を学んでいく。 地域課題解を解決し地域活性化を行うためには、対話の場や計画づくりの場が必要である。そのための手法として参加型の話し合いの場(ワークショップ)がある。様々なワークショップの手法を学び、地域づくりワークショップをデザインできるようになることを到達目標とする。</p>								
概要	<p>地域課題解の解決、地域づくりの方法はそこに住んでいる人が考えることが大切である。住民が自らの手で課題を解決し、地域活性化を行うためには、対話の場や計画づくりの場が必要である。 本講では、まず、ワークショップの進行に必要なファシリテーション技能、アイスブレイク技能について講義と実践により身につける。続いて、ワークショップの基本的な考え方、プログラムの作り方について学ぶ。その後、各種ワークショップ技法を実践しながら学んでいき、最後にワークショップの実践を行い、ワークショップを企画運営できる能力を身につける。</p>								
評価方法	講義と参加型学習を組み合わせる授業を行う。毎回授業レポートを提出してもらい、レポートを評価する(70%)。最後に、試験を行い評価(30%)する。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には、減点することもある。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。								
履修条件・注意事項	<p>1) 初回の講義には、必ず出席すること。 2) 毎回の授業での活動が評価の対象となるので、授業を休まないこと。</p>								
自己学習	<p>1) 授業前に前週に配布するプリントで予習をしてくること。 2) 指示に従って、必ずノートを作成し復習をすること。 予習及び復習には各2時間程度必要。</p>								
オフィスワ-	研究室(14601号室)にて、水曜日5時限に実施								
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者				
			第1回 ワークショップの3要素 第2回 ワークショップをデザインする 第3回 ファシリテーションスキル 第4回 ファシリテーターの心構え 第5回 心をほぐすアイスブレイク 第6回 身体をほぐすアイスブレイク 第7回 プログラムの基本形 第8回 プログラムのデザイン 第9回 シナリオシートの作成 第10回 考えを深め合うワークショップ技法 第11回 多様な視点で考えるワークショップ技法 第12回 話し合いをまとめるワークショップ技法 第13回 行動計画をつくるワークショップ技法 第14回 住民合意形成ワークショップのワークショップの実践 第15回 地域づくりワークショップの実践 第16回 試験	講義・GW 講義・GW 講義・GW 講義・GW 講義・GW 講義・GW 講義・GW 講義・GW 講義・GW 講義・GW 講義・GW 講義・GW GW GW 筆記試験	井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝				
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)								
教科書 2									
参考書 1	地域づくりワークショップ入門 著者: 傘木宏夫 出版社: 自治体研究社 ISBN: 4-88037-424-5								
参考書 2	ワークショップ・デザイン 著者: 堀公俊・加藤彰 出版社: 日本経済新聞出版社 ISBN: 978-4-532-31403-3								

授業科目名	現代社会の思想			履修期	2021年度 春学期		
担当者	赤坂 真人				NO.	SS-BU-3-314	
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ この講義では社会思想と社会学の歴史を概観する。イギリスの自由主義・功利主義、フランス啓蒙主義から始め、近代社会学理論の理論家たちの言説を講義する。</p> <p>到達目標 単なる知識にとどまらずその応用に重点を置く。講義と論述式の小テストの繰り返しにより、学生たちが日常的な出来事を客観的かつ合理的に考えることができるように、かつ「正義とは何か」について適切な道徳的判断できるようにする。</p>						
概要	<p>まずイギリスの自由主義社会学理論としてT.ホブズ、J.ロックを論じ、その後、社会契約説を体系化したモンテスキュー、ルソーについて講義する。次に、イギリスで展開された功利主義・自由主義とカントの道徳至上主義を対比させ正義論の基礎を解説する。後半は社会学思想に焦点を移し、フランス革命を契機として登場したA.コント、サン＝シモンの産業主義、資本主義批判を行ったK.マルクス、その起源について考察したM.ウェーバー、近代化に伴う社会変動を考察したE.デュルケーム、G.ジンメル、マルクスとウェーバーを継承して知識社会学を確立したカール・マンハイム、社会学にシステム分析を導入したV.パレート。社会学システム理論(機能分析)を社会学のメインパラダイムにしたT.パーソンズとR.マートンについて講義する。</p>						
評価方法	講義内小テスト(40%)と定期試験(60%)によって評価する。						
履修条件・注意事項	講義はきわめて抽象的かつ難解である。抽象的思考ができる学生に履修を勧める。						
自己学習	毎回配布されたプリントを復習すること。学期中、毎回2時間の予習と2時間の復習をすること。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10～16:40)に、研究室(9309)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.T.ホブズ(リヴァイアサン) 2.J.ロック(統治二論) 3.モンテスキュー(法の精神) 4.J.J.ルソー(社会契約論) 5.フランス革命とA.コント 6.サン＝シモン(産業主義) 7.功利主義(ベンサム) 8.功利主義(J.S.ミル) 9.自由主義(J.ロック・J.ミル) 10.完全自由主義(ロールズ) 11.カントの道徳至上主義 12.マルクスと共産主義 13.E.デュルケームと実証主義 14.M.ウェーバーと観念論 15.T.パーソンズと機能主義 16.定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂					
教科書 1	<p>社会学の歴史 著者: 奥井智弘 出版社: 東京大学出版会 ISBN: 978-4130520232</p>						
教科書 2	<p>これから「正義」の話をしよう 著者: M・J・サンデル 出版社: 早川書房 ISBN: 978-4152091314</p>						
参考書 1	<p>正義の教室 著者: 飲茶 出版社: ダイヤモンド社 ISBN: 978-4478102572</p>						
参考書 2	<p>社会学の方法 著者: 佐藤俊樹 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4623061242</p>						

授業科目名	地域マネジメント			履修期	2021年度 春学期		
担当者	大西 正泰					NO.	SS-BU-3-315
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ;人口減少・少子高齢化に苦しみ、小さい自治体の取り組みをテーマとする。 到達目標;地域をめぐる諸問題を解決してきた先進事例をとりあげて分析を行う。 分析を通じて、自然及び社会資本などを活用した地域主体の体制づくりについて学び、新たな提案ができることを目標とする。</p>						
概要	<p>・地方をめぐる諸問題を多角的(特にマネジメントに注目し)に取り上げ、問題点の把握と現状分析を行う。 本授業では、全国の事例をもとにしたケーススタディを行い、現状の洗い出しと課題の認識を共有しながら、どのように課題解決を提案していけばいいのか、そのスキルを身につけます。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、徳島県上勝町ほか、全国各地の地域と実際に連携して携わってきた実務経験のある教員が担当します。 また、ケースに指定されている地域で地域マネジメントを行っている方を外部講師としてお招きする予定です。</p>						
評価方法	①毎回の感想レポート(50%)、②課題レポートなど(50%)によって評価します。						
履修条件・注意事項	<p>・指定された教科書はありません。ケースごとに資料をデータでお渡しします。 ・大幅な遅刻や無断欠席はグループワークや評価に影響するので、ご注意ください。 やむを得ない場合、必ずメールなどで連絡してください。</p>						
自己学習	<p>・各ケースについては、web記事をもとに事前学習(2時間程度)を必ず行ってください。 ・テレビや新聞報道による地域事例に目を配り、自己学習に努めましょう。 ・グループ活動では、積極的な問題提起や発言ができるようにしてください。</p>						
オフィスワ-	<p>・月曜日(2,3限) 火曜日(2,3限) 場所は14621研究室(14号館6階)になります。 *他の曜日についてはメールにて、随時受付します。m-onishi@kiui.ac.jp</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回オリエンテーション	講義	大西					
第2回映画でみる地域マネジメントとは?	演習	大西					
第3回ケーススタディ①(中山間・農業) 徳島県上勝町/葉っぱビジネス	演習	大西					
第4回ケーススタディ②(中山間・林業)	演習	大西					
岡山県西粟倉村/林業クラスター *北海道下川町/林業クラスター	演習	外部講師					
第5回中山間地域の課題を振り返る ・ボランティアのジレンマ ・エコシステム	演習	外部講師					
第6回ケーススタディ③(外海・その他) ・宮城県女川町/漁師町と震災	演習	大西					
第7回ケーススタディ④(教育など) 島根県海士町/高校魅力化プロジェクト	演習	大西					
第8回ケーススタディ⑤(中山間・文化) 徳島県神山町(アート)	演習	大西					
第9回ケーススタディ⑥(内海・文化) 瀬戸内海エリア(瀬戸内芸術祭)	演習	大西					
第10回文化による課題解決を振り返る 祭り・アート・新陳代謝など	演習	大西					
第11回地域における中心 宗教・公園・幕府・商店街・駅など	演習	大西					
第12回ケーススタディ⑦(商店街) 高松・丸亀町/沼垂テラス商店街	演習 試験	大西 大西					
第13回ケーススタディ⑧(商店街) 倉敷市美観地区							
第14回新たな”中心街”の芽吹き ・佐賀市/駐車場再生 ・武雄市武雄図書館/インフラの再整備							
第15回第3の中心と余白のデザイン 第16回試験							
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	<p>未来を変えた島の学校——隠岐島前発 ふるさと再興への挑戦 著者:山内道雄、岩本悠、田中輝美</p>						

出版社:岩波書店 (2015)
ISBN:978-400248761

参考書 2

神山進化論: 人口減少を可能性に変えるまちづくり
著者:神田誠司
出版社:学芸出版社 (2018)
ISBN:978-4761526924

授業科目名	地域課題解決法			履修期	2021年度 秋学期	
担当者	大西 正泰				NO.	SS-BU-3-316
配当学科	経営社会			年次	3	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	<p>テーマ;社会を構成する最小単位の地域が抱える課題に対して、相互支援と解決の手法を事例から学ぶ。到達目標;地域の社会的実態を改善するための多様な見方ができるようになることを目標とする。</p>					
概要	<p>人口減少、少子高齢化などが進行する地域では、後継者不足の農業や伝統産業、空き家問題、商店街の空洞化、公立学校の廃校、公共交通システムの問題等が起きている。これらのケースに対して、個別での対応(マイクロ)と全体としてみた場合の課題の捉え直しと解決策の提案(マクロ)を次々と行っている岡山県西粟倉村を事例にし、解決に至る道筋や解決法をもとに、それ以外の方法はなかったのかなどを考えることで基礎的な能力を養う。</p> <p><本授業の進め方></p> <ol style="list-style-type: none"> 1)岡山県西粟倉村にいき、実際のケースをもとに学ぶ。 多角的な視点から取り上げて問題点の把握と現状分析を行う。 2)地域社会構成員である行政・企業や団体・コミュニティ・個人の相互の役割と関係性について考察する。 3)実際のケースなどに基づいた解決策の分析、他の選択肢を通じて、より深く学ぶ。 <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、地域と連携して携わってきた実務経験のある教員を軸に、地域づくりに関わっている外部講師などを呼ぶ予定です。</p>					
評価方法	<p>評価方法は、 ①毎回の感想・課題レポート(50%)、②GW(グループワーク) (50%)で評価します。 GWでは、①積極的な姿勢と発言、②GWでのマネジメント、③GW後の感想レポートから評価していきます。</p>					
履修条件・注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1)「地域づくり論」「地域マネジメント」のどちらかを受講し、地域づくりの基礎的な知識をもっていること。 2)実習は、土日に実施する場合がある。 3)実習のため、留学生についてはN2以上であることが望ましいを履修条件とする。 <p>・大幅な遅刻や無断欠席はグループワークや評価に影響するので、ご注意ください。 やむを得ない場合、必ずメールなどで連絡してください(できるだけ事前をお願いします)。</p>					
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・協働する対象地域の取組みを毎回事前に説明するので、自己学習を行い、実践活動に臨むこと。 ・地域協働の作業後は、毎回成果と課題をまとめた実践ノートを作成し、復習で必ず完結させること。 ・地域活動に参加しただけでは単位は取れないので、各2時間程度の予習、復習の整理が必要である。 					
オフィスワ-	<p>月曜日(2、3限) 火曜日(2、3限) 場所は14621研究室(14号館6階)になります。 *他の曜日についてはメールにて、随時受付します。m-onishi@kiui.ac.jp</p>					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 課題の本質(一極集中と多極分散) 3. 岡山県西粟倉村日帰り研修(1) 4. 岡山県西粟倉村日帰り研修(2) 5. 岡山県西粟倉村日帰り研修(3) 6. インフラ課題(医療・福祉) 7. インフラ課題(モビリティ) 8. インフラ課題(教育) 9. 林業課題(森の学校) 10. 林業課題(産業クラスター) 11. 産業課題(ローカルベンチャー) 12. 産業課題(エコシステム) 13. 対話ワークショップ(1) 人生グラフ「自分を知る」 14. 対話ワークショップ(2) インタビュー「相手を知る」 15. 対話ワークショップ(3) パネラー「要約と整理」 16. 試験 	講義 講義 実習 実習 実習 AL 演習 AL AL AL AL AL AL GW GW GW 試験	大西 大西 大西 大西 大西 外部講師 外部講師 大西 外部講師 大西 外部講師 外部講師 大西	
教科書 1						
教科書 2						
参考書 1	ローカルベンチャー 著者:牧大介 出版社:木楽舎 ISBN:ISBN978-4-86324-124-4C0034					
参考書 2	未来の年表 著者:河合雅司 出版社:講談社現代新書 ISBN:978-4-06-288431-0					

授業科目名	現代社会の理論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-3-317
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:社会を構成する原理・概念について理解する。 到達目標:人間関係や社会現象・問題を解説する「社会学的想像力」を身につける。</p>						
概要	<p>本講義は、人間の社会的行為や社会集団の構造や機能について学び、社会を読み解く力を身に付けることを目指す。まず身近な例をあげながら、社会学の基礎的な概念と社会的なものについて解説する。それらを通して、人が他者から影響を受け、また他者に対しても影響を与える存在であることを理解するとともに、社会全体の仕組みについて学ぶ。講義では個別テーマを取り上げ、現代社会の動向を社会学的にとらえていく。</p>						
評価方法	授業内での課題やレポート等の提出物(30%)と定期試験(70%)によって評価する。						
履修条件・注意事項	授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。						
自己学習	配布資料や参考書などを読み、予習・復習(各2時間程度)をする。						
オフィスアワー	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.社会学と理論 3.社会的行為 4.欲求 5.準拠集団 6.規範 7.自我 8.アノミー 9.役割と地位 10.役割演技 11.社会集団と組織 12.官僚制組織 13.構造と機能 14.階級と階層 15.まとめ 16.定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元
教科書 1	資料を配布する。						
教科書 2							
参考書 1	社会学の理論 著者:碓井タカシ・大野道邦・丸山哲央・橋本和幸編 出版社:有斐閣ブックス ISBN:4641086494						
参考書 2	クロニクル社会学 著者:那須壽 出版社:有斐閣アルマ						

授業科目名	社会調査法 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	坂口 恵莉					NO.	SS-BU-1-401	
配当学科	経営社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	社会調査の意義と諸類型に関する基本的事項を解説する科目である。具体的に、社会調査史、社会調査の目的、調査方法論、調査倫理、社会調査の種類と実例、量的調査と質的調査、統計的調査と事例研究法、国勢調査等の公的統計、学術調査、世論調査、マーケティング・リサーチなどのほか、調査票調査やフィールドワークなど、資料やデータの収集から分析までの諸過程に関する基礎的事項を学び、基本用語を使えるようになることが到達目標である。「社会調査士」資格取得を希望する学生が最初に受講すべき初歩的な科目である。資格取得に必要な標準カリキュラムのA科目にあたる。資格取得を目指していない学生も歓迎する。							
概要	社会調査の意義やその方法に関する基本的な概念を学習することを通して、「社会を読む」ために必要な想像力と論理力を身につける。官庁統計から地域調査まで、いろんなタイプの社会調査を取り上げ、それぞれの意義と方法について解説する。数学や統計的知識は必要ない。単なる調査技術の理解にとどまらず、社会学的思考とは何かについて、考えるきっかけとなしてほしい。 ※実務経験のある教員による授業科目 該当しない							
評価方法	この科目の到達目標は、資料やデータの収集から分析までの諸過程に関する基礎的事項を学び、基本用語を使えるようになることである。そして、学生には、社会調査の意義やその方法に関する基本的な概念を学習することを通して、「社会を読む」ために必要な想像力と論理力を身につけることが求められる。したがって、この科目では、基礎的事項の理解や、論理力を確認するための小テスト(50%)と、期末試験(50%)で評価する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施する小テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	本科目は社会調査士資格科目である。日本語学習者においては、一定以上の日本語運用能力が求められる。							
自己学習	学生は、単位認定試験に向けて、基礎的事項の理解を積み上げていくことが重要である。講義資料と参考文献を用いた予習および復習には、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	毎授業後(ランチタイムに該当)に、講義を行う教室にて実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
01. オリエンテーション 02. 社会調査史 03. 社会調査の目的と意義 04. 社会調査の方法と選択: 量的調査と質的調査 05. 調査倫理 06. 量的調査: 種類と実例 07. 量的調査: データ収集の方法 08. 量的調査: データ分析の方法 09. 社会調査のデータと情報 10. 質的調査: 実際の質的記述の例 11. 質的調査: データ収集の方法(1) 12. 質的調査: データ収集の方法(2) 13. 質的調査: データ分析の方法 14. 社会調査の今日的課題 15. 調査報告書のまとめ方 16. 試験	講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口 坂口						
教科書 1	なし							
教科書 2								
参考書 1	『入門・社会調査法：2ステップで基礎から学ぶ第3版』 著者：轟亮，杉野勇編，2017， 出版社：法律文化社 ISBN：9.78459E+12							
参考書 2	『はじめて学ぶ社会調査：リサーチ・マインドを磨く8つのレクチャー』 著者：儘田徹 出版社：慶應義塾大学出版会 ISBN：9.78477E+12							

授業科目名	社会調査法Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-1-402
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:社会調査の結果を分析できるようになるための基本的な方法を習得する。</p> <p>到達目標(4つ)</p> <p>①公的統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文が読めるための基本的知識を身につける。</p> <p>②単純集計、度数分布、代表値、散布度、クロス集計などの記述統計データや、グラフの読み方が身につく。</p> <p>③さまざまな質的データの読み方、基本的なまとめ方を身につける。</p> <p>④相関係数など基礎的統計概念、因果関係と相関関係の区別、擬似相関の概念が理解できるようになる。</p>						
概要	<p>新聞や雑誌には多くの社会調査の情報があふれているが、その「読み方」までは教えてはくれない。この授業では、実際の社会調査に基づくデータや報告書の実例を出しながら、その意味を読み解くうえでの基本的な考え方について講義する。</p> <p>社会調査法Ⅰで学んだ入門的知識を踏まえ、常識や思い込みにとらわれず、調査データに基づいて思考する能力を身につける。</p> <p>社会調査分析に必要な変数と尺度化、単純集計、クロス分析、因果関係と相関関係の区分、擬似相関、検定等の概念の理解を通し、単なる調査技術の理解にとどまらず、社会学的思考力を高めることが目的である。</p> <p>本科目は、社会調査士の資格取得に必要な標準カリキュラム「C科目」にあたる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、研究者として社会調査を实践する担当教員(専門社会調査士)によるものである。社会調査の手法を具体的に学びながら学生の理解を深める。</p>						
評価方法	<p>授業中課題提出(50%)＋定期試験(50%)で評価を行う。</p> <p>なお、評価のために実施した課題は総括としてフィードバックを行うため、試験までに復習を行うこと。</p>						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は配布するハンドアウトに沿って進める。ファイルを準備し保管のこと。 ・原則として、「社会調査法Ⅰ」を履修済みであることを条件とする。 ・資格取得に関わる科目のため、留学生の受講に際しては、N2合格水準レベルの日本語力が求められる。 						
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業時に、授業内容の理解度をはかる課題が出る。 ・十分な予習と復習(毎回約2時間)を必要とする。 						
オフィスアワー	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. オリエンテーション 02. 社会調査における分析 03. 社会調査における変数・尺度 04. 記述統計データ ①単純集計 05. 記述統計データ ②度数分布 06. 記述統計データ ③様々な代表値 07. 記述統計データ ④分散 08. 記述統計データ ⑤因果関係と相関関係 09. 記述統計データ ⑥クロス集計 10. 記述統計データ ⑦相関係数と擬似相関 11. 様々な統計資料を読む ①各白書 12. 様々な統計資料を読む ②国際比較調査 13. 質的データの読み方 ①インタビュー 14. 質的データの読み方 ②観察法 15. 質的データの読み方 ③ドキュメント分析 16. 単位認定試験	講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 試験	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮		
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	社会調査の基礎—社会調査士A・B・C・D科目対応 著者:篠原 清夫ほか(編) 出版社:弘文堂 ISBN:978-4335551338						
参考書 2							

授業科目名	社会調査統計学Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-2-405	
配当学科	経営社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ:社会調査における量的データの分析方法を学ぶ。 到達目標:多変量解析法について、基本的な考え方と分析方法について理解する。 本講義は、社会調査士資格取得のための標準カリキュラムE科目に該当する。</p>							
概要	<p>本講義は、量的データの分析で用いられる多変量解析の手法について、知識・スキルの習得を目指す。まず種々の解析法に関してその基本的な考え方と主要な分析手法について学ぶ。分散分析や重回帰分析を基本としながら、他の計量モデルとして主成分分析、判別分析、因子分析などをとりあげる。これらの理解と実践を通してデータ解析の方法を身に付ける。</p> <p>講義内容に対応しパソコンを使用して演習を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、研究者として社会調査を実践する担当教員(専門社会調査士)によるものである。</p>							
評価方法	演習問題や課題等の提出物(30%)と定期試験(70%)によって評価する。							
履修条件・注意事項	<p>本講義は、社会調査士資格取得のための標準カリキュラムE科目に該当するため、厳格な講義運営を行う。また、社会調査士関連科目のA・B・C・D科目(本学設置科目名「社会調査法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「社会調査統計学Ⅰ」)について、すべて既習であることを履修条件とする。</p> <p>授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。</p>							
自己学習	配布資料や参考書などを読み、予習・復習(各2時間程度)をする。							
オフィスワ-	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1.オリエンテーション 2.基礎知識の復習:記述統計量 3.基礎知識の復習:仮説検定 4.疑似相関 5.多重クロス表, 偏相関分析 6.分散分析 7.交互作用効果 8.単回帰分析 9.重回帰分析の基礎 10.ダミー変数・多重共線性 11.重回帰分析の応用 12.主成分分析 13.因子分析 14.クラスター分析 15.まとめ 16.定期試験	講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 試験	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元		
教科書 1	資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	<p>心理統計学の基礎 著者:南風原朝和 出版社:有斐閣アルマ</p>							
参考書 2	<p>SPSSによる多変量解析 著者:村瀬洋一・高田洋・廣瀬毅士 出版社:オーム社</p>							

授業科目名	地域社会分析				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-2-406
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>社会調査の手法の中でも特に、質的データの収集や分析方法について理解を深め、調査技術を習得する実践的な講義である。質的データの収集の方法として、インタビュー法、フィールドワーク、参与観察法等を学ぶ。また、ライフヒストリー分析や会話分析などの分析方法を学ぶことを通じ、質的調査の技術の習得を目指す。</p> <p>また、質的調査の技術の習得と同時に、複数の質的調査を用いた研究例の紹介や解説についても授業中に行うため、質的調査の研究法についての理解を深めることができる。</p> <p>なお、この科目は、社会調査士資格取得に必要な標準カリキュラムの「F科目」に該当する。</p>						
概要	<p>インタビュー、参与観察法、フィールドワークなどの手法を講義と演習形式を組み合わせた授業をもとに学ぶ。データ分析の方法についても、コーディング作業などを実際に行いながら習得を行う。</p> <p>受講生は単に質的調査法の技法を学ぶだけでなく、社会学の視点、社会調査とは何かについても理解を深めることを求める。この講義を通して学ぶ社会調査の思想や技法は、受講生がレポートや卒業論文作成等を行う際にも役立つものとなる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、研究者として社会調査を実践する担当教員(専門社会調査士)によるものである。社会調査の手法を具体的に学びながら学生の理解を深める。</p>						
評価方法	<p>毎回の提出課題(50%)、定期試験(50%)で評価を行う。</p> <p>評価のために実施した提出課題(小レポート)は、授業中にフィードバックするので、単位認定試験までに復習しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、社会調査法Ⅰ、社会調査法Ⅱ、社会調査法Ⅲを既習であること。 ・授業は毎回配布する資料をもとに、演習課題作業を行う。 ・配付資料はファイル等を作成し、必ず全て保管しておくこと。 ・留学生については、質的調査の遂行には高い日本語力が求められるため、日本語能力試験N2に合格していることを履修の条件とする。 						
自己学習	<p>配布資料をもとに必ず復習を行うこと。</p> <p>授業の予習・復習には、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01. 授業オリエンテーション 02. 社会調査の目的と意義 03. 質的調査の考え方(質的調査研究例の紹介・解説1) 04. 質的調査で扱うデータの種類とその理解(質的調査研究例の紹介・解説2) 05. インタビュー 基礎 06. インタビュー 実践 07. インタビュー 言語データの扱い方 08. インタビュー 分析(コーディング) 09. フィールドワーク 基礎 10. フィールドワーク 応用 11. 参与観察法 基礎 12. 参与観察法 応用 13. ワークショップ 14. ライフヒストリー分析 15. 会話分析 16. 定期試験			講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 試験	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	<p>よくわかる質的調査法 技法編 著者:谷富雄・芦田徹郎 編著 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623052738</p>						
参考書 2							

授業科目名	社会調査実習				履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-3-407	
配当学科	経営社会				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	4	時間数	120	授業形態	実習	
テーマと到達目標	<p>テーマ:社会調査の課題を設定し、調査を企画・実践する。 到達目標:社会調査の実践能力を高め、報告書を作成する。 この科目は、社会調査士資格取得のための標準カリキュラムG科目に該当する。</p>							
概要	<p>本実習は、社会調査に関する基礎的な知識を習得したことを前提とし、実際に調査の企画から報告書の作成までの社会調査の全過程について経験する。データを用いた論文・書籍を理解するための知識とともに、調査の実施と分析を行うスキルを身につけることを目指す。 方法としては、各自の関心をもとに仮説をたて、その仮説にしたがって調査票を作成し質問紙調査を実施する。そこから得られたデータについて集計・統計分析を行い、結果を報告書にまとめる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、研究者として社会調査を実践する担当教員(専門社会調査士)によるものである。</p>							
評価方法	課題等の提出物や実習への貢献度(20%)と報告書の作成(80%)によって評価する。							
履修条件・注意事項	<p>本実習は、社会調査士資格の取得を目指す学生を対象とする。したがって、他の社会調査士関連科目はすべて既習であることを履修条件とする。(F科目は選択だが既習の方が望ましい。) 加えて日本語学習者においては、N2を合格していることも履修の必須要件とする。(報告書を執筆するため日本語の文章能力が求められる。) 授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。</p>							
自己学習	配布資料や参考書などを読み、予習・復習・課題(4時間程度)をする。							
オフィスワ-	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.社会調査の流れ 3.調査企画 4.概念・仮説・調査枠組 5.仮説構成 6.調査テーマの報告(1) 7.調査テーマの報告(2) 8.調査設計:項目設定(1) 9.調査設計:項目設定(2) 10.調査票作成(1) 11.調査票作成(2) 12.調査設計:対象者選定 13.調査設計:サンプリング 14.調査準備 15.実査		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元	16.データ整理:集計 17.データ整理:コーディング 18.SPSSの操作:記述統計量 19.SPSSの操作:2変数の関連 20.データ分析(1) 21.データ分析(2) 22.分析結果の報告(1) 23.SPSSの操作:多変量解析 24.データ分析(3) 25.分析結果の報告(2) 26.報告書の執筆(1) 27.報告書の執筆(2) 28.報告書の執筆(3) 29.最終報告(1) 30.最終報告(2)			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元
教科書 1	資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	授業の進行に応じて適宜紹介する。							
参考書 2								

授業科目名	基礎演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	李 分一、井勝 久喜、雲津 英子、黒宮 亜希子、秀 真一郎、大西 正泰、竹岡 志朗、稲元 洋輔、藤井 伊津子、片山 章郎、姜 明求、栗田 喜勝、赤坂 真人、中野 明子					NO.	SS-BU-1-501
配当学科	経営社会			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】 大学で学ぶ上で必要な基礎的な知識、学習スキルを習得する。 学科内での人間関係形成を通じ、コミュニケーション力を養う。</p> <p>【到達目標(主に3つ)】 ①新入生がスムーズに大学生活を送ることが出来るよう、大学で学ぶための基礎的な知識を身につける。 ②大学生・社会人として必要な社会的マナーを身につける。 ③演習における少人数のグループ活動を通じて、自己理解や自己表現、コミュニケーションスキルの向上を目指す。</p>						
概要	1年生全体での合同授業では、大学生活や経営社会学科で学ぶために重要なガイダンス(コース・資格の説明)、さらには、学科全体でのレクリエーション活動を実施する。 各チューター別の演習授業時には、指定されたテキストを基に、大学での基本的な学び方、コミュニケーション(話し方・聴き方)、マナー(電話やメールの作法など)に関して、毎回一つずつトピックを取り上げながら演習形式で学習を進める。						
評価方法	各チューターごとの演習における取り組み姿勢(50%)、提出課題・レポート(50%)を総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	<p>①経営社会学科(1年次)の卒業必修科目である。</p> <p>②テキストを配布する。書き込み式テキストのため、忘れないように毎回持参のこと。</p> <p>③授業中または授業後に、課題・ミニレポート等の提出が求められる。提出物を基にフィードバックを行う。</p> <p>④合同(1年生全員)で実施する回と、各チューター単位で活動する回に分かれている。予定に注意すること。</p>						
自己学習	<p>・演習形式の授業であるため、積極的な参加が重要である。</p> <p>・テキストを基に、事前・事後の学修に各2時間を要する。</p>						
オフィスアワー	チューター教員ごとにオフィスアワーが異なる。授業時にオフィスアワーに関しては説明がある。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
01. オリエンテーション ①授業予定説明等	講義・演習	全教員					
02. オリエンテーション ②コース、資格等について	講義・演習	全教員					
03. 学生交流活動 ①出合いのこころみ	演習	全教員					
04. 学生交流活動 ②	演習	全教員					
05. 大学で学ぶということ ①自主性を発揮して大学生活を楽しもう	演習	全教員					
06. 大学で学ぶということ ②大学での学びとは	演習	全教員					
07. コミュニケーションとマナー ①コミュニケーションの重要性	演習	全教員					
08. コミュニケーションとマナー ②話を聴く	演習	全教員					
09. コミュニケーションとマナー ③わかりやすく話す	演習	全教員					
10. 学外交流活動 ①	学外活動	全教員					
11. 学外交流活動 ②	学外活動	全教員					
12. コミュニケーションとマナー ④マナーの本質と重要性	演習	全教員					
13. コミュニケーションとマナー ⑤人に依頼するときのマナー	演習	全教員					
14. コミュニケーションとマナー ⑥電話・メールの作法	演習	全教員					
15. 春学期まとめ(振り返りレポート)	演習	全教員					
教科書 1	マイキャリアノート I Basic (基礎演習 I 授業時に配布する) 著者:ベネッセ i-キャリア 出版社:ベネッセ i-キャリア						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	基礎演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	李 分一、井勝 久喜、雲津 英子、黒宮 亜希子、秀 真一郎、大西 正泰、竹岡 志朗、稲元 洋輔、藤井 伊津子、片山 章郎、姜 明求、栗田 喜勝、赤坂 真人、中野 明子					NO.	SS-BU-1-502
配当学科	経営社会				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>基礎演習Ⅱのテーマ： 基礎演習Ⅱでは社会科学部経営社会学科の教員14名がどのような研究をしているかを学生に提示し、それによってこの学科で何が学べるかを概観することを目的とする。学生は各教員の専門領域を知り、それにしたがって次年度から始まるゼミの選択を行う。また前期同様、主に学生たちの日本語能力・国語力を向上させることを目的とした個別ゼミを行う。</p> <p>到達目標： 各教員が自らの研究を紹介することで、次年度からのゼミナール選択の情報を得る。また日本語の文章を読み、内容をまとめることによって読解力と文章力が向上する。留学生の場合は日本語能力向上を目指した授業を行うので、日本語能力が上昇する。</p>						
概要	<p>■この演習は、実務経験のある外部講師による授業も行う。 経営社会学科の教員がそれぞれの専門領域と自己の研究テーマを紹介する。(内容については秋学期授業計画を参照)。それが終わり次第各教員の研究室で個別ゼミを実施し、日本語能力および国語力の向上につとめる(日本人学生は読解・記述能力。留学生は日本語の読解能力と会話能力)。また、外部講師による講演を行い、地域企業の取り組み等を紹介する。</p>						
評価方法	評価は個別チューターのゼミ・講義での取り組み50%、授業課題50%を総合的に評価する。課題に対するフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	欠席回数が5回を超えた場合、単位認定評価の対象とならない。						
自己学習	(1)参加型演習のために、演習生は事前課題を調べた上で参加すべきである。演習は、この課題をめぐって討論形式で行う。 (2)予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを提出しなければならない。						
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。チューター先生ごとのオフィスアワー(各先生の研究室と時間帯の参照)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. オリエンテーション 02. チューター研究室で個別ゼミ 03. 現代社会入門+個別ゼミ 04. 環境と経済+個別ゼミ 05. ビジネスメールの基礎+個別ゼミ 06. 経営学とは+個別ゼミ 07. 地域との交流会 事前オリエンテーション 08. 地域との交流会(高梁市松原町) 09. 地域との交流会(高梁市松原町) 10. 東アジア国際関係+個別ゼミ 11. 社会問題と社会福祉+個別ゼミ 12. ゼミ選択説明会 13. チューター研究室で個別ゼミ 14. チューター研究室で個別ゼミ 15. チューター研究室で個別ゼミ(秋学期まとめ)	演習 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 学外活動 学外活動 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習	全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員		
教科書 1	初回の演習時に配布 著者:経営社会学科教員によるレジュメ						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	SS-BU-2-503
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ テーマは「教養教育」である。自然科学・社会科学・人文学に関する書籍で、評価の高いものからそれぞれ3冊を選び、発表者を割り当てパワーポイントでプレゼンを行う。当日の討論を終えた後、3回に1回のペースで論述試験を行う。また文章を要約する練習、文章に見出し・タイトルをつける練習なども行う。</p> <p>到達目標 幅広く且つ早く読むことで読書力を鍛える。議論することによって知識を定着させ、自分の意見を述べる練習を行う。小論文を書くことで文章能力を高める。文章の要約により文章のポイントを把握する力をつける。</p>						
概要	<p>読書予定文献は次のようなテーマに関連する。 社会科学：(日本経済・地域社会・政治哲学)自然科学：(人工知能・進化生物学・宇宙) 人文学：(歴史・幸福学・古典文学・哲学・社会学) 授業の開始前に学生に書籍またはハンドアウトを渡すので、次週ゼミ開始までに読んでおく。毎回、学生に課題テキストを割り当て、テキストの要旨を報告させる(レジュメまたはパワーポイント使用)。その後全員で討論し、教員が指示したテーマに関する小論文を執筆する。小論文は教員が添削し、コメントをつけて翌週返却する。</p>						
評価方法	評価はゼミへの取り組み(50%)、ゼミでの小試験(50%)で評価する。						
履修条件・注意事項	『基礎社会学』『社会調査法』『社会統計学』を履修しておくことが望ましい。また日々のニュースによって社会に関する理解を深めておくこと。無断欠席は許されない。						
自己学習	学期中、毎週、予習と復習に各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10～16:40)に、研究室(9309)にて実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.学問とは何か:知の生産 2.科学とは何か:科学の構造 3.経済とは何か:価値の創造 4.教育とは何か:文化の継承 5.法律とは何か:憲法改正 6.社会とは何か:集団で生きる 7.政治とは何か:目標達成と権力 8.国際社会の展望:G2の時代 9.歴史認識とは何か 10.正義とは何か(功利主義) 11.正義とは何か(自由主義) 12.幸福とは何か(哲学的考察) 13.ポジティブ心理学と幸福 14.進化心理学:適応力の上昇 15.人口知能と社会変動 16.筆記試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂				
教科書 1	日本型教養の運命 著者: 筒井清忠 出版社: 岩波現代文庫 ISBN: 978-4006002312						
教科書 2	大学とは何か 著者: 吉見俊哉 出版社: 岩波書店 ISBN: 978-4004313182						
参考書 1	進化心理学入門 著者: アラン・S・ミラー / サトシ・カナザワ 出版社: PanRolling ISBN: 978-4775942055						
参考書 2	38億年の生命史に学ぶ生存戦略 著者: 稲垣栄洋 出版社: PHP出版 ISBN: 978-4569845753						

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	井勝 久喜					NO.	SS-BU-2-503
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「課題探究能力・主体的判断能力の育成」をテーマとして、自主的学習のための基礎知識を身につけ、自らが課題を見つけ出す能力を身につけることを到達目標とする。						
概要	専門分野における総合的な課題探究能力・主体的判断能力の育成を目指して、一般基礎教育・教養教育と専門教育の有機的連関を考察する。指導者から与えられる専門情報に関して、受容から獲得へ、学習から研究へと、理解様式を深めていく。専門的知識を演習グループの共通認識へ高める。 この科目は、一部の授業時間において企業経験のある外部講師を招いて講義をしていただき、学生の理解を深める。						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言など(50%)で評価する。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には、減点することもある。詳しい評価方法は、最初の演習の時に説明する。課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見なおしておくこと。						
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。自分から進んで演習に参加するという態度で臨むこと。						
自己学習	1)参加型演習のために、演習生は事前に課題を調べた上で参加する。演習は、この課題をめぐって討論形式で行う。 2)演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 3)レポートの返却後に指示にしたがって復習を行うこと。 予習および復習には各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	研究室(14601号室)にて、木曜日5時限に実施する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 演習 I オリエンテーション		GW	井勝				
第2回 読解力演習		GW	井勝				
第3回 プレゼンテーション演習		GW	井勝				
第4回 グループディスカッション演習		GW	井勝				
第5回 コミュニケーション演習							
第6回 外部講師講演会		GW	井勝				
第7回 外部講師講演会		講演・GW	外部講師				
第8回 人生グラフ		講演・GW	外部講師				
第9回 NIE演習		GW	井勝				
第10回 ファシリテーションの基礎		GW	井勝				
第11回 ファシリテーショングラフィック		GW	井勝				
第12回 ファシリテーション演習		GW	井勝				
第13回 フリップボード・ディスカッション演習		GW	井勝				
第14回 フィッシュボール演習		GW	井勝				
第15回 振り返りワークショップ		GW	井勝				
		GW	井勝				
		GW	井勝				
教科書 1	使用しない						
教科書 2							
参考書 1	学びのチップス 著者:近田政博 出版社:玉川大学出版部 ISBN:978-4-472-40401-6						
参考書 2							

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	姜 明求				NO.	SS-BU-2-503	
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「経営学の専門知識の吸収と文献調査の理解」がテーマである。到達目標は、経営学の専門知識の習得と共に、コミュニケーション能力を高める。また、文献を読む能力、考える能力、書く能力、まとめる能力の向上。チームワークとリーダーシップの向上。自己管理能力と問題解決能力の向上。						
概要	ゼミの目的と概要は次のとおりである。本ゼミでは、経営学・国際経営などの基本的な専門知識を身につけることにする。企業経営の仕組み、戦略、組織などについて学習することが目的である。テキストは変更可能である。 また、ゼミ参加者が興味あるテーマを選択し、卒業論文に向けての報告も行ってもらおう。発表に基づいて議論をする。その際に、論文の書き方も指導する。						
評価方法	プレゼンテーション・発表の内容・議論への積極性(50%)、グループ活動の寄与度、ゼミ活動の姿勢(50%)などによって総合的に評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	経営学に関する文献を読むこと。問題意識と積極性を持つこと。無断の欠席は認めない。やむを得ない時は必ず連絡を入れること。必ず事前に配布した資料を読むと共に、復習をすること。休んだ場合には、配布した資料を読むなどとして各自で補う努力をすること。						
自己学習	毎回授業の前には参考資料の予習(毎回2時間)と講義後には復習(毎日2時間)をすること。						
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション・自己紹介 2.経営学とグローバル化に関連する文献の紹介と文章のまとめ方 3.会社の経営はどんなことか 4.会社はどのようにして社会に役立っているのか 5.会社は誰が動かしているのか 6.会社はどのような方針で動いているのか 7.個人面談と個人指導 8.会社はどんな仕組みで動いているのか(組織形態) 9.グループ経営の考え方 10.会社はどのように協力しているのか 11.戦略的提携 12.会社はどのようにしてモノを造るのか 13.QCサークル 14.社員は仕事をどのように分担しているのか 15.全体のまとめ 16.全体のまとめ		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜				
教科書 1	経験から学ぶ経営学入門 著者:上林憲雄・奥林康司・団 泰雄・開本浩矢・森田雅也・竹林明 出版社:有斐閣ブックス						
教科書 2							
参考書 1	演習時に参考書・資料などを予習ができるように適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-2-503
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 大学生・社会人として必要な学びのスキル習得 到達目標: ①読解力(新聞・書籍・論文)、②文章力(レジюме、レポート作成)、③発表力、④情報資料の収集力、らについての学ぶための基礎を養う。 取り上げる題材はいずれも身近なテーマであるため、社会問題、生活問題に対する分析力を養う(問題発見力・論理的思考力)。 ①～④の課題作業(共同作業)を通じ、受講生の自己理解力、コミュニケーション力向上までを目標とする。</p>						
概要	<p>演習とは「ゼミ」のことであり、卒業論文の執筆に向けた準備、さらに社会人基礎力行う重要な場である。 2年次は大学4年間を通じて必要な、①基礎的なリーディング、②ライティング技術(レジюме作成)、③発表(プレゼンテーション)、④情報・資料収集力、を中心に身につけていく(日本人学生・留学生ともに)。 ゼミのプロジェクト・各自の課題についても発表・議論の機会を度々設けるため、積極的な姿勢が望まれる。</p>						
評価方法	準備作業の過程も含めた授業課題(30%)、グループワークやディスカッションへの参加貢献度(30%)、最終レポート(40%)により評価する。						
履修条件・注意事項	ゼミは参加型学習形態の授業のため、授業への出席と予習復習が必要不可欠である。受講生の学習習熟度や、語学力(特に留学生について)により授業計画は多少変更することがある。						
自己学習	課題の予習復習に毎回2時間が必要である。						
オフィスワ-	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション	演習	黒宮					
2. リーディング(1) 文章の読み方(基礎)	演習	黒宮					
3. リーディング(2) 文章の読み方(応用)	演習	黒宮					
4. リーディング(3) 個人発表	演習	黒宮					
5. リーディング(4) 各自の問題関心に沿った読み物(基礎)	演習	黒宮					
6. リーディング(5) 各自の問題関心に沿った読み物(応用)	演習	黒宮					
7. リーディング(6) 発表・ふりかえり	演習	黒宮					
8. レポート・レジюме作成 (1) 基礎	演習	黒宮					
9. レポート・レジюме作成 (2) 様々な文章の書き方について	演習	黒宮					
10. レポート・レジюме作成 (3) レジюмеの基礎	演習	黒宮					
11. レポート・レジюме作成 (4) レポートの基礎	演習	黒宮					
12. レポート・レジюме作成 (5) 課題文章に取り組む	演習	黒宮					
13. レポート・レジюме作成 (6) 課題文章の発表	演習	黒宮					
14. レポート・レジюме作成 (7) 課題文章の修正作業	演習	黒宮					
15. 授業振り返り	演習	黒宮					
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方 著者: 石井 一成 出版社: ナツメ社 ISBN: 978-4816350573						
参考書 2							

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期			
担当者	片山 章郎					NO.	SS-BU-2-503	
配当学科	経営社会			年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ 新聞を教材としたNIE活動を実践することで、日本語力を向上させるだけでなく、地域・日本社会・国際社会を理解する力を養う。</p> <p>到達目標 ・新聞を使って、大学生として必要な語彙力・読解力・主題把握力などを得る。 ・新聞を読み比べることで、地域・日本社会・国際社会に対する理解を深める。</p>							
概要	<p>新聞を使つての演習は次のとおりである。</p> <p>①新聞記事の中の難解な語句を調べることで、語彙力を向上させる。 ②新聞のコラムにタイトルを付け、そのタイトルについて学生同士で検討することで、読解力や主題把握力を向上させる。 ③地域・日本社会・国際社会について、複数の新聞の記事を読み比べることで、理解を深める。 ④調べた結果をレポートにまとめることで、より知識を確実にし、かつ文章力を養う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:この科目は留学生別科で日本語教育を経験した教員が担当する。</p>							
評価方法	単位認定試験のレポート(60%)と、授業での発表やレポート(40%)で評価する。レポートはフィードバックする。							
履修条件・注意事項	授業中に行うタイトルの発表や記事についての討論後の発表が評価につながるため、やむを得ない理由以外で欠席しないこと。							
自己学習	予習として、図書館かラーニングコモンズにある複数の新聞に目を通し、経済関係の記事やコラムをメモしておく。復習として、授業で得た情報や知識をノートに書くか、情報機器に入力しておく、単位認定試験のレポート作成のための準備しておくこと。予習には30時間、復習には30時間が必要。							
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火・水曜日の4時限に実施。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション		演習	片山					
2. 新聞の中にある6字以上の漢字を見つけて、その意味を調べる		演習	片山					
3. 新聞の中にある難解なカタカナを見つけて、その意味を調べる		演習	片山					
4. コラムにタイトルを付ける		演習	片山					
5. 4. で使った新聞とは別の新聞のコラムにタイトルを付ける		演習	片山					
6. 複数の新聞を使って、大学教育に関係することを検討する		演習・AL	片山					
7. 複数の新聞を使って、高梁地域のことを考える		演習	片山					
8. 高梁地域について得た情報をレポートにまとめる		演習	片山					
9. 複数の新聞を使って、岡山県の経済について考える		演習・AL	片山					
10. 岡山県の経済についてレポートにまとめる		演習	片山					
11. 複数の新聞を使って、日本の経済について考える		演習・AL	片山					
12. 複数の新聞を使って、国際経済について考える		演習・AL	片山					
13. 国際経済と日本経済の関係についてレポートにまとめる		演習	片山					
14. 岡山・日本・国際社会のつながりを考える		演習・AL	片山					
15. 総復習と単位認定試験のレポートの準備		演習	片山					
16. 単位認定試験		レポート	片山					
教科書 1	図書館にある新聞							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	大西 正泰				NO.	SS-BU-2-503	
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「課題探究能力・主体的判断能力の育成」をテーマとする。 演習Iでは、①自分の特性、②自分とチームの特性を知り、チーム運営の試行錯誤を通じて、自分の役割を活かした運営ができることを目標とする。						
概要	<p>演習Iでは、</p> <p>①自分の特性を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理テストを用いて、自分自身の特性やチームづくりに役立てるよう、ゼミ運営をケースに考えてみる。 インタビュー・ワークショップなどを通じて、お互いの特徴や良さを活かしあえるようにする。 <p>②自分とチームの特性を知り、試行錯誤を通じて、自分の役割とチームの運営を学ぶための基礎を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ゼミ生を2-3程度のグループに分け、グループリーダーとなるゼミ長を中心に組織運営をやってみる。ゼミ長は、適宜交代していく。 チーム運営では、ボードゲームなどのワークショップを行う。 チーム運営の手法の1つとして、コーチングメソッドを学ぶ。 						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言など(50%)で評価する。 詳しい評価方法は、最初の演習の時に説明する。 課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見なおしておくこと。						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。 自分から進んで演習に参加するという態度で臨むこと。 						
自己学習	<ol style="list-style-type: none"> 1)参加型演習のために、演習生は事前に課題を調べた上で参加する。 2)演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出する。 3)レポートの返却後に指示にしたがって復習を行うこと。予習および復習には各2時間程度を要する。 						
オフィスアワー	水曜日(2限) 場所は14621研究室(14号館6階)になります。 *他の曜日についてはメールにて、随時受付します。m-onishi@kiui.ac.jp						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 オリエンテーション ・ゼミの方針とルール ・ SNSとLine,Google活用	講義	大西					
第2回 自分を知る 心理テストと自分の特性診断	GW	大西					
第3回 自分を知る インタビュー・ワークショップ	GW	大西					
第4回 チームによる課題解決(1) ボードゲーム・ワークショップ	GW	大西					
第5回 チームによる課題解決(2) ボードゲーム・ワークショップ	GW	大西					
第6回 図書館見学とABD読書法	GW	大西					
第7回 ABD読書法①漫画編	GW	大西					
第8回 ABD読書法②要約力	GW	大西					
第9回 ABD読書法③コーチング	GW	大西					
第10回 コーチング① 傾聴	GW	大西					
第11回 コーチング② 質問	GW	大西					
第12回 コーチング③ 承認	GW	大西					
第13回 コーチング④ GLOWモデル	GW	大西					
第14回 コーチング⑤	演習	大西					
第1回 ケーススタディ	GW						
第15回 コーチング⑥	演習	大西					
第2回 ケーススタディ	GW						
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	コーチング入門<第2版> 著者:本間正人・松瀬理保 出版社:日本経済新聞出版社 ISBN:978-4-532-11340-7						
参考書 2							

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-2-503
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ 読書に関する基礎能力とプログラミングに必要な考え方を修得 到達目標 ①書籍や論文を読み、それを理解したうえで他者に伝達する力を養う ②プログラミング言語を覚えるための基礎力を養う</p>						
概要	<p>卒業論文を執筆する際には、過去の研究から学び、新しい知見を得るために、論文を読解し、さらにコンピューターを用いて、自身でデータを集め、それを分析することが求められる。2年次は、そのような能力を養うための基礎的な学修を進める。2年次は、研究におけるデータの役割を理解しやすい書籍や論文を輪読し、それをプレゼンテーションする形で発表力を養っていく。また、プログラミング言語を理解し、自身の興味関心に沿って使いこなすためには、プログラミングというものがどのようなものであるのかを理解しなければならない。そのため、GUIベースのプログラミング言語から、キーボードマクロまでを使えるようにする。</p>						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言など(50%)で評価する。						
履修条件・注意事項	遅刻や無断欠席は全体の進行に影響するので、基本的に認めない。やむを得ない場合、必ず事前連絡すること。						
自己学習	2週間に一度は輪読が回ってくるので、自身の関心がある本を数冊選んで、あらかじめ読んでおくこと。プログラミングは基本的に写経と書き換えでしか覚えることができないので、演習の中で用いた書籍から学んだ項目の説明を、他の書籍を参照しながら自身の中で再度確認する。少なくとも予習に2時間復習に2時間は要する。						
オフィスアワー	研究室、火曜日4時限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.輪読とコンピューターの説明 3.輪読とセットアップ 4.輪読とGUIプログラミング 5.輪読とGUIプログラミング 6.輪読とGUIプログラミング 7.輪読とGUIプログラミング 8.輪読とGUIプログラミング 9.輪読とGUIプログラミング 10.輪読とRPAプログラミング 11.輪読とRPAプログラミング 12.輪読とRPAプログラミング 13.輪読とRPAプログラミング 14.輪読とRPAプログラミング 15.輪読とRPAプログラミング 16.課題		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡				
教科書 1	進行の中で随時指定						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-2-503		
配当学科	経営社会				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	<p>テーマ:教養・社会学的想像力を養う。 到達目標:①学問の作法を身につける。②社会学の基礎を学び、人間や社会への理解を深める。</p>								
概要	<p>演習科目の最終的な目標は卒業論文の執筆である。したがって、3年間の演習を通じて必要なスキルの習得を目指す。 2年次は、学問の作法を身につけること、社会学の文献等を読み内容についてしっかりと理解することを中心に進める。 授業方法は主にテキスト等の読解を行う。学生はテキストの担当部分についてレジュメを作成し報告をする。そして、その報告に対して質疑応答を行うとともに、報告者を含め全体で内容を発展させるための議論を行う。</p>								
評価方法	授業への取り組み(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。								
履修条件・注意事項	出席と予習復習は必要不可欠である。 授業計画の内容は、受講者の理解度に応じて変更になることがある。								
自己学習	予習・復習には各2時間程度を要する。								
オフィスワ-	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.論文・テキストの読み方(1) 3.論文・テキストの読み方(2) 4.論文・テキストの読み方(3) 5.論文・テキストの読み方(4) 6.レジュメ・レポートの書き方(1) 7.レジュメ・レポートの書き方(2) 8.レジュメ・レポートの書き方(3) 9.レジュメ・レポートの書き方(4) 10.情報・資料収集の方法(1) 11.情報・資料収集の方法(2) 12.情報・資料収集の方法(3) 13.プレゼンテーションの方法(1) 14.プレゼンテーションの方法(2) 15.まとめ			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元					
教科書 1									
教科書 2									
参考書 1	授業の進行に応じて適宜紹介する。								
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	SS-BU-2-504
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ テーマは「教養教育」である。自然科学・社会科学・人文学に関する書籍で、評価の高いものからそれぞれ3冊を選び、発表者を割り当てパワーポイントでプレゼンを行う。当日の討論を終えた後、3回に1回のペースで論述試験を行う。また文章を要約する練習、文章に見出し・タイトルをつける練習なども行う。</p> <p>到達目標 幅広く且つ早く読むことで読書力を鍛える。議論することによって知識を定着させ、自分の意見を述べる練習を行う。小論文を書くことで文章能力を高める。文章の要約により文章のポイントを把握する力をつける。</p>						
概要	<p>読書予定文献は次のようなテーマに関連する。 社会科学:(世界経済・地域社会・政治哲学)自然科学:(人工知能・脳科学・宇宙・生物学) 人文学:(幸福学・古典文学・哲学) 授業の開始前に学生に書籍を渡し、次週のゼミ開始までに読んでおく。演習では各学生に読むべきテキストを指定し、要旨をレジュメまたはパワーポイントで報告させる。そのあと全員で討論し、教員が指示したテーマに関する小論文を執筆する。小論文は教員が添削し、コメントをつけて返却する。</p>						
評価方法	ゼミに対する取り組み(50%)と定期試験(50%)で評価する。						
履修条件・注意事項	幅広い知識を得るため読書習慣を身につけよう。無断欠席は許されない。						
自己学習	学期中、毎週、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10～16:40)に、研究室(9309)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.世界経済と政治の現状(1) 3.世界経済と政治の現状(2) 4.人口減少と社会・経済 5.SDGsとは何か？ 6.AIの進化と社会変動 7.AIの進化と労働形態の変化 8.人類の未来:ホモ・デウス 9.幸福(Positive Psychology) 10.正義とは何か？ 11.功利主義 12.自由主義(Liberalism) 13.自由主義(Libertarianism) 14.本質直観主義 15.共同体主義 16.筆記試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂
教科書 1	日本型教養の運命 著者: 筒井清忠 出版社: 岩波現代文庫 ISBN: 978-4006002312						
教科書 2	リベラリズムと正義の限界 著者: M. J. サンドル 出版社: 勁草書房 ISBN: 978-4326101887						
参考書 1	史上最強の哲学入門 著者: 飲茶 出版社: 河出書房新社 ISBN: 978-4065178898						
参考書 2	脳の中の天使 著者: ラマチャンドラン 出版社: 角川書店 ISBN: 978-4041101049						

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井勝 久喜				NO.	SS-BU-2-504	
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「知識に対する自己自身の姿勢を社会との関連の中で理解する」をテーマとして、討論やグループワークを中心とした演習を行い、学科の専門を理解する能力を身につけることを到達目標とする。						
概要	資料や文献を検索し、体験と連動させて、情報の専門的解釈および記録の方法を学習する。学習内容を、グループ研究の形で共同研究発表や討議などを通して演習グループの共有財産に高める。知識に対する自己自身の姿勢を社会との関連の中で理解し、将来的自己の専門家としての主体性(モチベーションとアイデンティティ)と活動内容を考察する。 この科目は、一部の授業時間において企業経験のある外部講師を招いて講義をしていただき、学生の理解を深める。						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発言や発表など(50%)で評価する。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には、減点することもある。詳しい評価方法は、最初の演習の時に説明する。レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。自分から進んで演習に参加するという態度で臨むこと。						
自己学習	1)参加型演習のために、演習生は事前に課題を調べた上で参加する。演習は、この課題をめぐって討論形式で行う。 2)演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 3)レポートの返却後に指示にしたがって復習を行うこと。予習及び復習には各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	研究室(14601号室)にて水曜日5時限に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回 演習Ⅱオリエンテーション		GW	井勝	
			第2回 アドラー心理学1(目的論)		GW	井勝	
			第3回 アドラー心理学2(共同体)		GW	井勝	
			第4回 フランクル心理学1(生きる意味)		GW	井勝	
			第5回 フランクル心理学2(生き方)		GW	井勝	
			第6回 外部講師講演会		講演・GW	外部講師	
			第7回 外部講師講演会		講演・GW	外部講師	
			第8回 ポジティブ心理学		GW	井勝	
			第9回 コーチング1(傾聴)		GW	井勝	
			第10回 コーチング2(質問)		GW	井勝	
			第11回 コーチング3(信頼)		GW	井勝	
			第12回 コーチング4(リフレクション)		GW	井勝	
			第13回 コーチング演習		GW	井勝	
			第14回 NLP演習		GW	井勝	
			第15回 振り返りワークショップ		GW	井勝	
教科書1	使用しない						
教科書2							
参考書1	ファシリテーター入門 著者:エコ・コミュニケーションセンター編 出版社:つげ書房新社 ISBN:4-8068-047-1						
参考書2							

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	姜 明求				NO.	SS-BU-2-504	
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「経営学の専門知識の吸収と文献調査の理解」がテーマである。到達目標は、経営学の専門知識の習得と共に、コミュニケーション能力を高める。また、文献を読む能力、考える能力、書く能力、まとめる能力の向上。チームワークとリーダーシップの向上。自己管理能力と問題解決能力の向上。						
概要	ゼミの目的と概要は次のとおりである。本ゼミでは、経営学・国際経営などの基本的な専門知識を身につけることにする。企業経営の仕組み、戦略、組織などについて学習することが目的である。テキストは変更可能である。 また、ゼミ参加者が興味あるテーマを選択し、卒業論文に向けての報告も行ってもらう。発表に基づいて議論をする。その際に、論文の書き方も指導する。書く能力、まとめる能力の向上。						
評価方法	プレゼンテーション・発表の内容・議論への積極性(50%)、グループ活動の寄与度、ゼミ活動の姿勢(50%)などによって総合的に評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	経営学に関する文献を読むこと。問題意識と積極性を持つこと。無断の欠席は認めない。やむを得ない時は必ず連絡を入れること。必ず事前に配布した資料を読むと共に、復習をすること。休んだ場合には、配布した資料を読むなどとして各自で補う努力をすること。						
自己学習	毎回討論に参加するために配布資料の予習の徹底(毎回2時間)と演習後には復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.社員はなぜ働くのか 3.人はどのようにに動機づけられて働く 4.人を動かすリーダーの役割 5.社員はなぜ組織にとどまろうとする 6.終身雇用と日本的経営 7.多様化する雇用形態 8.個人面談と個人指導 9.社員はどのような報酬を求めるのか 10.仕事に対する報酬 11.成果主義 12.社員はどのようにして育てられるのか 13.人材育成の基本的枠組み 14.会社はどのようにしてモノを売っているのか 15.全体のまとめ 16.総合復習			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜
教科書 1	経験から学ぶ経営学入門 著者:上林憲雄・奥林康司・団 泰雄・開本浩矢・森田雅也・竹林明 出版社:有斐閣ブックス						
教科書 2							
参考書 1	演習時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ	履修期	2021年度 秋学期			
担当者	李 分一				NO.	SS-BU-2-504
配当学科	経営社会		年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態 演習
テーマと到達目標	この演習では、東アジア諸国の民主化政治とその社会的・経済的基盤を学習する。特に、日本と韓国の経験を中心に、東アジア地域について幅広く研究して行く。ちなみに、この演習は、春学期内容の繋がりで、その内容を深めることになる。この演習に参加すれば、東アジア地域の抱える様々な問題の発見力とその総合力、そして総括力と発表力が身に付けられる。					
概要	今年のテーマは、東アジア諸国の民主化政治とその社会経済的基盤の研究である。まず、演習生に対して、関連資料を読みこなせ、まとめる能力(読み方・書き方・話し方など)の演習を行う。なお、資料の選択については、演習参加者の関心事に対応する。					
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。					
履修条件・注意事項	(1) 演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。					
自己学習	(1) 参加型演習であるために、演習生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。演習は、この課題をめぐって行う。 (2) 演習生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。					
オフィスアワー	毎週水曜日4時限目(9304研究室)					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			1.オリエンテーション 2.東アジア政治 3.日本の政治 4.中国の政治 5.韓国の政治 6.東アジア経済 7.日本の経済 8.中国の経済 9.韓国の経済 10.東アジア社会 11.日本社会 12.中国社会 13.韓国社会 14.東アジア文化 15.日中韓三国の文化 16.定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李	
教科書1	演習中に紹介する。					
教科書2						
参考書1						
参考書2						

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-2-504
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 大学生・社会人として必要な学びのスキル習得 到達目標: ①読解力(新聞・書籍・論文)、②文章力(レジュメ、レポート作成)、③発表力、④情報資料の収集力、らについての学ぶための基礎を養う。 取り上げる題材はいずれも身近なテーマであるため、社会問題、生活問題に対する分析力を養う(問題発見力・論理的思考力)。 ①～④の課題作業(共同作業)を通じ、受講生の自己理解力、コミュニケーション力向上までを目標とする。</p>						
概要	<p>演習とは「ゼミ」のことであり、卒業論文の執筆に向けた準備、さらに社会人基礎力行う重要な場である。 2年次は大学4年間を通じて必要な、①基礎的なリーディング、②ライティング技術(レジュメ作成)、③発表(プレゼンテーション)、④情報・資料収集力、を中心に身につけていく(日本人学生・留学生ともに)。 ゼミのプロジェクト・各自の課題についても発表・議論の機会を度々設けるため、積極的な姿勢が望まれる。</p>						
評価方法	準備作業の過程も含めた授業課題(30%)、グループワークやディスカッションへの参加貢献度(30%)、最終レポート(40%)により評価する。						
履修条件・注意事項	ゼミは参加型学習形態の授業のため、授業への出席と予習復習が必要不可欠である。受講生の学習習熟度や、語学力(特に留学生について)により授業計画は多少変更することがある。						
自己学習	課題の予習復習に毎回2時間が必要である。						
オフィスワ-	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 文献調査の方法(1) 図書館の活用(レファレンス) 3. 文献調査の方法(2) 情報収集ノートの作り方 4. 文献調査の方法(3) 様々なデータベースの使い方 5. 発表資料の作成(1) テーマを決定する 6. 発表資料の作成(2) アウトライン作成 7. 発表資料の作成(3) アウトライン決定 8. 発表資料の作成(4) パワーポイント作成 基礎 9. 発表資料の作成(5) パワーポイント作成 応用 10. 発表資料の作成(6) パワーポイント作成 完成 11. プレゼンテーション技術(1) 発表原稿の作成 12. プレゼンテーション技術(2) 発表原稿の修正 13. プレゼンテーション技術(3) 模擬発表 14. プレゼンテーション技術(4) 模擬発表ふりかえり 15. 授業振り返り 			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方 著者: 石井 一成 出版社: ナツメ社 ISBN: 978-4816350573						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	片山 章郎				NO.	SS-BU-2-504	
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ 新聞を教材としたNIE活動を実践することで、日本語力を向上させる。さらに、新聞記事を題材にしたグループ討議をすることで、就職活動におけるグループディスカッションに慣れておく。</p> <p>到達目標 ・新聞を使って、大学生として必要な語彙力・読解力・主題把握力などを得る。 ・新聞記事を題材にしたグループ討議をすることで、大学生として必要な口頭表現力を得る。 ・就職活動で実施されるグループディスカッションの運営ができるようにする。</p>						
概要	<p>記事やコラムの書き写しや主題設定をすることで語彙力や読解力を向上させる。さらに、地域・日本・国際経済に関係する複数の新聞紙の記事を比較してグループ討議をすることで、口頭表現力を向上させたり、就職活動で行われるグループディスカッションにおける役割分担を知っておいたりする。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目：この科目は留学生別科で日本語教育を経験した教員が担当する。</p>						
評価方法	評価は単位認定試験のレポートを60%、グループ討議(グループ討議中の態度・討議後の結論の発表・レポート)を30%、課題提出を10%とする。提出されたレポートはフィードバックする。						
履修条件・注意事項	グループ討議中の態度、及び討論後の発表やレポートが評価につながるので、やむを得ない理由以外で欠席しないこと。						
自己学習	予習として、図書館カラーニングコモンズにある複数の新聞に目を通し、次回の授業で討議するテーマに関する記事やコラムをメモしておく。復習として、授業で討議した内容をノートに書かか、情報機器に入力しておき、単位認定試験のレポート作成のための準備をしておくこと。毎回の授業の予習には30時間、復習には30時間が必要。						
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1. オリエンテーション 2. 複数の新聞の地域経済記事の書き写し 3. コラムの書き写しと主題設定 4. 複数の新聞の経済記事の書き写し 5. 3. とは別の新聞のコラムの書き写しと主題設定 6. 地域経済のテーマに対しての記事比較 7. 地域経済の記事比較に基づくグループ討議 8. 日本経済のテーマに対しての記事比較 9. 日本経済の記事比較に基づくグループ討議(役割変更も含む) 10. 国際経済のテーマに対しての記事比較 11. 国際経済の記事比較に基づくグループ討議(役割変更も含む) 12. 経済に関するグループ討議の結果をレポートにまとめる 13. レポートに基づく口頭発表 14. 総復習 15. 単位認定試験のレポート準備 16. 単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習・AL 演習 演習・AL 演習 演習・AL 演習 演習 演習 演習 演習 演習 レポート	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山	
教科書 1	図書館にある新聞						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大西 正泰					NO.	SS-BU-2-504	
配当学科	経営社会				年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>「課題探究能力・主体的判断能力の育成」をテーマとする。</p> <p>演習Ⅱでは、</p> <p>①(課題を探究するため)読書法を習得する(読書法の運営は、グループごとに行う)、</p> <p>②(主体的判断力を身につけるため)組織運営のためのワークショップを1つ以上できることを目標とする。</p>							
概要	<p>演習Ⅱでは、主として、ワークショップをメインに行う。</p> <p>1つは、組織マネジメントの基本となる対話、プレゼンテーションのためのトレーニングをつむ。手法としては、傾聴を鍛えるための1on1ミーティングなどのワークである。</p> <p>2つ目に、組織マネジメントの手法によって輪読を行うABD読書法(アクティブ・ブック・ダイアログ)を学ぶこととする。</p> <p>3つ目に、読書する本から戦略などの知識を身につけることである。</p>							
評価方法	<p>課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言などで評価する(50%)。</p> <p>詳しい評価方法は、最初の演習のときに説明する。</p> <p>課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見なおしておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。 自分から進んで演習に参加するという態度で臨むこと。 							
自己学習	<p>1)参加型演習のために、演習生は事前に課題を調べた上で参加する。</p> <p>2)演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出する。</p> <p>3)レポートの返却後に指示にしたがって復習を行うこと。予習および復習には各2時間程度を要する。</p>							
オフィスワ-	<p>水曜日(2限) 場所は14621研究室(14号館6階)になります。</p> <p>*他の曜日についてはメールにて、随時受付します。m-onishi@kiui.ac.jp</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<p>第1回ワークショップ① 1on1ミーティング</p> <p>第2回ワークショップ② ミニワールドカフェ</p> <p>第3回ABD読書法 ビジネス(スタートアップ)</p> <p>第4回ABD読書法 ビジネス(地方スタートアップ)</p> <p>第5回ワークショップ③ ワークショップ(パネラー編)</p> <p>第6回ワークショップ④ ワークショップ(司会編)</p> <p>第7回ABD読書法 戦略(ブルーオーシャン戦略)</p> <p>第8回ABD読書法 戦略(ランチェスター戦略)</p> <p>第9回ABD読書法 戦略(キャズム戦略)</p> <p>第10回ABD読書法 戦略(ビジネスフレームワーク)</p> <p>第11回ワークショップ⑤ ソーシャルファシリテーションとは何か?</p> <p>第12回ワークショップ⑥ ファシリテーションと話し合い</p> <p>第13回ワークショップ⑦ 話し合いをファシリテーションする</p> <p>第14回ワークショップ⑧ ソーシャルなファシリテーションへ</p> <p>第15回まとめ</p>					
教科書 1	適宜資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	<p>ソーシャル・ファシリテーション 著者:徳田太郎・鈴木まり子 出版社:北樹出版 ISBN:978-4-7793-0652-5</p>							
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-2-504
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	テーマ 読書に関する基礎能力とプログラミングに必要な考え方を修得 到達目標 ①書籍や論文を読み、それを理解したうえで他者に伝達する力を養う ②プログラミング言語を覚えるための基礎力を養う						
概要	卒業論文を執筆する際には、過去の研究から学び、新しい知見を得るために、論文を読解し、さらにコンピューターを用いて、自身でデータを集め、それを分析することが求められる。2年次は、そのような能力を養うための基礎的な学修を進める。2年次は、研究におけるデータの役割を理解しやすい書籍や論文を輪読し、それをプレゼンテーションする形で発表力を養っていく。また、プログラミング言語を理解し、自身の興味関心に沿って使いこなすためには、プログラミングというものがどのようなものであるのかを理解しなければならない。そのため、GUIベースのプログラミング言語から、キーボードマクロまでを使えるようにする。						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言など(50%)で評価する。						
履修条件・注意事項	遅刻や無断欠席は全体の進行に影響するので、基本的に認めない。やむを得ない場合、必ず事前連絡すること。						
自己学習	2週間に一度は輪読が回ってくるので、自身の関心がある本を数冊選んで、あらかじめ読んでおくこと。プログラミングは基本的に写経と書き換えてしか覚えることができないので、演習の中で用いた書籍から学んだ項目の説明を、他の書籍を参照しながら自身の中で再度確認する。少なくとも予習に2時間、復習に2時間を要する。						
オフィスアワー	研究室、火曜日4時限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.輪読と支援環境の構築 3.輪読と支援環境を用いた開発 4.輪読と支援環境を用いた開発 5.輪読と支援環境を用いた開発 6.輪読と支援環境を用いた開発 7.輪読と支援環境を用いた開発 8.輪読と支援環境を用いた開発 9.輪読と支援環境を用いた開発 10.輪読と支援環境を用いた開発 11.輪読と支援環境を用いた開発 12.輪読と支援環境を用いた開発 13.輪読と支援環境を用いた開発 14.輪読と支援環境を用いた開発 15.輪読と支援環境を用いた開発 16.課題			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡
教科書 1	進行の中で随時指定						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-2-504	
配当学科	経営社会				年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ:教養・社会学的想像力を養う。 到達目標:①学問の作法を身につける。②社会学の基礎を学び、人間や社会への理解を深める。</p>							
概要	<p>演習科目の最終的な目標は卒業論文の執筆である。したがって、3年間の演習を通じて必要なスキルの習得を目指す。2年次は、学問の作法を身につけること、社会学の文献等を読み内容についてしっかりと理解することを中心に進める。授業方法は主にテキスト等の読解を行う。学生はテキストの担当部分についてレジュメを作成し報告をする。そして、その報告に対して質疑応答を行うとともに、報告者を含め全体で内容を発展させるための議論を行う。</p>							
評価方法	授業への取り組み(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。							
履修条件・注意事項	出席と予習復習は必要不可欠である。授業計画の内容は、受講者の理解度に応じて変更になることがある。							
自己学習	予習・復習には各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.社会学的発想(1) 3.社会学的発想(2) 4.社会学的発想(3) 5.社会学の基礎理論(1) 6.社会学の基礎理論(2) 7.社会学の基礎理論(3) 8.社会学の基礎理論(4) 9.文献講読(1) 10.文献講読(2) 11.文献講読(3) 12.文献講読(4) 13.文献講読(5) 14.文献講読(6) 15.まとめ				演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元
教科書 1								
教科書 2								
参考書 1	授業の進行に応じて適宜紹介する。							
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	SS-BU-3-505
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ テーマは「教養教育」。自然科学・社会科学・人文学に関する書籍の中から評価の高い書籍を選び、輪読しつつ内容について討論する。本年度は「進化心理学」「社会学的進化論」を主要テーマとする。2年時同様、学期中5回の小試験を行い、文章要約の練習もする。</p> <p>到達目標 幅広く且つ早く読むことで読書力を鍛える。討論によって知識を定着させ、考えをまとめる訓練をする。いかに素早く情報を収集し、適切に解釈しアウトプットする力をつける。</p>						
概要	<p>偉大な古典を読むと、著者たちが社会科学のみならず人文科学、哲学、自然科学にも習熟していたことが分かる。日本の文部科学省は大学の教養課程を廃止して学部教育を専門教育に特化させたが、これが現代の大学迷走に関する原因の一つである。実学的な知識はすぐに役立たなくなる。ビジネスの分野においても成功のカギを握るのは教養教育によって鍛えられた思考力、コミュニケーション能力である。本年度の演習では進化心理学・社会進化論についての考察を焦点とし、論理的思考、批判的思考、分析的思考、創造的思考を鍛える。</p> <p>演習では各学生に読むべきテキストを指定し、要旨をレジュメまたはパワーポイントで報告させる。そのあと全員で討論し、教員が指示したテーマに関する小論文を執筆する。小論文は教員が添削し、コメントをつけて返却する。</p>						
評価方法	定期試験(50%)とゼミへの取組(50%)によって評価する。、ゼミでの課題や小論文は採点して返却するので復習すること。						
履修条件・注意事項	無断で演習を欠席する学生が目立つ。今年度は厳しく指導する。						
自己学習	学期中、毎週、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9309)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.イントロダクション 2.進化の基本命題 3.心と社会を進化から考える 4.社会進化論(1)H.Spencer 5.社会進化論(2)T.Parsons 6.Biosociology(1) 7.Biosociology(2) 8.認知と発達を進化から考える 9.組織を進化から考える(1) 10.組織を進化から考える(2) 11.組織を進化から考える(3) 12.文化と知性を進化から感える 13.分化と知性を進化から考える 14.進化心理学とホモサピエンス 15.まとめ 16.定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂					
教科書 1	進化心理学を学びたいあなたへ 著者： 王曉田・蘇彦建(編) 出版社： 東京大学出版会 ISBN： 978-413013311						
教科書 2	38億年の生命史に学ぶ生存戦略 著者： 稲垣栄洋 出版社： PHP 出版 ISBN： 978-4569845753						
参考書 1	教養主義の没落 著者： 竹内 洋 出版社： 中公新書 ISBN： 978-4121017048						
参考書 2	進化心理学から考えるホモ・サピエンス 著者： アラン・S・ミラー / サトシ・カナザワ 出版社： Pan Rolling ISBN： 978-4775942055						

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	井勝 久喜				NO.	SS-BU-3-505	
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「研究の基礎」をテーマとして、研究に必要な基礎的知識を学び、専門の内容が理解でき、利用できるようになることを到達目標とする。						
概要	独自の課題を探究するか、グループ研究の中から自分の関心に合った課題を絞り込むかして、各受講生は単独研究の課題設定につとめる。設定の過程で独自の課題に応じた資料・文献を精読し、研究に必要な基礎概念、基礎理論、専門用語を理解する。同時に必要な情報を収集して専門の技術と知識を深め、専門職としてのアイデンティティ形成に自覚的に取り組む。また、年間4回程度フォーラム(エデュカーレinたかはし)を開催して企画実践力を身につける。 この科目は、一部の授業時間において企業経験のある外部講師を招いて講義をしていただき、学生の理解を深める。						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発言や発表など(50%)で評価する。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には、減点することもある。詳しい評価方法は、最初の演習の時に説明する。課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。自分から進んで演習に参加するという態度で臨むこと。毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。						
自己学習	1)参加型演習のために、演習生は事前に課題を調べた上で参加する。演習は、この課題をめぐって討論形式で行う。 2)演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 3)レポートの返却後に指示にしたがって復習を行うこと。 予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	研究室(14601号室)にて木曜日5時限に実施する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回	オリエンテーション	GW	井勝				
第2回	マインドセット	GW	井勝				
第3回	マンダラート	GW	井勝				
第4回	マインドマップ	GW	井勝				
第5回	質問作成ワークショップ	GW	井勝				
第6回	ワークショップデザイン	GW	井勝				
第7回	ワークショップ演習	GW	井勝				
第8回	外部講師講演会	講演・GW	外部講師				
第9回	外部講師講演会	講演・GW	外部講師				
第10回	フューチャーセッション	GW	井勝				
第11回	ディベート	GW	井勝				
第12回	ダイアログ	GW	井勝				
第13回	7つの習慣	GW	井勝				
第14回	課題解決演習	GW	井勝				
第15回	振り返りワークショップ	GW	井勝				
教科書 1	使用しない(必要に応じプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	ワークショップ入門 著者:ロバート・チェンバース著 野田直人監訳 出版社:明石書店 ISBN:978-4-7503-1911-7						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	姜 明求					NO.	SS-BU-3-505
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「経営学の専門知識の吸収と文献調査の理解」がテーマである。到達目標は、経営学の専門知識の習得と共に、コミュニケーション能力を高める。また、文献を読む能力、考える能力、書く能力、まとめる能力の向上。チームワークとリーダーシップの向上。自己管理能力と問題解決能力の向上。						
概要	ゼミの目的と概要は次のとおりである。本ゼミでは、経営学・国際経営などの基本的な専門知識を身につけることにする。企業経営の仕組み、戦略、組織などについて学習することが目的である。テキストは変更可能である。 また、ゼミ参加者が興味あるテーマを選択し、卒業論文に向けての報告も行ってもらおう。発表に基づいて議論をする。その際に、論文の書き方も指導する。						
評価方法	プレゼンテーション・発表の内容・議論への積極性(50%)、グループ活動の寄与度、ゼミ活動への姿勢(50%)などによって総合的に評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	経営学に関する文献を読むこと。問題意識と積極性を持つこと。無断の欠席は認めない。やむを得ない時は必ず連絡を入れること。必ず事前に配布した資料を読むと共に、復習をすること。休んだ場合には、配布した資料を読むなどとして各自で補う努力をすること。						
自己学習	毎回討論に参加するために配布資料の予習の徹底(毎回2時間)と演習後には復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.会社は海外でどのように経営しているのか 3.海外日系企業の日本的経営 4.会社の利益はどのようにして測定するのか 5.企業を起こす 6.大学発ベンチャーのビジネス・モデル 7.企業形態を変える 8.プロデュースの株式上場 9.現代企業の発生 10.ロックフェラーとスタンダード・オイル 11.環境・戦略・組織 12.フォードとGM 13.新しい事業の創造 14.全体のまとめ 15.全体のまとめ 16.総合学習		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜				
教科書 1	ケースに学ぶ経営学(新版) 著者:東北大学経営学グループ 出版社:有斐閣ブックス						
教科書 2							
参考書 1	演習時に参考書・資料などを予習ができるように適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-3-505
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 各自の研究(卒業論文)テーマを決定し、各自が調査プロジェクトを進展させながら卒業論文のための準備を行う。</p> <p>到達目標(以下3つ): ①各自の卒業論文テーマの決定 ②研究に必要なレビュー論文の理解 ③研究方法を決定とそれに必要な技術を習得すること</p>						
概要	<p>社会問題や地域の福祉問題をテーマとしたリサーチを実践した上で、その成果を論文としてまとめることまでを目標にしている。テーマ設定や、先行研究レビュー、研究方法の設定などを段階的に進めていくため、講義で学んだ知識や、社会調査の技術を応用することが可能である。</p>						
評価方法	<p>準備作業の過程も含めた授業課題(30%)、グループワークやディスカッションへの参加貢献度(30%)、最終レポート(40%)により評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>ゼミは参加型学習形態の授業のため、授業への出席と予習復習が必要不可欠である。受講生の学習習熟度や、語学力(特に留学生について)により授業計画は多少変更することがある。</p>						
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 予習および復習には、各2時間程度を要する。 						
オフィスワ-	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01. ガイダンス		演習	黒宮				
02. 研究テーマの設定作業:グループ		演習	黒宮				
03. 研究テーマの設定作業:個人							
04. 先行研究1の収集		演習	黒宮				
05. 先行研究1の発表		演習	黒宮				
06. 先行研究2の収集		演習	黒宮				
07. 先行研究2の発表		演習	黒宮				
08. 先行研究まとめ		演習	黒宮				
09. 第1回テーマ発表		演習	黒宮				
10. 第1回テーマ発表振り返りと修正作業		演習	黒宮				
11. 第2回テーマ発表		演習	黒宮				
12. 第2回テーマ発表振り返りと修正作業		演習	黒宮				
13. 第3回テーマ発表		演習	黒宮				
14. 第3回テーマ発表振り返りと修正作業		演習	黒宮				
15. 全体振り返りと総括		演習	黒宮				
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	<p>ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方 著者:石井 一成 出版社:ナツメ社 ISBN:978-4816350573</p>						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	片山 章郎					NO.	SS-BU-3-505	
配当学科	経営社会				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ 新聞を教材としたNIE活動を実践することで、日本語力を向上させる。さらに、新聞記事を題材にしたグループ討議をすることで、就職活動におけるグループディスカッションに慣れておく。</p> <p>到達目標 ・新聞を使って、大学生として必要な語彙力・読解力・主題把握力などを得る。 ・新聞記事を題材にしたグループ討議をすることで、大学生として必要な口頭表現力を得る。 ・就職活動で実施されるグループディスカッションの運営ができるようにする。</p>							
概要	<p>記事やコラムの書き写しや主題設定をすることで語彙力や読解力を向上させる。さらに、地域・日本・国際経済に関係する複数の新聞紙の記事を比較してグループ討議をすることで、口頭表現力を向上させたり、就職活動で行われるグループディスカッションにおける役割分担を知っておいたりする。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:この科目は留学生別科で日本語教育を経験した教員が担当する。</p>							
評価方法	評価は単位認定試験のレポートを60%、グループ討議(グループ討議中の態度・討議後の結論の発表・レポート)を30%、課題提出を10%とする。提出されたレポートはフィードバックする。							
履修条件・注意事項	グループ討議中の態度、及び討論後の発表やレポートが評価につながるので、やむを得ない理由以外で欠席しないこと。							
自己学習	予習として、図書館かラーニングコモンズにある複数の新聞に目を通し、次回の授業で討議するテーマに関する記事やコラムをメモしておく。復習として、授業で討議した内容をノートに書くか、情報機器に入力しておき、単位認定試験のレポート作成のための準備しておくこと。毎回の授業の予習には30時間、復習には30時間が必要。							
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション		演習	片山					
2.複数の新聞の地域経済記事の書き写し		演習	片山					
3.コラムの書き写しと主題設定		演習	片山					
4.複数の新聞の経済記事の書き写し		演習	片山					
5.3.とは別の新聞のコラムの書き写しと主題設定		演習	片山					
6.地域経済のテーマに対しての記事比較		演習	片山					
7.地域経済の記事比較に基づくグループ討議		演習・AL	片山					
8.日本経済のテーマに対しての記事比較		演習	片山					
9.日本経済の記事比較に基づくグループ討議(役割変更も含む)		演習・AL	片山					
10.国際経済のテーマに対しての記事比較		演習	片山					
11.国際経済の記事比較に基づくグループ討議(役割変更も含む)		演習・AL	片山					
12.経済に関するグループ討議の結果をレポートにまとめる		演習	片山					
13.レポートに基づく口頭発表		演習	片山					
14.総復習		演習	片山					
15.単位認定試験のレポート準備		演習	片山					
16.単位認定試験		演習 レポート	片山					
教科書 1	図書館にある新聞							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	大西 正泰					NO.	SS-BU-3-505
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	実習
テーマと到達目標	「研究の基礎」をテーマとして、研究に必要な基礎的知識を学び、専門の内容が理解でき、利用できるようになることを到達目標とする。						
概要	<p>各受講生は、各自の研究(卒業論文)テーマを決定し、独自の課題に応じた資料・文献を精読し、研究に必要な基礎概念、基礎理論、専門用語を理解する。</p> <p>到達目標 ①卒業論文テーマの決定 ②先行研究の理解 ③研究方法を決定とそれに必要な技術を習得すること</p> <p>各受講生を以下の3つのグループにわけ、それぞれのグループごとに輪読する。 ①地域づくり分野を研究課題にするものは、研究対象とする地域を選び、選択地域にまつわる資料、文献を読み解く。地域づくり分野においては、いわゆる分析フレームワークが各分野からの援用が多いため、経済的アプローチなどの諸分野を学ぶことになる。 ②起業分野を研究課題にするものは、研究対象とするスタートアップや企業を選び、それにまつわる資料、文献を読み解く。起業分野においては、経営学の分析フレームワークを主として学ぶこととする。 ③その他</p>						
評価方法	評価のポイントは、①演習への積極性・貢献度(50%)、②課題提出物・報告資料(50%)により評価する。						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 指定された教科書はありません。グループごとに先行研究を選び、輪読し、発表します。 大幅な遅刻や無断欠席はグループワークや評価に影響するので、ご注意ください。やむを得ない場合、必ずメールなどで連絡してください。 						
自己学習	各ケースについては、事前学習を必ず行ってください。 ・テレビや新聞報道による地域事例に目を配り、自己学習に努めましょう。 ・グループ活動では、積極的な問題提起や発言ができるようにしてください。						
オフィスワ-	木曜日(3限) 場所は14621研究室(14号館6階)になります。 *他の曜日についてはメールにて、随時受付します。m-onishi@kiui.ac.jp						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回	オリエンテーション	講義	大西				
第2回	研究テーマの分野設定	演習	大西				
第3回	先行研究1の収集	演習	大西				
第4回	先行研究1の発表	演習	大西				
第5回	先行研究2の収集	演習	大西				
第6回	先行研究2の発表	演習	大西				
第7回	先行研究まとめ	演習	大西				
第8回	先行研究3の収集	演習	大西				
第9回	先行研究3の発表	演習	大西				
第10回	先行研究4の収集	演習	大西				
第11回	先行研究4の発表	演習	大西				
第12回	先行研究5の収集	演習	大西				
第13回	先行研究5の発表	演習	大西				
第14回	先行研究まとめ	演習	大西				
第15回	研究テーマの見直し	演習	大西				
教科書 1	各受講生ごとに指定します。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-3-505		
配当学科	経営社会				年次	3			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	テーマ 読書に関する基礎能力とプログラミング言語を修得 到達目標 ①書籍や論文を読み、それを理解したうえで他者に伝達する力を養う ②プログラミング言語を覚える								
概要	卒業論文を執筆する際には、過去の研究から学び、新しい知見を得るために、論文を読解し、さらにコンピューターを用いて、自身でデータを集め、それを分析することが求められる。3年次は、そのような能力を養うための学修を進める。 3年次は、定性的な研究で必要とされる能力を養うために、それらに適した書籍を選択し、輪読していく。 また、データ収集や機械学習などで用いられるプログラミング言語pythonを修得し、これを用いたデータ分析技法やデータ収集を実践する。								
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言など(50%)で評価する。								
履修条件・注意事項	遅刻や無断欠席は全体の進行に影響するので、基本的に認めない。やむを得ない場合、必ず事前連絡すること。								
自己学習	2週間に一度は輪読が回ってくるので、自身の関心がある本を数冊選んで、あらかじめ読んでおくこと。プログラミングは基本的に写経と書き換えでしか覚えることができないので、演習の中で用いた書籍から学んだ項目の説明を、他の書籍を参照しながら自身の中で再度確認する。少なくとも予習に2時間、復習に2時間を要する。								
オフィスアワー	研究室、火曜日4時限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.輪読と環境のセットアップ 3.輪読と変数 4.輪読と組み込み型 5.輪読とデータ構造 6.輪読と条件分岐と繰り返し 7.輪読と関数 8.輪読とファイル操作 9.輪読と例外処理 10.輪読とクラスとメソッド 11.輪読とオブジェクト指向 12.輪読とモジュール 13.輪読とアプリケーション構築 14.輪読とアプリケーション構築 15.輪読とアプリケーション構築 16.課題			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡					
教科書 1	進行の中で随時指定								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-3-505		
配当学科	経営社会				年次	3			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	<p>テーマ:社会調査の手法を学ぶ 到達目標:量的調査・質的調査ともに基礎知識とその方法を習得し、自らの力で分析出来るようになる。</p>								
概要	<p>演習科目の最終的な目標は卒業論文の執筆である。したがって、3年間の演習を通じて必要なスキルの習得を目指す。3年次は、社会調査のさまざまな手法について基礎を学ぶ。さらにはその手法を用いた論文を読み解く力や、自らの関心で問題提起できる力を養う。 授業方法は主にテキスト等の読解を行う。学生はテキストの担当部分についてレジュメを作成し報告をする。そして、その報告に対して質疑応答を行うとともに、報告者を含め全体で内容を発展させるための議論を行う。</p>								
評価方法	授業への取り組み(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。								
履修条件・注意事項	出席と予習復習は必要不可欠である。 授業計画の内容は、受講者の理解度に応じて変更になることがある。								
自己学習	予習・復習には各2時間程度を要する。								
オフィスワ-	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.社会調査の基礎 3.社会調査の方法(1) 4.社会調査の方法(2) 5.統計学の基礎 6.量的調査を用いた文献講読(1) 7.量的調査を用いた文献講読(2) 8.量的調査を用いた文献講読(3) 9.量的調査を用いた文献講読(4) 10.統計学の応用(1) 11.統計学の応用(2) 12.量的調査を用いた文献講読(5) 13.量的調査を用いた文献講読(6) 14.量的調査を用いた文献講読(7) 15.まとめ			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元					
教科書 1									
教科書 2									
参考書 1	授業の進行に応じて適宜紹介する。								
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	SS-BU-3-506
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ 本年度の演習Ⅳはテーマを「論文の書き方」と「データ解釈学」とする。論文には一定の形式があり、それを満たさないものは論文とはいえない。また論文に必須のデータ解釈の方法を学ぶ。</p> <p>到達目標 学生の卒業論文を読むと、多くの場合、論文ではなく、作文、読書ノート、調査報告に終わっている。演習Ⅳでは論文の構造を徹底して理解する。また論文で扱うデータの分析法について、その考え方を学ぶ。それによって通常の議論における「主張と論証」の能力とデータの収集法・分析の仕方がわかるようになる。</p>						
概要	論文は大きく分ければ「問い・主張・論証」の3つ、細分化すれば「アブストラクト・問い・主張・論証・結論」の5つで構成されている。演習では「問題の立て方」「個人の主張」「論証の方法」を中心に学ぶ。それに合わせて6000字程度の論文を書く。						
評価方法	演習への取り組みと5回の小論文(30%)、学期末の試験(70%)によって評価する。						
履修条件・注意事項	無断欠席をしない。						
自己学習	学期中、毎週、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10～16:40)に研究室(9309)にて実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1.論文の書き方 2.「問題と主張・論証」 3.論文執筆計画を立てる 4.課題の趣旨をよく理解する 5.関連する資料を読む 6.基本資料の収集 7.問題の定式化と研究方法 8.論文の構成要素:アブストラクト・問題・主張・論証・結論 9.アブストラクトとは何か? 10.論文は構造化された文章だ 11.構造を与えるアウトライン 12.アウトラインのつくり方 13.良い論証と悪い論証 14.パラグラフライティング 15.分かりやすい文章を書く 16.定期試験 			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂
教科書 1	戸田山和久 著者: 論文の教室 出版社: NHKブックス ISBN: 978-4140019542						
教科書 2	データ解釈学 著者: 江崎貴裕 出版社: ソシム ISBN: 978-4802612906						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井勝 久喜					NO.	SS-BU-3-506
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「実践力」をテーマとして、グループでのフィールドワークやワークショップの手法を利用して、自分で研究が遂行できる能力を身につけること到達目標とする。						
概要	資料・文献の精読と同時に、自分の課題に適合した研究方法を学習する。一般的な方法論(調査・集計・分析・解釈)に関しては、グループでのフィールドワークやワークショップの手法を利用して実践的な知見を得る。その知見に基づいて、最終的に自分の卒業研究へつながる特化された研究テーマを設定し、研究計画書を作成する。専門職の業種・職種の絞り込みと現場理解につとめる。また、年間4回程度フォーラム(エデュカーレinたかはし)を開催して企画実践力を身につける。 この科目は、一部の授業時間において企業経験のある外部講師を招いて講義をしていただき、学生の理解を深める。						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発言や発表など(50%)で評価する。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には、減点することもある。詳しい評価方法は、最初の演習の時に説明する。レポートは採点して授業でフィードバックするので見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。自分から進んで演習に参加するという態度で臨むこと。						
自己学習	1)参加型演習のために、演習生は事前に課題を調べた上で参加する。演習は、この課題をめぐって討論形式で行う。 2)演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 3)レポートの返却後に指示にしたがって復習を行うこと。 予習及び復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	研究室(14601号室)にて水曜日5時限に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			第1回 演習Ⅳオリエンテーション 第2回 組織マネジメント演習 第3回 ティール組織(ABD法) 第4回 ティール組織(ワークショップ) 第5回 ティール組織(ホールシステムアプローチ) 第6回 ホラクラシー組織演習 第7回 U理論 第8回 外部講師講演会 第9回 外部講師講演会 第10回 オープンスペーステクノロジー 第11回 アプリシエイティブ・インクワイアリー 第12回 フューチャーサーチ 第13回 対話型組織開発 第14回 組織開発演習 第15回 振り返りワークショップ	GW GW GW GW GW GW 講演・GW 講演・GW GW GW GW GW GW GW GW	井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 外部講師 外部講師 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝 井勝		
教科書 1	使用しない						
教科書 2							
参考書 1	ワークショップデザイン 著者:堀 公俊 出版社:日本経済新聞社 ISBN:978-4-532-31403-3						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	姜 明求					NO.	SS-BU-3-506	
配当学科	経営社会				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	「経営学の専門知識の吸収と文献調査の理解」がテーマである。到達目標は、経営学の専門知識の習得と共に、コミュニケーション能力を高める。また、文献を読む能力、考える能力、書く能力、まとめる能力の向上。 チームワークとリーダーシップの向上。自己管理能力と問題解決能力の向上。							
概要	ゼミの目的と概要は次のとおりである。本ゼミでは、経営学・国際経営などの基本的な専門知識を身につけることにする。企業経営の仕組み、戦略、組織などについて学習することが目的である。テキストは変更可能である。 また、ゼミ参加者が興味あるテーマを選択し、卒業論文に向けての報告も行ってもらう。発表に基づいて議論をする。その際に、論文の書き方も指導する。							
評価方法	プレゼンテーション・発表の内容・議論への積極性(50%)、グループ活動の寄与度、ゼミ活動の姿勢(50%)などによって総合的に評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。							
履修条件・注意事項	経営学に関する文献を読むこと。問題意識と積極性を持つこと。無断の欠席は認めない。やむを得ない時は必ず連絡を入れること。必ず事前に配布した資料を読むと共に、復習をすること。休んだ場合には、配布した資料を読むなどとして各自で補う努力をすること。							
自己学習	毎回討論に参加するために配布資料の予習の徹底(毎回2時間)と演習後には復習(毎回2時間)をすること。							
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1.オリエンテーション 2.いかに競争するか 3.マクドナルドとモスバーガー 4.事業のリストラクチャリングと組織改革 5.GEの企業革新 6.M&Aと外部資源の利用 7.ソニーのロンビア映画会社買収 8.破壊的技術への対応とドメインの再定義 9.デジタル化への富士写真フィルムの対応 10.いかに国際化するか 11.ニアの国際戦略 12.日本の生産システム 13.トヨタの生産方式 14.松下電器産業の組織改革 15.全体のまとめ 16.総合復習			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 	姜 	
教科書 1	ケースに学ぶ経営学「新版」 著者：東北大学経営学グループ 出版社：有斐閣ブックス							
教科書 2								
参考書 1	演習時に参考書・資料などを予習ができるように適宜紹介・配布する。							
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-3-506	
配当学科	経営社会				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ: 各自の研究(卒業論文)テーマを決定し、各自が調査プロジェクトを発展させながら卒業論文のための準備を行うことである。</p> <p>到達目標(以下3つ): ①各自の卒業論文テーマの決定 ②研究に必要なレビュー論文の理解 ③研究方法を決定とそれに必要な技術を習得すること</p>							
概要	<p>社会問題や地域の福祉問題をテーマとしたリサーチを実践した上で、その成果を論文としてまとめることまでを目標にしている。テーマ設定や、レビュー、方法の設定などを段階的に進めていくため、講義で学んだ知識や、社会調査の技術を応用することが可能である。</p>							
評価方法	<p>準備作業の過程も含めた授業課題(30%)、グループワークやディスカッションへの参加貢献度(30%)、最終レポート(40%)により評価する。</p>							
履修条件・注意事項	<p>ゼミは参加型学習形態の授業のため、授業への出席と予習復習が必要不可欠である。受講生の学習習熟度や、語学力(特に留学生について)により授業計画は多少変更することがある。</p>							
自己学習	<p>・事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 ・予習および復習には、各2時間程度を要する。</p>							
オフィスアワー	水曜3限(14615研究室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			01. ガイダンス 02. 方法(1)質的(基礎) 03. 方法(2)質的(応用) 04. 方法(3)質的(発表) 05. 方法(1)量的(基礎) 06. 方法(2)量的(応用) 07. 方法(3)量的(成果発表) 08. 各自のプロジェクト報告(グループ1) 09. 各自のプロジェクト報告(グループ1振り返り) 10. 各自のプロジェクト報告(グループ2) 11. 各自のプロジェクト報告(グループ2振り返り) 12. 各自のプロジェクト報告(グループ3) 13. 各自のプロジェクト報告(グループ3振り返り) 14. 全体ディスカッション 15. 全体振り返りと総括				演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮
教科書 1								
教科書 2								
参考書 1	<p>ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方 著者:石井 一成 出版社:ナツメ社 ISBN:978-4816350573</p>							
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	片山 章郎					NO.	SS-BU-3-506
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ 就職活動を開始する時期に入るため、面接試験に必要な日本語力と日本で就職するために必要な職業意識を養う。</p> <p>到達目標 ・就職活動に関係する新聞記事を使って、就職活動に必要な知識を得る。 ・就職試験で求められるレベルの個人面接や集団面接に対応できるようにする。 ・SPIにおける国語と数学の問題を解けるようにする。</p>						
概要	<p>・就職活動に関する記事を書き写しをして、就職活動で何が求められているかを把握する。 ・就職試験で実施される個人面接や集団面接のシミュレーションを実施する。 ・就職試験で実施されることが多いSPIの国語と数学の問題を小テスト形式で解く。</p> <p>※実務経験がある教員による授業科目:この科目は会社に勤務した経験があり、かつ留学生別科で日本語教育も経験した教員が担当する。</p>						
評価方法	評価は単位認定試験を60%、小テストを20%、面接中の態度を20%とする。小テストはフィードバックする。						
履修条件・注意事項	授業で実施する面接やSPIに対応した小テストが評価につながるので、やむを得ない理由以外で欠席しないこと。						
自己学習	予習として、図書館にある複数の新聞の中で経済や就職活動に関する記事に目を通しておくこと。また、図書館にあるSPIに関する参考書や問題集の中の国語と数学の問題を解いてみる。復習として、ノートに書き記した記事や面接の注意点を読み返したり、フィードバックされた国語と数学の小テストをもう一度解いてみたりすること。毎回の授業の予習には2時間、復習には3時間が必要。したがって、総計で予習と復習にそれぞれ30時間が必要。						
オフィスアワー	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 日本の就職活動について 3. SPI:国語の文法問題(小テスト) 4. 小テストの問題解説と誤った問題の解きなおし 5. SPI:数学の損益関係問題(小テスト) 6. 小テストの問題解説と誤った問題の解きなおし 7. 模擬個人面接 8. 模擬集団面接 9. 複数の新聞の就職活動の記事の書き写しと記事比較 10. SPI:国語の短文問題(小テスト) 11. 小テストの問題解説と誤った問題の解きなおし 12. SPI:数学の集合と確率問題(小テスト) 13. 小テストの解説と誤った問題の解きなおし 14. 個人面接と集団面接の再確認 15. 総復習 16. 単位認定試験	演習 演習 演習 演習・AL 演習 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習 演習・AL 演習 演習・AL 演習 演習 筆記試験	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山		
教科書 1	図書館にある新聞。適宜プリントも配布。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大西 正泰					NO.	SS-BU-3-506
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「研究の基礎」をテーマとして、研究に必要な基礎的知識を学び、専門の内容が理解でき、利用できるようになることを到達目標とする。						
概要	<p>各受講生は、各自の研究(卒業論文)テーマを決定し、独自の課題に応じた資料・文献を精読し、研究に必要な基礎概念、基礎理論、専門用語を理解する。</p> <p>到達目標 ①卒業論文テーマの決定 ②先行研究の理解 ③研究方法を決定とそれに必要な技術を習得すること</p> <p>各受講生を以下の3つのグループにわけ、それぞれのグループごとに輪読する。 ①地域づくり分野を研究課題にするものは、研究対象とする地域を選び、選択地域にまつわる資料、文献を読み解く。地域づくり分野においては、いわゆる分析フレームワークが各分野からの援用が多いため、経済的アプローチなどの諸分野を学ぶことになる。 ②起業分野を研究課題にするものは、研究対象とするスタートアップや企業を選び、それにまつわる資料、文献を読み解く。起業分野においては、経営学の分析フレームワークを主として学ぶこととする。 ③その他</p>						
評価方法	評価のポイントは、①演習への積極性・貢献度(50%)、②課題提出物・報告資料(50%)により評価する。						
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 指定された教科書はありません。グループごとに先行研究を選び、輪読し、発表します。 大幅な遅刻や無断欠席はグループワークや評価に影響するので、ご注意ください。やむを得ない場合、必ずメールなどで連絡してください。 						
自己学習	各ケースについては、事前学習を必ず行ってください。 ・テレビや新聞報道による地域事例に目を配り、自己学習に努めましょう。 ・グループ活動では、積極的な問題提起や発言ができるようにしてください。						
オフィスワ-	木曜日(3限) 場所は14621研究室(14号館6階)になります。 *他の曜日についてはメールにて、随時受付します。m-onishi@kiui.ac.jp						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回	オリエンテーション	講義	大西	
			第2回	研究テーマの分野設定	演習	大西	
			第3回	先行研究6の収集	演習	大西	
			第4回	先行研究6の発表	演習	大西	
			第5回	先行研究7の収集	演習	大西	
			第6回	先行研究7の発表	演習	大西	
			第7回	先行研究まとめ	演習	大西	
			第8回	先行研究8の収集	演習	大西	
			第9回	先行研究8の発表	演習	大西	
			第10回	先行研究9の収集	演習	大西	
			第11回	先行研究9の発表	演習	大西	
			第12回	先行研究10の収集	演習	大西	
			第13回	先行研究10の発表	演習	大西	
			第14回	先行研究まとめ	演習	大西	
			第15回	研究テーマの見直し	演習	大西	
教科書 1	適宜資料を配布します。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-3-506
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	テーマ 読書に関する基礎能力とプログラミング言語を修得 到達目標 ①書籍や論文を読み、それを理解したうえで他者に伝達する力を養う ②プログラミング言語を覚える						
概要	卒業論文を執筆する際には、過去の研究から学び、新しい知見を得るために、論文を読解し、さらにコンピューターを用いて、自身でデータを集め、それを分析することが求められる。3年次は、そのような能力を養うための学修を進める。 3年次は、定性的な研究で必要とされる能力を養うために、それらに適した書籍を選択し、輪読していく。 また、データ収集や機械学習などで用いられるプログラミング言語pythonを修得し、これを用いたデータ分析技法やデータ収集を実践する。						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言など(50%)で評価する。						
履修条件・注意事項	遅刻や無断欠席は全体の進行に影響するので、基本的に認めない。やむを得ない場合、必ず事前連絡すること。						
自己学習	2週間に一度は輪読が回ってくるので、自身の関心がある本を数冊選んで、あらかじめ読んでおくこと。プログラミングは基本的に写経と書き換えでしか覚えることができないので、演習の中で用いた書籍から学んだ項目の説明を、他の書籍を参照しながら自身の中で再度確認する。少なくとも予習に2時間、復習に2時間を要する。						
オフィスワ-	研究室、火曜日4時限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.輪読と環境のセットアップ 3.輪読とクローリング 4.輪読とスクレイピング 5.輪読とクローラーの構築 6.輪読とAPIとクローリング 7.輪読とsqlデータベース① 8.輪読とsqlデータベース② 9.輪読とsqlデータベース③ 10.輪読と回帰分析 11.輪読と機械学習① 12.輪読と機械学習② 13.輪読と機械学習③ 14.輪読と機械学習④ 15.輪読と機械学習⑤ 16.課題			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡
教科書 1	進行の中で随時指定						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-3-506
配当学科	経営社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:社会調査の手法を学ぶ 到達目標:量的調査・質的調査ともに基礎知識とその方法を習得し、自らの力で分析出来るようになる。</p>						
概要	<p>演習科目の最終的な目標は卒業論文の執筆である。したがって、3年間の演習を通じて必要なスキルの習得を目指す。3年次は、社会調査のさまざまな手法について基礎を学ぶ。さらにはその手法を用いた論文を読み解く力や、自らの関心で問題提起できる力を養う。 授業方法は主にテキスト等の読解を行う。学生はテキストの担当部分についてレジュメを作成し報告をする。そして、その報告に対して質疑応答を行うとともに、報告者を含め全体で内容を発展させるための議論を行う。</p>						
評価方法	授業への取り組み(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。						
履修条件・注意事項	出席と予習復習は必要不可欠である。 授業計画の内容は、受講者の理解度に応じて変更になることがある。						
自己学習	予習・復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.社会調査の方法(3) 3.社会調査の方法(4) 4.質的調査を用いた文献講読(1) 5.質的調査を用いた文献講読(2) 6.質的調査を用いた文献講読(3) 7.質的調査を用いた文献講読(4) 8.質的調査を用いた文献講読(5) 9.論文の書き方(1) 10.論文の書き方(2) 11.論文の書き方(3) 12.研究関心の発表(1) 13.研究関心の発表(2) 14.研究関心の発表(3) 15.まとめ			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	授業の進行に応じて適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期			
担当者	井勝 久喜					NO.	SS-BU-4-507		
配当学科	経営社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「卒業研究の推進」をテーマとして、研究を遂行するとともに、卒業論文を書き上げるだけの基礎能力を身につけることを到達目標とする。								
概要	研究テーマの対象となる問題の背景・現状の考察、資料・文献の収集とその解説、事例の検討、関連論文の精読、中間レポートの作成と発表、グループ討議など、卒業研究(卒業課題、卒業論文、事例研究など)の完成に向けて本格的に歩み始める。就職情報の収集など専門職の現場に関する知見を深めつつ、就職活動にも取り組む。 この科目は、一部の授業時間において企業経験のある外部講師を招いて講義をしていただき、学生の理解を深める。								
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発言や発表など(50%)で評価する。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には、減点することもある。詳しい評価方法は、最初の演習の時に説明する。レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。自分から進んで演習に参加するという態度で臨むこと。毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。								
自己学習	1)参加型演習のために、演習生は事前に課題を調べた上で参加する。演習は、この課題をめぐって討論形式で行う。 2)演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 3)レポートの返却後に指示にしたがって復習を行うこと。 予習と復習には各2時間程度を要する。								
オフィスアワー	研究室(14601号室)にて木曜日5時限に実施する								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	オリエンテーション	GW	井勝						
第2回	研究に必要な能力	GW	井勝						
第3回	研究遂行方法	GW	井勝						
第4回	資料収集方法	GW	井勝						
第5回	文献の読み方	GW	井勝						
第6回	文献紹介の方法	GW	井勝						
第7回	文献紹介	GW	井勝						
第8回	研究仮説の立て方	GW	井勝						
第9回	研究仮説の立証方法	GW	井勝						
第10回	外部講師講演会	講演・GW	外部講師						
第11回	外部講師講演会	講演・GW	外部講師						
第12回	データの統計処理	GW	井勝						
第13回	文献抄読会	GW	井勝						
第14回	論文作成の方法	GW	井勝						
第15回	振り返りワークショップ	GW	井勝						
教科書 1	使用しない								
教科書 2									
参考書 1	論文・レポートの基本 著者:石黒 圭 出版社:日本実業出版社 ISBN:978-4-534-04927-8								
参考書 2									

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期			
担当者	姜 明求					NO.	SS-BU-4-507		
配当学科	経営社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「経営学の専門知識の吸収と文献調査の理解」がテーマである。到達目標は、経営学の専門知識の習得と共に、コミュニケーション能力を高める。また、文献を読む能力、考える能力、書く能力、まとめる能力の向上。チームワークとリーダーシップの向上。自己管理能力と問題解決能力の向上。								
概要	ゼミの目的と概要は次のとおりである。本ゼミでは、経営学・国際経営などの基本的な専門知識を身につけることにする。企業経営の仕組み、戦略、組織などについて学習することが目的である。テキストは変更可能である。 また、ゼミ参加者が興味あるテーマを選択し、卒業論文に向けての報告も行ってもらおう。発表に基づいて議論をする。その際に、論文の書き方も指導する。								
評価方法	プレゼンテーション・発表の内容・議論への積極性(50%)、グループ活動の寄与度、ゼミ活動の姿勢(50%)などによって総合的に評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。								
履修条件・注意事項	問題意識と積極性を持つこと。無断の欠席は認めない。就職活動でやむを得ない時は必ず連絡を入れること。								
自己学習	毎回討論に参加するために配布資料の予習の徹底(毎回2時間)と演習後には復習(毎回2時間)をすること。								
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.企業の知識体系 3.シャープの製品開発マネジメント 4.日本的経営と人事管理制度 5.プラサ-工業の進化と見えざる資産 6.消費者変化に対応する事業システム 7.セブンイレブン・ジャパンの単品処理 8.ニ-ズの絞り込みによる市場創造 9.ライオン屋干しトップのマーケティング 10.会社は誰のものか 11.カゴメのファン株主拡大戦略 12.ビジネスの倫理 13.三菱ふそうのハブ欠陥事件 14.個人面談と個人指導 15.個人面談と個人指導 16.全体のまとめ			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜					
教科書 1	ケースに学ぶ経営学 著者:東北大学経営学グループ 著 出版社:有斐閣ブックス								
教科書 2									
参考書 1	演習時に参考書・資料などを予習ができるように適宜紹介・配布する。								
参考書 2									

授業科目名	演習 V	履修期	2021年度 春学期			
担当者	李 分一	NO.	SS-BU-4-507			
配当学科	経営社会	年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態 演習
テーマと到達目標	この演習のテーマは、日本人の人事・労働経済に関する研究である。ことに、仕事を中心に捉え、仕事の仕方、仕事能力の形成に焦点を当てることになる。仕事は人生の一部に過ぎないが、これは非常に重要な一部であり、人生に及ぼす影響は極めて深いものである。この演習の最終的な到達目標は、演習生たちの就職に役に立つための実用的な学びを身に付けるものになる。					
概要	この演習は、「仕事の経済学」に関する参加型演習である。演習の主な内容は、日本の人事・労働経済に関するものであるが、必要に応じて外国事例との比較も行う。この研究の方法論は、「個別から一般へ」というやり方を取り入れる。すなわち、できるだけ数多くの個別事例を調べて、そこから一般化を引き出すことになる。これに基づき一般的な理論をも構想してゆく。					
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。					
履修条件・注意事項	(1) 演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。					
自己学習	(1) 参加型演習であるために、演習生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。演習は、この課題をめぐって行う。(2) 演習生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。					
オフィスワ-	毎週水曜日4時限目(9304研究室)					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
1.オリエンテーション 2.様々な労働者グループ 3.知的熟練 4.大手企業労働者のキャリア 5.アメリカ企業労働者のキャリア 6.大手ホワイトカラーの人材開発 7.韓国ホワイトカラーの人材開発 8.報酬Pay - 年功賃金 9.長期雇用と解雇 10.中小企業労働者 11.女性労働者 12.高年労働者とフリーター 13.海外の日本企業 14.働く場での労働組合 15.マクロ労働経済 16.定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李				
教科書 1	演習中に紹介する。					
教科書 2						
参考書 1						
参考書 2						

授業科目名	演習 V			履修期	2021年度 春学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-4-507
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>本授業のテーマ:卒業論文のための社会調査の実施および卒業論文の執筆を行う。 到達目標は大きく以下2つである。 3年次から準備してきた各自の研究テーマを元に研究プロジェクトをすすめ、①最終的な「卒業論文」を執筆する。完成した卒業論文の②プレゼンテーション(発表)を行い、的確な発表及び受け答えを行う。</p>						
概要	<p>各自が社会調査を実践した上で、その成果を1つの学术论文としてまとめる。 その進捗状況をクラス全体で確認するため、毎回受講生が発表する機会がある。 発表準備のためには、授業への積極的な参画が求められる。</p>						
評価方法	<p>卒業論文の制作過程(50%)、卒業論文の内容(50%)が評価の対象となる。 提出課題については授業でフィードバックを行うため、必ず復習しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>各自の研究内容を考慮し、テキストを随時指示する。 卒業論文は、社会調査を各自実施するものとする。</p>						
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 ・指示に従って必ず卒論用ノートを作成し復習をすること。 ・予習および復習には、各2時間程度を要する。 						
オフィスワ-	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
01. ガイダンス 02. 卒業論文執筆の基礎 03. 卒業論文執筆(詳細説明) 04. 卒論構想発表準備作業 05. 卒論構想発表レジュメ作成 06. 卒論構想発表 グループ1 07. 卒論構想発表 グループ2 08. 卒論構想発表振り返り 09. 初校の執筆作業 10. 初校の執筆作業(個別質問) 11. 初校の執筆作業(個別指導) 12. 初校の執筆作業(個別質問) 13. 初校の執筆作業(個別指導) 14. 全体ディスカッション 15. 全体振り返りと総括	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮					
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	<p>よくわかる卒論の書き方 著者:白井利明・高橋一郎 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623065721</p>						
参考書 2							

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期			
担当者	片山 章郎					NO.	SS-BU-4-507		
配当学科	経営社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	<p>テーマ 本学は就職活動と卒業論文のための研究推進の時期であるため、職業と大学教育のつながりを考えたり、論理的に考えて口頭発表やレポートにしたりすることをテーマとする。</p> <p>到達目標 ・就職活動にあたり、職業意識をはっきりさせる。 ・就職試験で求められる小論文に対応できる。 ・卒業論文を書くための研究テーマを明確にし、卒業論文の概要を口頭発表したり、レポートにまとめたりする。</p>								
概要	<p>・日本経済や日本の会社経営に関するテーマを出すので、そのテーマに対して小論文にまとめる。 ・卒業論文のテーマを決定するために、研究テーマに関する新聞記事、資料、文献を収集して、それらの精読、比較検討、グループ討議などを通じて、研究テーマを明確にしていき、口頭発表した後にレポートにまとめる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:この科目は会社に勤務した経験があり、かつ留学生別科で日本語教育を経験した教員が担当する。</p>								
評価方法	職業意識のための小論文を30%、口頭発表を30%、単位認定試験で実施するレポートを40%とする。提出された小論文はフィードバックする。								
履修条件・注意事項	評価の対象となる小論文、口頭発表、レポートのためには毎回の授業出席が前提となる。やむを得ない理由以外で欠席しないこと。								
自己学習	予習として、就職活動に関する新聞記事や研究テーマに必要な新聞記事・資料・文献は授業の前に調べておくこと。復習として、授業で作成した小論文や授業で検討した内容について精読して授業内容を明確化しておくこと。そのため、毎回の授業の予習と復習にそれぞれ2時間、総計でそれぞれ30時間が必要となる。								
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 研究領域の確認 3. 資料や文献の収集方法 4. 研究課題の明確化 5. 模擬面接試験 6. 就職活動の報告書作成 7. 職業意識に関する小論文の作成 8. 返却された小論文の修正 9. 資料や文献の精読 10. お互いの研究課題に関する討議 11. 研究課題のアブストラクトの作成 12. 口頭発表の準備 13. 口頭発表 14. 口頭発表についての討議 15. 総復習 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習・AL 演習 演習・AL 演習 演習 演習 演習 演習・AL 演習 レポ-ト	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山					
教科書 1	適宜プリントを配布								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期			
担当者	大西 正泰					NO.	SS-BU-4-507		
配当学科	経営社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「卒業研究の推進」をテーマとして、研究を遂行するとともに、卒業論文を書き上げるだけの基礎能力を身につけることを到達目標とする。								
概要	研究テーマの対象となる問題の背景・現状の考察、資料・文献の収集とその解説、事例の検討、関連論文の精読、中間レポートの作成と発表、グループ討議など、卒業研究(卒業課題、卒業論文、事例研究など)の完成に向けて本格的に歩み始める。就職情報の収集など専門職の現場に関する知見を深めつつ、就職活動にも取り組む。 この科目は、一部の授業時間において企業経験のある外部講師を招いて講義をしていただき、学生の理解を深める。								
評価方法	評価のポイントは、①演習への積極性・貢献度(50%)、②課題提出物・報告資料(50%)により評価する。								
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。自分から進んで演習に参加するという態度で臨むこと。毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。								
自己学習	1)参加型演習のために、演習生は事前に課題を調べた上で参加する。演習は、この課題をめぐって討論形式で行う。2)演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。3)レポートの返却後に指示にしたがって復習を行うこと。予習と復習には各2時間程度を要する。								
オフィスアワー	木曜日(4限) 場所は14621研究室(14号館6階)になります。 *他の曜日についてはメールにて、随時受付します。m-onishi@kiui.ac.jp								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	オリエンテーション	AL	大西						
第2回	研究に必要な能力	AL	大西						
第3回	研究遂行方法	AL	大西						
第4回	資料収集方法	AL	大西						
第5回	文献の読み方	AL	大西						
第6回	文献紹介の方法	AL	大西						
第7回	文献紹介	AL	大西						
第8回	研究仮説の立て方	AL	大西						
第9回	研究仮説の立証方法	AL	大西						
第10回	外部講師講演会	講義・AL	外部講師						
第11回	外部講師講演会	講義・AL	外部講師						
第12回	データの統計処理	AL	大西						
第13回	文献抄読会	AL	大西						
第14回	論文作成の方法	AL	大西						
第15回	振り返りワークショップ	AL	大西						
教科書 1	毎回資料を配布します。								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期			
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-4-507		
配当学科	経営社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	テーマ 卒業論文の執筆 到達目標 卒業論文を完成させるために必要な能力を養う。								
概要	各自、卒業論文のテーマを決定し、その完成に向けて論文の収集、データの収集、分析を行う。 2週間に一度、自身の研究の進行状況を発表する。 輪読は、各自の関心のある論文を自身で見つけ、それを読み、発表する。								
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言など(50%)で評価する。								
履修条件・注意事項	遅刻や無断欠席は全体の進行に影響するので、基本的に認めない。やむを得ない場合、必ず事前連絡すること。								
自己学習	2週間に一度は輪読が回ってくるので、自身の関心がある本を数冊選んで、あらかじめ読んでおくこと。データ分析に用いる統計学的手法や機械学習技術、さらには深層学習には数学的な理解が必要である。自身がそれらの手法を用いる際には、その背景にある考え方まで理解する。少なくとも予習に2時間、復習に2時間を要する。								
オフィスアワー	研究室、火曜日4時限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.研究の進め方 3.調査の方法 4.研究計画の策定 5.研究計画の再検討 6.先行研究の収集 7.先行研究の収集 8.予備的調査 9.調査結果の検討 10.調査方法の再検討 11.本調査 12.調査結果の分析 13.モデルの検討 14.モデルの構築 15.モデルの構築 16. 課題			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡					
教科書 1	進行の中で随時指定								
教科書 2									
参考書 1	統計学が最強の学問である[数学編] 著者:西内啓 出版社:ダイヤモンド社 ISBN:4478104514								
参考書 2									

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期	
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-4-507
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:卒業論文の執筆 到達目標:知識に基づき論理的な思考ができる。事象について多面的に理解し、豊かな発想ができる。</p>						
概要	<p>演習科目の最終的な目標は卒業論文の執筆である。したがって、3年間の演習を通じて必要なスキルの習得を目指す。4年次は、卒業論文の執筆と修正に徹する。正確な文章が書けるようになる。データの収集や分析を行い、自身の研究を進める。さらには、日常的な問題について社会学の知識を用いた解釈ができるようになる。授業方法は、卒業論文の進捗についてレジュメを作成し報告をする。そして、その報告に対して質疑応答を行うとともに、報告者を含め全体で内容を発展させるための議論を行う。</p>						
評価方法	授業への取り組み(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。						
履修条件・注意事項	出席と予習復習は必要不可欠である。授業計画の内容は、受講者の理解度に応じて変更になることがある。						
自己学習	予習・復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.論文テーマの発表(1) 3.論文テーマの発表(2) 4.論文テーマの発表(3) 5.参考文献の整理(1) 6.参考文献の整理(2) 7.参考文献の整理(3) 8.研究計画の報告(1) 9.研究計画の報告(2) 10.研究計画の報告(3) 11.研究の進捗報告(1) 12.研究の進捗報告(2) 13.研究の進捗報告(3) 14.卒業論文中間報告(1) 15.卒業論文中間報告(2)		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元				
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	授業の進行に応じて適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅵ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	SS-BU-4-508	
配当学科	経営社会				年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ:卒業論文の執筆 演習Ⅵでは卒業論文の執筆と修正に徹する。演習Ⅴの最後に提出したレポートを基礎にして、それを発展させ、卒業論文の完成を目指す。 達成目標 文章は読むことよりも書くことのほうが難しい。翻訳でも同じだが、論文の執筆を経験すると「言葉の使い方」に敏感になる。さまざまな資料とデータからひとつの結論を導く経験はこれからの人生において貴重な経験となる。</p>							
概要	<p>演習では毎回発表者が交代しながら、自分の研究テーマに関する研究内容・進捗状況を発表する。ゼミ発表の進め方は、前の週に発表者と討論者と司会を決めておき、報告者のゼミ発表が終わると討論者が、発表に対するコメントを加える。その後自由討論を行い、最後に指導教授がコメントを加え、研究のヒントを提示する。</p>							
評価方法	演習への取り組み(30%)・定期試験(70%)によって評価する。							
履修条件・注意事項	論文執筆をさぼり、11月ごろになって急に焦り始め、締切直前に書き上げる学生が多い。これまで就職決定を優先させ卒業論文執筆の先送りを認めてきたが、今年度以降は厳しく指導する。							
自己学習	学期中、毎週、最低でも予習と復習には各2時間程度を要する。							
オフィスワ-	火曜4限(15:10～16:40)に、研究室(9309)にて実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1.論文テーマの見直し、再確認 2.指導教員による論文執筆デモンストラーション 3.論文執筆進捗状況報告 4.論文執筆進捗状況報告 5.論文執筆進捗状況報告 6.論文執筆進捗状況報告 7.論文執筆進捗状況報告 8.論文執筆進捗状況報告 9.論文執筆進捗状況報告 10.中間報告会 11.教員による論文のプレゼンⅠ 12.教員による論文のプレゼンⅡ 14.論文の書式・形式のチェック 15.卒業論文報告会・口頭試問 16.定期試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂	
教科書 1	論文の教室 著者: 戸田山 和久 出版社: NHK出版 ISBN: 978-4140911945							
教科書 2	教員執筆の論文							
参考書 1	学生の論文テーマに合わせて適宜指示する							
参考書 2	データ解釈学 著者: 江崎貴裕 出版社: ソシム ISBN: 978-4802612906							

授業科目名	演習VI			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井勝 久喜					NO.	SS-BU-4-508
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「卒業論文の作成」をテーマとして、自分自身で考え、研究を遂行し、卒業論文をまとめ上げることを到達目標とする。						
概要	添削指導や中間発表会など、個別指導や報告会、グループ討議を重ねて、卒業研究(卒業課題、卒業論文、事例研究など)を完成させる。完成させた各研究内容は、発表会と冊子の形で当該演習の受講生全員に公表し、相互評価を行う。 この科目は、一部の授業時間において企業経験のある外部講師を招いて講義をしていただき、学生の理解を深める。						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発言や発表など(50%)で評価する。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には、減点することもある。詳しい評価方法は、最初の演習の時に説明する。レポートは採点して授業でフィードバックするので見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。自分から進んで演習に参加するという態度で臨むこと。						
自己学習	1)参加型演習のために、演習生は事前に課題を調べた上で参加する。演習は、この課題をめぐって討論形式で行う。 2)演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 3)レポートの返却後に指示にしたがって復習を行うこと。 予習および復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	研究室(14601号室)にて水曜日5時限に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回	演習VIオリエンテーション	GW	井勝	
			第2回	文献紹介	GW	井勝	
			第3回	文献抄読会	GW	井勝	
			第4回	資料・文献の収集	GW	井勝	
			第5回	資料・文献の整理	GW	井勝	
			第6回	研究対象事例の収集	GW	井勝	
			第7回	研究対象事例の整理	GW	井勝	
			第8回	中間発表	GW	井勝	
			第9回	中間発表の振り返り	GW	井勝	
			第10回	外部講師講演会	講演・GW	外部講師	
			第11回	外部講師講演会	講演・GW	外部講師	
			第12回	研究調査	GW	井勝	
			第13回	調査結果のまとめ	GW	井勝	
			第14回	最終発表準備	GW	井勝	
			第15回	最終発表	GW	井勝	
教科書 1	使用しない						
教科書 2							
参考書 1	論文・レポートの基本 著者:石黒 圭 出版社:日本実業出版社 ISBN:978-4-534-04927-8						
参考書 2							

授業科目名	演習VI			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	姜 明求				NO.	SS-BU-4-508	
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「経営学の専門知識の吸収と文献調査の理解」がテーマである。到達目標は、経営学の専門知識の習得と共に、コミュニケーション能力を高める。また、文献を読む能力、考える能力、書く能力、まとめる能力の向上。チームワークとリーダーシップの向上。自己管理能力と問題解決能力の向上。						
概要	ゼミの目的と概要は次のとおりである。本ゼミでは、経営学・国際経営などの基本的な専門知識を身につけることにする。企業経営の仕組み、戦略、組織などについて学習することが目的である。テキストは変更可能である。 また、ゼミ参加者が興味あるテーマを選択し、卒業論文に向けての報告も行ってもらおう。発表に基づいて議論をする。その際に、論文の書き方も指導する。						
評価方法	プレゼンテーション・発表の内容・議論への積極性(50%)、グループ活動の寄与度、ゼミ活動の姿勢(50%)などによって総合的に評価する。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	経営学に文献をよること。問題意識と積極性を持つこと。無断の欠席は認めない。就職活動でやむを得ない時は必ず連絡を入れること。						
自己学習	毎回討論に参加するために配布資料の予習の徹底(毎回2時間)と演習後には復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.経営集中化とグローバル化 3.食品・アミノ酸の世界企業をめざす 4.ノートパソコン首位企業の栄光と苦難 5.生産システムの対米移転 6.タイにおける販売革新 7.SPAと中国調達 8.中国での事業展開 9.欧州地域統括会社 10.アメリカにみるハイブリッド型 11.テレビゲーム企業の国際戦略 12.国境を越える広告活動 13.盛田昭夫VS H.シャイン 14.グローバル経営(キャン)ン 15.全体のまとめ 16.総合学習			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜 姜
教科書 1	ケースブック国際経営 著者:吉原 英樹 編著 出版社:有斐閣ブックス						
教科書 2							
参考書 1	演習時に参考書・資料などを予習ができるように適宜紹介・配布する。						
参考書 2							

授業科目名	演習VI			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-4-508
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>本授業のテーマ:卒業論文のための社会調査の実施および卒業論文の執筆を行う。 到達目標は大きく以下2つである。 3年次から準備してきた各自の研究テーマを元に研究プロジェクトをすすめ、①最終的な「卒業論文」を執筆する。完成した卒業論文の②プレゼンテーション(発表)を行い、的確な発表及び受け答えを行う。</p>						
概要	<p>各自が社会調査を実践した上で、その成果を1つの学术论文としてまとめる。 その進捗状況をクラス全体で確認するため、毎回受講生が発表する機会がある。 発表準備のためには、授業への積極的な参画が求められる。</p>						
評価方法	<p>卒業論文の制作過程(50%)、卒業論文の内容(50%)が評価の対象となる。 提出課題については授業でフィードバックを行うため、必ず復習しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>各自の研究内容を考慮し、テキストを随時指示する。 卒業論文は、社会調査を各自実施するものとする。</p>						
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 ・指示に従って必ず卒論用ノートを作成し復習をすること。 ・予習および復習には、各2時間程度を要する。 						
オフィスワ-	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01. ガイダンス 02. 初校の提出作業 03. 初校への個別コメント 04. 執筆スケジュール確認 05. 第2校執筆準備 06. 第2校執筆作業(個別) 07. 第2校執筆作業(個別指導) 08. 第2校執筆作業(個別指導) 09. 第2校執筆作業(個別指導) 10. 最終稿執筆作業(個別) 11. 最終稿執筆作業(個別指導) 12. 最終稿執筆作業(個別指導) 13. 卒論報告会準備 14. 卒論報告会 15. 全体振り返りと総括			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	よくわかる卒論の書き方 著者:白井利明・高橋一郎 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623065721						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅵ				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	片山 章郎					NO.	SS-BU-4-508		
配当学科	経営社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	<p>テーマ 卒業論文の作成のために、研究課題に関する考察を深めていく。</p> <p>到達目標 卒業論文を完成させる。</p>								
概要	<p>卒業論文に対する個別指導、添削指導、発表会を実施することで、卒業論文を完成させる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:この科目は留学生別科で日本語教育を経験した教員が担当する。</p>								
評価方法	自分の研究課題への取り組みや他のゼミ生の研究への協力に対する評価が50%、研究発表を50%とする。								
履修条件・注意事項	卒業論文にリンクして行う授業なので、やむを得ない理由以外で欠席しないこと。								
自己学習	卒業論文にリンクしての研究活動であるので、予習として文献や資料を読み込みを行っておくこと。復習として、授業で指摘されたポイントを卒業論文に反映させておくこと。そのため、毎回の授業の予習に2時間、復習に2時間が必要であり、総計としてそれぞれ30時間が必要。								
オフィスアワー	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					1. オリエンテーション 2. 資料や文献の収集 3. 資料や文献の整理 4. 春学期に作成したアブストラクトの再構築 5. 研究課題に対するグループ討議 6. プレゼンテーションの再確認 7. 中間発表の準備 8. 中間発表 9. 序論の書き方の再確認 10. 本論の書き方の再確認 11. 結論の書き方の再確認 12. 最終発表資料の作成 13. 最終発表の準備 14. 最終発表 15. 発表の総括			演習 演習 演習 演習 演習・AL 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山
教科書 1	使用しない								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	演習VI			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大西 正泰				NO.	SS-BU-4-508	
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「卒業論文の作成」をテーマとして、自分自身で考え、研究を遂行し、卒業論文をまとめ上げることを到達目標とする。						
概要	添削指導や中間発表会など、個別指導や報告会、グループ討議を重ねて、卒業研究(卒業課題、卒業論文、事例研究など)を完成させる。完成させた各研究内容は、発表会と冊子の形で当該演習の受講生全員に公表し、相互評価を行う。この科目は、一部の授業時間において企業経験のある外部講師を招いて講義をしていただき、学生の理解を深める。						
評価方法	評価のポイントは、①演習への積極性・貢献度(50%)、②課題提出物・報告資料(50%)により評価する。						
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。自分から進んで演習に参加するという態度で臨むこと。						
自己学習	1)参加型演習のために、演習生は事前に課題を調べた上で参加する。演習は、この課題をめぐって討論形式で行う。2)演習後には、演習内容に関するミニレポートを提出しなければならない。3)レポートの返却後に指示にしたがって復習を行うこと。予習および復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	研究室(14621号室)にて水曜日5時限に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回	オリエンテーション	講義	大西	
			第2回	文献紹介	演習	大西	
			第3回	文献抄読会	演習	大西	
			第4回	資料・文献の収集	演習	大西	
			第5回	資料・文献の整理	演習	大西	
			第6回	研究対象事例の収集	演習	大西	
			第7回	研究対象事例の整理	演習	大西	
			第8回	中間発表	演習	大西	
			第9回	中間発表の振り返り	演習	大西	
			第10回	外部講師講演会	AL	外部講師	
			第11回	外部講師講演会	AL	外部講師	
			第12回	研究調査	演習	大西	
			第13回	調査結果のまとめ	演習	大西	
			第14回	最終発表準備	演習	大西	
			第15回	最終発表	演習	大西	
教科書 1	使用しない						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習VI			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-4-508
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	テーマ 卒業論文の執筆 到達目標 卒業論文を完成させるために必要な能力を養う。						
概要	各自、卒業論文のテーマを決定し、その完成に向けて論文の収集、データの収集、分析を行う。 2週間に一度、自身の研究の進行状況を発表する。 輪読は、各自の関心のある論文を自身で見つけ、それを読み、発表する。						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言など(50%)で評価する。						
履修条件・注意事項	遅刻や無断欠席は全体の進行に影響するので、基本的に認めない。やむを得ない場合、必ず事前連絡すること。						
自己学習	2週間に一度は輪読が回ってくるので、自身の関心がある本を数冊選んで、あらかじめ読んでおくこと。データ分析に用いる統計学的手法や機械学習技術、さらには深層学習には数学的な理解が必要である。自身がそれらの手法を用いる際には、その背景にある考え方まで理解する。少なくとも予習に2時間、復習に2時間を要する。						
オフィスワ-	研究室、火曜日4時限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.論文執筆について 3.執筆検討会:序論 4.執筆検討会:背景 5.執筆検討会:先行研究 6.執筆検討会:仮説の検討 7.執筆検討会:研究の方法 8.執筆検討会:データの提示 9.執筆検討会:データの解釈 10.執筆検討会:結果の考察 11.第1次発表①:討論会 12.第1次発表②:討論会 13.執筆検討会:再構成 14.最終発表会① 15.最終発表会② 16.最終報告			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡
教科書 1	進行の中で随時指定						
教科書 2							
参考書 1	統計学が最強の学問である[数学編] 著者:西内啓 出版社:ダイヤモンド社 ISBN:978-4478104514						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅵ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-4-508
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:卒業論文の執筆 到達目標:知識に基づき論理的な思考ができる。事象について多面的に理解し、豊かな発想ができる。</p>						
概要	<p>演習科目の最終的な目標は卒業論文の執筆である。したがって、3年間の演習を通じて必要なスキルの習得を目指す。4年次は、卒業論文の執筆と修正に徹する。正確な文章が書けるようになる。データの収集や分析を行い、自身の研究を進める。さらには、日常的な問題について社会学の知識を用いた解釈ができるようになる。授業方法は、卒業論文の進捗についてレジュメを作成し報告をする。そして、その報告に対して質疑応答を行うとともに、報告者を含め全体で内容を発展させるための議論を行う。</p>						
評価方法	授業への取り組み(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。						
履修条件・注意事項	出席と予習復習は必要不可欠である。授業計画の内容は、受講者の理解度に応じて変更になることがある。						
自己学習	予習・復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.研究計画の再検討(1) 3.研究計画の再検討(2) 4.研究計画の再検討(3) 5.論文の構成(1) 6.論文の構成(2) 7.論文の構成(3) 8.研究の進捗報告(4) 9.研究の進捗報告(5) 10.研究の進捗報告(6) 11.論文の推敲(1) 12.論文の推敲(2) 13.論文の推敲(3) 14.卒業論文発表(1) 15.卒業論文発表(2)			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	授業の進行に応じて適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 春学期～秋学期			
担当者	赤坂 真人					NO.	SS-BU-4-509		
配当学科	経営社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習		
テーマと到達目標	<p>テーマ テーマは昨年度末、ゼミで報告されたものについて研究を続け、卒業論文として仕上げるものとする。論文の可否に関しては従来通り、ゼミ担当教員が要求する水準を超えていなければならない。脚注の付け方や参考文献の並べ方等については、何度でも指導する。</p> <p>到達目標 できるだけ引用の少ない「自分の言葉で書いた」論文の執筆。</p>								
概要	卒業論文の指導については、指導教授が大学院で実施している方式を採用する。すなわち毎週少しでも良いので卒業論文に関連する文章を書いてきてもらい、それを教員が指導、訂正する。								
評価方法	論文への取り組み(40%)と中間発表・卒論(60%)によって評価する。提出した課題については評価して返却するので、復習すること。								
履修条件・注意事項	剽窃だけは絶対しないこと。引用部分には必ず脚注を付けること。外国語文献を翻訳して、そのまま論文にしないこと。インターネットからの無断借用は絶対許さない。								
自己学習	学期中、毎週、予習と復習には各2時間程度を要する。								
オフィスアワー	火曜4限(15:10～16:40)に、研究室(9309)にて実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.論文とエッセイの違い 2.論文の構成要素 3.論文の構造 4.諸言・はじめに・問題の所在 5.方法と技法 6.データの収集 7.データの処理 8.結果 9.考察 10.論証 11.アブストラクト 12.資料の収集と分析 13.論文の形式 14.脚注と引用文献 15.推敲作業 16.中間報告			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂	1.論文の書き方説明 2.論文テーマ確認 3.論文の構造チェック 4.論文執筆検討会:はじめに 5.論文執筆検討会:背景 6.論文執筆検討会:命題 7.論文執筆検討会:方法 8.論文執筆検討会:結果 9.論文執筆検討会:考察 10.第2回論文中間報告会 11.論文執筆検討会:論旨 12.論文執筆検討会:命題と結果 13.脚注・引用文献チェック 14.アブストラクト執筆 15.推敲作業 16.口頭試問			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂
教科書 1	論文の教室 著者: 戸田山 和久 出版社: NHK 出版 ISBN: 978-4140911945								
教科書 2									
参考書 1	各学生の卒業論文のテーマにあった論文・著書を紹介する。								
参考書 2	データ解釈学 著者: 江崎貴裕 出版社: ソシム ISBN: 978-4802612906								

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 春学期～秋学期			
担当者	井勝 久喜					NO.	SS-BU-4-509		
配当学科	経営社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「卒業論文の完成と発表」をテーマとして、演習等で得た能力と、知識を活用して、卒業論文を完成させ、発表会においてプレゼンテーションを行うことによって、本学科卒業生としての能力を身につけることを到達目標とする。								
概要	演習V、演習VIと関連させながら、これまで学習してきた研究方法を活かして、卒業論文の作成を行う。指導教員は、学生の卒業研究のテーマに応じて、事例の検討や関連論文の精読、グループ討議、個別指導などを行い、卒業論文作成の指導にあたる。								
評価方法	課題・議論・発表などへの取り組み(50%)及び卒業論文の内容(50%)を総合的に評価する。課題・議論・発表などへの取り組みについては採点をして授業でフィードバックする。								
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。								
自己学習	1) 毎週発表をしてもらうことから、事前に文献を熟読した上で参加すること。 2) 毎週指示を出すので、指示に従って復習すること。 予習および復習には各2時間程度を要する。								
オフィスアワー	春学期は木曜日5時限、秋学期は水曜日5時限に研究室(14506号室)で実施する。なお、論文指導は随時行うので、教員在室時はいつ訪ねても良い。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 卒業論文に関するオリエンテーション			PBL	井勝	第1回 後期研究計画の作成			PBL	井勝
第2回 卒業論文テーマ設定			PBL	井勝	第2回 文献調査及びフィールド調査			PBL	井勝
第3回 研究計画の作成			PBL	井勝	第3回 研究状況報告及び文献紹介			PBL	井勝
第4回 文献調査及びフィールド調査			PBL	井勝	第4回 文献調査及びフィールド調査			PBL	井勝
第5回 研究状況報告及び文献紹介			PBL	井勝	第5回 研究状況報告及び文献紹介			PBL	井勝
第6回 文献調査及びフィールド調査			PBL	井勝	第6回 文献調査及びフィールド調査			PBL	井勝
第7回 研究状況報告及び文献紹介			PBL	井勝	第7回 研究状況報告及び文献紹介			PBL	井勝
第8回 研究に関する討論			PBL	井勝	第8回 研究に関する討論			PBL	井勝
第9回 文献調査及びフィールド調査			PBL	井勝	第9回 文献調査及びフィールド調査			PBL	井勝
第10回 研究状況報告及び文献紹介			PBL	井勝	第10回 研究状況報告及び文献紹介			PBL	井勝
第11回 文献調査及びフィールド調査			PBL	井勝	第11回 文献調査及びフィールド調査			PBL	井勝
第12回 研究状況報告及び文献紹介			PBL	井勝	第12回 研究状況報告及び文献紹介			PBL	井勝
第13回 卒業論文中間まとめの作成			PBL	井勝	第13回 卒業論文の作成			PBL	井勝
第14回 中間まとめの見直し			PBL	井勝	第14回 卒業論文の見直し			PBL	井勝
第15回 卒業論文中間発表会			PBL	井勝	第15回 卒業論文発表会			PBL	井勝
教科書 1			使用しない						
教科書 2									
参考書 1			論文・レポートの基本 著者:石黒 圭 出版社:日本実業出版社 ISBN:978-4-534-04927-8						
参考書 2									

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	姜 明求					NO.	SS-BU-4-509
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	「卒業論文の完成と論文の書き方の理解」がテーマである。到達目標は、褒めてもらえることができる質が高い卒業論文の完成である。また、論文の作成を通じて、情報の収集や分析の方法、文章のまとめ方、発表のノウハウ、コミュニケーション能力などの養成を目標にする。						
概要	本人の興味・関心に基づいて経営学のさまざまな領域から研究テーマを選ぶ。各自の卒業論文のテーマに従って実証的研究か、文献研究を行う。テーマの決定に当たっては、適切なアドバイスを行う。研究テーマの決定、執筆中はもちろん、論文の仕上げまでアドバイスはするが、論文を完成させるのは本人である。						
評価方法	発表の内容・討論への積極性(20%)、提出論文の内容と発表によって評価(20%)。論文審査(60%)。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	就職活動と卒業論文の作成のバランスをうまくとること。無断欠席は認めない。就職活動でやむを得ない時は、必ず連絡を入れること。自ら問題意識を持って授業へ出席し、積極的に取り組む姿勢が必要。						
自己学習	毎回討論に参加するために配布資料の予習の徹底(毎回2時間)と演習後には復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション		演習	姜	1.オリエンテーション		演習	姜
2.各自の選んだ研究テーマについての報告・討論(各人)		演習	姜	2.各自の選んだ研究テーマについての順次報告(各人)		演習	姜
3.各自の選んだ研究テーマについての報告・討論(各人)		演習	姜	3.各自の選んだ研究テーマについての順次報告(各人)		演習	姜
4.各自の選んだ研究テーマについての報告・討論(各人)		演習	姜	4.各自の選んだ研究テーマについての順次報告(各人)		演習	姜
5.各自の選んだ研究テーマについての報告・討論(各人)		演習	姜	5.各自の選んだ研究テーマについての順次報告(各人)		演習	姜
6.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	6.テーマと目次の決定(各人)		演習	姜
7.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	7.論文執筆の中間発表(各人)		演習	姜
8.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	8.論文執筆の中間発表(各人)		演習	姜
9.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	9.論文の中間確認と文章の指導		演習	姜
10.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	10.論文の中間確認と文章の指導		演習	姜
11.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	11.論文の中間確認と文章の指導		演習	姜
12.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	12.論文の中間確認と文章の指導		演習	姜
13.各自の研究テーマと内容の報告(各人)		演習	姜	13.論文の最終確認と編集(各人)		演習	姜
14.各自の研究テーマと内容の報告(各人)		演習	姜	14.卒業論文の完成と成果発表・校正(各人)		演習	姜
15.総合復習		演習	姜	15.卒業論文の完成と成果発表・校正(各人)		演習	姜
16.総合復習		試験	姜	16.卒業論文の審査会(各人)		試験	姜
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	演習時に参考書・資料などを予習ができるように適宜紹介・配布する。						
参考書 2	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方 著者:新堀 聡 出版社:同文館						

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-4-509
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>本授業のテーマ:卒業論文のための社会調査の実施および卒業論文の執筆を行う。 到達目標は大きく以下2つである。 3年次から準備してきた各自の研究テーマを元に研究プロジェクトをすすめ、①最終的な「卒業論文」を執筆する。完成した卒業論文の②プレゼンテーション(発表)を行い、的確な発表及び受け答えを行う。</p>						
概要	<p>各自が社会調査を実践した上で、その成果を1つの学術論文としてまとめる。 その進捗状況をクラス全体で確認するため、毎回受講生が発表する機会がある。 発表準備のためには、授業への積極的な参画が求められる。</p>						
評価方法	<p>卒業論文の制作過程(50%)、卒業論文の内容(50%)が評価の対象となる。 提出課題については授業でフィードバックを行うため、必ず復習しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>各自の研究内容を考慮し、テキストを随時指示する。 卒業論文は、社会調査を各自実施するものとする。</p>						
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 ・指示に従って必ず卒論用ノートを作成し復習をすること。 ・予習および復習には、各2時間程度を要する。 						
オフィスワ-	水曜3限(14615研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
01. ガイダンス 02. 卒業論文執筆の基礎 03. 卒業論文執筆(詳細説明) 04. 卒論構想発表準備作業 05. 卒論構想発表レジュメ作成 06. 卒論構想発表 グループ1 07. 卒論構想発表 グループ2 08. 卒論構想発表振り返り 09. 初校の執筆作業 10. 初校の執筆作業(個別質問) 11. 初校の執筆作業(個別指導) 12. 初校の執筆作業(個別質問) 13. 初校の執筆作業(個別指導) 14. 全体ディスカッション 15. 全体振り返りと総括	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮	01. ガイダンス 02. 初校の提出作業 03. 初校への個別コメント 04. 執筆スケジュール確認 05. 第2校執筆準備 06. 第2校執筆作業(個別) 07. 第2校執筆作業(個別指導) 08. 第2校執筆作業(個別指導) 09. 第2校執筆作業(個別指導) 10. 最終稿執筆作業(個別) 11. 最終稿執筆作業(個別指導) 12. 最終稿執筆作業(個別指導) 13. 卒論報告会準備 14. 卒論報告会 15. 全体振り返りと総括	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮		
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	<p>よくわかる卒論の書き方 著者:白井利明・高橋一郎 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623065721</p>						
参考書 2							

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	大西 正泰					NO.	SS-BU-4-509
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	「卒業論文の完成と発表」をテーマとして、演習等で得た能力と、知識を活用して、卒業論文を完成させ、発表会においてプレゼンテーションを行うことによって、本学科卒業生としての能力を身につけることを到達目標とする。						
概要	演習V、演習VIと関連させながら、これまで学習してきた研究方法を活かして、卒業論文の作成を行う。指導教員は、学生の卒業研究のテーマに応じて、事例の検討や関連論文の精読、グループ討議、個別指導などを行い、卒業論文作成の指導にあたる。						
評価方法	題・議論・発表などへの取り組み(50%)及び卒業論文の内容(50%)を総合的に評価する。課題・議論・発表などへの取り組みについては採点をして授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。						
自己学習	1) 毎週発表をしてもらうことから、事前に文献を熟読した上で参加すること。 2) 毎週指示を出すので、指示に従って復習すること。予習および復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	春・秋学期ともに月～木曜日の5限をベースに調整します。 なお、論文指導は随時行うので、教員在室時はいつ訪ねても良い。 ・メールにて、随時受付します。 m-onishi@kiui.ac.jp 場所は14621研究室(14号館6階)になります。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回	オリエンテーション	AL	大西	第1回	後期研究計画の作成	AL	大西
第2回	卒業論文テーマ設定	AL	大西	第2回	文献及びフィールド調査	AL	大西
第3回	研究計画の作成	AL	大西	第3回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西
第4回	文献調査及びフィールド調査	AL	大西	第4回	文献及びフィールド調査	AL	大西
第5回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	第5回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西
第6回	文献調査及びフィールド調査	AL	大西	第6回	文献及びフィールド調査	AL	大西
第7回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	第7回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西
第8回	研究に関する討論	AL	大西	第8回	研究に関する討論	AL	大西
第9回	文献調査及びフィールド調査	AL	大西	第9回	文献及びフィールド調査	AL	大西
第10回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	第10回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西
第11回	文献調査及びフィールド調査	AL	大西	第11回	文献及びフィールド調査	AL	大西
第12回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	第12回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西
第13回	卒業論文中間まとめの作成	AL	大西	第13回	卒業論文の作成	AL	大西
第14回	中間まとめの見直し	AL	大西	第14回	卒業論文の見直し	AL	大西
第15回	卒業論文中間発表会	AL	大西	第15回	卒業論文発表会	AL	大西
教科書 1	必要に応じて配布します。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-4-509
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	研究活動に主体的に取り組み、4年間の学びの集大成として卒業論文を完成させることを目的とする。						
概要	各自、卒業論文のテーマを決定し、その完成に向けて論文の収集、データの収集、分析を行う。 2週間に一度、自身の研究の進行状況を発表する。 輪読は、各自の関心のある論文を自身で見つけ、それを読み、発表する。						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言など(50%)で評価する。						
履修条件・注意事項	遅刻や無断欠席は全体の進行に影響するので、基本的に認めない。やむを得ない場合、必ず事前連絡すること。						
自己学習	2週間に一度は輪読が回ってくるので、自身の関心がある本を数冊選んで、あらかじめ読んでおくこと。 データ分析に用いる統計的手法や機械学習技術、さらには深層学習には数学的な理解が必要である。自身がそれらの手法を用いる際には、その背景にある考え方まで理解する。毎回の報告の準備と、報告結果の再検討に、毎回2時間を要する。						
オフィスワ-	研究室、火曜日4時限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.研究対象の検討、討論 3.研究対象の検討、討論 4.研究対象の検討、討論 5.研究対象の検討、討論 6.先行研究の収集とレビュー 7.先行研究の収集とレビュー 8.先行研究の収集とレビュー 9.先行研究の収集とレビュー 10.先行研究の収集とレビュー 11.データ収集方法の検討と討論 12.データ収集方法の検討と討論 13.データ収集方法の検討と討論 14.データ収集方法の検討と討論 15.データ収集方法の検討と討論 16. 報告		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡	1.オリエンテーション 2.データの収集 3.データの収集 4.データの収集 5.データの分析 6.データの分析 7.データの分析 8.分析結果の報告 9.分析結果の報告 10.分析結果の報告 11.第1次発表と討論 12.第1次発表と討論 13.論文の再構成 14.最終発表 15.最終発表 16.最終発表		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡
教科書 1	進行の中で随時指定						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	稲元 洋輔					NO.	SS-BU-4-509
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	テーマ:卒業論文の執筆 到達目標:知識に基づき論理的な思考ができる。事象について多面的に理解し、豊かな発想ができる。						
概要	卒業論文の執筆と修正に徹する。 正確な文章が書けるようになる。データの収集や分析を行い、自身の研究を進める。さらには、日常的な問題について社会学の知識を用いた解釈ができるようになる。 授業方法は、卒業論文の進捗についてレジュメを作成し報告をする。そして、その報告に対して質疑応答を行うとともに、報告者を含め全体で内容を発展させるための議論を行う。						
評価方法	卒業論文(100%)によって評価する。						
履修条件・注意事項	出席と予習復習は必要不可欠である。 授業計画の内容は、受講者の理解度に応じて変更になることがある。						
自己学習	予習・復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜日3時限に研究室(14611)にて実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.論文テーマの発表(1) 3.論文テーマの発表(2) 4.論文テーマの発表(3) 5.参考文献の整理(1) 6.参考文献の整理(2) 7.参考文献の整理(3) 8.研究計画の報告(1) 9.研究計画の報告(2) 10.研究計画の報告(3) 11.研究の進捗報告(1) 12.研究の進捗報告(2) 13.研究の進捗報告(3) 14.卒業論文中間報告(1) 15.卒業論文中間報告(2)		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元	1.オリエンテーション 2.研究計画の再検討(1) 3.研究計画の再検討(2) 4.研究計画の再検討(3) 5.論文の構成(1) 6.論文の構成(2) 7.論文の構成(3) 8.研究の進捗報告(4) 9.研究の進捗報告(5) 10.研究の進捗報告(6) 11.論文の推敲(1) 12.論文の推敲(2) 13.論文の推敲(3) 14.卒業論文発表(1) 15.卒業論文発表(2)		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元 稲元
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	授業の進行に応じて適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 秋学期～2022年度 春学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	SS-BU-4-509
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	卒業論文のテーマは昨年度末、ゼミで報告されたものについて研究を続け、卒業論文として仕上げるものとする。論文の可否に関しては従来通り、ゼミ担当教員が要求する水準を超えていなければならない。脚注の付け方や参考分篇の並べ方等については、何度でも指導する。						
概要	卒業論文の指導については、指導教授が大学院で実施している方式を採用する。すなわち毎週少しでも良いので卒業論文に関連する文章を書いてきてもらい、それを教員が指導、訂正する。ちなみに昨年度の卒論テーマは「内蒙古の環境破壊」「現代女子大学生の結婚意識」「韓国と日本の伝統衣装」であった。						
評価方法	論文への取り組み(40%)と成果(卒論:60%)とによって評価する。提出物や小論文は採点して返却するので必ず復習すること。						
履修条件・注意事項	剽窃だけは絶対しないこと。引用部分には必ず脚注を付けること。外国語文献を翻訳して、そのまま論文にしないこと。インターネットからの無断借用は絶対許さない。						
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10～16:40)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.論文とエッセイの違い 2.論文の構成要素 3.論文の構造 4.諸言・はじめに・問題の所在 5.方法と技法 6.データの収集 7.データの処理 8.結果 9.考察 10.論証 11.アブストラクト 12.資料の収集と分析 13.論文の形式 14.脚注と引用文献 15.推敲作業 16.口頭試問	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂	1.論文の書き方説明 2.論文テーマ確認 3.論文の構造チェック 4.論文執筆検討会:はじめに 5.論文執筆検討会:背景 6.論文執筆検討会:命題 7.論文執筆検討会:方法 8.論文執筆検討会:結果 9.論文執筆検討会:考察 10.論文中間報告会 11.論文執筆検討会:論旨 12.論文執筆検討会:命題と結果 13.脚注・引用文献チェック 14.アブストラクト執筆 15.推敲作業 16.口頭試問	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂		
教科書 1	論文の教室 著者: 戸田山 和久 出版社: NHK出版 ISBN: 978-4140911945						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 秋学期～2022年度 春学期			
担当者	井勝 久喜					NO.	SS-BU-4-509		
配当学科	経営社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「卒業論文の完成と発表」をテーマとして、演習等で得た能力と、知識を活用して、卒業論文を完成させ、発表会においてプレゼンテーションを行うことによって、本学科卒業生としての能力を身につけることを到達目標とする。								
概要	演習V、演習VIと関連させながら、これまで学習してきた研究方法を活かして、卒業論文の作成を行う。指導教員は、学生の卒業研究のテーマに応じて、事例の検討や関連論文の精読、グループ討議、個別指導などを行い、卒業論文作成の指導にあたる。								
評価方法	課題・議論・発表などへの取り組み(50%)及び卒業論文の内容(50%)を総合的に評価する。題・議論・発表などへの取り組みについては採点をして授業でフィードバックする。								
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。								
自己学習	1) 毎週発表をしてもらうことから、事前に文献を熟読した上で参加すること。2) 毎週指示を出すので、指示に従って復習すること。予習および復習には各2時間程度を要する。								
オフィスワ-	秋学期は水曜5時限、春学期は木曜5時限に研究室(14601号室)で実施する。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	後期研究計画の作成	PBL	井勝	第1回	卒業論文に関するオリエンテーション	PBL	井勝		
第2回	文献調査及びフィールド調査	PBL	井勝	第2回	卒業論文テーマ設定	PBL	井勝		
第3回	研究状況報告及び文献紹介	PBL	井勝	第3回	研究計画の作成	PBL	井勝		
第4回	文献調査及びフィールド調査	PBL	井勝	第4回	文献調査及びフィールド調査	PBL	井勝		
第5回	研究状況報告及び文献紹介	PBL	井勝	第5回	研究状況報告及び文献紹介	PBL	井勝		
第6回	文献調査及びフィールド調査	PBL	井勝	第6回	文献調査及びフィールド調査	PBL	井勝		
第7回	研究状況報告及び文献紹介	PBL	井勝	第7回	研究状況報告及び文献紹介	PBL	井勝		
第8回	研究に関する討論	PBL	井勝	第8回	研究に関する討論	PBL	井勝		
第9回	文献調査及びフィールド調査	PBL	井勝	第9回	文献調査及びフィールド調査	PBL	井勝		
第10回	研究状況報告及び文献紹介	PBL	井勝	第10回	研究状況報告及び文献紹介	PBL	井勝		
第11回	文献調査及びフィールド調査	PBL	井勝	第11回	文献調査及びフィールド調査	PBL	井勝		
第12回	研究状況報告及び文献紹介	PBL	井勝	第12回	研究状況報告及び文献紹介	PBL	井勝		
第13回	卒業論文の作成	PBL	井勝	第13回	卒業論文中間まとめの作成	PBL	井勝		
第14回	卒業論文の見直し	PBL	井勝	第14回	中間まとめの見直し	PBL	井勝		
第15回	卒業論文発表会	PBL	井勝	第15回	卒業論文中間発表会	PBL	井勝		
教科書 1	使用しない								
教科書 2									
参考書 1	論文・レポートの基本 著者:石黒 圭 出版社:日本実業出版社 ISBN:978-4-534-04927-8								
参考書 2									

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 秋学期～2022年度 春学期		
担当者	姜 明求					NO.	SS-BU-4-509
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	「卒業論文の完成と論文の書き方の理解」がテーマである。到達目標は、褒めてもらえることができる質が高い卒業論文の完成である。また、論文の作成を通じて、情報の収集や分析の方法、文章のまとめ方、発表のノウハウ、コミュニケーション能力などの養成を目標にする。						
概要	本人の興味・関心に基づいて経営学のさまざまな領域から研究テーマを選ぶ。各自の卒業論文のテーマに従って実証的研究か、文献研究を行う。テーマの決定に当たっては、適切なアドバイスを行う。研究テーマの決定、執筆中はもちろん、論文の仕上げまでアドバイスはするが、論文を完成させるのは本人である。						
評価方法	発表の内容・討論への積極性(20%)、提出論文の内容と発表によって評価(20%)。論文審査(60%)。小テスト、課題などに対するフィードバックは授業中に行う。						
履修条件・注意事項	就職活動と卒業論文の作成のバランスをうまくとること。無断欠席は認めない。就職活動でやむを得ない時は、必ず連絡を入れること。自ら問題意識を持って授業へ出席し、積極的に取り組む姿勢が必要。						
自己学習	毎回討論に参加するために配布資料の予習の徹底(毎回2時間)と演習後には復習(毎回2時間)をすること。						
オフィスワ-	研究室(9号館、9412)、春は月曜日3時限(13:30-15:00)、秋は月曜日2時限(11:10-12:40)。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション		演習	姜	1.オリエンテーション		演習	姜
2.各自の選んだ研究テーマについての報告・討論(各人)		演習	姜	2.各自の選んだ研究テーマについての順次報告(各人)		演習	姜
3.各自の選んだ研究テーマについての報告・討論(各人)		演習	姜	3.各自の選んだ研究テーマについての順次報告(各人)		演習	姜
4.各自の選んだ研究テーマについての報告・討論(各人)		演習	姜	4.各自の選んだ研究テーマについての順次報告(各人)		演習	姜
5.各自の選んだ研究テーマについての報告・討論(各人)		演習	姜	5.各自の選んだ研究テーマについての順次報告(各人)		演習	姜
6.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	6.テーマと目次の決定(各人)		演習	姜
7.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	7.論文執筆の中間発表(各人)		演習	姜
8.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	8.論文執筆の中間発表(各人)		演習	姜
9.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	9.論文の中間確認と文章の指導		演習	姜
10.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	10.論文の中間確認と文章の指導		演習	姜
11.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	11.論文の中間確認と文章の指導		演習	姜
12.資料の収集と整理方法の指導		演習	姜	12.論文の中間確認と文章の指導		演習	姜
13.各自の研究テーマと内容の報告(各人)		演習	姜	13.論文の最終確認と編集(各人)		演習	姜
14.各自の研究テーマと内容の報告(各人)		演習	姜	14.卒業論文の完成と成果発表・校正(各人)		演習	姜
15.各自の研究テーマと内容の報告(各人)		演習	姜	15.卒業論文の完成と成果発表・校正(各人)		演習	姜
16.全体のまとめと評価		試験	姜	16.卒業論文の完成と提出(各人)		試験	姜
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	予習ができるように演習時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。						
参考書 2	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方 著者:新堀 聡 出版社:同文館						

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 秋学期～2022年度 春学期		
担当者	黒宮 亜希子					NO.	SS-BU-4-509	
配当学科	経営社会				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>本授業の到達目標は大きく以下2つである。 3年次から準備してきた各自の研究テーマを元に研究プロジェクトをすすめ、①最終的な「卒業論文」を執筆する。完成した卒業論文の②プレゼンテーション(発表)を行い、的確な発表及び受け答えを行う。</p>							
概要	<p>各自が社会調査を実践した上で、その成果を1つの学术论文としてまとめる。 その進捗状況をクラス全体で確認するため、毎回受講生が発表する機会がある。 発表準備のためには、授業への積極的な参画が求められる。</p>							
評価方法	<p>卒業論文の制作過程(50%)、卒業論文の内容(50%)が評価の対象となる。 提出課題については授業でフィードバックを行うため、必ず復習しておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<p>各自の研究内容を考慮し、テキストを随時指示する。 卒業論文は、社会調査を各自(グループのケース有)で実施するものとする。</p>							
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 ・指示に従って必ず卒論用ノートを作成し復習をすること。 ・予習および復習には、各2時間程度を要する。 							
オフィスワ-	火曜2限(14615研究室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
01. ガイダンス 02. 初校の提出作業 03. 初校への個別コメント 04. 執筆スケジュール確認 05. 第2校執筆準備 06. 第2校執筆作業(個別) 07. 第2校執筆作業(個別指導) 08. 第2校執筆作業(個別指導) 09. 第2校執筆作業(個別指導) 10. 最終稿執筆作業(個別) 11. 最終稿執筆作業(個別指導) 12. 最終稿執筆作業(個別指導) 13. 卒論報告会準備 14. 卒論報告会 15. 全体振り返りと総括	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮	01. ガイダンス 02. 卒業論文執筆について(基礎) 03. 卒業論文執筆について(詳細) 04. 卒論構想発表準備作業 05. 卒論構想発表準備作業(レジュメ) 06. 卒論構想発表(グループ1) 07. 卒論構想発表(グループ2) 08. 卒論構想発表振り返り 09. 初校の執筆作業 10. 初校の執筆作業(個別質問) 11. 初校の執筆作業(個別指導) 12. 初校の執筆作業(個別質問) 13. 初校の執筆作業(個別指導) 14. 全体ディスカッション 15. 全体振り返りと総括	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮 黒宮			
教科書 1								
教科書 2								
参考書 1	<p>よくわかる卒論の書き方 著者:白井利明・高橋一郎 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623065721</p>							
参考書 2								

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 秋学期～2022年度 春学期			
担当者	片山 章郎					NO.	SS-BU-4-509		
配当学科	経営社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習		
テーマと到達目標	<p>テーマ 卒業論文の完成</p> <p>到達目標 経営社会学科で学び、かつ研究した成果を論文にまとめることで、本学科の学士としてふさわしい研究力を身に付ける。</p>								
概要	<p>演習V・演習VIと関連させながら、経営社会学科で学んだことの集大成として卒業論文にまとめる。論文作成に際し、論文の書き方の個別指導から始まり、添削も行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:この科目は留学生別科で日本語教育を経験した教員が担当する。</p>								
評価方法	評価は作成した卒業論文を100%とする。								
履修条件・注意事項	毎回の授業で卒業論文に対してチェックしていくので、やむを得ない理由以外で欠席しないこと。								
自己学習	授業で論文の進展や内容をチェックされるので、予習として資料や文献を精読しておく。復習として、授業で指摘されたチェックポイントを卒業論文に反映させておくこと。そのため、毎回の授業の授業の予習と復習にそれぞれ2時間が必要であり、総計でそれぞれ30時間が必要。								
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の火曜日の4時限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 資料や文献の精読 3. 資料や文献の書く順番を考える 4. 論文全体の構成を考える 5. 演習VIのグループ討議の結果を考える 6. 中間発表の原稿と論文のチェック 7. 中間発表の結果を考える 8. 論文の序論のチェック 9. 論文の本論のチェック 10. 論文の結論と引用・参考文献欄のチェック 11. 最終発表資料と論文のチェック 12. 論文の最終チェック 13. 問題個所の修正 14. 最終発表原稿のチェック 15. 卒業論文発表会 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 卒業論文	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山	1. オリエンテーション 2. 研究領域の確認 3. 研究方法について 4. 研究方法に応じたアプローチの仕方 5. 研究方法に応じた資料や文献 6. 研究領域の資料や文献を読む 7. 研究課題に応じた小論文を書いてみる 8. 小論文の訂正 9. 序論の書き方 10. 本論の書き方 11. 結論の書き方 12. 図表の挿入 13. 研究課題に応じた小論文を書く 14. 小論文の訂正 15. 小論文のグループ討議 16. 小論文の提出			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 AL 小論文	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山
教科書 1	適宜、資料を配布。								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 秋学期～2022年度 春学期		
担当者	大西 正泰					NO.	SS-BU-4-509	
配当学科	経営社会				年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習	
テーマと到達目標	「卒業論文の完成と発表」をテーマとして、演習等で得た能力と、知識を活用して、卒業論文を完成させ、発表会においてプレゼンテーションを行うことによって、本学科卒業生としての能力を身につけることを到達目標とする。							
概要	演習V、演習VIと関連させながら、これまで学習してきた研究方法を活かして、卒業論文の作成を行う。指導教員は、学生の卒業研究のテーマに応じて、事例の検討や関連論文の精読、グループ討議、個別指導などを行い、卒業論文作成の指導にあたる。							
評価方法	課題・議論・発表などへの取り組み(50%)及び卒業論文の内容(50%)を総合的に評価する。題・議論・発表などへの取り組みについては採点をして授業でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	欠席、遅刻する場合は、必ず、前もって連絡すること。毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。							
自己学習	1) 毎週発表をしてもらうことから、事前に文献を熟読した上で参加すること。2) 毎週指示を出すので、指示に従って復習すること。予習および復習には各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	秋学期は水曜5時限、春学期は木曜5時限に研究室(14621号室)で実施する。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	後期研究計画の作成	AL	大西	第1回	オリエンテーション	AL	大西	
第2回	文献調査及びフィールド調査	AL	大西	第2回	卒業論文テーマ設定	AL	大西	
第3回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	第3回	研究計画の作成	AL	大西	
第4回	文献調査及びフィールド調査	AL	大西	第4回	文献・フィールド調査	AL	大西	
第5回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	第5回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	
第6回	文献調査及びフィールド調査	AL	大西	第6回	文献・フィールド調査	AL	大西	
第7回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	第7回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	
第8回	研究に関する討論	AL	大西	第8回	研究に関する討論	AL	大西	
第9回	文献調査及びフィールド調査	AL	大西	第9回	文献・フィールド調査	AL	大西	
第10回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	第10回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	
第11回	文献調査及びフィールド調査	AL	大西	第11回	文献・フィールド調査	AL	大西	
第12回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	第12回	研究状況報告及び文献紹介	AL	大西	
第13回	卒業論文の作成	AL	大西	第13回	卒業論文中間まとめの作成	AL	大西	
第14回	卒業論文の見直し	AL	大西	第14回	中間まとめの見直し	AL	大西	
第15回	卒業論文発表会	AL	大西	第15回	卒業論文中間発表会	AL	大西	
教科書 1	使用しない							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 秋学期～2022年度 春学期		
担当者	竹岡 志朗					NO.	SS-BU-4-509
配当学科	経営社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	研究活動に主体的に取り組み、4年間の学びの集大成として卒業論文を完成させることを目的とする。						
概要	各自、卒業論文のテーマを決定し、その完成に向けて論文の収集、データの収集、分析を行う。 2週間に一度、自身の研究の進行状況を発表する。 輪読は、各自の関心のある論文を自身で見つけ、それを読み、発表する。						
評価方法	課題レポート(50%)、毎回の授業における発表や発言など(50%)で評価する。						
履修条件・注意事項	遅刻や無断欠席は全体の進行に影響するので、基本的に認めない。やむを得ない場合、必ず事前連絡すること。						
自己学習	2週間に一度は輪読が回ってくるので、自身の関心がある本を数冊選んで、あらかじめ読んでおくこと。 データ分析に用いる統計的手法や機械学習技術、さらには深層学習には数学的な理解が必要である。自身がそれらの手法を用いる際には、その背景にある考え方まで理解する。						
オフィスワ-	研究室、火曜日4時限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.研究対象の検討、討論 3.研究対象の検討、討論 4.研究対象の検討、討論 5.研究対象の検討、討論 6.先行研究の収集とレビュー 7.先行研究の収集とレビュー 8.先行研究の収集とレビュー 9.先行研究の収集とレビュー 10.先行研究の収集とレビュー 11.データ収集方法の検討と討論 12.データ収集方法の検討と討論 13.データ収集方法の検討と討論 14.データ収集方法の検討と討論 15.データ収集方法の検討と討論		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡	1.オリエンテーション 2.データの収集 3.データの収集 4.データの収集 5.データの分析 6.データの分析 7.データの分析 8.分析結果の報告 9.分析結果の報告 10.分析結果の報告 11.第1次発表と討論 12.第1次発表と討論 13.論文の再構成 14.最終発表 15.最終発表		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡 竹岡
教科書 1	進行の中で随時指定						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語教材の研究			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大下 朋子					NO.	SS-SM-3-601
配当学科	社会科学部			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本講義は、第二言語として日本語を学ぶ留学生を対象とする。本講義のテーマは日本語教授のためにどのような教材・教具があり、それをどのように授業に導入するかを考えることである。到達目標は、初級・中級・上級レベルそれぞれに合った教材や教具を的確に決定する判断力を養い、学習者が積極的に学習できるような教材を工夫して作成したり、応用する能力を身に付けることである。						
概要	留学生が主体的に教材・教具の検討を行う。学習者に正確な発音と文型を習得させるための文型練習のための教材・教具とはどのようなものか、また、流暢な日本語の会話力や説明力の習得のための教材やテキストとはどのようなものかについて考えよう。その教材をもとに各人が授業計画を立て教案を作成し、模擬授業も行う予定である。模擬授業を通して気づいた問題点や改善点について議論し、日本語教授の技術と能力を鍛える。						
評価方法	本講義内で作成した教案や教材を用いて模擬授業を行い評価する。模擬授業の成果を40%、準備段階として教案、教材・プリントの作成に積極的に取り組んだかを40%、授業の反省点や改善点、感想を含めたレポートを20%とし、これらを総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	模擬授業やレポート提出によって単位認定を行うが、それだけでは評価しない。一つの授業を組み立てるまでの教材研究に取り組む姿勢・態度、努力や工夫も考慮する。教材研究や模擬授業をよりよいものにするためには、授業以外での予習・復習に心がけること。						
自己学習	自己学習として、日本語教育実習(4年次開講)に向け、講義内容や配布資料をもとに教案を作成したり、模擬授業のための教材研究を行ったりすること。毎週の講義内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	月曜日3限目(2号館255研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション:日本語教材研究の重要性 2.教材・教具の種類(1) 3.教材・教具の種類(2) 4.教材の作成・導入—初・中級(1) 5.教材の作成・導入—初・中級(2) 6.教案作成I 7.模擬授業(1) 8.模擬授業(2) 9.教材の作成・導入—中・上級(1) 10.教材の作成・導入—中・上級(2) 11.教案作成II 12.模擬授業(3) 13.模擬授業(4) 14.模擬授業(5) 15.意見・質問 16.単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習・ディスカッション 演習・ディスカッション 演習・ディスカッション 演習 演習 レポート試験	大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下		
教科書1	必要に応じて随時指定						
教科書2							
参考書1							
参考書2							

授業科目名	日本語教材の研究			履修期	2021年度 春学期		
担当者	大下 朋子					NO.	SS-SM-3-601
配当学科	社会科学部			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本講義は、第二言語として日本語を学ぶ留学生を対象とする。本講義のテーマは日本語教授のためにどのような教材・教具があり、それをどのように授業に導入するかを考えることである。到達目標は、初級・中級・上級レベルそれぞれに合った教材や教具を的確に決定する判断力を養い、学習者が積極的に学習できるような教材を工夫して作成したり、応用する能力を身に付けることである。						
概要	留学生が主体的に教材・教具の検討を行う。学習者に正確な発音と文型を習得させるための文型練習のための教材・教具とはどのようなものか、また、流暢な日本語の会話力や説明力の習得のための教材やテキストとはどのようなものかについて考えよう。その教材をもとに各人が授業計画を立てて教案を作成し、模擬授業も行う予定である。模擬授業を通して気づいた問題点や改善点について議論し、日本語教授の技術と能力を鍛える。						
評価方法	本講義内で作成した教案や教材を用いて模擬授業を行い評価する。模擬授業の成果を40%、準備段階として教案、教材・プリントの作成に積極的に取り組んだかを40%、授業の反省点や改善点、感想を含めたレポートを20%とし、これらを総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	本科目は日本語教員養成コースの必修科目であり、本コースの取得を目指す者は必ず履修しなければならない。						
自己学習	自己学修として、日本語教育実習(4年次開講)に向け、講義内容や配布資料をもとに教案を作成したり、模擬授業のための教材研究を行ったりすること。毎週の講義内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	月曜日3限目(2号館255研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション:日本語教材研究の重要性		演習	大下				
2. 教材・教具の種類(1)		演習	大下				
3. 教材・教具の種類(2)		演習	大下				
4. 教材の作成・導入—初・中級(1)		演習	大下				
5. 教材の作成・導入—初・中級(2)							
6. 教案作成 I		演習	大下				
7. 模擬授業(1)							
8. 模擬授業(2)		演習	大下				
9. 教材の作成・導入—中・上級(1)		演習	大下				
10. 教材の作成・導入—中・上級(2)		演習	大下				
11. 教案作成 II		演習	大下				
12. 模擬授業(3)							
13. 模擬授業(4)		演習	大下				
14. 意見・質問		演習・ディスカッション	大下				
15. 単位認定試験		演習・ディスカッション	大下				
		演習	大下				
		レポート試験	大下				
教科書 1	必要に応じて随時指定						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語教育実習				履修期	2021年度 春学期		
担当者	大下 朋子					NO.	SC-SM-4-602	
配当学科	社会科学部				年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習	
テーマと到達目標	日本語教育実習は、第二言語として日本語を学ぶ留学生を対象とする。日本語教員養成コース修了のための必修科目であり、留学生に日本語での日本語教授を実践する実習である。日本語教授者として授業を運営する能力を習得し、実践的な指導力や知識・技術を身につけることができる。							
概要	本実習では、現場での日本語教授の体験を通して、日本語教員養成コースで学んできた教材の活用、知識や技術を実際に授業で実践し、日本語教授の能力を修得する。2～3週間の教育実習の中で、初級・中級・上級レベルそれぞれに合った教材や教具を的確に決定する判断力を養い、学習者が積極的に学習できるよう工夫し、応用する能力を身に付ける。							
評価方法	実習校からの総合評価を70点、実習後のレポート課題を30点とし、これらを総合的に評価する。							
履修条件・注意事項	3年次開講科目「日本語教材の研究」の他、本学が定める日本語教員養成に関する科目の単位を取得した学生のみ履修することができる。また、日本語教育実習を行うために、原則として3年修了時までには日本語能力試験N1に合格しておかなければならない。							
自己学習	4年次に行われる日本語教育実習に向け、日本語教員養成コース専用科目「日本教材の研究」で作成した教案、教材・資料などをもとに、実際の授業を想定し、繰り返し予習・復習に取り組んでほしい。							
オフィスワ-	月曜日3限目(2号館255研究室)							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
7月に指定校で実習を行う。		実習	実習校の指導担当者、大下(朋)					
教科書 1	必要に応じて随時指定							
教科書 2								
参考書 1	必要に応じて随時指定							
参考書 2								

授業科目名	日本語教育実習				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	大下 朋子					NO.	SC-SM-4-602		
配当学科	社会科学部				年次	4			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習		
テーマと到達目標	日本語教育実習は、第二言語として日本語を学ぶ留学生を対象とする。日本語教員養成コース修了のための必修科目であり、留学生に日本語での日本語教授を実践する実習である。日本語教授者として授業を運営する能力を習得し、実践的な指導力や知識・技術を身につけることができる。								
概要	本実習では、現場での日本語教授の体験を通して、日本語教員養成コースで学んできた教材の活用、知識や技術を実際に授業で実践し、日本語教授の能力を修得する。2～3週間の教育実習の中で、初級・中級・上級レベルそれぞれに合った教材や教具を的確に決定する判断力を養い、学習者が積極的に学習できるよう工夫し、応用する能力を身に付ける。								
評価方法	実習校からの総合評価を70点、実習後のレポート課題を30点とし、これらを総合的に評価する。								
履修条件・注意事項	3年次開講科目「日本語教材の研究」の他、本学が定める日本語教員養成に関する科目の単位を取得した学生のみ履修することができる。また、日本語教育実習を行うために、原則として3年修了時までには日本語能力試験N1に合格しておかなければならない。								
自己学習	4年次に行われる日本語教育実習に向け、日本語教員養成コース専用科目「日本語教材の研究」で作成した教案、教材・資料などをもとに、実際の授業を想定し、繰り返し予習・復習に取り組んでほしい。								
オフィスワ-	月曜日3限目(2号館255研究室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					11～12月に指定校で実習を行う。			実習	実習校の指導担当者、大下(朋)
教科書 1	必要に応じて随時指定								
教科書 2									
参考書 1	必要に応じて随時指定								
参考書 2									